

4) 予測結果

(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場

各予測地点による予測結果は表8-12-6に示すとおりである。

表8-12-6(1) 予測結果（武田神社）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約450m離れた場所にあり、武田神社北部を地下式で通過するため、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	周辺からの主なアクセスルートと考えられる県道甲府山梨線に改変はなく、武田神社北西部で塚原ICと接続するため、他県または郊外からの到達時間が短縮される。したがって、到達時間・距離の変化の程度は向上するものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線は地下式であることから視認されず、塚原ICも武田神社境内からは視認できないため、武田神社の雰囲気は阻害されず、快適性の変化は生じないものと予測する。

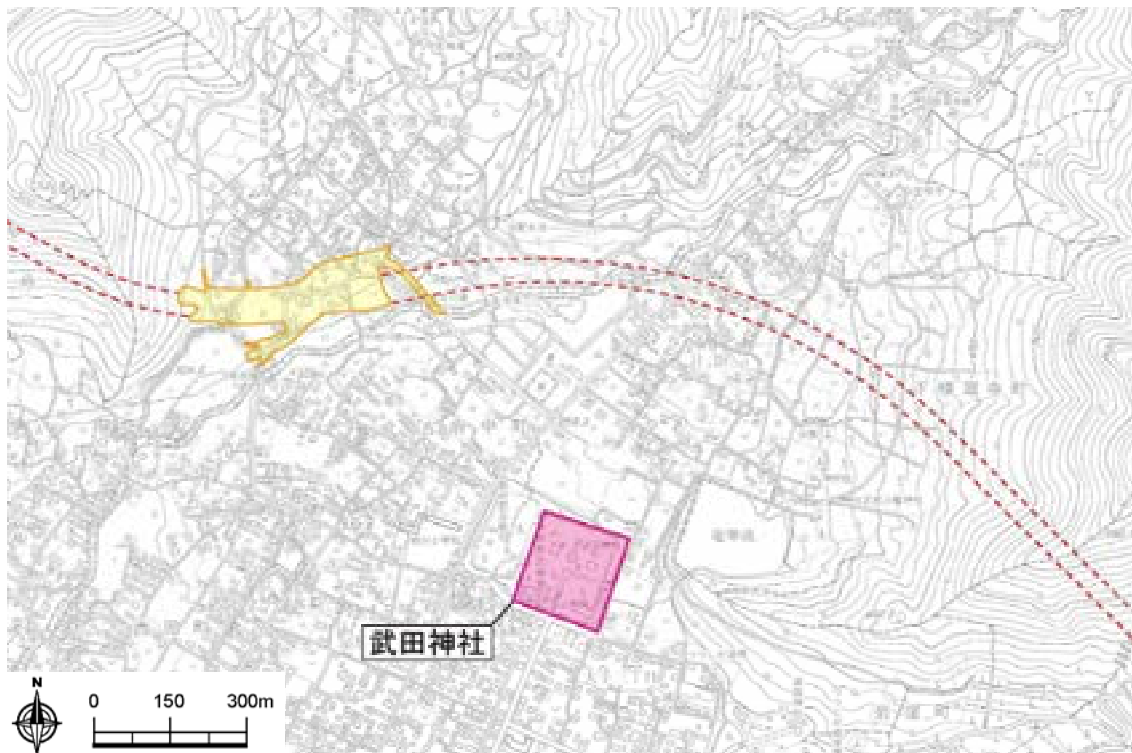


表8-12-6(2) 予測結果（武田の杜遊歩道）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約350m離れた場所にある。遊歩道は計画路線と交差するが、地下式で通過するため、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線は地下式で通過するため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	周辺からの主なアクセスルートと考えられる県道天神平甲府線に改変はないことから、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線と交差するが、地下式で通過する。また、塚原ICも遊歩道から約350m以上離れた場所にあり、視認できないため、快適性の変化は生じないと予測する。

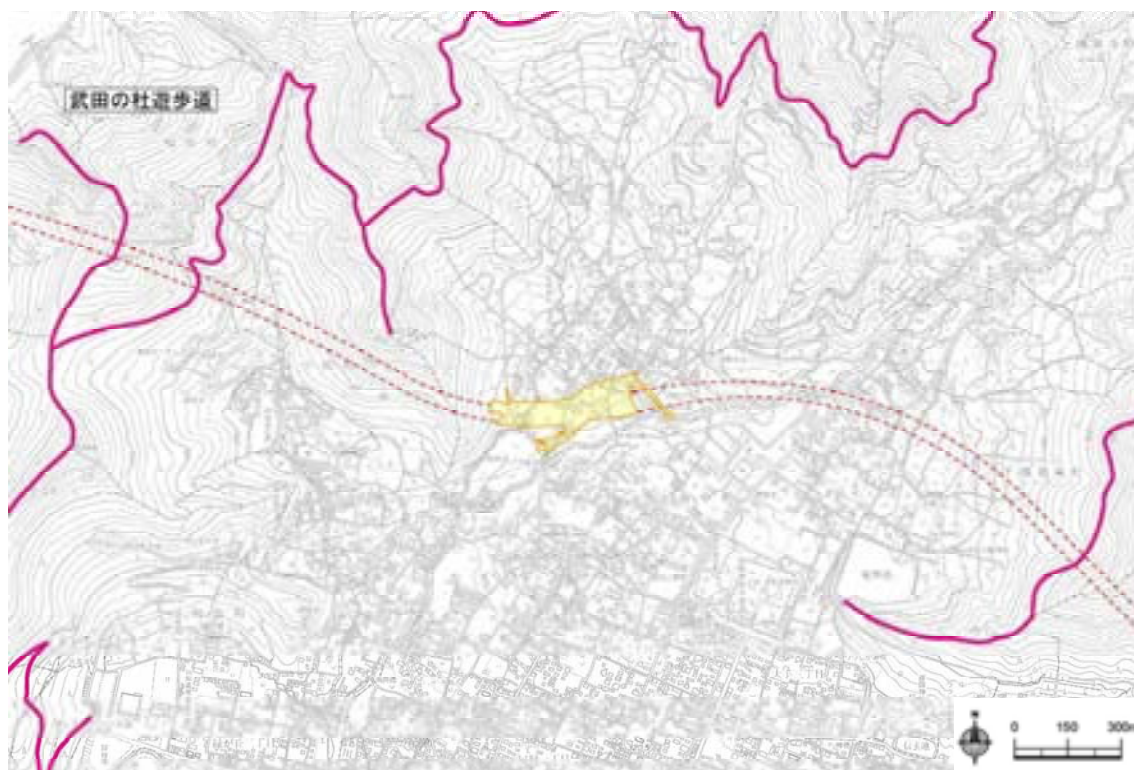


表8-12-6(3) 予測結果 (荒川サイクリングロード)

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線と交差するが、高架構造で通過するため計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線と交差するが、高架構造で通過するため利用に支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	荒川サイクリングロードへの主な交通手段は徒歩か自転車と考えられる。周辺からの主なアクセスルートと考えられる県道敷島竜王線、県道甲府昇仙峡線に改変はないことから、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		サイクリングロード終点部において、計画路線が高架構造で通過する。そのため、終点部周辺で近傍の風景に変化が生じる可能性があるが、その範囲はわずかであることから、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。景観の変化の程度は「第11節 景観 (p. 8-11-63)」を参照。

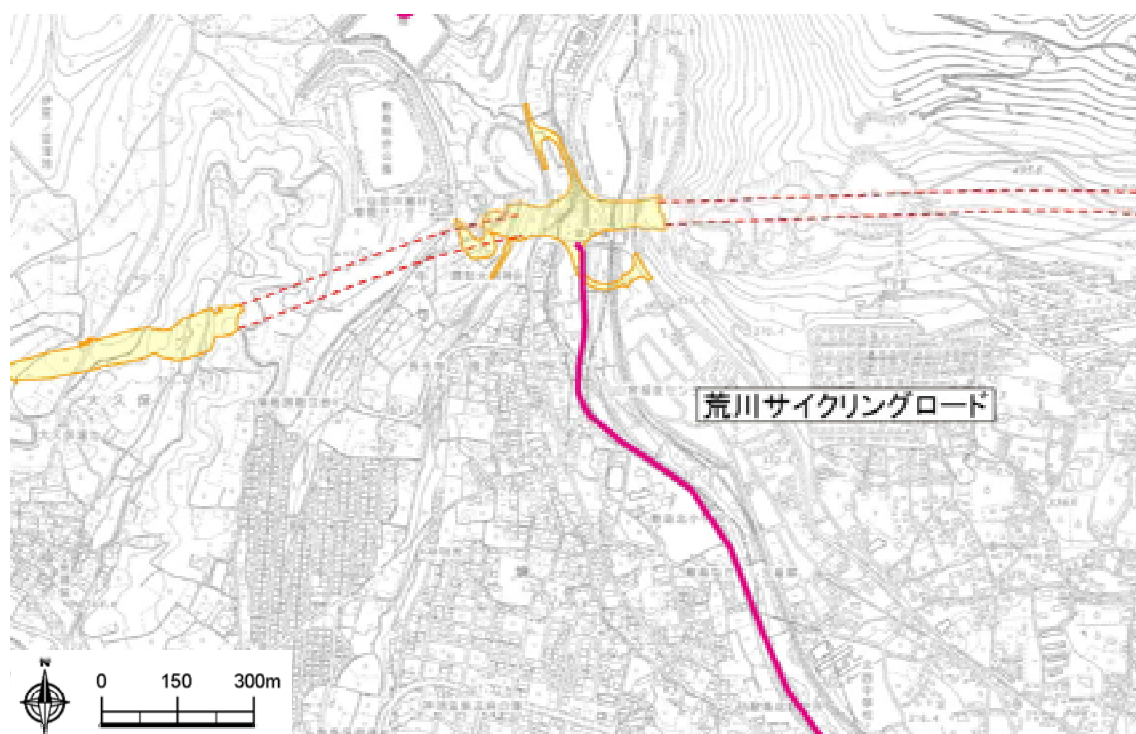


表8-12-6(4) 予測結果（矢木羽湖）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の 変化の程度		計画路線の明かり部から約250m離れた場所にあり、計画路線による変化はない。
利用性の 変化の程度	利用性の 変化	計画路線による変化は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離 の変化	矢木羽湖に向かう主要なアクセスルートと計画路線は交差するが、地下式で通過するため変化は生じない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線は矢木羽湖南東側の堤防の一部から視認されるが、約250m離れており、矢木羽湖における湖側の雰囲気は阻害されず、快適性の変化は生じないと予測する。景観の変化の程度は「第11節 景観 (p.8-11-65)」を参照。

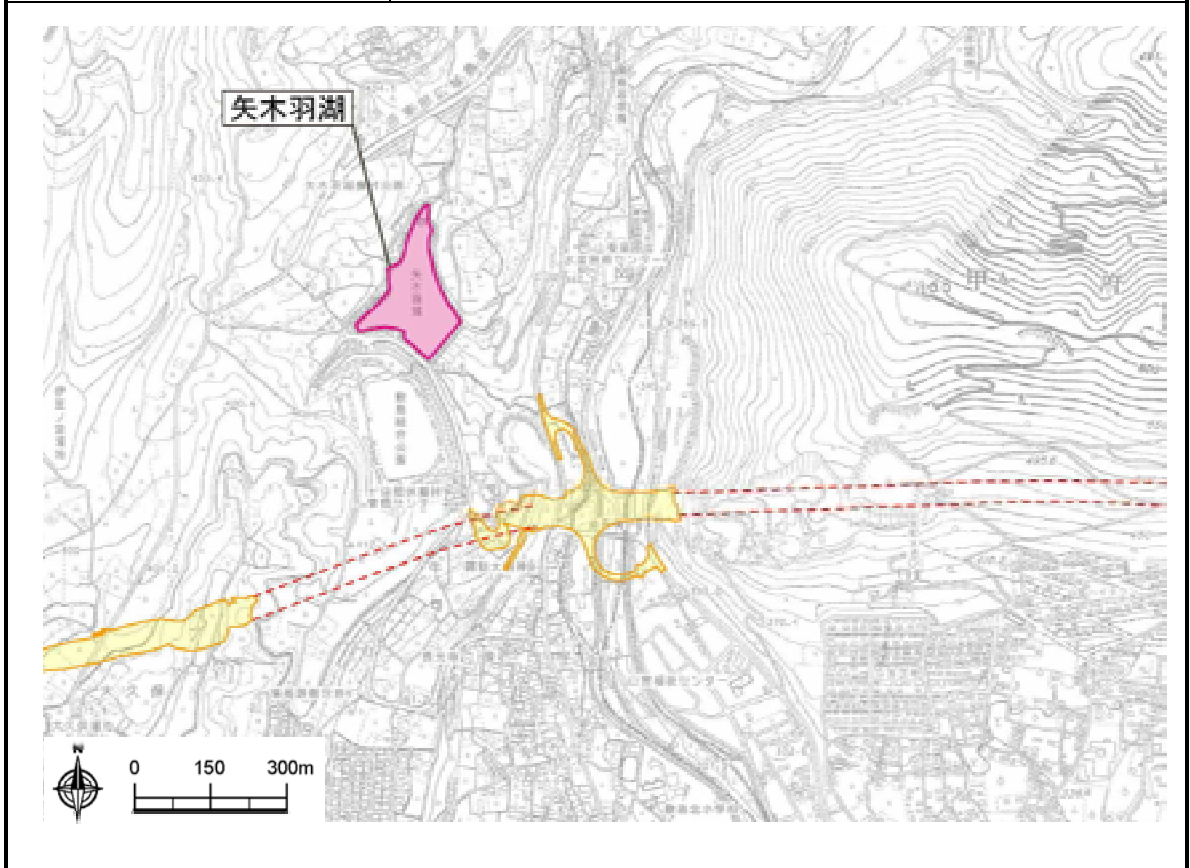


表8-12-6(5) 予測結果（桜井町桜・里山管理）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約250m離れた場所にあり、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	桜井町桜・里山管理に向かう主要なアクセルートと計画路線は交差するが、その箇所は既に国道140号（西関東連絡道路）が開通している部分であり、跨道橋が設置されているため、新たなアクセルートの変化は生じない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線は主要な活動範囲から視認されるが、近傍の風景は国道140号（西関東連絡道路）がほとんどである。新たに建設される西側のトンネル坑口部は樹林の陰になっているためほとんど視認されず、快適性の変化は生じないと予測する。

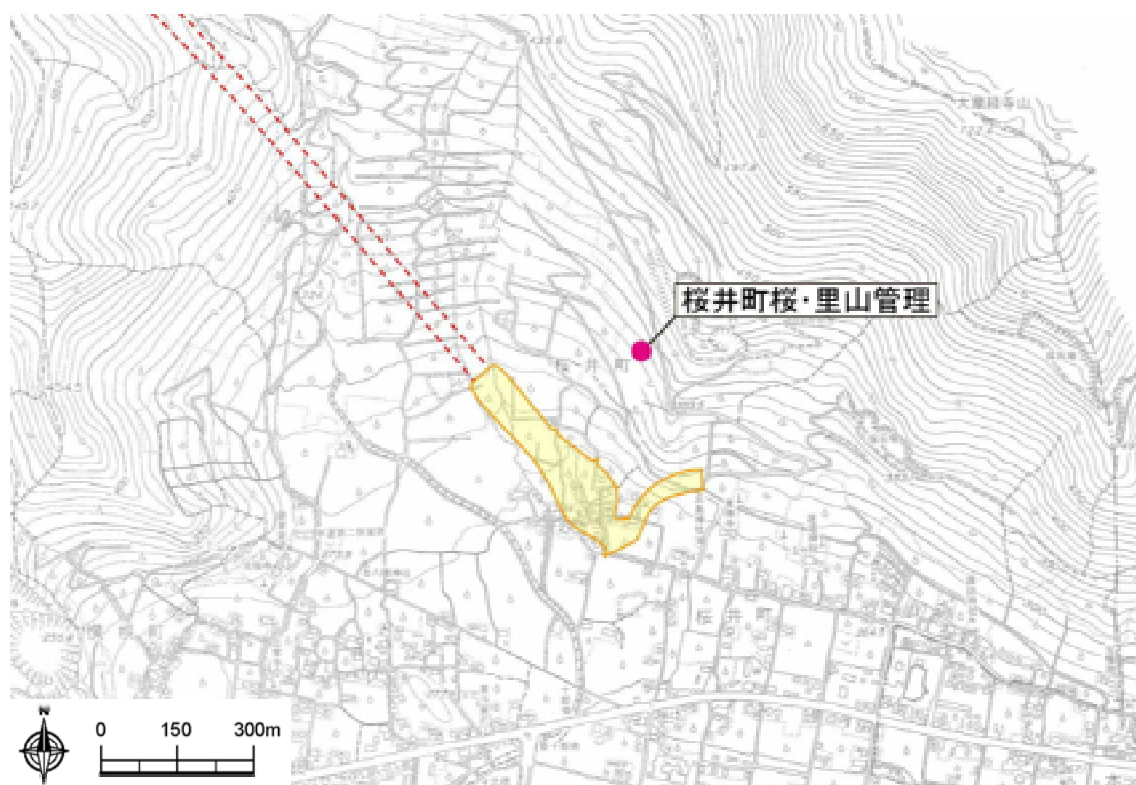


表8-12-6(6) 予測結果（桜井町散策路）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		国道140号（西関東連絡道路）の高架部と交差するが、計画路線の明かり部からは約100m離れた場所にあり、計画路線による散策路の改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	桜井町散策路に向かう主要なアクセスルートと計画路線は交差するが、その箇所は既に国道140号（西関東連絡道路）が開通している部分であり、跨道橋が設置されているため、新たなアクセスルートの変化は生じない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		既に国道140号（西関東連絡道路）が存在するため、新たな近傍の風景に変化は生じない。西側においては、桜井ICが視認されるが、散策路より15m低い位置に建設されるため、甲府市街地や南アルプス等、散策路からの景観は大きく変化せず、快適性の変化は生じないと予測する。景観の変化の程度は「第11節 景観 (p.8-11-49)」を参照。

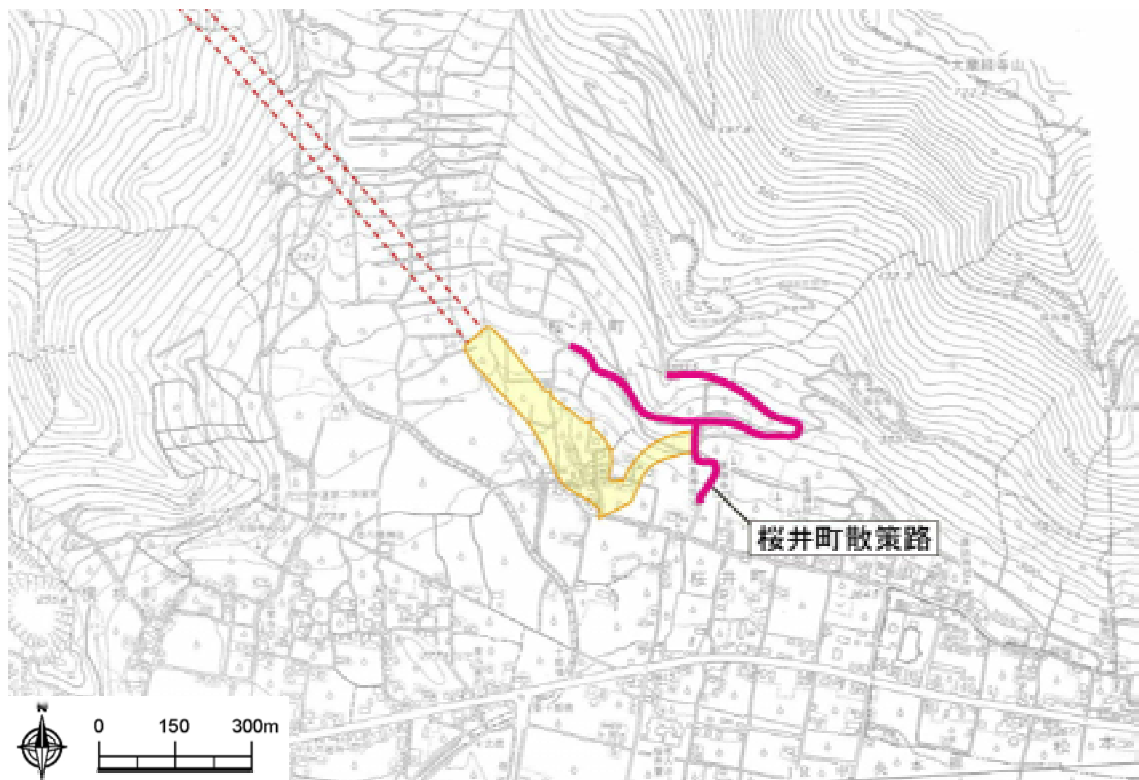


表8-12-6(7) 予測結果（塚原町バードウォッチング）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の 変化の程度		計画路線の明かり部から約400m離れた場所にあり、計画路線による変化はない。
利用性の 変化の程度	利用性の 変化	計画路線による変化は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離 の変化	利用は地元の塚原集落の住民と考えられるが、塚原集落の南側を通過し、集落の連続性を分断するものではないため、アクセス性の変化は生じない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線から約400m離れた場所にあり、バードウォッチングは塚原の北側山地の雑木林等の林内で行われると考えられるため、計画路線は視認されず、快適性の変化は生じないと予測する。

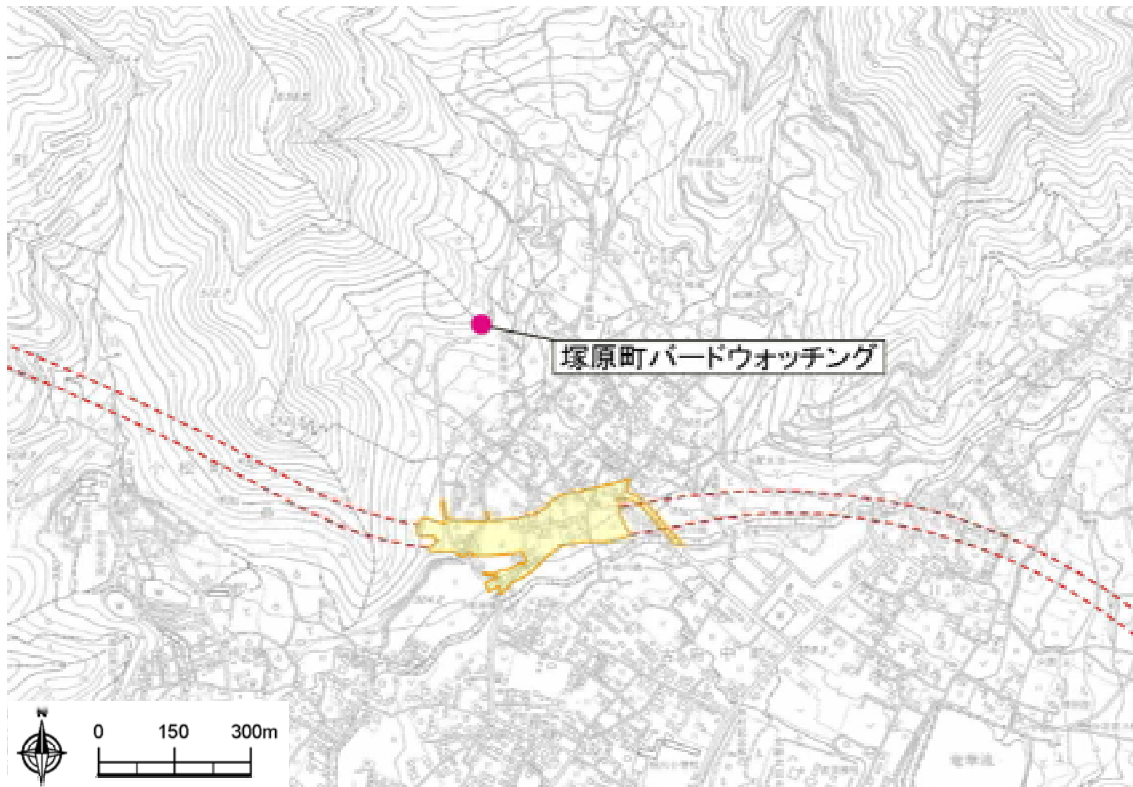


表8-12-6(8) 予測結果 (塚原集落 (ホタルの里))

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約400m離れた場所にある。相川は計画路線と交差するが、相川との交差部は地下式で通過するため、計画路線による相川の改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	利用は地元の塚原集落の住民と考えられるが、塚原集落の南側を通過し、集落の連続性を分断するものではないため、アクセス性の変化は生じない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		ホタルに関する活動を行う中心地は、塚原地区の相川上流域にあたる。明かり部である塚原ICとは約400m離れた場所にあり、ホタルの観察に必要な夜間の静穏性や照明による影響はなく、視認もできないため、快適性の変化は生じないと予測する。



表8-12-6(9) 予測結果 (団子新居散策路)

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約400m離れた場所にあり、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	団子新居散策路に向かう主要なアクセスルートと計画路線は交差するが計画路線は高架構造で通過するため、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線の明かり部から約400m離れた場所にあり、散策路はクヌギやコナラの高木林に囲まれていることから、計画路線は視認されず、快適性の変化は生じないと予測する。

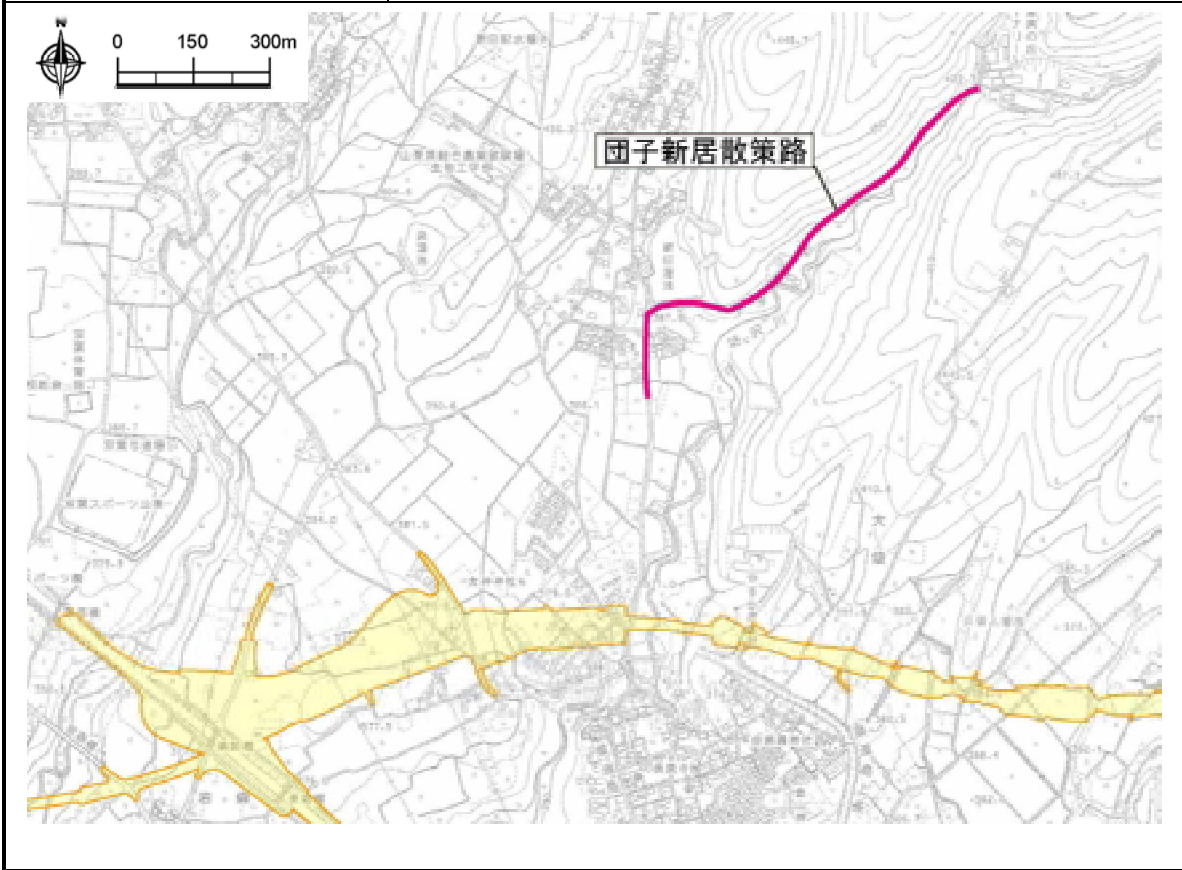


表8-12-6(10) 予測結果（坊沢川ザリガニ採集）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約100m離れた場所にあり、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	主な利用者は地元の小学生等と考えられる。計画路線によって、坊沢川に降りる道が改変されることはなく、その道に向かう周囲のアクセスに変化はみられない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線の明かり部から約100m離れた場所にあり、採集は河川の護岸内において行われるため、計画路線はほとんど視認されず、快適性の変化は生じないと予測する。

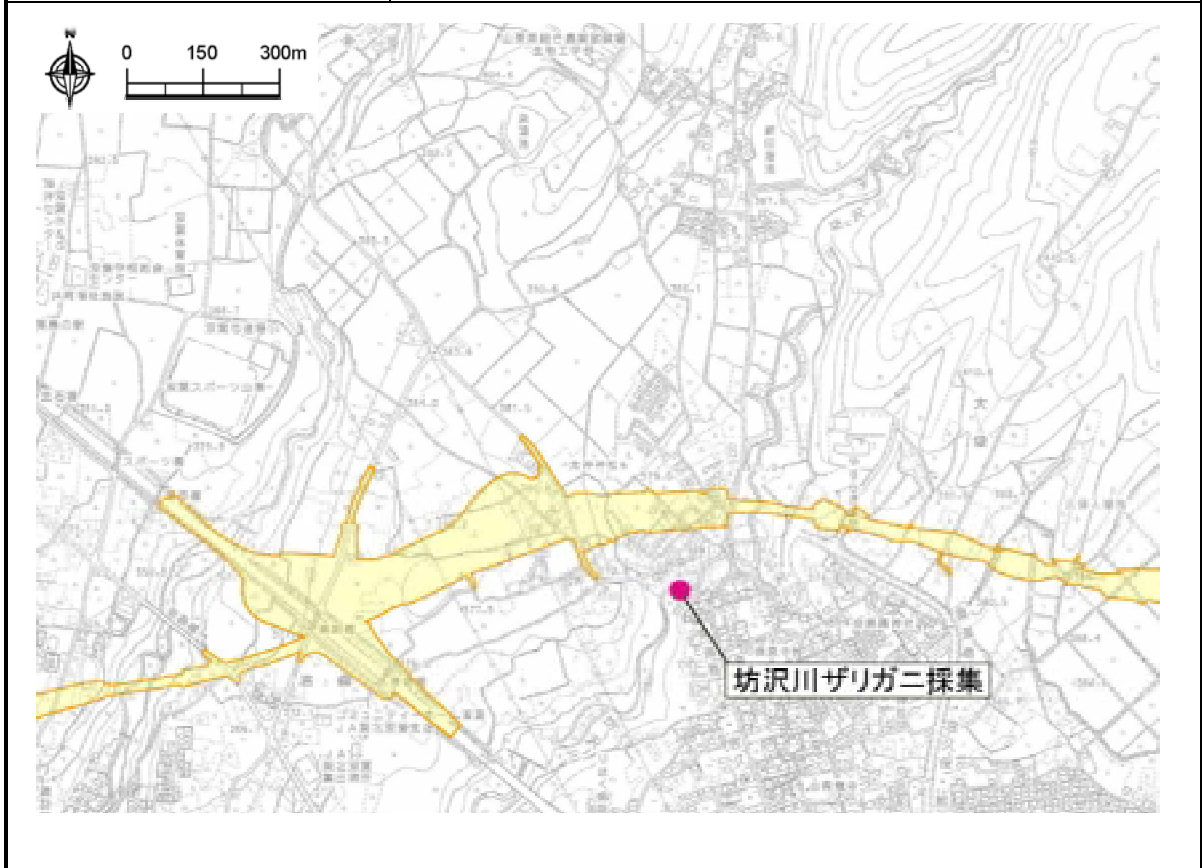


表8-12-6(11) 予測結果（双葉団地周辺散策路）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約200m離れた場所にあり、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の変化	計画路線による改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	主に地域住民が利用する散策路である。散策路に向かう周囲のアクセスに変化はみられない。したがって、到達時間・距離の変化は生じないものと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線の明かり部から約200m離れた場所にあり、散策路は雑木林を通り坊沢川に降りるルートとなっており、散策路から計画路線は視認されず、快適性に变化は生じないと予測する。

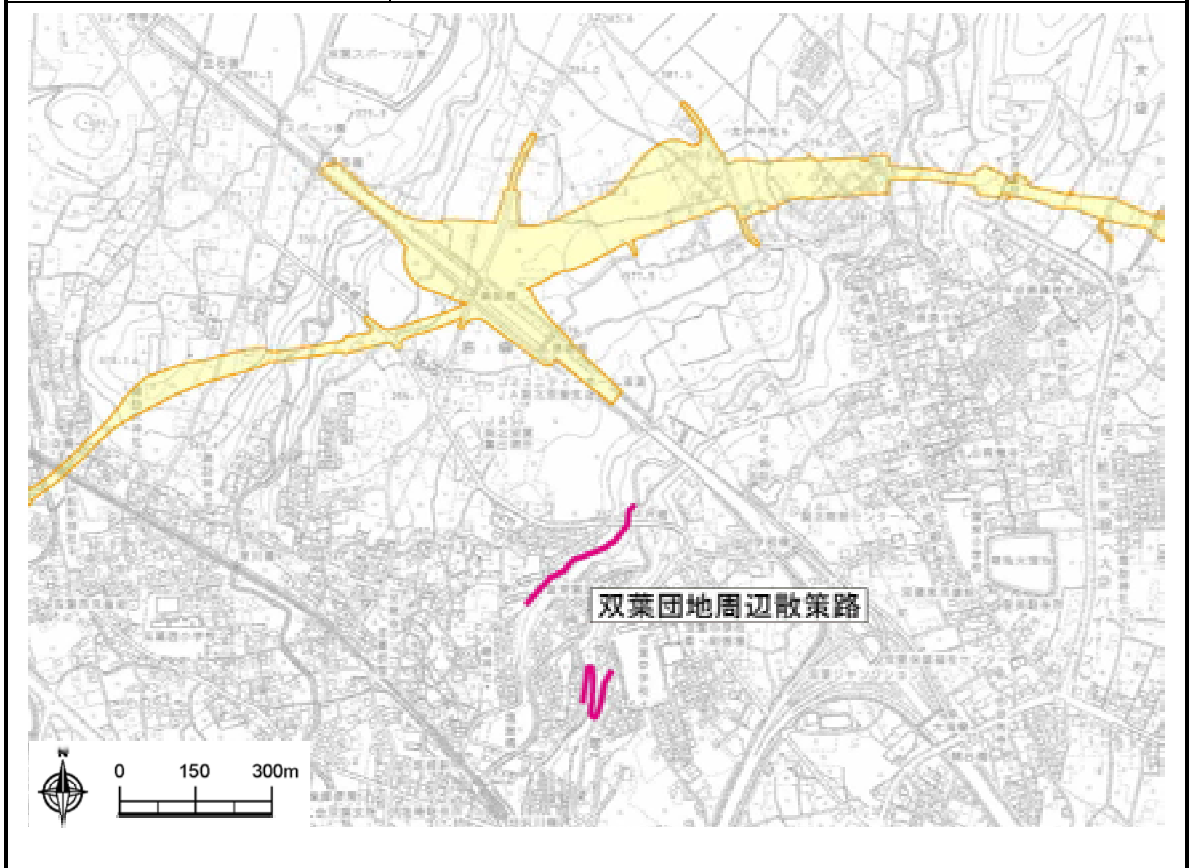
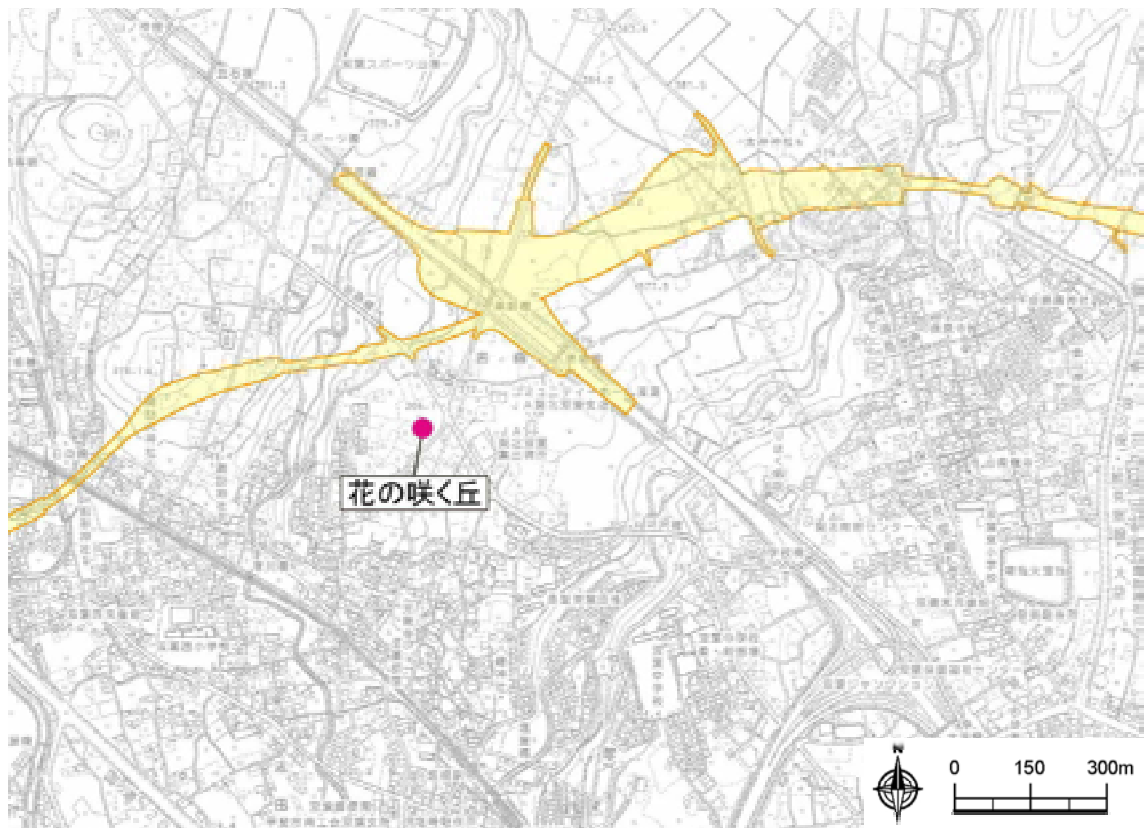


表8-12-6(12) 予測結果（花の咲く丘）

予測項目		予測結果
活動の場及び自然資源の改変の程度		計画路線の明かり部から約150m離れた場所にあり、計画路線による改変はない。
利用性の変化の程度	利用性の变化	計画路線による直接改変は生じないため、利用の支障が生じる箇所はなく、利用可能な人数の変化も生じない。
	到達時間・距離の変化	大袋地区に向かうアクセスルートに改変・迂回が生じるが、迂回する距離は220m程度であり、アクセス性の変化はほとんど生じないと予測する。
快適性の変化の程度		計画路線の明かり部は花の咲く丘から約150mの場所にあるが視認できず、花の咲く丘周辺は視界が広く開け、南アルプス等、花の咲く丘からの主要な景観は維持されるため、快適性の変化は生じないと予測する。



12.1.3 環境保全措置の検討

1) 環境保全措置の検討

予測結果より、事業によって主要な触れ合いの活動の場及び自然資源が大きく改変されることは無く、利用性及び快適性も低下しないと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。

12.1.4 事後調査

予測手法は都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ、触れ合いの活動の場からの景観変化を把握するフォトモニタージュ等の多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。

12.1.5 評価

1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は道路の計画段階において、トンネル構造を始めとした道路構造の検討を実施しており、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。

事業の実施により荒川サイクリングロードの端部付近を計画路線が高架構造で通過するが、その範囲はわずかであり、著しい環境影響を及ぼすことはないと考えられる。

このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。

第13節 廃棄物等

工事の実施に伴う切土等又は既存の工作物の除去により発生する建設副産物が道路事業実施区域外に搬出され、建設副産物による影響が考えられるため、廃棄物等の予測及び評価を行った。

13.1 切土等又は既存の工作物の除去に係る廃棄物等

13.1.1 予測

1) 予測手法

切土等又は既存の工作物の除去に係る廃棄物等の予測は、「道路環境影響評価の技術手法 土木研究所資料第4065号」（平成19年6月（独）土木研究所）に基づいて行った。

(1) 予測手順

予測方法は、建設工事に伴う建設副産物の種類ごとに、事業実施区域外に搬出される土砂やコンクリート塊等の発生の規模を可能な限り定量的に予測した。さらに、地域特性の把握から得られる廃棄物等の再利用・処分等の立地状況に基づいて、実行可能な再利用の方策を検討した。

予測項目は、対象事業における事業特性及び地域特性の情報をもとに、以下に示す建設副産物の種類ごとの概略の発生状況とした。なお、対象道路事業実施区域周辺の地質は、砂礫や火山岩で構成されているため、掘削による建設汚泥は発生しないと考えられることから予測項目から除外した。

- ・建設発生土
- ・既存工作物の除去に係る建設副産物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊）
- ・建設発生木材

2) 予測地域

予測地域は、都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺とした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、建設副産物の発生する工事期間とした。

■用語の説明■

コンクリート塊：側溝など既存の工作物の除去に伴って生じるコンクリートの破片。

アスファルト・コンクリート塊：舗装の剥ぎ取りあるいは削り取りによって生じるアスファルトがら。

4) 予測結果

対象事業により道路事業実施区域外に搬出する建設副産物は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材があり、これらの種類ごとの発生量の概略推計結果は表8-13-1に示すとおりである。

表8-13-1 廃棄物等に係る予測結果

種 類		発生量	道路事業実施区域での再利用率	道路事業実施区域外への搬出量
建設発生土 注1)		約270万m ³	約40万m ³	約230万m ³
コンクリート塊		約 400m ³	—	約 400m ³
アスファルト・コンクリート塊		約1,900m ³	—	約1,900m ³
建設発生木材	伐採	約3,300m ³	—	約3,300m ³
	型枠材	約 300m ³	—	約 300m ³

注) 建設発生土は、トラック運搬量を想定し、掘削土をほぐした後の膨張量を加算した土量である。

(1) 建設発生土

建設発生土については、掘削工事により約270万m³が生じるものと予測するが、発生量のうち約15%にあたる40万m³を事業実施区域内の盛土材として再利用する計画である。また、残土量約230万m³についても、「建設発生土情報交換システム」による工事間利用を、他の道路事業への再利用も含めて検討し、余剰分は「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成3年4月26日 法律第48号）に基づき、適正な処理及び再利用を図ることとする。

なお、「建設発生土情報交換システム」とは、全国の全ての公共工事等発注担当者が共通的に利用できるオンライン情報交換システムであり、建設残土が発生する、また埋土等土砂を利用する建設工事を対象に、建設発生土の工事間利用に関する情報を工事担当者に提供し、リサイクルの推進を図ることを目的とするものである。

(2) コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊

コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊については、既存工作物の撤去や既存道路の掘削等により、それぞれ約400m³、約1,900m³が発生する。これに対しては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日 法律第104号）に基づき、工事の際には分別解体し、再資源化を図り、再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分する。

再資源化の具体的な内容は、コンクリート塊については、再生コンクリート材に加工し、再資源化を図ることとする。アスファルト・コンクリート塊については、再生アスファルト合材等に加工し、再資源化を図ることとする。

(3) 建設発生木材

建設発生木材については、森林の伐採に伴い約3,300m³が、橋梁部等の使用済みコンクリート型枠材により約300m³が生じるものと予測する。これに対しては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日 法律第104号）に基づき、工事の際には分別解体し、再資源化できるものについては再資源化施設へ搬入する等により再資源化を図る。再資源化の具体的な内容は、伐採木については、マルチング材、育成基盤材、堆肥として利用する予定である。

コンクリート養生等建設現場から発生するベニヤ板、標識杭等の再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分する。

なお、処理・処分に際しては、可能な限りバイオマスボイラー燃料等への再生が行われる産業廃棄物処理業者へ委託することとする。

また、これらの建設副産物については、表8-13-2に示す「建設リサイクル推進計画2008」（平成20年4月 国土交通省）及び「山梨県建設リサイクル推進計画」（平成15年4月 山梨県）に定められた再資源化率の目標値を上回るよう再利用・再資源化に努めることとする。

表8-13-2 建設リサイクル推進計画の目標値

対象品目		平成22年度		平成24年度	平成27年度
		山梨県	全国	全国	全国
再資源化率	アスファルト・コンクリート塊	99%以上	98%以上	98%以上	98%以上
	コンクリート塊	99%以上	98%以上	98%以上	98%以上
再資源化・縮減率	建設発生木材	再資源化率 65%	95%	95%以上	95%以上
		縮減率 30%			
有効利用率	建設発生土	90%	85%	87%	90%

備考：各品目の目標値の定義は以下のとおりである。ただし、利用量には現場内利用を含む。

<再資源化率>

・アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊：(再使用量+再生利用率) / 排出量

・建設発生木材：(再使用量+再生利用量+熱回収量+焼却による減量化量) / 排出量

<有効利用率>

・建設発生土：(土砂利用量のうち土質改良を含む建設発生土利用量) / 土砂利用量

出典：「建設リサイクル推進計画2008」（建設副産物対策関東地方連絡協議会）

「山梨県建設リサイクル推進計画」（山梨県）

13.1.2 環境保全措置の検討

1) 環境保全措置の検討

切土等又は既存の工作物の除去に係る廃棄物等の環境負荷を低減するための環境保全措置として、表8-13-3に示す案を検討した。

環境保全措置の検討の結果、「工事間流用の促進」、「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」及び「トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止」を採用する。なお、搬入する再資源化施設等は、事業実施段階において検討を行う。

表8-13-3 環境保全措置の検討

環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果
工事間流用の促進	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	建設発生土の発生量の低減が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。
再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の再利用によって発生量を回避低減できる。	コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の発生量の低減が確実に見込まれることから、環境保全措置として採用する。
トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止	有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条第6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できることから環境保全措置として採用する。

2) 検討結果の検証

発生するコンクリート塊及びアスファルト塊の量が定量的に予測されていること、また、再資源化施設の処理能力についても、実際の稼働状況により多少の変動はあるものの、既に処理能力に実績があること、「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」や土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）の技術的基準に基づく対応を行うことから環境保全措置の効果の不確実性は小さいと判断される。

3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「工事間流用の促進」、「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」の効果、実施位置、他の環境への影響について整理した結果は表8-13-4に示すとおりである。

表8-13-4(1) 検討結果の整理

実施主体		国土交通省関東地方整備局
実施内容	種類	工事間流用の促進
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺
環境保全措置の効果		建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		特になし

表8-13-4(2) 検討結果の整理

実施主体		国土交通省関東地方整備局
実施内容	種類	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺
環境保全措置の効果		コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の再利用によって発生量を回避低減できる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		特になし

表8-13-4(3) 検討結果の整理

実施主体		国土交通省関東地方整備局
実施内容	種類	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺
環境保全措置の効果		トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		特になし

13.1.3 事後調査

予測手法は、対象事業の実施に伴う建設副産物の発生量及び搬出量を定量的に予測しており、余剰分は関係法令に基づいて適切に処理・処分することから、予測の不確実性は小さいと考えられる。このため、事後調査は実施しないこととする。

13.1.4 評価

1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、建築廃材の排出量は極めて少なく、環境負荷の回避・低減を図っている。

事業の実施により建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材が発生すると考えられることから、廃棄物等の再利用及び再資源化の環境保全措置を実施する。

トンネル構造の採用に伴って大量に発生する建設発生土については、事業内で極力再利用することとする。また、残土については、他の道路事業等との連携をはかりながら極力再利用し、適正な処理及び再利用に努める。

また、トンネル工事等から発生するコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材については、再資源化施設への搬入等により可能な限り再資源化を図り、再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。

さらに、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条第6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。

このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。

なお、対象事業実施区域外に搬出する残土については、工事の実施に当たり搬出先及び搬出先ごとの排出量を把握すると共に、事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うと共に、具体的な排出抑制計画を策定する。

第9章 都市計画対象道路事業に係る環境影響の総合的な評価

本環境影響評価では、都市計画対象道路事業について、影響要因の区分である「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」に関し、環境要素の13項目（大気質、騒音、振動、低周波音、地下水の水位、地形及び地質、日照障害、動物、植物、生態系、景観、人と自然との触れ合いの活動の場、廃棄物等）を選定し、調査、予測及び評価を実施した。

予測の結果、「低周波音」、「地下水の水位」、「地形及び地質」、「日照障害」、「人と自然との触れ合いの活動の場」の5項目については、著しい環境影響を及ぼすことはないため、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られるものと評価する。

その他の項目（大気質、騒音、振動、動物、植物、生態系、景観、廃棄物等）については、必要な環境保全措置を実施することで環境影響を回避・低減しているものと考えられ、事業者の実行可能な範囲内で回避又は低減が図られるものと評価する。さらに、「動物」「植物」及び「生態系」については、効果に係る知見が不十分な環境保全措置を講ずる場合において、環境影響が著しいものとなるおそれがあるため、事後調査を実施し、専門家等の指導・助言を得ながら適切な措置を講ずることとする。

また、今後の本事業における詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に十分配慮して行うこととし、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家等の指導・助言を得ながら調査を実施し、適切な措置を講ずることとする。

表 9-1-1(1) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																										
	環境要素の区分	影響要因の区分																																													
大気環境	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	自動車の走行	<p>調査結果</p> <p><大気質の状況> 大気質の状況の調査結果は以下のとおりである。</p> <p>●二酸化窒素の濃度の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>二酸化窒素期間平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市横根町</td> <td>0.008ppm</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>0.008ppm</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>0.006ppm</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>0.008ppm</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>0.014ppm</td> </tr> </tbody> </table> <p>●浮遊粒子状物質の濃度の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>浮遊粒子状物質期間平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市横根町</td> <td>0.024mg/m³</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>0.022mg/m³</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>0.020mg/m³</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>0.020mg/m³</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>0.020mg/m³</td> </tr> </tbody> </table> <p><気象の状況> 気象の状況の調査結果は以下のとおりである。</p> <p>●風向・風速の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>最多風向</th> <th>平均風速</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市横根町</td> <td>北北西</td> <td>1.8m/s</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>北北東</td> <td>1.6m/s</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>北</td> <td>2.1m/s</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>北北西</td> <td>2.5m/s</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>北</td> <td>1.3m/s</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	二酸化窒素期間平均値	甲府市横根町	0.008ppm	甲府市古府中町	0.008ppm	甲斐市牛匂	0.006ppm	甲斐市岩森	0.008ppm	甲斐市宇津谷	0.014ppm	調査地点	浮遊粒子状物質期間平均値	甲府市横根町	0.024mg/m ³	甲府市古府中町	0.022mg/m ³	甲斐市牛匂	0.020mg/m ³	甲斐市岩森	0.020mg/m ³	甲斐市宇津谷	0.020mg/m ³	調査地点	最多風向	平均風速	甲府市横根町	北北西	1.8m/s	甲府市古府中町	北北東	1.6m/s	甲斐市牛匂	北	2.1m/s	甲斐市岩森	北北西	2.5m/s	甲斐市宇津谷	北	1.3m/s	<p>1. 予測結果</p> <p>計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022～0.028 mg/m³ である。</p> <p>既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020～0.028 mg/m³ である。</p> <p>なお、計画路線の整備と合わせて側道の整備を行うが、これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものである。よって、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していない。</p> <p>2. 環境保全措置</p> <p>予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p> <p>3. 事後調査</p> <p>予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>	<p>評価結果</p> <p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。</p> <p>このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間 98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間 2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合は図られると評価する。</p>
調査地点	二酸化窒素期間平均値																																														
甲府市横根町	0.008ppm																																														
甲府市古府中町	0.008ppm																																														
甲斐市牛匂	0.006ppm																																														
甲斐市岩森	0.008ppm																																														
甲斐市宇津谷	0.014ppm																																														
調査地点	浮遊粒子状物質期間平均値																																														
甲府市横根町	0.024mg/m ³																																														
甲府市古府中町	0.022mg/m ³																																														
甲斐市牛匂	0.020mg/m ³																																														
甲斐市岩森	0.020mg/m ³																																														
甲斐市宇津谷	0.020mg/m ³																																														
調査地点	最多風向	平均風速																																													
甲府市横根町	北北西	1.8m/s																																													
甲府市古府中町	北北東	1.6m/s																																													
甲斐市牛匂	北	2.1m/s																																													
甲斐市岩森	北北西	2.5m/s																																													
甲斐市宇津谷	北	1.3m/s																																													

表 9-1-1(2) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																
	環境要素の区分	影響要因の区分																																			
大気環境	粉じん等(降下ばいじん)	建設機械の稼働	<p><気象の状況> 気象の状況については、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、0.2~8.3 t/km²/月となり、いずれの地点も参考となる値の 10t/ km²/月を下回る。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>作業方法への配慮</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>建設機械が稼働する場所</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">作業員への資機材の取り扱いの指導等を行うことにより粉じんの発生量の低減が見込まれる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事中の適宜散水</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事により出現する法面や裸地</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">粉じん等の発生源に直接散水する事により、粉じんの発生が低減される。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類	作業方法への配慮	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果	作業員への資機材の取り扱いの指導等を行うことにより粉じんの発生量の低減が見込まれる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし		実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類	工事中の適宜散水	位置	工事により出現する法面や裸地	環境保全措置の効果	粉じん等の発生源に直接散水する事により、粉じんの発生が低減される。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし		<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として作業方法の配慮、工事中の適宜散水を実施することで、環境負荷を低減している。 以上のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているのと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、降下ばいじん量は全ての予測地点で参考値を下回っており、基準又は目標との整合が図られているものと評価する。</p>
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																				
実施内容	種類	作業方法への配慮																																			
	位置	建設機械が稼働する場所																																			
環境保全措置の効果	作業員への資機材の取り扱いの指導等を行うことにより粉じんの発生量の低減が見込まれる。																																				
効果の不確実性	なし																																				
他の環境への影響	特になし																																				
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																				
実施内容	種類	工事中の適宜散水																																			
	位置	工事により出現する法面や裸地																																			
環境保全措置の効果	粉じん等の発生源に直接散水する事により、粉じんの発生が低減される。																																				
効果の不確実性	なし																																				
他の環境への影響	特になし																																				
			<p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>																																		

表 9-1-1(3) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																		
	環境要素の区分	影響要因の区分																																					
大気環境	粉じん等(降下ばいじん)	工事用車両の運行	<p><気象の状況> 気象の状況については、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、3.3～28.9 t / km² / 月である。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類 工事用車両の運行計画の配慮</td> </tr> <tr> <td>位置 工事車両が通行する道路</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、粉じんの発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>騒音、振動への影響が低減される。</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類 工事中の適宜散水及び工事用車両の荷台への防じんシートの敷設</td> </tr> <tr> <td>位置 工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>工事中に適宜散水を行うとともに、工事用車両の荷台へ防じんシートを敷設することにより粉じんの発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>なし</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類 工事用車両のタイヤ洗浄</td> </tr> <tr> <td>位置 工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じんの発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書P25に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>なし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類 工事用車両の運行計画の配慮	位置 工事車両が通行する道路	環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、粉じんの発生を低減できる。	効果の不確実性	なし	他の環境への影響	騒音、振動への影響が低減される。	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類 工事中の適宜散水及び工事用車両の荷台への防じんシートの敷設	位置 工事施工範囲内	環境保全措置の効果	工事中に適宜散水を行うとともに、工事用車両の荷台へ防じんシートを敷設することにより粉じんの発生を低減できる。	効果の不確実性	なし	他の環境への影響	なし	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類 工事用車両のタイヤ洗浄	位置 工事施工範囲内	環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じんの発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書P25に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。	効果の不確実性	なし	他の環境への影響	なし	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p>	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として工事用車両の運行計画の配慮、工事中の適宜散水及び工事用車両の荷台への防じんシートの敷設、工事用車両のタイヤ洗浄を実施することで環境負荷を低減している。 以上のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、降下ばいじん量は全ての予測地点で参考値を下回っており、基準又は目標との整合性が図られているものと評価する。</p>
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																						
実施内容	種類 工事用車両の運行計画の配慮																																						
	位置 工事車両が通行する道路																																						
環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、粉じんの発生を低減できる。																																						
効果の不確実性	なし																																						
他の環境への影響	騒音、振動への影響が低減される。																																						
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																						
実施内容	種類 工事中の適宜散水及び工事用車両の荷台への防じんシートの敷設																																						
	位置 工事施工範囲内																																						
環境保全措置の効果	工事中に適宜散水を行うとともに、工事用車両の荷台へ防じんシートを敷設することにより粉じんの発生を低減できる。																																						
効果の不確実性	なし																																						
他の環境への影響	なし																																						
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																						
実施内容	種類 工事用車両のタイヤ洗浄																																						
	位置 工事施工範囲内																																						
環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じんの発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書P25に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。																																						
効果の不確実性	なし																																						
他の環境への影響	なし																																						
			<p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>																																				

表 9-1-1(4) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果										
	環境要素の区分	影響因の区分													
大気環境	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	建設機械の稼働	<p><大気質の状況・気象の状況> 大気質の状況及び気象の状況については、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.0090～0.0191ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.02005～0.02478mg/m³である。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td>実施内容</td> <td>排出ガス対策型建設機械の使用 建設機械が稼働する場所</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>排出ガス対策型建設機械を使用することにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>特になし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	排出ガス対策型建設機械の使用 建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果	排出ガス対策型建設機械を使用することにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	効果の不確実性	なし	他の環境への影響	特になし	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として排出ガス対策型建設機械の使用、作業方法への配慮を実施することで、環境負荷を低減している。 さらに、住居等の保全対象の近くでは、第3次排出ガス対策型建設機械の使用を検討する。 以上のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているのと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の建設機械による寄与濃度及び日平均値の年間98%値、浮遊粒子状物質の建設機械による寄与濃度及び日平均値の年間2%除外値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準又は目標との整合性が図られているものと評価する。</p>
実施主体	国土交通省関東地方整備局														
実施内容	排出ガス対策型建設機械の使用 建設機械が稼働する場所														
環境保全措置の効果	排出ガス対策型建設機械を使用することにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。														
効果の不確実性	なし														
他の環境への影響	特になし														
			<p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>												

表 9-1-1(5) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																	
	環境要素の区分	影響要因の区分																				
大気環境	大気質	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質	<p>大気質の状況・気象の状況について、「自動車の走行に係る大気質」に示すとおりである。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.007～0.015ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020～0.024 mg/m³ である。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事用車両の運行計画の配慮</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事車両が通行する道路</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">騒音、振動への影響が軽減される。</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	工事用車両の運行計画の配慮	位置	工事車両が通行する道路	環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	騒音、振動への影響が軽減される。		<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として工事用車両の運行計画の配慮を実施することで環境負荷を低減している。 以上のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の工事用車両の運行による寄与濃度及び日平均値の年間 98%値、浮遊粒子状物質の工事用車両の運行による寄与濃度及び日平均値の年間 2%除外値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準又は目標との整合性が図られているものと評価する。</p>
実施主体	国土交通省関東地方整備局																					
実施内容	種類	工事用車両の運行計画の配慮																				
	位置	工事車両が通行する道路																				
環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。																					
効果の不確実性	なし																					
他の環境への影響	騒音、振動への影響が軽減される。																					
			<p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づいたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>																			

表 9-1-1(6) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																																																																																											
	環境要素の区分	影響要因の区分																																																																																																														
大気環境	騒音	自動車走行	<p>＜騒音の状況＞</p> <p>等価騒音レベル(L_{Aeq})は、昼間で42～70dB、夜間で35～65dBである。交通量は1,577台/日～15,189台/日である。</p> <p>● 騒音レベルの調査結果(等価騒音レベル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">騒音種別</th> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般</td> <td>1</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>44</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>甲府市塚原町</td> <td>44</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>甲斐市牛久</td> <td>42</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環境</td> <td>4</td> <td>甲斐市団子新居</td> <td>45</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>甲府市宇津谷</td> <td>49</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">騒音種別</th> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">騒音</td> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>甲府市古府中町</td> <td>61</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>甲府市山宮町</td> <td>64</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>甲斐市牛久</td> <td>68</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>甲斐市団子新居</td> <td>63</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 時間区分は、昼間(6～22時)、夜間(22～6時)である。</p> <p>● 自動車交通量の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>自動車交通量(台/日)</th> <th>大型車混入率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道140号(西関東連絡道路)</td> <td>15,189</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>県道甲府山梨線</td> <td>1,722</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>県道甲府界仙崎線</td> <td>2,710</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛久</td> <td>県道敷島竜王線</td> <td>4,302</td> <td>7.9</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>県道島上条宮又保森見堂線</td> <td>1,577</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>県道甲府蓮峰線</td> <td>11,044</td> <td>3.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 大型車混入率とは、大型車類(普通自動車・バス)の混入率を示す。 2. 大型車混入率は、24時間の平均値を示す。</p>	騒音種別	地点番号	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	一般	1	甲府市桜井町	44	35	2	甲府市塚原町	44	39	3	甲斐市牛久	42	39	環境	4	甲斐市団子新居	45	43	5	甲府市宇津谷	49	46	騒音種別	地点番号	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	騒音	A	甲府市桜井町	65	60	B	甲府市古府中町	61	53	C	甲府市山宮町	64	54	D	甲斐市牛久	68	58	E	甲斐市団子新居	63	55	F	甲斐市宇津谷出口	70	65	調査地点	路線名	自動車交通量(台/日)	大型車混入率(%)	甲府市桜井町	国道140号(西関東連絡道路)	15,189	5.1	甲府市古府中町	県道甲府山梨線	1,722	4.2	甲府市山宮町	県道甲府界仙崎線	2,710	3.8	甲斐市牛久	県道敷島竜王線	4,302	7.9	甲斐市団子新居	県道島上条宮又保森見堂線	1,577	3.9	甲斐市宇津谷出口	県道甲府蓮峰線	11,044	3.3	<p>予測結果の概要</p> <p>1. 予測結果 計画路線の予測結果は、近接空間の昼間が58～75dB、夜間が55～72dB、背後地の昼間が56～69dB、夜間が54～66dBである。 既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、近接空間の昼間が59～75dB、夜間が57～72dB、背後地の昼間が57～70dB、夜間が55～67dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 ● 環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>種類</th> <th>位置</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">国土交通省関東地方整備局</td> <td>遮音壁の設置</td> <td>環境基準を超過する地点(桜井IC周辺、牛久IC周辺、岩森交差点周辺、宇津谷交差点周辺)</td> <td>桜井IC周辺：1.0m 牛久IC周辺：1.5m(ランプ部) 岩森交差点周辺：2.5～4.5m 宇津谷交差点周辺：1.0m</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td></td> <td>遮音壁により騒音を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td></td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>他の環境への影響</td> <td></td> <td>特になし</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	実施主体	種類	位置	実施内容	国土交通省関東地方整備局	遮音壁の設置	環境基準を超過する地点(桜井IC周辺、牛久IC周辺、岩森交差点周辺、宇津谷交差点周辺)	桜井IC周辺：1.0m 牛久IC周辺：1.5m(ランプ部) 岩森交差点周辺：2.5～4.5m 宇津谷交差点周辺：1.0m	環境保全措置の効果		遮音壁により騒音を低減できる。	効果の不確実性		なし		他の環境への影響		特になし	<p>＜回避又は低減に係る評価＞</p> <p>計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、基準値を超過すると予測される、桜井インターチェンジ周辺、牛久インターチェンジ周辺、岩森交差点周辺及び宇津谷交差点周辺において、環境保全措置として遮音壁の設置を行い、環境負荷を低減する。 なお、牛久インターチェンジ周辺、岩森交差点周辺及び宇津谷交差点周辺においては、既存道路への遮音壁の設置は考慮していないが、計画路線において遮音壁の設置を実施することで、計画路線からの自動車の走行に係る騒音が0～23dB低減され、それに合わせて既存道路の影響を考慮した自動車の走行に係る騒音も低減される。 以上ことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>
	騒音種別	地点番号	調査地点				調査結果(dB)																																																																																																									
昼間				夜間																																																																																																												
一般	1	甲府市桜井町	44	35																																																																																																												
	2	甲府市塚原町	44	39																																																																																																												
	3	甲斐市牛久	42	39																																																																																																												
環境	4	甲斐市団子新居	45	43																																																																																																												
	5	甲府市宇津谷	49	46																																																																																																												
騒音種別	地点番号	調査地点	調査結果(dB)																																																																																																													
			昼間	夜間																																																																																																												
騒音	A	甲府市桜井町	65	60																																																																																																												
	B	甲府市古府中町	61	53																																																																																																												
	C	甲府市山宮町	64	54																																																																																																												
	D	甲斐市牛久	68	58																																																																																																												
	E	甲斐市団子新居	63	55																																																																																																												
	F	甲斐市宇津谷出口	70	65																																																																																																												
調査地点	路線名	自動車交通量(台/日)	大型車混入率(%)																																																																																																													
甲府市桜井町	国道140号(西関東連絡道路)	15,189	5.1																																																																																																													
甲府市古府中町	県道甲府山梨線	1,722	4.2																																																																																																													
甲府市山宮町	県道甲府界仙崎線	2,710	3.8																																																																																																													
甲斐市牛久	県道敷島竜王線	4,302	7.9																																																																																																													
甲斐市団子新居	県道島上条宮又保森見堂線	1,577	3.9																																																																																																													
甲斐市宇津谷出口	県道甲府蓮峰線	11,044	3.3																																																																																																													
実施主体	種類	位置	実施内容																																																																																																													
国土交通省関東地方整備局	遮音壁の設置	環境基準を超過する地点(桜井IC周辺、牛久IC周辺、岩森交差点周辺、宇津谷交差点周辺)	桜井IC周辺：1.0m 牛久IC周辺：1.5m(ランプ部) 岩森交差点周辺：2.5～4.5m 宇津谷交差点周辺：1.0m																																																																																																													
	環境保全措置の効果		遮音壁により騒音を低減できる。																																																																																																													
	効果の不確実性		なし																																																																																																													
	他の環境への影響		特になし																																																																																																													
			<p>＜計画路線の沿道の状況＞</p> <p>計画路線沿道の地表面は、アスファルト又は草地、畑地である。 住居等は、いずれの調査地も数十件の住居が存在している。</p>																																																																																																													

表 9-1-1(7) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																	
	環境要素の区分	影響要因の区分																				
大気環境	騒音	建設機械の稼働	<p><騒音の状況> 騒音レベルの90%レンジの上端値L_{A5}は、45～50dB(一般環境昼夜)である。</p>	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 予測結果は、77～97dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>作業方法への配慮</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>建設機械が稼働する場所</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">遮蔽効果により騒音を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">大気質・振動への影響が緩和される。</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	作業方法への配慮	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果	遮蔽効果により騒音を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	大気質・振動への影響が緩和される。		<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、工事施工ヤードは計画路線の区域内を極力利用する計画としており、環境保全措置として作業方法への配慮、低騒音型機械の使用及び仮囲い(防音パネル)の設置を実施し、環境負荷を低減する。 さらに、住居等の保全対象の近くでは、超低騒音型機械の使用を検討する。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、建設機械の稼働に係る騒音の予測値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られているものと評価する。</p>
	実施主体	国土交通省関東地方整備局																				
実施内容	種類	作業方法への配慮																				
	位置	建設機械が稼働する場所																				
環境保全措置の効果	遮蔽効果により騒音を低減できる。																					
効果の不確実性	なし																					
他の環境への影響	大気質・振動への影響が緩和される。																					
騒音	建設機械の稼働	<table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>低騒音型機械の使用</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>建設機械が稼働する場所</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">低騒音型建設機械を採用することにより、騒音の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	低騒音型機械の使用	位置	建設機械が稼働する場所	環境保全措置の効果	低騒音型建設機械を採用することにより、騒音の発生を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし				
実施主体	国土交通省関東地方整備局																					
実施内容	種類	低騒音型機械の使用																				
	位置	建設機械が稼働する場所																				
環境保全措置の効果	低騒音型建設機械を採用することにより、騒音の発生を低減できる。																					
効果の不確実性	なし																					
他の環境への影響	特になし																					

表 9-1-1 (8) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
騒音 大気環境	騒音	建設機械の稼働		<p>3. 事後調査</p> <p>予測手法は科学的知見に基づいたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。</p> <p>また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	

表 9-1-1(9) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果												
	環境要素の区分	影響要因の区分															
大気環境	騒音	工事用車両の運行	<p>騒音の状況> 等価騒音レベル(L_{Aeq})は、61～70dBである。 自動車交通量は、1,510台/日～13,794台/日である。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、62～70dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>工事用車両の運行計画の配慮</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事用車両が通行する道路</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、騒音の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>大気質への影響が緩和される。</td> </tr> </table> <p>3. 事後評価 予測手法は科学的知見に基づいたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	種類	工事用車両の運行計画の配慮	位置	工事用車両が通行する道路	環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、騒音の発生を低減できる。	効果の不確実性	なし	他の環境への影響	大気質への影響が緩和される。	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として工事用車両の運行計画の配慮を実施し、環境負荷を低減する。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されいるものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、工事用車両の運行に係る騒音の予測値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られているものと評価する。</p>
実施主体	国土交通省関東地方整備局																
種類	工事用車両の運行計画の配慮																
位置	工事用車両が通行する道路																
環境保全措置の効果	工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、騒音の発生を低減できる。																
効果の不確実性	なし																
他の環境への影響	大気質への影響が緩和される。																

表 9-1-1 (10) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																													
	環境要素の区分	影響要因の区分																																
大気環境	振動	自動車の走行	<p>振動</p> <p><振動の状況> 振動レベルの80%レンジの上端値(L₁₀)は、昼間で30dB未滿～41dB、夜間で30dB未滿～32dBである。</p> <p>●振動レベルの調査結果 (振動レベルの80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">振動種別</th> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般環境</td> <td>1</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>34</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>甲府市塚原町</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>甲斐市牛向</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">振動</td> <td>4</td> <td>甲斐市団子新居</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>甲府市津谷</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 調査結果は昼間(8時～19時)、夜間(19～8時)の平均値である。 2. 調査結果の「<30」は、測定限界30dB未滿であったことを示す。</p>	振動種別	地点番号	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	一般環境	1	甲府市桜井町	34	<30	2	甲府市塚原町	<30	<30	3	甲斐市牛向	<30	<30	振動	4	甲斐市団子新居	<30	<30	5	甲府市津谷	<30	<30	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 予測結果は、昼間が39～50dB、夜間が38～49dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 予測結果より、自動車の走行に係る振動に関しては規制基準を下回ると考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づいたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	<p>評価結果</p> <p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されいるものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 計画路線を走行する車両から生じる振動レベルについては、全ての予測地点及び時間区分において基準値を下回っており、基準等との整合性は図られているものと評価する。</p>
振動種別	地点番号	調査地点	調査結果(dB)																															
			昼間	夜間																														
一般環境	1	甲府市桜井町	34	<30																														
	2	甲府市塚原町	<30	<30																														
	3	甲斐市牛向	<30	<30																														
振動	4	甲斐市団子新居	<30	<30																														
	5	甲府市津谷	<30	<30																														
			<p>調査結果</p> <p><地盤の状況> 計画路線沿道の地表面の地盤種別は、各地点とも砂地盤である。地盤卓越振動数は17.2～43.5Hzである。</p>																															

表 9-1-1 (11) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果												
	環境要素の区分	影響要因の区分															
大気環境	振動	建設機械の稼働	<p><地盤の状況> 計画路線沿道の地表面の地盤種別は、各地点とも未固結地盤である。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は51~63dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 ●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td>実施内容</td> <td>種類 位置</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td>作業方法への配慮 建設機械が稼働する場所</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td>作業方法へ配慮することにより、振動の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td>大気質への影響が緩和される。</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類 位置	環境保全措置の効果	作業方法への配慮 建設機械が稼働する場所	効果の不確実性	作業方法へ配慮することにより、振動の発生を低減できる。	他の環境への影響	なし	他の環境への影響	大気質への影響が緩和される。	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として作業方法への配慮及び低振動型機械の使用を実施し、環境負荷を低減する。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されたいものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、建設機械の稼働に係る振動の予測値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られているものと評価する。</p>
	実施主体	国土交通省関東地方整備局															
実施内容	種類 位置																
環境保全措置の効果	作業方法への配慮 建設機械が稼働する場所																
効果の不確実性	作業方法へ配慮することにより、振動の発生を低減できる。																
他の環境への影響	なし																
他の環境への影響	大気質への影響が緩和される。																
振動	建設機械の稼働	<p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>															

表 9-1-1 (12) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																													
	環境要素の区分	影響要因の区分																																																
大気環境	振動	振動	<p>調査結果</p> <p><振動の状況> 振動レベルの 80% レンジの上端値 (L_{10}) は、30dB 未満～41dB である。</p> <p>● 振動レベルの調査結果(振動レベルの 80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>調査結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>県道甲府山梨線</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>県道甲府身仙峡線</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛久</td> <td>県道駒高富士線</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>県道島上条宮久保総見堂線</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>県道甲府諏訪線</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 調査結果は昼間(8時～19時)の平均値である。 注2) 調査結果の「<30」は、測定限界30dB 未満であったことを示す。</p> <p><地盤の状況> 地盤の状況については、「自動車の走行に係る振動」に示すとおりである。</p>	調査地点	路線名	調査結果 (dB)	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)	40	甲府市古府中町	県道甲府山梨線	<30	甲府市山宮町	県道甲府身仙峡線	<30	甲斐市牛久	県道駒高富士線	31	甲斐市団子新居	県道島上条宮久保総見堂線	<30	甲斐市宇津谷出口	県道甲府諏訪線	41	<p>1. 予測結果 予測結果は、30dB 未満～42dB である。</p> <p>2. 環境保全措置 ● 環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施主体</th> <th>種類</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> <td>工事用車両の運行計画の配慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">実施内容</td> <td>工事用車両が通行する道路</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">環境保全措置の効果</td> <td>工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、振動の発生を低減できる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">効果の不確実性</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">他の環境への影響</td> <td>大気質・騒音への影響が緩和される。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられる。 また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	実施主体		種類	位置	国土交通省関東地方整備局		工事用車両の運行計画の配慮		実施内容		工事用車両が通行する道路		環境保全措置の効果		工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、振動の発生を低減できる。		効果の不確実性		なし		他の環境への影響		大気質・騒音への影響が緩和される。		<p>評価結果</p> <p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、環境保全措置として工事用車両の運行計画の配慮を実施し、環境負荷を低減する。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、工事用車両の運行に係る振動の予測値は、全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合は図られているものと評価する。</p>
	調査地点	路線名	調査結果 (dB)																																															
甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)	40																																																
甲府市古府中町	県道甲府山梨線	<30																																																
甲府市山宮町	県道甲府身仙峡線	<30																																																
甲斐市牛久	県道駒高富士線	31																																																
甲斐市団子新居	県道島上条宮久保総見堂線	<30																																																
甲斐市宇津谷出口	県道甲府諏訪線	41																																																
実施主体		種類	位置																																															
国土交通省関東地方整備局		工事用車両の運行計画の配慮																																																
実施内容		工事用車両が通行する道路																																																
環境保全措置の効果		工事用車両の分散運行や規制速度の遵守等の配慮により、振動の発生を低減できる。																																																
効果の不確実性		なし																																																
他の環境への影響		大気質・騒音への影響が緩和される。																																																

表 9-1-1 (13) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
大気環境	低周波音	自動車の走行	<p><住居等の状況> 住居等の位置は、各調査地において、数軒～数十軒の1～2階建て木造住居、あるいは木造住居と事務所が立地している。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、L_{50}が66～74dB、L_{05}が75～82dBである。</p> <p>2. 環境保全措置 予測結果より、自動車の走行に係る低周波音に關しては低周波音の参考となる指標を下回ると考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 全ての予測地点で参考値を下回っており、基準等との整合は図られると評価する。</p>

表 9-1-1 (14) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
水環境	地下水の水質及び水位	工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去）	<p><地下水の状況> 地下水位の経年変化を見ると、甲府1号井及び甲府2号井の年平均の地下水位は、上昇傾向にある。その他の観測井では、ほぼ横ばいに推移している。また、これらの観測井は、地表面から2～6m程度と地表面に近い水位の地点が多い。</p> <p><帯水層の地質・水理の状況> ●地質の状況 荒川より西側（甲斐市側）には第四紀更新世以降の比較的新しい時代の堆積物が分布しており、丘陵性のなだらかな斜面が発達している。一方、荒川より東側（甲府市側）には、第三紀中新世～鮮新世の深成岩類および火山岩類が比較的急峻な山地を形成している。 また、これらの山麓斜面や谷部を、段丘堆積物・扇状地堆積物および崖錐堆積物が埋める構造となっている。</p> <p>●地下水の存在状況 地下水は、岩盤部では深部に、扇状地堆積物部では表層部に存在する。</p>	<p>1. 予測結果 (1) 地下水の水位 1号トンネル岩盤部は、岩盤部の地下水が低い位置にあるため、地表付近に存在する土壌水との関連性は低く、地表付近に存在する土壌水に変化はほとんど生じない。 1号トンネル扇状地堆積物部は、扇状地堆積物中の地表近くに地下水が存在するため、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法に反映させる方法で工事を施工する。これにより、影響を低減することができる。 2号トンネルの周辺は、山裾を通する計画で地下水水位が低いため、地表付近に存在する土壌水との関連性は低く、地表付近に存在する土壌水に変化はほとんど生じない。また、丸山ため池（千代田湖）の湖水は、地下水との関連性が低く、常時、湖底への浸透量以上の沢水の流入があることから、丸山ため池（千代田湖）の湖水に変化はほとんど生じない。 3号トンネルの周辺は、地下水位が低いと考えられることから、地下水及び土壌水の変化はほとんど生じない。 3号トンネル以西の土工区間は、地下水水位が計画道路の施工基面よりも低いため、地下水及び土壌水に変化はほとんど生じない。 3号トンネル以西の橋梁区間は、橋梁基礎掘削が帯水層表層の極一部に限られるため、地下水及び土壌水に変化はほとんど生じない。</p> <p>(2) 温泉 温泉水は、沢水やボーリング孔の地下水と明らかに水質が異なり、より深部を流動し、計画道路周辺の地下水との関連性は低いと考えられる。加えて、計画道路に関連する流域面積は、甲府盆地内北側の流域面に比べて非常に小さいことから、温泉に変化はほとんど生じない。</p>	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は、トンネル区間の大半が岩盤部を通過する計画であり、工事の実施により地表付近に存在する土壌水への変化が極力小さくなるように配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 また、予測結果から、1号トンネル岩盤部、2号トンネルの周辺、3号トンネルの周辺、3号トンネル以西の土工区間及び3号トンネル以西の橋梁区間では、工事の実施により土壌水に変化はほとんど生じない。1号トンネル扇状地堆積物部では、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法に反映させる方法により工事を施工することで影響を低減することができる。温泉についても変化はほとんど生じない。 さらに、工事の実施中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 「e) 工事中の水質監視等」で記載している内容を環境保全措置として実施することで環境影響を低減することができる。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 なお、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じる。また、トンネル掘削工事による地下水水位の低下等の影響が懸念される箇所において、工事の実施に当たって当該影響が見られる際には、地下水等への影響の低減効果を含めて、施工方法を検討し、確実に対策を実施する。温泉については、継続的なモニタリングを行い、工事中及び供用後の温泉の状況の把握に努める。</p>

表 9-1-1 (15) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
水環境	地下水の水位	工事の実施（切土工事等又は既存の工作物の除去）	<p>●水理の状況</p> <p>(a) ボーリング調査孔における地下水水位 地下水水位は、安定しており、岩盤部で低く扇状地堆積物部が高い。 また、荒川以西の丘陵性の斜面では、既存ボーリングにより地表面から深度 10m までは地下水水位が確認されていない</p> <p>(b) 各地層の透水性 新期扇状地堆積物、古期扇状地堆積物は礫混じり土であるが、礫の一般値に比べ小さな値を示している。昇仙峽花崗岩の透水係数は低い。</p> <p>(c) ため池の水位状況 千代田湖の観測された水位は、人為的に操作された 2009 年 9～10 月を除き、すべて余水吐け高さ以上である。</p> <p>(d) 水質調査（電気伝導率） 沢水、ため池及びボーリング孔の電気伝導率は概ね 25ms/m 以下であり、深井戸は 50ms/m 以下である。一方、温泉水は 50ms/m～270ms/m の範囲の結果が得られている。</p> <p>(e) 水質調査（イオン分析） 都市計画対象道路事業実施区域の地下水等は、「沢水、ため池」、「ボーリング孔」、「温泉水」の 3 つのグループに大別される。</p> <p><温泉の状況> 湯村温泉は、主に花崗岩と安山岩からの揚水により温泉水を採取している。積翠寺温泉（要害温泉）は、安山岩の下部にある花崗岩の割れ目から自然湧出している温泉水を利用してのとされる。また、甲府温泉は、透水性の高い沖積層、洪積層を流動している温泉水を、掘削井による揚水により採取している。</p>	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>2. 環境保全措置 予測結果より、1号トンネル岩盤部、2号トンネルの周辺、3号トンネルの周辺、3号トンネル以西の橋梁区間では、工事の実施により土壌水に変化はほとんど生じない。1号トンネル扇状地堆積物部では、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法に反映させる方法により工事を施工することで影響を低減することができると考えられる。温泉についても変化はほとんど生じないと考えられる。</p> <p>以上ことから、地下水の水位及び温泉については環境保全措置の検討は行わないものとする。 なお、工事の施工中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書 P25「e」工事中の水質監視等」で記載している内容を環境保全措置として実施する。</p> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づいたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>	

表 9-1-1 (16) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
地形及び地質	重要な地形及び地質	土地又は工作物の存在及び供用(道路)の存在 工事の実施 (工事施設) 工ヤードの設置、工事用道路の設置	<p><地形及び地質の概況></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地形の概況 調査区域は山梨県のほぼ中央の甲府盆地北辺に位置し、東側は主に山地と扇状地で構成され、西側は主に火山山地と韮崎岩屑流で構成されるほか、釜無川周辺域で谷底平野と扇状地が分布している。 ●地質の概況 調査区域の主な地質は、東側が水ヶ森火山岩(安山岩、安山岩質凝灰角礫岩など)を始めとする火山岩を基盤として構成されており、西側では山側で黒富士火砕流(デイサイト火砕流堆積物)、低地で砂礫からなる堆積物により構成されている。また、千代田湖周辺には黒雲母花崗岩などの酸性深成岩(貫入岩類)が露出している。さらに、非火山地である甲府市街地周辺は、扇状地堆積物や段丘堆積物で構成されている。 <p><重要な地形と自然物及び地質の分布、状態及び特性></p> <p>重要な地形と自然物として「御岳昇仙峡」、「御岳昇仙峡の方状節理」、「御岳昇仙峡の甌穴群」、「甲斐市(旧敷島町)亀沢の船石」、「泣石」、「団子石」、「御勅使川扇状地と信玄塚」が存在する。</p> <p>また、重要な地質体として「甲府盆地地下の始良 Tn 火山灰(AT)層」、「甲府市相川のナウマン象化石産地」、「穴観音」付近の黒富士火砕流と韮崎岩屑流」が存在する。</p>	<p>1. 予測結果</p> <p><重要な地形と自然物></p> <ul style="list-style-type: none"> ●泣石 泣石は都市計画対象道路事業実施区域外に存在し、改変又は消失等の影響はないものと予測する。また、甲斐市によりフェンスが設置され良好に保存されており、直近にある鉄道の通過による振動の影響もみられないため、泣石は安定した巨石であると予測される。 <p>したがって、周辺環境の変化による劣化や不安定化の促進等の間接的な影響もないと予測する。</p> <p><重要な地質体></p> <ul style="list-style-type: none"> ●甲府盆地地下の始良 Tn 火山灰(AT)層 始良 Tn 火山灰の分布域の端部(山梨県天然記念物緊急調査報告書による)は、都市計画対象道路事業実施区域外に存在し、改変又は消失等の影響はないものと予測する。 <p>また、始良 Tn 火山灰の分布する地域は、市街地又はブドウ畑となっており既に開発がなされている地域である。また、火山灰層は地中に存在するため、周辺環境条件の変化(地上部)による風化や劣化の促進等の影響はないものと予測する。</p> <p>2. 環境保全措置</p> <p>予測結果より、事業の実施により改変又は消失する重要な地形と自然物及び地質体は存在しないため、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p> <p>3. 事後調査</p> <p>予測手法は事業の実施に伴う改変範囲と重要な地形と自然物及び地質体の分布範囲を重ね合わせることにより行っており、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>	<p><回避又は低減に係る評価></p> <p>計画路線は、重要な地形と自然物及び地質体の保全の観点から、改変量を極力抑えた計画としている。</p> <p>また、予測結果から、事業の実施により改変又は消失する重要な地形と自然物及び地質体が存在しないため、事業の実施に伴う著しい環境影響を及ぼすことはないと考ええる。</p> <p>このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>

表 9-1-1 (17) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
その他の環境要素	日照障害	土地又は工 作物の存在 及び供用 (道路(高 上式)の存 在)	<p><住居等及び地形の状況> 計画路線周辺地域に中高層建築物は存在せず、 現況地形による影響もみられない。</p>	<p>1. 予測結果 予測結果は、いずれの地点でも「公共施設の設 置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用 負担について」(昭和 51 年建設省計用発第 4 号) の基準以下である。</p> <p>2. 環境保全措置 予測結果より、道路(高上式)の存在に係る日 照障害に関しては参考となる指標を下回ると考え られるため、環境保全措置の検討は行わないもの とする。</p> <p>3. 事後調査 予測手法は科学的知見に基づくものであり、予 測の不確実性は小さいと考えられることから、事 後調査は実施しないこととする。</p>	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、大部分を トンネル構造として改変面積を極力小さくする計 画とし、日照障害への影響に配慮し、環境負荷の 回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な 範囲内でできる限り回避又は低減されているもの と評価する。</p> <p><基準又は目標との整合性に係る評価> 全ての予測地点で参考値を下回っており、基準 等との整合は図られると評価する。</p>
土壌に係る環境その他の環境					

表 9-1-1 (18) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
動物	重要な種及び注目すべき生息地	工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、建設機械の稼働）及び供用地（道路の存在）	<p>●動物の生息の状況及び重要な種等の状況</p> <p><ほ乳類> 現地調査の結果、6目14科24種の哺乳類が確認された。樹林ではツキノワグマ、ニホンジカ、ノウサギ、キツネ等が確認されたほか、農耕地ではタヌキ、キツネ、ハクビシン等が確認された。現地調査により確認された重要なほ乳類は、キクガシラコウモリ、ムササビ等5種であった。</p> <p><鳥類> 現地調査の結果、15目38科115種の鳥類が確認された。樹林ではアカガラ、ヒヨドリ等が確認されたほか、河川やため池ではサギ類、カモ類等が、農耕地ではキジバト、ハクセキレイ等がそれぞれ確認された。また、甲府北部オオタカ検討会の調査によって、合計5箇所オオタカの営巣が確認された。現地調査により確認された重要な鳥類は、オオタカ、ハチクマ、フクロウ等27種であった。</p> <p><両生類・爬虫類> 現地調査の結果、1目4科9種の両生類、2目6科13種の爬虫類が確認された。樹林ではカナヘビ、ヤマカガシ等が確認されたほか、水辺環境ではトノサマガエル、ツチガエル等が確認された。また、ため池ではクサガメやアカミミガメ等が、農耕地ではアマガエル、トノサマガエル等がそれぞれ確認された。現地調査により確認された重要な両生類・爬虫類は、トノサマガエル、イシガメ等5種であった。</p> <p><魚類> 現地調査の結果、5目8種19種の魚類が確認された。</p> <p>塩川・釜無川ではアユやアブラハヤ等が確認されたほか、六反川や坊沢川、荒川等ではアブラハヤやヨシノボリ類等が確認された。一方、止水環境である千代田湖や伊豆ノ宮ため池ではコイやブラックバス等が確認された。現地調査により確認された重要な魚類は、カジカの1種であった。</p>	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 <工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、建設機械の稼働）による影響>及び土地又は工作物の存在及び供用地（道路の存在）> 工事の実施及び土地又は工作物の存在及び供用地により、以下の種に対する影響が予測される。 【影響が予測される種】 キクガシラコウモリ、オオタカ、コオイムシ、ゲンジボタル、トラフカミキリ</p> <p>2. 環境保全措置 自然環境への影響を低減するよう、以下の環境保全措置を行う。 【影響の低減を図る環境保全措置】 工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、照明の漏れ出しの抑制、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、低騒音型・低振動型機械の使用、工事従事者への講習・指導、締切・沈砂地等の濁水処理の実施、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出（代償措置）の環境保全措置を実施すること、環境負荷の低減に努める。 なお、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出については、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は別途対策を講じるものとする。</p> <p>3. 事後調査 以下の項目について事後調査を実施する。 【調査項目】 ①オオタカの生息状況調査 ②キクガシラコウモリの生息状況調査</p>	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、大部分をトンネル構造として改変面積を極力小さくする計画とし、動物への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 一部の種で生息環境は保全されない又は保全されない可能性があるが、工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、照明の漏れ出しの抑制、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、低騒音型・低振動型機械の使用、工事従事者への講習・指導、締切・沈砂地等の濁水処理の実施、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出（代償措置）の環境保全措置を実施すること、環境負荷の低減に努める。 なお、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出については、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は別途対策を講じるものとする。</p> <p>このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているものと評価する。</p>

表 9-1-1 (19) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
動物	重要な種及び注目すべき生息地	工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、建設機械の稼働） 土地又は工作物の存在及び供用（道路の存在）	<p><昆虫類> 現地調査の結果、18目256科1524種の昆虫類が確認された。樹林ではミドリジミ類、オオムラサキ、ハルゼミ等が確認されたほか、草地ではキバネツノトンボ、オオチャバネセセリ等が確認された。果樹園ではクマバチやベッコウバチ類等が、ため池や水田ではオオヤマトンボ、ギンヤンマ等が確認された。現地調査により確認された重要な昆虫類は、ヒラタクロワガタ、オオムラサキ、クロヒカゲモドキ等22種であった。</p> <p><底生動物> 現地調査の結果、12綱26目98科254種の底生動物が確認された。河川では、トビケラ類やヒラタカゲロウ類等が多数確認された。河川上流では、オジロサナエ、ミルンヤンマ等のトンボ類が確認された。ため池を中心とした止水環境では、ギンヤンマやオオルリボシヤンマ等のトンボ類が確認された。現地調査により確認された重要な底生動物は、マルタニシ、モノアラガイ、コオイムシ、ホッケミズムシ等12種であった。</p>	事後調査結果の公表については、原則として事業者が行うものとするが、関係機関と連携しつつ、適切な時期・方法により公表する。	

表 9-1-1 (20) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
植物	重要な種及び群落	工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、工事用道路等の設置） 土地又は工事の存在及び供用（道路の存在）	<p>●植物の生育の状況及び重要な種等の状況 ＜植物相＞ 現地調査の結果、139科 892種の植物の生育が確認された。樹林の主要構成樹種としては、コナラ、クヌギ、ケヤキ等の落葉広葉樹、アラカシ、シラカシ等の常緑針葉樹、アカマツ、スギ、ヒノキ等の常緑針葉樹が挙げられる。林内には、ムラサキシキブ、ガマズミ、ヤマコウバシ等の低木類がみられ、草本類では、イカリソウ、アキノタムラソウ等がみられる。林縁部や放棄果樹園の草地では、ススキ、ヨモギ、クズ等の高さ・つる性植物の生育がみられ、定期的に草刈りが行われている水田周辺の土手や畦には、チガヤ、スイバ等の草性の種の生育がみられた。</p> <p>水辺では、塩川、荒川、相川等でツルヨシが広く生育していたほか、ヤナギ類、ヤナギタデ、オオミゾノバ等の抽水・湿生植物がみられた。また、水田付近の水路内では、エビモ、アイノコイトモ等の沈水植物の生育も認められた。</p> <p>耕作地のうち果樹園や畑周辺では、ナズナ、ヒルガオ、トキワハゼ、ホトケノザ等の畑地雑草が生育し、また水田では、セリ、アゼナ、コナギ等の湿生植物が認められた。</p> <p>現地調査により確認された重要な植物種は、カリガネソウ等 32種、重要な植物(巨樹・巨木)は 6件(4箇所7本)であった。</p> <p>●植物の生育の状況及び重要な種等の状況 ＜植生＞ 現地調査の結果、合計 26群落及び 11の土地利用等(開放水面含む)が確認された。 調査地域では、甲府市湯村の尾根部に分布するアカマツ群落(唯一の自然植生)として挙げられる。そのほかは、古くから薪炭林等として利用されてきた二次林や、耕作地、市街地、改修された河川等、人為的に大きく変遷を受けた立地に成立した代償植生である。 現地調査では重要な植物群落として、アカマツ群落(自然林)が確認された。</p>	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 ＜工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響）及び土地又は工作物の存在及び供用（道路の存在）＞ 工事の実施及び土地又は工作物の存在及び供用により、以下の種に対する影響が予測される。 【影響が予測される種】 イヌハギ、ミズマツバ、ウスゲチヨウジタデ、スズサイコ、カリガネソウ、ミゾコウジュ、イヌノフグリ、カワヂシャ、ギンラン</p> <p>2. 環境保全措置 自然環境への影響を低減するよう以下の環境保全措置を行う。 【影響の低減を図る環境保全措置】 ・工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、工事従事者への講習・指導 保全対象の種：イヌハギ、スズサイコ、カリガネソウ、ミゾコウジュ、イヌノフグリ、カワヂシャ、ギンラン ・移植（代償措置） 代償措置対象の種：イヌハギ、ミズマツバ、ウスゲチヨウジタデ、スズサイコ、ミゾコウジュ、イヌノフグリ、カワヂシャ</p> <p>3. 事後調査 以下の項目について事後調査を実施する。 【調査項目】 ①移植した植物の生育状況調査</p> <p>＜事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応＞ 事後調査の結果により、事業の実施による生育環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関協議し、専門家の意見を得ながら、必要に応じて適切な措置を講じる。</p>	<p>＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、大部分をトンネル構造として改変面積を極力小さくする計画とし、植物への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 一部の種で生息環境は保全されない可能性があると予測したが、工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、工事従事者への講習・指導、移植（代償措置）の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。 なお、移植を実施した重要種については、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は別途対策を講じるものとする。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているものと評価する。</p>

表 9-1-1 (21) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
植物	重要な種及び群落	工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置） 土地又は工作物の存在及び供用（道路の存在）		<p>事後調査結果の公表方法について、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。</p>	

表 9-1-1 (22) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
生態系	地域を特徴づける生態系	工事の実施(工事施工ヤード)の設置及び工事用道路の設置及び工事用道路の設置	<p>● 地域を特徴づける生態系の注目種・群集の状況 生態系の成立環境を構成する地形及び植生に関する情報を整理し、道路計画路線区域及びその周辺を以下に示す8つの生態系に区分した。</p> <p>○ 山地の樹林生態系：荒川以東の山地に広がる落葉広葉樹林やアカマツ林主体の樹林環境(注目種) 上位性：キツネ、オオタカ 典型性：ニホンイノシシ、アカネズミ、シジユウカラ、オオムラサキ、ハルゼミ、コナラ群落、アカマツ群落(二次林・植林)</p> <p>○ 台地・低地の樹林生態系：荒川以西の台地・低地の主に台地段丘斜面に点在するコナラ等の落葉広葉樹主体の樹林環境(注目種) 上位性：キツネ、オオタカ 典型性：アカネズミ、シジユウカラ、オイカラ、ニイニイゼミ、オオムラサキ、コナラ群落 特殊性：キクガシラコウモリ</p> <p>○ 果樹園・畑地の生態系：ウメ、モモ、ブドウ等の果樹園や畑、放棄耕作地等の草地からなる比較的乾燥した環境(注目種) 上位性：キツネ、オオタカ 典型性：アカネズミ、カヤネズミ、ムクドリ、キボシカミキリ、ススキ・クズ群落</p> <p>○ 水田の生態系：水田や水路の水辺、畦の草地からなる比較的湿潤な草地環境(注目種) 上位性：オオタカ 典型性：カヤネズミ、ムクドリ、トノサマガエル、水田</p>	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 ＜工事の実施(工事施工ヤード)の設置及び工事用道路の設置による影響)及び土地又は工作物の存在及び供用(道路の存在)＞ 工事の実施及び土地又は工作物の存在及び供用により、以下の注目種・群集に対する影響が予測される。 【影響が予測される注目種・群集】 オオタカ(山地の樹林生態系、台地・低地の樹林生態系、果樹園・畑地の生態系、水田の生態系：上位性) キクガシラコウモリ(台地・低地の樹林生態系：特殊性) ヒゲナガカワトビケラ(中規模河川(荒川)の生態系：典型性)</p> <p>2. 環境保全措置 自然環境への影響を低減するよう以下の環境保全措置を行う。 【影響の低減を図る環境保全措置】 工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、照明の漏れ出しの抑制、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、低騒音型・低振動型機械の使用、工事従事者への講習・指導、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出(代償措置)</p>	<p>＜回避又は低減に係る評価＞ 計画路線は道路の計画段階において、大部分をトンネル構造として変更面積を極力小さくする計画とし、生態系への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 一部の地域を特徴づける生態系の注目種・群集で生息・生育環境は保全されない又は保全されない可能性があると予測したが、工事施工ヤード及び工事用道路の計画路線区域内利用、照明の漏れ出しの抑制、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、低騒音型・低振動型機械の使用、工事従事者への講習・指導、ボックスカルバート等による繁殖環境等の創出(代償措置)の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。 なお、工事工程の検討及び段階的な土地の改良、キクガシラコウモリに対するボックスカルバート等による繁殖環境等の創出については、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は、別途対策を講じるものとする。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り、回避又は低減されているものと評価する。</p>

表 9-1-1 (23) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
生態系	地域を特徴づける生態系	工事の実施(工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置) 土地又は工作物物の存在及び供用(道路の存在)	<p>○大規模河川の生態系(釜無川・塩川)：釜無川・塩川の水域とその水辺にみられる草地環境、河畔林、砂礫地等の裸地環境(注目種) 上位性：アオサギ、チョウゲンボウ 典型性：アブラハヤ、カワラバッタ、ヒゲナガカワトビケラ、オギ群落</p> <p>○中規模河川の生態系(荒川)：荒川の水域とその水辺にみられる草地環境(注目種) 上位性：アオサギ、オオタカ 典型性：カジカガエル、アブラハヤ、ハネナガイナゴ、ヒゲナガカワトビケラ、ツルヨシ群落</p> <p>○ため池の生態系：ため池に成立した止水環境(注目種) 上位性：アオサギ 典型性：コシアキトンボ、抽水・湿生植物群落</p> <p>○市街地の生態系：住宅や資材置き場、採石跡地等の人為環境</p>	<p>事後調査 以下の項目について事後調査を実施する。 【調査項目】 ①オオタカの生息状況調査 ②キクガシラコウモリの生息状況調査</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応> 事後調査の結果により、事業の実施による生態環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関協議し、専門家の意見を得ながら、必要に応じて適切な措置を講じる。</p> <p><事後調査結果の公表方法> 事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。</p>	

表 9-1-1 (25) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																																			
	環境要素の区分	影響要因の区分																																																						
景観	主要な眺望地点及び景観資源並びに主要な眺望景観	土地又は工作物の存在及び供用(道路の存在)		<p>2. 環境保全措置</p> <p>●環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>地形改変部の緑化</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>計画路線により地形を改変する箇所</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">周辺景観に調和させることが可能である。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>ラウンディングによる周辺地形との調和</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>切土部</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">周辺景観に調和させることが可能である。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井 IC 付近</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">環境影響のある地点における対策である。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">周辺景観に調和させることが可能である。</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類	地形改変部の緑化	位置	計画路線により地形を改変する箇所	環境保全措置の効果	周辺景観に調和させることが可能である。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし		実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類	ラウンディングによる周辺地形との調和	位置	切土部	環境保全措置の効果	周辺景観に調和させることが可能である。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし		実施主体	国土交通省関東地方整備局	実施内容	種類	構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	位置	六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井 IC 付近	環境保全措置の効果	環境影響のある地点における対策である。		効果の不確実性	周辺景観に調和させることが可能である。		他の環境への影響	なし		他の環境への影響	特になし		
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																																							
実施内容	種類	地形改変部の緑化																																																						
	位置	計画路線により地形を改変する箇所																																																						
環境保全措置の効果	周辺景観に調和させることが可能である。																																																							
効果の不確実性	なし																																																							
他の環境への影響	特になし																																																							
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																																							
実施内容	種類	ラウンディングによる周辺地形との調和																																																						
	位置	切土部																																																						
環境保全措置の効果	周辺景観に調和させることが可能である。																																																							
効果の不確実性	なし																																																							
他の環境への影響	特になし																																																							
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																																							
実施内容	種類	構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討																																																						
	位置	六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井 IC 付近																																																						
環境保全措置の効果	環境影響のある地点における対策である。																																																							
効果の不確実性	周辺景観に調和させることが可能である。																																																							
他の環境への影響	なし																																																							
他の環境への影響	特になし																																																							
				<p>3. 事後調査</p> <p>予測手法は図上解析による改変の位置、程度の把握、主要な眺望景観の変化を把握するフォトモンタージュ等、多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいと考えられる。また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとする。</p>																																																				

表 9-1-1 (26) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																									
	環境要素の区分	影響要因の区分																												
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の景観	土地又は工作物物の存在及び供用(道路の存在)	<p>調査結果</p> <p><主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況> 道路事業実施区域から概ね 500m の範囲に存在する主要な人と自然との触れ合いの活動の場が 15箇所存在する。</p> <p>●主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>所在地</th> <th>概況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>武田神社</td> <td>約450m</td> <td>甲府市古府中町</td> <td>武田神社は参拝や散策等、観光等で地元市民や観光客を中心に利用されている。御地蔵堂は地蔵堂下公園の敷地内にも存在し、広い敷地内を散策できる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電線地</td> <td>約700m</td> <td>甲府市古府中町</td> <td>農業用のため池であるが、管理釣り場などとしても利用されている。また、地蔵住民の散策やパークウォッチングにも利用されている。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>武田の杜遊歩道</td> <td>約350m</td> <td>甲府市林田町 甲府市山田町</td> <td>竜雲山、栗田神社、龍淵寺を経て農村風景を鑑賞し、龍雲山-健康の森を往ぶ広域遊歩道である。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>荒川サイクリングロード</td> <td>交差</td> <td>甲府市へ甲斐市間</td> <td>荒川河川敷沿いを自転車で行き渡るコースである。また、金石橋に至る約120mのコースである。</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	概況	1	武田神社	約450m	甲府市古府中町	武田神社は参拝や散策等、観光等で地元市民や観光客を中心に利用されている。御地蔵堂は地蔵堂下公園の敷地内にも存在し、広い敷地内を散策できる。	2	電線地	約700m	甲府市古府中町	農業用のため池であるが、管理釣り場などとしても利用されている。また、地蔵住民の散策やパークウォッチングにも利用されている。	3	武田の杜遊歩道	約350m	甲府市林田町 甲府市山田町	竜雲山、栗田神社、龍淵寺を経て農村風景を鑑賞し、龍雲山-健康の森を往ぶ広域遊歩道である。	4	荒川サイクリングロード	交差	甲府市へ甲斐市間	荒川河川敷沿いを自転車で行き渡るコースである。また、金石橋に至る約120mのコースである。	<p>予測結果の概要及び環境保全措置の概要</p> <p>1. 予測結果 <主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の変更> 予測の結果、全ての予測地点において、主要な触れ合い活動の場及び自然資源に変更はない。</p> <p><利用性の変化> 予測の結果、多くの予測地点において、計画路線は主要な触れ合い活動の場へのアクセスルートを分断しないためアクセス性の変化は生じないと予測される。</p> <p><快適性の変化> 予測の結果、予測地点の多くは快適性に変化は生じないと予測される。 また、荒川サイクリングロードは、サイクリングロード終点部において、計画路線が高架構造で通過する。そのため、終点部周辺で近傍の風景に変化が生じる可能性があるが、その範囲はわずかなことであることから、快適性の変化はほとんど生じないと予測する。</p> <p>2. 環境保全措置 予測結果より、事業によって主要な触れ合いの活動の場及び自然資源が大きく改変されるとは無く、利用性及び快適性も低下しないと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p> <p>3. 事後調査 予測手法は都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ、触れ合いの活動の場からの景観変化を把握するフォトモニター等多くの多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいことと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>	<p>評価結果</p> <p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、トンネル構造を始めとした道路構造の検討を実施しており、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 事業の実施により荒川サイクリングロードの端部付近を計画路線が高架構造で通過するが、その範囲はわずかであり、著しい環境影響を及ぼすことはないと考えられる。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	概況																										
1	武田神社	約450m	甲府市古府中町	武田神社は参拝や散策等、観光等で地元市民や観光客を中心に利用されている。御地蔵堂は地蔵堂下公園の敷地内にも存在し、広い敷地内を散策できる。																										
2	電線地	約700m	甲府市古府中町	農業用のため池であるが、管理釣り場などとしても利用されている。また、地蔵住民の散策やパークウォッチングにも利用されている。																										
3	武田の杜遊歩道	約350m	甲府市林田町 甲府市山田町	竜雲山、栗田神社、龍淵寺を経て農村風景を鑑賞し、龍雲山-健康の森を往ぶ広域遊歩道である。																										
4	荒川サイクリングロード	交差	甲府市へ甲斐市間	荒川河川敷沿いを自転車で行き渡るコースである。また、金石橋に至る約120mのコースである。																										

表 9-1-1-1 (27) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																																								
	環境要素の区分	影響要因の区分																																											
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	工事の実施（切土・土工等又は既存物の除去）	—	<p>1. 予測結果 廃棄物の予測結果は以下のとおりである。</p> <p>● 廃棄物等の予測結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発生量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設発生土^{注1)}</td> <td>約270万m³</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>約 400m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト・コンクリート塊</td> <td>約1,900m³</td> </tr> <tr> <td>建設発生木材</td> <td>約3,300m³</td> </tr> <tr> <td>伐採型幹材</td> <td>約 300m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) 建設発生土は、トラック運搬量を想定し、掘削土をほぐした後の膨張量を加算した土量である。</p> <p>2. 環境保全措置の検討結果</p> <p>● 環境保全措置の検討結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>種類</th> <th>位置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>効果の不確実性</th> <th>他の環境への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> <td>工事間流用の促進</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> <td>建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。</td> <td>なし</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>再資源化施設への搬入等による他事業等での利用</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> <td>建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。</td> <td>なし</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> <td>再資源化施設への搬入等による他事業等での利用</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> <td>建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。</td> <td>なし</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>再資源化施設への搬入等による他事業等での利用</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> <td>建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。</td> <td>なし</td> <td>特になし</td> </tr> </tbody> </table>	種類	発生量	建設発生土 ^{注1)}	約270万m ³	コンクリート塊	約 400m ³	アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³	建設発生木材	約3,300m ³	伐採型幹材	約 300m ³	実施主体	種類	位置	環境保全措置の効果	効果の不確実性	他の環境への影響	国土交通省関東地方整備局	工事間流用の促進	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし	国土交通省関東地方整備局	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし	<p><回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、建築廃材の排出量は極めて少なく、環境負荷の回避・低減を図っている。 事業の実施により建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材が発生すると考えられることから、廃棄物等の再利用及び再資源化の環境保全措置を実施する。 トンネル構造の採用に伴って大量に発生する建設発生土については、事業内で極力再利用することとする。また、残土については、他の道路事業等との連携をはかりながら極力再利用し、適正な処理及び再利用に努める。 また、トンネル工事等から発生するコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材については、再資源化施設への搬入等により可能な限り再資源化を図り、再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。 さらに、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号）に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合、必要に応じて速やかに同法第 7 条 6 項の技術的基準に基づき対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>
種類	発生量																																												
建設発生土 ^{注1)}	約270万m ³																																												
コンクリート塊	約 400m ³																																												
アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³																																												
建設発生木材	約3,300m ³																																												
伐採型幹材	約 300m ³																																												
実施主体	種類	位置	環境保全措置の効果	効果の不確実性	他の環境への影響																																								
国土交通省関東地方整備局	工事間流用の促進	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし																																								
	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし																																								
国土交通省関東地方整備局	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし																																								
	再資源化施設への搬入等による他事業等での利用	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	建設発生土の再利用によって発生量を回避低減できる。	なし	特になし																																								

表 9-1-1 (28) 環境影響評価結果の総合的な評価

環境要素	項目		調査結果	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果
	環境要素の区分	影響要因の区分			
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	工事の実施（切土工事等又は既存物の除去）	—	<p>3. 事後調査</p> <p>予測手法は、対象事業の実施に伴う建設副産物の発生量及び搬出量を定量的に予測しており、余剰分は関係法令に基づいて適切に処理・処分することから、予測の不確実性は小さいと考えられる。このため、事後調査は実施しないこととする。</p>	<p>＜目標との整合性に係る評価＞</p> <p>建設副産物については、「建設リサイクル推進計画 2008」及び「山梨県建設リサイクル推進計画」により定められた再資源化率の目標値を上回るよう再利用・再資源化に努めることとする。</p> <p>このことから、基準等との整合性は図られると評価する。</p> <p>なお、対象事業実施区域外に搬出する残土については、工事の実施に当たり搬出先及び搬出先ごとの排出量を把握すると共に、事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うと伴に、具体的な排出抑制計画を策定する。</p>

第10章 都市計画対象道路事業に係る環境影響評価の実施者、協力者及び委託先

本事業における環境影響評価の実施者及び協力者は表10-1に示すとおりである。また、環境影響評価は表10-2に示す者に委託して行った。

表10-1 環境影響評価の実施者及び協力者

実施者及び協力者		代表者の氏名等
実施者	山 梨 県	代表者の氏名：山梨県知事 横内 正明 住 所：山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号
協力者 ^{注)}	国土交通省	代表者の氏名：関東地方整備局長 森北 佳昭 住 所：埼玉県さいたま市中央区新都心2番1

注) 環境影響評価法第四十六条の規定により都市計画決定権者（山梨県）より協力要請を受けた者

表10-2 環境影響評価の委託先

項 目	委託先の名称、代表者の氏名、事務所の所在地	
準備書作成	株式会社福山コンサルタント 東日本事業部 事業部長 福山 俊弘 〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-21	
<ul style="list-style-type: none"> ・大気質^{注2)} ・騒音^{注2)} ・振動^{注2)} ・低周波音^{注2)} ・地形及び地質^{注2)} ・日照阻害^{注2)} ・動物^{注1), 注2)} ・植物^{注2)} ・生態系^{注1), 注2)} ・景観^{注1), 注2)} ・人と自然との触れ合いの活動の場^{注2)} ・廃棄物等^{注2)} 		
評価書作成		
・地下水の水位	調査、予測及び評価	株式会社エイト日本技術開発 東京支社 支社長 新屋 昭典 〒164-0012 東京都中野区本町5-33-11
<ul style="list-style-type: none"> ・大気質 ・騒音 ・振動 ・低周波音 ・地形及び地質 ・日照阻害 ・動物 ・植物 ・生態系 ・景観 ・人と自然との触れ合いの活動の場 	調査	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 東京支店 支店長 崎本 繁治 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-12-1
・動物	調査	日本工営株式会社 甲府営業所 所長 福本 武和 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-16-6

第11章 事業の実施中及び実施後の手続

第1節 山梨県環境影響評価条例に基づく事業の実施中及び実施後の手続

山梨県環境影響評価条例第四十六条に基づき、都市計画対象道路事業の実施中及び実施後において、評価書に記載された環境影響評価の項目に係る環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続を行う。

なお、詳細については事業実施段階で検討し、関係機関と協議しながら適切に実施する。

第 12 章 準備書についての意見を有する者の意見の概要及びそれに対する都市計画決定権者の見解

環境影響評価法第十六条に基づき、環境影響評価準備書を平成 23 年 9 月 26 日から平成 23 年 10 月 26 日まで縦覧に供し、平成 23 年 9 月 26 日から平成 23 年 11 月 9 日まで意見を求めたところ、同法第十八条第一項に基づく環境保全の見地からの意見書は 63 通であった。

以下に、意見の概要及び都市計画決定権者の見解を示す。

1. 環境全般に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(1) 新たに道路沿道となる地域の中には保育園や小学校のある新興住宅地もあるため衛生的に良くない。</p>	<p>評価書第 3 章に記載のとおり、計画ルートは、市街地への影響を極力避け、甲府盆地北部の山間部や住宅地を通過することとし、安全で快適な走行の確保、地域の利便性の向上を考慮しつつ、自然環境や景観、遺跡、既存の土地利用等への影響が可能な限り小さくなるよう配慮しました。</p>
<p>(2) トンネル構造は、地上構造以上に環境に及ぼす影響が大きい。</p>	<p>評価書第 3 章に記載のとおり、甲府北部地域は、自然や歴史、文化の豊かな地域であり、武田氏遺跡など歴史的価値の高い史跡・遺跡が多数存在します。このため、重要な史跡・遺跡及びその景観等に対して、地上構造よりも影響の少ないトンネル構造主体の計画としました。その上で、重要な遺跡である「中世武田城下町遺跡」、「横根・桜井積石塚古墳群」やホテル鑑賞等の地域の環境活動が行われている相川の地下を通過するよう、トンネル区間を決定しました。</p> <p>また、トンネル区間の地下水は低い位置にあるため、地上の隆起や地盤沈下に影響を及ぼす地表付近に存在する土壌水との関連性は低いと考えられます。なお、1 号トンネルのうち、扇状地堆積物部では地表付近に地下水が存在することが確認されましたが、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法へ反映させることで、地下水の水位の影響はほとんど生じないと考えています。</p>

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(3) いつ着工して、いつ完成なのかが不明であり、20年間の社会情勢の変化をみれば、今から9年後の予測など、到底無理である。準備書は供用開始の時に基準に作成されるべき。</p>	<p>予測の対象時期は、「環境影響評価法第四条第九項の規定により主務大臣及び国土交通大臣が定めるべき基準並びに同法第十一条第三項及び第十二条第二項の規定により主務大臣が定めるべき指針に関する基本的事項」(H9.12.12、環境省告示第87号, H17.3.30改正)に基づいて、供用後の定常状態となる時期として、評価書第3章に記載のとおり、幹線道路ネットワークの整備が概ね完了した平成42年を対象としています。</p>
<p>(4) 基準についてはどんな根拠のもとに出されているのか理解できない。誰もが理解できるような説明を行ってほしい。</p>	<p>整合をはかるべき基準等は、「環境影響評価法第四条第九項の規定により主務大臣及び国土交通大臣が定めるべき基準並びに同法第十一条第三項及び第十二条第二項の規定により主務大臣が定めるべき指針に関する基本的事項」(H9.12.12、環境省告示第87号, H17.3.30改正)に基づいて選定しました。</p>
<p>(5) 様々な環境影響について予測値が全て基準を満足していることに納得できない。誰もが理解できるような説明を行ってほしい。</p>	<p>評価書第7章第2節に記載のとおり、環境影響評価に関する予測の手法については、「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(建設省令第10号, H10.6、国土交通省令第15号, H22.4改訂)に示された参考手法及び調査結果に基づいて予測する手法により予測・評価を行いました。</p>

2. 大気質・騒音・振動に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(1) 完成後のトンネル出口から排出される汚染物質濃度を等濃度分布図で示して欲しい。また、その排気ガスによって環境破壊が起こる。</p>	<p>評価書第8章第1節において、トンネル坑口から排出される二酸化窒素、浮遊粒子状物質の影響を加味した大気質の予測・評価を行いました。その結果、全ての予測地点で整合を図るべき基準等を満足することを確認しました。また、トンネル坑口周辺の二酸化窒素の等濃度分布図は評価書資料編3. 大気質に示しています。</p>
<p>(2) 工事用車両の運行ルート・車両台数(時間当たり)を明らかにしなければ、既存道路に与える影響は「整合を図るべき基準等」の範囲にあるという結論は納得できない。</p>	<p>工事用車両の運行を予定している路線、台数は、評価書第8章第1節、第2節、第3節に示しています。</p>

3. 地下水・地盤に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(1) トンネル工事により、地下水脈に変化が生じることは若彦トンネル、リニア試験線工事などからあきらかである。また、北部区間の山間部は、被圧水層の位置も比較的浅い位置にあると思われる。このため、本事業のトンネル掘削中若しくはトンネル完成後において、構造物による地下水脈の分断や地下水流動の変化、地下水位の低下による井戸・棚田等の水枯れ、温泉の泉源の枯渇、地盤の隆起や沈下といった影響は生じないのか。事前に影響が生じないことを明らかに出来ない場合には、工事を実施すべきではない。</p>	<p>評価書第8章第5節に記載のとおり、温泉水は沢水やボーリング孔の地下水と明らかに水質が異なり、より深部を流動し、計画路線周辺の地下水との関連性は低いと考えられました。加えて、計画路線に関連する流域面積は甲府盆地内北側の流域面積に比べて非常に小さいことから、温泉に変化はほとんど生じないと考えています。</p> <p>1号トンネル（岩盤部）、2号トンネル及び3号トンネル周辺は、岩盤部の地下水位が低い位置にあるため、トンネルの掘削中若しくはトンネル完成後において、地下水脈の分断等の影響はほとんど生じないと考えています。</p> <p>また、1号トンネル扇状地堆積物部については、地表付近に地下水が存在するため、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法へ反映させることで、地下水の水位への影響の低減を図ることから、井戸・棚田等への影響、地盤の変位等の影響はほとんど生じないと考えています。</p>
<p>(2) 自家用井戸、棚田、温泉の泉源に対して影響が見られた場合には補償してもらえるのか。</p>	<p>評価書第8章第5節に記載のとおり、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を行います。</p>
<p>(3) 千代田湖の直下をトンネル掘削し、万一湖底が抜け大量の湖水がトンネル開口部より噴出することも考慮しているのか。</p>	<p>評価書第8章第5節及び資料編5. 地下水に記載のとおり、堅硬な岩盤であること、千代田湖は、付近のボーリングで確認された地下水よりも高い位置にあり、千代田湖の湖水は、地下水との関連性が低いことから、千代田湖の湖水に変化はほとんど生じないと考えています。</p>
<p>(4) 地下水流の変化による地上の隆起や、地盤の沈下による影響など、地下水流の状況を十分に把握する調査を実施し、水流の方向とトンネルの関係を示してもらいたい。</p>	<p>評価書第8章第5節及び資料編5. 地下水に記載のとおり、地下水の状況を確認した結果、トンネル区間の地下水は低い位置にあるため、地上の隆起や地盤沈下に影響を及ぼす地表付近に存在する土壌水との関連性は低いと考えられます。また、1号トンネルのうち、扇状地堆積物部では地表付近に地下水が存在することが確認されましたが、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法へ反映させることで、地下水の水位の影響はほとんど生じないと考えています。なお、これらの状況のイメージは評価書第8章第5節及び資料編5. 地下水に示すとおりです。</p>

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
(5) 塚原町を囲む山々の山麓一帯は土石流危険地域の指定を受けており、北部区間の家屋は洪水による水害の被災が発生している。その下流部分にインターチェンジは造成可能か。	当該地区においては、河川上流の山腹で発生した土石流が計画路線まで到達するか概略検討を行い、安全なルート位置を選定しております。事業実施段階で詳細な地質調査等を行い、必要に応じて安全対策の検討を実施する予定です。
(6) 塚原町内は地盤が脆弱であり、地下掘削に耐えられるか。	評価書第3章に記載のとおり、地下掘削にあたっては、掘削した壁面にコンクリートを吹き付けて固め、さらにロックボルトを打設して地山と一体化させる NATM を採用する予定です。 なお、必要に応じ、補助工法を実施することを、事業実施段階で検討します。 ※補助工法とは、トンネル掘削面の安定及び地山の変位抑制のための工法で、具体的には水平長尺鋼管先受工、長尺鏡補強工等があります。

4. 動物・植物・生態系に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
(1) トンネルから排出される窒素酸化物による、オオタカやキクガシラコウモリなど絶滅危惧種に指定されている動植物に対しての影響が心配である。	評価書第8章第8節及び第9節に記載のとおり、調査、予測、評価は「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(建設省令第10号, H10.6、国土交通省令第15号, H22.4改訂)に基づいて適切に実施しています。 オオタカ等、生息・生育環境が保全されない又は保全されない可能性があるとして予測された重要な動植物種については、環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努めます。 また、工事中及び道路の供用後において、予測し得ない影響が生じた場合は、別途対策を行います。
(2) オオタカ等の事後調査結果で、影響が確認された場合には誰が責任をとるのか。また、その際には計画の中止やルートの変更は行われるのか。	評価書第8章第8節に記載のとおり、オオタカ等については事後調査を実施し、工事中及び道路の供用後において、予測し得ない影響が生じた場合は、別途対策を行います。

4. 動物・植物・生態系に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(3) 地下水位が低下すると考えられ、それに伴い植生への影響も生じるはずである。</p>	<p>評価書第8章第5節に記載のとおり1号トンネル岩盤部、2号トンネルの周辺、3号トンネルの周辺、3号トンネル以西の土工区間及び3号トンネル以西の橋梁区間では、工事の実施により土壌水に変化はほとんど生じません。1号トンネル扇状地堆積物部では、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工方法に反映させる方法により工事を施工することで影響を低減することができると考えています。</p>
<p>(4) 今のままの自然環境豊かな自然の里山を残してほしい。</p>	<p>評価書第8章第8節、第9節、及び10節に記載のとおり、計画路線は道路の計画段階において、大部分をトンネル構造として改変面積を極力小さくする計画とし、動物、植物、生態系への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っています。一部で生息・生育環境は保全されない可能性があるとして予測されましたが、環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努めます。</p>
<p>(5) 自然を破壊してまで作らなければならない道路なのか。建設後の自然保護について何の展望も示せず無責任である。</p>	
<p>(6) 動植物の個々の種がどのように関わり、全体的な自然環境を作っているのか示されていません。高位の動物(ex. オオタカ)が生息するための、低位の動物や植生がどのように保証されるのか、具体的に示してほしい。</p>	<p>評価書第8章第10節に記載のとおり、地域を特徴づける生態系として、山地の樹林生態系など、当該地域を8つの生態系に区分し、それぞれの生態系における消費者、生産者、基盤環境を整理して、食物連鎖の関係を把握しました。</p> <p>さらに、市街地を除く7区分について、生態系区分毎に注目種・群集の生息・生育基盤を重ね合わせ、科学的知見及び類似事例を参考に予測を行いました。一部の地域を特徴づける生態系の注目種・群集で生息・生育環境は保全されない又は保全されない可能性があるとして予測されましたが、環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>なお、工事中及び道路の供用後において、予測し得ない影響が生じた場合は、別途対策を行います。</p>
<p>(7) 生態系について、いくつか保全されない可能性が指摘されている。生態系の保全の観点からも、希少種の調査、保護、回避などたくさんの課題がある。</p>	

5. 景観に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(1) 甲府盆地に広がる山々の眺望、ぶどう棚や果樹園の四季折々の景観は山梨県民の宝である。観光客にとっても一番魅力を感じる甲府盆地に広がる山々の眺望、ぶどう棚や果樹園からの四季折々の景観を守るべき。</p>	<p>評価書第8章第11節に記載のとおり、計画路線は道路の計画段階において、トンネル構造を始めとした道路構造の検討を実施しており、景観への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っています。</p> <p>景観の構造に変化が生じると予測された地点については、周辺景観との調和に配慮した構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努めます。</p>
<p>(2) 遠景ばかりであり、景観に及ぼす影響を過小に見せている。遠景だと道路の圧迫感は軽減される。もっと近景からの視点を導入すべきである。</p>	<p>評価書第8章第11節に記載のとおり、調査、予測、評価は「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（建設省令第10号、H10.6、国土交通省令第15号、H22.4改訂）に基づいて適切に実施しています。</p>
<p>(3) 塚原ICの一带の里山の風景がどのように変わるのか、塚原町や古府中町に住む住民、予定地域の住民の生活圏の範囲で具体的に示すべきである。</p>	<p>景観の視点の選定にあたっては、評価書第8章第11節に記載のとおり、主要な眺望点及び日常的な視点場と景観資源との位置関係及び対象道路の位置などを踏まえ、主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観に変化が生じると想定される眺望点を設定しました。</p>
<p>(4) 荒川河川敷の上流に住む人にとっては甲府盆地や富士山を横切る構造物となる。敷島総合公園から富士山の眺望が問題である。</p>	<p>評価書第8章第11節に記載のとおり、調査、予測、評価は「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（建設省令第10号、H10.6、国土交通省令第15号、H22.4改訂）に基づいて適切に実施しています。</p>
<p>(5) 現在進行中の広域農道の橋もこの景観図から抜け落ちており問題である。</p>	<p>なお、荒川河川敷公園から見た主要な景観資源である黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園については、広域農道の橋の存在による景観への影響は小さいため、広域農道を考慮した予測・評価は実施しておりません。</p>

6. 廃棄物等に関すること

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
(1) 廃土による二次的な自然破壊を招く恐れがある。	評価書第8章第13節に記載のとおり、建設発生土については、事業実施区域内の盛土材として再利用する計画です。また、「建設発生土情報交換システム」による工事間利用を、他の道路事業等への再利用も含めて検討し、余剰分は「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成3年4月26日 法律第48号）に基づき、適正に再利用等を図ることとしています。
(2) トンネル工事による残土の処分地の説明が行われていない。東側区間を高架方式とし残土処理ができない場合、大量の残土をどこに処分するのか。	

7. その他

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
(1) 車・経済優先の社会は見直しの時期にきている。地球の資源のムダ使いを止め、人間が主人公で生物と共生できる、自転車、車椅子、歩行者が十分満足できる景観、健康志向の道路政策を考えるべきである。渋滞対策の工夫、交通システムの工夫、地元の知恵で色々な工夫ができる。	評価書第3章に記載のとおり、計画路線への交通の転換による国道20号の渋滞の緩和に伴う交通流、物流等の円滑化、都市間の移動・輸送時間が短縮されることによる地域の活性化、県立中央病院への周辺地域からのアクセス時間が短縮されることによる救急医療サービスの向上が図られることから、甲府都市圏全体として必要不可欠な路線と考えています。
(2) 世界中が食料危機を問題にしている時、大切な農地をつぶすことに反対である。	
(3) 平成17年の交通センサスでは交通量が減少しており、さらに交通量が減少することは疑問の余地がなく、北部区間・南部区間とも、現在の交通量を考えると計画交通量は信用できない。計画交通量の算出根拠があいまいであり、どのような算出根拠・算出方法に基づいて算出したのか明らかにすること。	<p>評価書第3章に記載のとおり、計画交通量は、平成17年に全国で実施した道路交通センサスを基に将来の道路網を踏まえ、平成42年の交通需要の予測を行っています。</p> <p>その際には、将来人口の想定、免許保有者および乗用車保有台数の将来の見通し等について条件を設定しており、将来の人口動向等の影響も勘案したものとなっています。</p> <p>なお、愛宕町下条線の供用、国道20号竜王拡幅の供用等の最新の道路網条件も考慮した上で計画道路の交通量を予測しています。</p>

意見書に記載された意見の概要	都市計画決定権者の見解
<p>(4) 果樹栽培に影響が心配。植物・農作物が排気ガスで黒くなり、果実などは食べられなくなる。</p>	<p>植物・農作物については、計画段階において、大部分をトンネル構造として改変面積を極力小さくする計画とし、負荷の回避・低減を図りました。</p> <p>なお、評価書第8章第9節に記載のとおり、調査、予測、評価は「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」(建設省令第10号, H10.6、国土交通省令第15号, H22.4改訂)に基づいて適切に実施しています。</p>
<p>(5) 工事用車両が狭い生活道路を走り子供達が危険にさらされる。特に、山宮、羽黒、千塚地区の子供達が心配。</p>	<p>ダンプトラック等の工事用車両の通行に関しては、通学路区間に配慮しながら、朝・夕の通学時間は運行を制限する、必要に応じて主要な交差点等にはガードマンを配置する等を検討します。</p>

第13章 準備書についての知事意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解

環境影響評価法第20条第1項に基づく環境の保全の見地からの山梨県知事意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解を以下に示す。

I. 全般的な事項

1. 環境影響評価方法書手続中に新たに情報提供を行った資料の取扱い

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）の縦覧後、新たに知事に情報提供を行った補足資料については、原則として補足した内容を全て環境影響評価書（以下「評価書」という。）の「対象事業の目的及び内容」、「対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法」に記載すること。また、交通量等の算定根拠、基礎数値等の補足的な資料については資料編に添付すること。</p>	<p>準備書の縦覧後、新たに知事に情報提供を行った補足資料については、貴重種の保護の観点から公表できないもの等を除き、評価書資料編に記載しました。また、交通量等の算定根拠、施工計画、工事用車両台数、工事用車両の運行ルート等の概要等の補足資料を評価書資料編に記載しました。</p>

2. 環境影響の程度、評価基準の明確化

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>準備書において、対象事業が及ぼす環境影響について環境基準等への適合状況を確認した環境影響評価の項目は、対象事業による環境影響の程度及び広がりやを次の事項が明らかになるよう検討し、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>1) 対象事業が及ぼす環境影響の整理 a) 方法書知事意見に基づく評価の実施</p> <p>方法書知事意見(1.05)において、「評価は、環境の保全措置の実施前後を比較することによって行うこと。環境影響の軽減の度合については、できる限り定量的若しくは、客観的に明らかにすること」を求めたところであるが、準備書においては、事業実施後の環境の状況及び保全措置の効果についての記載となっており、実施前との比較が行われていないので、評価書において修正すること。</p>	<p>自動車の走行に係る大気質、騒音等については、事業実施前との比較を行い、評価書第8章第1節8-1-55～58、8-1-109～110、8-1-124～125頁、第2節8-2-40～43、8-2-58、8-2-74頁等に記載しました。</p> <p>なお、建設機械の稼働に係る粉じん等など現地調査を実施していない項目については、工事着手前に調査を実施します。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 現在の環境の状況との比較</p> <p>対象事業が及ぼす環境影響の程度については、現在の環境の状況を明らかにした上で、環境保全措置の実施前後の環境影響の比較を行い、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>対象事業が及ぼす環境影響の程度については、現在の環境の状況を明らかにした上で、環境保全措置の実施前後の環境影響の比較を行い、検討の経緯及び結果を評価書第8章第1節8-1-88、8-1-109～110頁、第2節8-2-40～43、8-2-58頁に記載しました。</p>
<p>c) 事後調査の実施</p> <p>都市計画決定権者が環境影響の程度が「環境基準未満である」ことを理由に「影響はない」と判断した地域には、対象事業の実施により現在の環境の状況から乖離することとなる地域（例えば、当該事業による環境影響の寄与率が10%を超える地域）が含まれていることから、こうした地域においては、「道路事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（以下「主務省令」という。）第14条第1項に定める、「環境影響が無い又は環境影響の程度が極めて小さいと判断」した理由について評価書に記載すること。</p>	<p>準備書における各評価項目については、「事業者の実行可能な範囲で回避又は低減が図られているかどうか。」「整合を図るべき基準又は目標との整合が図られているかどうか」について評価しています。</p> <p>その結果、計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っており、また、環境基準等との整合は図られると評価しています。</p>
<p>また、対象事業の実施中及び実施後における周辺環境へ影響を確認するため事後調査を実施し、対象事業による環境影響の程度を明らかにした上で、環境保全措置の必要性を検討し、その経緯及び結果を事業実施中及び実施後の手続において明らかにすること。</p>	<p>なお、評価項目については、山梨県環境影響評価条例（以下、「山梨県条例」という。）第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>なお、事業者は、事業の実施による環境への負荷をできる限り回避し、又は低減することその他の環境の保全についての配慮が適正になされることを求めた、環境影響評価法第3条の主旨を尊重すること。</p> <p>合わせて、環境基本法第16条に定められた「環境基準」は、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい」基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで地域住民等に許容させるものではないことを申し添える。</p>	

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 複数案による環境保全措置の検討</p> <p>a) 実施しないとした措置の説明</p> <p>「環境保全措置の検討」において比較検討し、実施しないこととした措置についても、評価書において、環境影響の低減に係る具体的な効果を説明すること。</p>	<p>「環境保全措置の検討」において比較検討し、実施しないこととした措置については、実施しないこととした理由を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>b) 環境保全措置の検証</p> <p>環境保全措置の検証において、「環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される」としている項目については、当該措置の実施事例の引用等により、本事業における環境影響の低減の程度を検証し、その内容を基に、措置の合理性の検討を行い、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>【検討すべき環境保全措置の例】</p> <p>大気汚染・騒音：車両運行計画 (P. 8-1-43、P. 8-2-46)</p> <p>景観：地形等の改変部緑化、ラウンディング、構造物・附属施設等の形状等 (P. 8-11-45)</p>	<p>環境保全措置の検証において、「環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される」とした項目については、当該措置の実施事例を評価書資料編に記載しました。</p> <p>また、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において評価書に記載された環境影響評価の項目に係る環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>c) 実施可能な環境保全措置の検討</p> <p>環境保全措置の複数案の比較検討において、費用等の環境保全の見地以外の理由で実施しないと判断した措置については、評価書の記載から除外すること。</p>	<p>環境保全措置の複数案の比較検討において、費用等の環境保全の見地以外の理由で実施しないと判断した措置については、評価書の記載から除外しました。</p>

3. 対象事業の部分供用について【主務省令第10条第3項関係】

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>対象事業の工事が長期間にわたり、暫定的に部分供用が行われる場合にあつては、部分供用による環境影響の予測が主務省令第10条第3項において規定されている。</p> <p>本事業においては、山梨県環境影響評価等技術審議会において、事業者は「部分供用は行わない予定である」としていることから、その旨を評価書の事業計画第3章中に明記すること。</p> <p>なお、事業の実施中に、社会情勢等の変化により、部分供用することとなった場合は、当該区間の供用による環境影響の程度及び環境保全措置の必要性について検討するとともに、事後調査を実施すること。</p> <p>併せて、本県条例で定める「事業実施中及び実施後の手続」に基づき、検討経緯及び事後調査の結果等を明らかにする旨を評価書に記載すること。</p>	<p>本事業は、「部分供用は行わない予定である」ことから、その旨を評価書の事業計画第3章5頁に記載しました。</p> <p>ただし、今後の社会情勢等の変化により、部分供用することとなった場合は、当該区間の供用による環境影響の程度及び環境保全措置の必要性等について検討を行います。</p>

4. 他事業との複合影響等【主務省令第10条第5項関係】

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>次の3事業に関しては、供用後における当該事業との複合影響について、主務省令第10条第5項に基づき、事業計画、将来交通量や利用状況に係る基礎的な情報を整理・勘案した上で環境影響を把握し、検討の経緯及び結果について評価書に記載すること。</p> <p>特に、当該対象事業の工事用車両の運行により影響を受ける事業については、「環境影響評価方法書に対する知事の意見（以下「方法書知事意見」という。）」1.9において、環境影響を求めているところであるが、準備書に反映されていないので、評価書において明らかにすること。</p> <p>1) 都市計画道路甲府外郭環状道路東区間（現在準備書手続中）</p> <p>a) 接続することによる相互影響</p> <p>b) トンネル掘削残土及び切り土等により発生する残土の受け渡しに係る環境影響</p> <p>山梨県環境影響評価等技術審議会（平成24年3月2日開催）において、残土の処分方法として、事業者から「都市計画道路甲府外郭環状道路東区間（以下「東区間」という。）において利用する」旨の説明があったことから、現在想定している東区間への残土の搬入量、車両台数及び代表的な運行ルートを明確にすること。</p>	<p>都市計画道路甲府外郭環状道路東区間（以下「東区間」という。）と接続することによる相互影響については、評価書第8章第1節8-1-52～53頁、第2節8-2-26～27頁に記載しています。</p> <p>また、現在想定している東区間への残土の搬入量、車両台数及び代表的な運行ルートを評価書資料編に記載しました。</p>
<p>2) 都市計画道路（（仮）新環状・緑が丘アクセス線）</p> <p>a) 接続することによる相互影響</p> <p>b) 当該事業の工事用車両が都市計画道路を利用することによる環境影響（方法書知事意見1.9）</p>	<p>（仮）新環状・緑が丘アクセス線と接続することによる相互影響については、評価書第8章第1節8-1-52～53頁、第2節8-2-26～27頁に記載しています。</p> <p>また、当該事業の工事用車両は、（仮）新環状・緑が丘アクセス線を利用しない計画としています。</p>
<p>3) 茅ヶ岳東部広域農道</p> <p>a) 施設の存在及び供用にかかる景観等の環境影響</p>	<p>計画路線の存在に係る景観の予測評価については、最新の状況を踏まえ見直しを行い評価書第8章第11節8-11-39頁に記載しました。</p>

5. 方法書知事意見の反映

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 「方法書知事意見に対する見解」の再検討</p> <p>a) 大気汚染物質の拡散抑制に対する影響 (方法書知事意見 1.10 及び 2.1.2) 【主務省令第7条第1項第1号及び第16条第1項第2号関係】</p> <p>特異な地形を考慮した予測を行うことを求めた方法書知事意見に対し、都市計画決定権者は「特異な地形ではない」(P.6-3)との見解を示し、一般的な予測手法(パフモデル)を適用しているが、「特異な地形ではない」と判断するに至った測定結果や検討経緯、検討結果が示されていないので、評価書に記載すること。</p> <p>大気質については、トンネル出口付近で甲府盆地北斜面における接地逆転層発生時に降下流等の影響により大気汚染物質が南側(盆地内側)に偏って拡散することが懸念される。一般的な予測モデルでは、そのような拡散状態が再現できないおそれがあることから、当該事項を考慮した予測を行い、汚染物質の水平方向の拡散の様子を等濃度線により地図上に示すことにより明らかにし、評価書に記載すること</p>	<p>大気質については、接地逆転層の状況を把握するための調査を行った結果、逆転層(温度逆転)は、冬季の日没から日の出前にかけて出現するという、冬季における一般的な傾向が見られました。調査結果の詳細を評価書資料編に記載しました。</p> <p>予測の手法の一つとして採用したパフモデルの鉛直拡散係数(夜間)は、秋季から冬季にかけての接地逆転層の発生を見込んだものとなっており、調査結果から、これらの係数を適用することが妥当であると考えます。</p> <p>また、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において大気質に係る環境の状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>b) 騒音の異常伝搬に対する影響(方法書知事意見 1.10 及び 2.2.2)</p> <p>騒音の異常伝搬の確認を求めた方法書知事意見に対し、都市計画決定権者は「現地において騒音実験を実施して確認を行ったが、地形による明確な反射音は確認できなかった」旨の見解(P.6-6)を示しているが、当該調査の結果が準備書に記載されていないことから、評価書に調査結果を添付するとともに、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>騒音については、地形による反射音の実験を行った結果、地形による影響はほとんどなかったことから騒音に係る特異な地形はないと判断しました。調査結果の詳細を評価書資料編に記載しました。</p> <p>また、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において騒音に係る環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>c) 空気振動に係る影響（方法書知事意見 2.2.3）</p> <p>大型建設機械の稼働による低周波音の発生に対する検討を求めた方法書知事意見に対し、都市計画決定権者は「現地踏査を行い、特に配慮が必要な施設の分布状況及び構造等を把握した」旨の見解（P.6-6）を示しているが、第8章第4節にはその具体的内容が記載されていないことから、調査結果及び環境保全措置等の検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>低周波音については、現地踏査を実施し、自動車の走行に係る低周波音が発生するおそれがある橋梁部周辺の住居等の立地状況、特に配慮が必要な施設がないことを確認し、その結果を評価書第8章第4節8-4-3頁に記載しています。</p> <p>なお、工事に使用する建設機械の詳細については、事業実施段階で検討を行います。低周波音の影響が懸念される建設機械を使用する場合は、低周波音の低減方策等について検討します。</p>
<p>d) 水質汚濁物質の影響（方法書知事意見 2.3.1）</p> <p>濁水の発生時やトンネル掘削に係る工事排水に対する環境影響の把握を求めた方法書知事意見に対し、都市計画決定権者は「当該事業においては、仮沈砂池や濁水処理装置を用いることにより、濁水やアルカリ排水を河川等の公共用水域に排出しない」旨の見解を示しているが、「仮設沈砂池や濁水処理装置等」については、水質汚濁に係る環境影響評価の項目として改めて選定したうえで、調査、予測及び評価を行い、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>工事中の濁水については、新たに「工事中の水質監視等」の項目を設け、当該事業においては、仮沈砂池や濁水処理装置を用いることにより、濁水やアルカリ排水を河川等の公共用水域に排出しないこと、事業実施中に定期的な調査を行うことを評価書第3章25頁に記載するとともに、その検討結果を評価書資料編に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>e) 環境保全措置の検討について(方法書知事意見 4.1.4)</p> <p>都市計画決定権者は、景観に変化が生じると予測された地点における環境保全対策については、「事業の実施段階において、周辺景観との調和に配慮した構造物(橋梁等)の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施する」旨の見解を示しているが、具体的な検討が行われていないことから、既存事例引用、複数案の検討等を具体的にを行い、その検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>なお、上記の検討が評価書までに間に合わない場合、環境保全措置の効果を検証できないことから、景観の変化については事後調査の対象とし、事業の実施中及び実施後の手続において、検討の経緯およびその結果を明らかにすること。</p>	<p>現段階においては、橋梁形式等が確定していないことから、複数案の比較検討等については、事業実施段階で検討します。</p> <p>なお、景観については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続を行います。</p>

6. 事業計画(計画交通量)

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) ルート選定</p> <p>都市計画決定権者は、「準備書第3章に記載のとおり、計画ルートは、市街地への影響を極力避け、甲府盆地北部の山間部や住宅地を通過することとし、安全で快適な走行の確保、地域の利便性の向上を考慮しつつ、自然環境や景観、遺跡、既存の土地利用等への影響が可能な限り小さくなるよう配慮(P.20)」した旨を記載しているが、その具体的内容が準備書に記載されていない。ルート選定の経緯及び結果について、具体的に評価書に記載すること</p>	<p>計画路線のルート選定の経緯及び結果について、評価書第3章22~23頁に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 道路構造 (P.08～11)</p> <p>P.8に記載された基本構造については、予測対象部分の道路構造(盛土、切土部、掘割、地中式等)や高さ(予測地点付近の平均的な高さ(深さ)、最も高い(深い)地点)に関する情報が十分に記載されていないことから、予測の検証に必要な情報を全て評価書に記載すること。</p>	<p>計画路線の道路構造や計画高等に関する情報について、評価書第3章10～11頁に記載しました。</p>
<p>3) 計画交通量</p> <p>計画交通量は、環境影響の予測の根幹となる部分であることから、その積算根拠及び将来交通量の推計について、資料を整理し評価書に添付すること。</p> <p>その際、将来推計に用いた、社会的な変化の条件(高齢化、人口の減少等)、周辺の道路環境の変化(市道愛宕町下条線の部分供用等)については、その内容及び反映状況をできる限り詳細に記載すること。</p>	<p>計画交通量の積算根拠及び将来交通量の推計について、評価書資料編に記載しました。</p>
<p>4) 側道に係る交通量</p> <p>側道の有無(迂回路等で使用する予定の道路を含む。)、設置予定箇所及び当該部分において想定される計画交通量については、当該事業に関連して発生する環境影響であるため、その積算根拠及び将来推計について、資料を整理し評価書に追加すること。</p>	<p>計画路線の整備と合わせて側道の整備を行います。これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものです。従って、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していません。</p>
<p>5) トンネルに係る発生土の処理等</p> <p>a) 当該事業においては甲府盆地北側斜面がトンネル区間となる計画であることから、トンネル掘削及び工事関連施設の設置に伴う影響要因(工事用車両により発生する交通量、現況交通量、発生土の質・量等)を定量的に把握し、関連する環境影響評価の項目(大気質、騒音、振動、水質、地下水、発生土等)の予測及び評価を実施し、その検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>トンネル工事に係る大気質、騒音、振動、地下水、発生土等の予測及び評価の結果は、評価書第8章第1～3節、第5節及び第13節に記載しています。</p> <p>また、工事中の濁水については、「工事中の水質監視等」を評価書第3章25頁に記載するとともに、その検討結果を評価書資料編に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 発生土を主に運搬する道路については、トンネル工事における発生土の量、運搬車両の台数、主要な運搬ルート及び保全対象の分布状況を明示したうえで、大気質、騒音、振動等の調査、予測及び環境保全措置を検討し、その経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>工事用車両の運行等に係る大気質、騒音、振動等の予測及び評価の結果は、評価書第8章第1～3節に記載しています。</p> <p>また、施工計画、工事用車両台数、工事用車両の運行ルートの概要等の補足資料を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>c) 発生土を工事ヤード及び残土処分場以外で仮保管する場合は、仮保管場所についても、残土処分場と同様に環境保全措置を検討し、その経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>工事により発生する土砂等は、都市計画対象道路事業実施区域外での仮保管は予定していない旨を評価書第3章12頁に記載しています。</p> <p>なお、都市計画対象道路事業実施区域外での土砂の仮保管等を行う場合には、環境影響の程度及び環境保全措置の必要性等について検討を行います。</p>
<p>6) 工事関係車両 a) 工事関係車両の算定根拠の明確化 方法書知事意見1.7において「トンネル掘削に伴う工事用車両により発生する交通量、現況交通量、発生土の質及び量等を定量的に把握し、関連する環境影響評価の項目に係る環境影響評価」の実施を求めたが、工事用車両の算定根拠、交通量、工事車両の運行ルートに係る検討資料や具体的な検討結果が示されていないため、本知事意見で求めた内容について、検証が可能な資料を評価書に記載すること。</p>	<p>工事用車両の算定根拠、交通量、工事車両の運行ルートに係る検討資料を評価書第3章19～20頁及び評価書資料編に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 他の事業への搬出に係る環境影響の基礎条件の整理</p> <p>山梨県環境影響評価等技術審議会（平成24年3月2日開催）において、「トンネル工事等で発生する残土については、「甲府外郭環状道路東区間（以下「東区間」という。）」において使用する」旨の回答があったことから、東区間において当該事業により使用する発生土の量、運搬車両の台数、走行時間帯及び走行ルート（代表的なものを必ず記載すること）等を評価書に明記すること。</p> <p>なお、運搬ルートの設定が困難である場合は、最も影響が大きくなるおそれがある次の地点を結ぶルートを想定し検討を行うこと。</p> <p>ア) 甲府市塚原～東区間の笛吹市（井戸～東油川地内）の盛土部分</p> <p>イ) 甲斐市牛匂～東区間の甲府市小曲付近の盛土部分</p>	<p>工事用車両の算定根拠、交通量、工事車両の運行ルートに係る検討資料を評価書第3章19～20頁及び評価書資料編に記載しました。</p>

7. 予測

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 調査地点（交通騒音、交通振動共通）</p> <p>方法書（図5-2-1(1)（P.201）に記載した「自動車騒音及び道路交通振動の調査地点」のうち、国道20号の調査地点（塩崎交差点付近（甲斐市塩崎町））については、道路交通騒音の調査地点（表8-2-2（P.8.2-3）及び図8-2-1（P.8.2-3））及び道路交通振動の調査地点（表8-3-2(2)（P.8.3-2）及び図8-3-1（P.8.3-3））が準備書段階において削除されている。</p> <p>計画路線は国道20号のバイパスとして計画されており、当該調査地点は計画路線が国道20号に接続した後の環境影響を把握する上で重要な地点であることから、評価書において、当該調査地点を削除した理由及び検討経緯（特に供用後の国道20号への車両の流入及び車両運行ルートとの関連）について説明すること。</p>	<p>方法書（図5-2-1(1)（P.201）に記載した「自動車騒音及び道路交通振動の調査地点」のうち、国道20号（塩崎交差点付近（甲斐市塩崎町））は、方法書時点で工事用道路としての利用が予想されたため調査地点として選定していましたが、施工計画の検討を行った結果、工事用車両が利用しない計画となったため準備書には記載しませんでした。</p> <p>当該地点の調査結果について、参考として評価書資料編に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 調査地点（交通騒音、交通振動共通）</p> <p>a) 2. 1 自動車の走行に係る影響（騒音、振動）</p> <p>準備書段階の道路交通騒音調査地点（表 8-2-2（P. 8. 2-3）及び図 8-2-1（P. 8. 2-3）） 道路交通振動の調査地点（表 8-3-2（2）（P. 8. 3-2）及び図 8-3-1（P. 8. 3-3））の「A 甲府市桜井」の調査地点において、評価書で国道 140 号を選定した理由を明らかにすること。</p> <p>併せて、供用後の環境影響を当該地点で測定する理由を評価書に記載すること。</p> <p>b) 2. 3 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る影響（騒音、振動）</p> <p>現況の車両交通量の測定地点と工事車両の走行に係る予測地点が異なることについて、説明すること。</p> <p>例えば、桜井インター付近において、国道 140 号を現況交通量の測定地点として掲げているが、予測地点は、和戸通りの延長にあり、両者の関連が不明である。（騒音：P. 8-2-53, 59、振動：P. 8-3-31, 35）</p>	<p>道路交通騒音及び道路交通振動の調査地点は、住居等の保全対象の位置、計画路線の構造及び周辺の地形等を踏まえ、調査地域の現況を適切に把握し得る地点及び調査地域に位置する主要な道路の沿道地点を選定しました。</p> <p>なお、国道 140 号（西関東連絡道路）においても測定を実施し、評価書第 8 章第 2 節 8-2-2～7 頁、第 3 節 8-3-2～6 頁に記載しました。</p>

8. 環境保全措置の検討

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映</p> <p>環境保全措置の実施要件を「著しい影響が生じた場合」として準備書に記載しているが、判断の基準に具体性がなく、方法書知事意見（1.4）において求めた、「環境の保全措置を検討するに当たり、当該措置を行うと判断するための判断材料及び判断基準を準備書に記載すること」に対応する見解となっていないことから、改めて保全措置の実施要件について評価書へ記載すること。</p>	<p>事後調査の結果による環境保全措置の実施要件を「著しい影響が生じた場合」として準備書に記載している動物、植物及び生態系については、事業実施による生息・生育環境の大幅な変化等を保全措置の実施要件とする旨を評価書第 8 章第 8 節 8-8-81 頁、第 9 節 8-9-39 頁及び第 10 節 8-10-105 頁に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 環境保全措置の明確化</p> <p>環境保全措置については、その詳細について確認することが出来ないため、主務省令第14条第1項に準じて、想定しうる複数の環境保全措置及びその効果について、具体的に評価書に記載すること。</p>	<p>環境保全措置については、想定しうる複数の環境保全措置及びその効果として、評価書資料編に実施事例等を記載しました。</p>
<p>3) 工事用車両の運行時間への配慮</p> <p>準備書についての意見の概要に対する見解において、都市計画決定権者は車両の運行計画については、「朝夕の通学時間帯は運行を制限する」としているが、関連する環境保全措置においてはそれが記載されていないことから、予め具体的な運行計画を評価書に記載すること。</p> <p>併せて、当該措置の実施により低減される環境影響の程度については、定量的な検討を行い、その結果を評価書に記載すること。</p>	<p>工事用車両の運行計画については、事業実施段階で詳細な運行ルートを選定を行います。選定に当たっては、通学時間帯の運行を極力避ける、学校・病院・住宅地等を極力回避して選定する等の配慮を実施する旨、評価書第3章19頁に記載しました。</p>

9. 事後調査の実施

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 建設機械の稼働に係る予測の不確実性の検証（主務省令第17条関係）</p> <p>大気汚染、騒音及び振動の予測について、都市計画決定権者は「事後調査（P.8-1-70 P.8-2-50, P.8-3-27）」において、「予測の不確実性は小さい」としているが、予測条件（P.8-1-63, P.8-2-46, P.8-3-23）の表の備考欄において、「実際に稼働するユニットは現時点では定まらない」とし、一般的に使用されるユニットにより予測しており、実施段階では予測時と異なる条件により工事が実施されることが想定されることから、当該予測条件は不確実性を含むものであると考えられる。評価書において、今回予測に用いたユニットの設定の根拠とした建設機械の配置、種類、台数等の一覧及び予測に用いる係数を明らかにすること。</p> <p>併せて、当該項目については、事後調査の対象とし、事業実施中に重大な環境影響が生じていないことを確認すること。</p>	<p>建設機械の稼働に係る大気質、騒音及び振動の予測に用いたユニットの設定の根拠とした建設機械の配置、種類、台数等の一覧及び予測に用いる係数を評価書資料編に記載しました。</p> <p>なお、建設機械の稼働に係る大気質、騒音及び振動については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>2) 措置の内容が未確定のもの、事業進捗とともに措置が具体化する項目について</p> <p>環境保全措置を講ずるとしている環境影響評価の項目のうち、措置の内容が未確定のもの、及び構造・色彩等の事業進捗とともに措置が具体化するものについては、現段階では、効果が不確定であることから、予測手法に係る知見に関わらず事後調査の対象とする旨を評価書に記載すること。</p>	<p>環境保全措置を講ずるとしている環境影響評価項目のうち、事業進捗とともに措置が具体化する項目については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

10. 評価の手法（主務省令第11条第1項各号）【ミティゲーション】

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>評価については、「適正に評価した」旨のコメントがあるが、その根拠が不明であり、主務省令第11条第1項各号において記載すべき事項の記載が不十分である。</p> <p>評価については、「環境基準に適合しているか否か」ではなく、「検討過程が明確であること」、「回避→低減（最小化）→代償」の順で検討が行われ、「最終的に残る環境影響が確認されているか」等を検討経緯とともに明確にする必要があるので、評価書において記載内容を修正すること。</p>	<p>計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っています。また、環境基準等との整合は図られると評価しています。</p> <p>なお、評価項目については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

11. 専門家の助言

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>表7-3-1 専門家による技術的助言（P.7-24）については、「専門家からの聴取の結果を基に検討を行っている」旨の記載があるが、当該専門家の助言の内容について詳細な記載がない。当該助言及び助言に対する検討の経緯及び反映状況が分かるように、できる限り詳細な記載に修正すること。</p> <p>なお、可能な場合は、専門家の所属氏名を併せて記載すること。</p>	<p>環境影響評価の技術的内容についての助言については、助言の内容及び助言に対する検討の経緯及び反映状況を評価書第7章7-43～44頁に記載しました。</p>

12. 分りやすい資料の作成

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 見やすい資料の作成</p> <p>準備書については、A3版の図面が大半を占めているにも関わらず、A4版に製本されているため資料の参照が困難である。評価書の作成に当たっては、A3版の図表については、重要部分を除きA4版への縮小又は分割を行う、若しくは「図面集等」を別冊としてとりまとめるなど、閲覧者の利便性の向上に努めること。</p>	<p>評価書の作成に当たっては、A3版の図表については、重要部分を除きA4版への縮小又は分割等を行いました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 専門用語等</p> <p>環境影響評価手続は住民に対して、当該事業の実施による影響について説明するための資料であることに鑑み、専門用語には注釈を付け、引用部分には「引用」と明記し、参照部分等については、参照ページを記載する等、記載内容や説明の趣旨が確実に伝わるよう、表現方法等の見直しを行うこと。</p>	<p>評価書の作成にあたっては、専門用語に注釈を付け、記載内容や説明の趣旨が確実に伝わるよう、表現方法等の見直しを行いました。</p>

II. 個別的な事項

1. 大気汚染

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 自動車の走行に係る予測</p> <p>a) 方法書知事意見の反映</p> <p>ア) トンネルから排出される自動車排ガス濃度（方法書知事意見 2.1.1）</p> <p>塚原 IC 及び牛匂 IC は、トンネル区間の中間の明かり部に設置されており、2つのトンネル内から排出される自動車排出ガスは、周辺地域における大気の状態に影響を及ぼすと考えられることから、これらのトンネルからの自動車排出ガスの濃度に係る資料を評価書に記載すること。</p> <p>また、トンネルからの排気については、「1.1.2 予測の結果」において、「自然換気によるものとした（P.8-1-13）」旨の記載があるが、他の事業において、防災用に設置されたファンを換気に使用している例があることから、当該地域における大気の拡散予測では、ファンの使用による大気汚染物質の拡散について評価書に記載すること。</p>	<p>トンネルからの自動車排出ガスの濃度に係る資料を評価書資料編に記載しました。なお、換気方式は自然換気を予定しています。</p> <p>また、ジェットファンは防災用に設置予定であり、通常のトンネル内換気には使用しません。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 他事業による影響（方法書知事意見 2.1.2）</p> <p>ア) 塚原 IC （（仮）新環状・緑が丘アクセス線）</p> <p>甲府市塚原地区の予測において、当該事業と並行して都市計画決定手続が進められている「（仮）新環状・緑が丘アクセス線（L=2,110m）」については、塚原 IC のアクセス道路であるにも関わらず、環境影響が加味されていない。</p> <p>当該都市計画道路は、対象事業に接続する道路であり、既に計画交通量等も公表されていることから、当該道路の影響については、主務省令の規定に沿った複合的な予測を実施し評価書に追加すること。</p> <p>イ) 桜井 IC （甲府外郭環状道路東区間、西関東連絡道路）</p> <p>甲府市桜井地区の予測において、当該事業と接続する、「都市計画道路甲府外郭環状道路東区間」（準備書手続中）及び「西関東連絡道路」については、桜井 IC において、複合的な環境影響が想定されることから、それぞれの道路における交通量の配分及び環境影響の程度を整理した上で、当該事業による複合影響を検討し、その経緯及び結果を評価書に追加すること。</p>	<p>（仮称）塚原インターチェンジにおいて接続予定の（仮）新環状・緑が丘アクセス線及び（仮称）桜井インターチェンジにおいて接続予定の東区間・国道140号（西関東連絡道路）との相互影響については、評価書第8章第1節 8-1-52～53 頁、第2節 8-2-26～27 頁に記載しています。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 環境保全措置 排出ガス対策型建設機械の使用 (P. 8-1-86)</p> <p>都市計画決定権者は排出ガス対策型建設機械 (1次及び2次排ガス対策型) の使用を環境保全措置として位置付けているが (表 8-1-57 (P. 8-1-101))、排出ガス対策型建設機械の使用については、『建設機械に関する技術指針について (建設省経機発第 247 号_平成 3 年 10 月 8 日) 』において、「国土交通省所管直轄工事に使用する場合は、排ガス対策型建設機械の使用を原則とする」としているため、表 8-1-53 (P. 8-1-94) 及び表 8-1-58 (P. 8-1-102) の排出係数の前提となる建設機械の構成を明らかにし、保全措置前の予測は当該技術指針を満たしていることを示すこと。</p> <p>なお、仮に、適合していない場合にあっては再予測を行うこと。</p>	<p>排出ガス対策型建設機械 (1次及び2次排ガス対策型) の使用は、工事実施区域周辺の環境保全を目的とすることから、環境保全措置として位置付け、評価書第 8 章第 1 節 8-1-106 頁に記載しています。</p> <p>なお、住居等の保全対象近傍での工事については、事業実施段階において 3 次排ガス対策型建設機械の採用について検討してまいります。</p>
<p>また、表 8-1-58 で使用するとしている排出ガス対策型建設機械については、これまでに、1次及び2次排ガス対策型の認定は終了し、現在は 3 次排ガス対策型の認定が行われている。環境保全措置の予測においては、こうした排ガス対策型建設機械の認定及び普及の動向を考慮した環境保全対策 (3 次排出ガス対策型以降の使用) の検討を行うこと。</p>	

2. 騒音

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 2.1 自動車の走行に係る騒音に係る環境保全措置の検討</p> <p>a) 複数案の比較検討</p> <p>都市計画決定権者は、表 8-2-12(P. 8-2-27)において環境保全措置の複数案による比較を行っているものの、各措置の効果について定量的な比較が行われておらず、遮音壁の設置が前提となった比較となっている。</p> <p>表 8-2-12 では、それぞれの環境保全措置により期待される効果の程度を追加した上で、環境保全措置の比較検討を行うこと。</p>	<p>「環境保全措置の検討」において比較検討し、実施しないこととした措置については、実施しないこととした理由を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>b) 環境保全措置</p> <p>岩森地区の遮音壁の高さについては、2.5～4.5mとされているが、当該地は、住宅地周辺を通過する部分であるため、当該区間における遮音壁の高さについて図表等により明示するとともに、景観の観点からの配慮についても検討し、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p>	<p>岩森地区も含め遮音壁の高さについては、評価書第 8 章第 2 節 8-2-34～37 頁に記載しました。</p> <p>また、景観については、準備書の記載においても、遮音壁を考慮し予測及び評価を実施しています。</p>
<p>2) 建設機械の稼働に係る環境保全措置の検討</p> <p>表 8-2-26 (P. 8-2-48) に記載された環境保全措置のうち「低騒音型機械の使用」については、国土交通省の『建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建関技第 103 号昭和 62 年 4 月 16 日）』において原則使用を定めている地域（当該指針第 2 章関係）があることから、本事業計画路線において、当該指針の適用を受ける地域及び予測地点を明らかにし、該当地域においては、予め低騒音型機械の使用を前提とした予測を行うこと。</p>	<p>低騒音型機械の使用は、工事実施区域周辺の環境保全を目的とすることから、環境保全措置として位置付け、評価書第 8 章第 2 節 8-2-56 頁に記載しています。</p> <p>なお、住居等の保全対象近傍での工事については、事業実施段階において超低騒音型建設機械の採用について検討してまいります。</p>

3. 振動

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 建設機械の稼働に係る環境保全措置の検討</p> <p>表 8-3-18 (P. 8-3-26) 低振動型の建設機械については、山梨県環境影響評価等技術審議会（平成 24 年 3 月 2 日開催）において、バイブロハンマー以外の機種は市場に殆ど出回っていないことが指摘された。都市計画決定権者は、「当該措置は橋梁下部の土留め工事に使用する」旨の説明をしているが、準備書の記載内容では、県民に対して「工事用機械として、低振動型機械が一般的に使用されている」という誤解を招くおそれがある。従って、低振動型機械を使用する地点、工事内容及び使用する機械の種類を明記し、「当該環境保全措置は限定的な措置」であることを評価書に明記すること。</p> <p>併せて、低振動型機械を使用しない地域については、振動に係る環境保全措置の再検討を行い、追加的な環境保全措置の実施の有無（行う場合は低減の程度を含む。）及び検討経緯を評価書に記載すること。</p>	<p>建設機械の稼働に係る振動の環境保全措置に記載している低振動型建設機械は、土工及び橋梁における土留め工で使用するバイブロハンマを想定している旨、評価書第 8 章第 3 節 8-3-28 頁に記載しました。</p> <p>また、低振動型建設機械を使用しない工事については、環境保全措置として「作業方法の配慮」を行います。</p>

4. 空気振動

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 低周波音の基準又は整合を図るべき基準</p> <p>P. 8-4-11 に示された基準又は整合を図るべき基準は、当該項目の調査、予測及び評価の手法として選定した「道路環境影響評価の技術的手法 国土技術政策総合研究所資料」(以下「国総研資料」という。) 第 387 号 (P. 5-13) に記載されている「③心身に係る苦情に関する評価指針 G 特性音圧レベル 9 2 dB」が評価基準から除外されている。</p> <p>移動発生源については、同資料 P. 15-14 において、「交通機関等の移動発生源は除くこと」としているが、方法書知事意見で述べた工事中の建設機械を発生源とする場合のように工事が一定箇所で一定期間行われる場合については検討対象とすべき事項であるので、検討経緯及びその結果を評価書に記載すること。</p>	<p>工事に使用する建設機械の詳細については、事業実施段階で検討を行いますが、低周波音の発生が懸念される建設機械を使用する場合は、低周波音の低減方策等について検討します。</p>

5. 水質汚濁

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 工事中の水質監視等</p> <p>a) 工事排水による環境影響の把握</p> <p>水質汚濁等の問題が発生した場合、原因究明において重要な情報源となることから、事業着手前の水質に関する調査を実施する旨評価書に記載すること。</p>	<p>工事中の濁水については、新たに「工事中の水質監視等」の項目を設け、当該事業においては、仮沈砂池や濁水処理装置を用いることにより、濁水やアルカリ排水を河川等の公共用水域に排出しないこと、事業実施中に定期的な調査を行うことを評価書第3章25頁に記載するとともに、その検討結果を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>b) トンネルから流出する有害物質（重金属類を含む）に係る環境影響の把握</p> <p>トンネル掘削工事により、有害物質（重金属類を含む）を含む地下水の流出が懸念されることから、流出水の放流先を評価書に明確に記載すること。</p> <p>併せて、定期的に水質検査を実施することとし、流出水の状況を継続的に把握し、その結果を事後調査において明らかにする旨を評価書に記載すること。</p>	
<p>c) 管理計画の策定</p> <p>工事排水及び流出水の管理に当たり、水質検査の結果において有害物質の検出その他の水質異常が確認された場合は、速やかに流出防止のための措置を講じ、県をはじめとする関係機関へ報告する等の手順を定めた「マニュアル」を策定する旨評価書に記載すること。</p>	<p>工事排水及び流出水の管理に当たっては、「マニュアル」を策定します。</p>

6. 水象

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映</p> <p>a) 方法書知事意見 2.3.2 関係</p> <p>ア) ボーリング調査結果におけるトンネル掘削時の出水の検討</p> <p>図 8-5-6 ボーリング孔地下水位</p> <p>(P. 8-5-12) に記載された、トンネルよりも上部に水位があるボーリング井戸のうち、地下水面が確認された深度からトンネル深度まで同一の地質で構成されている部分については、工事による出水が懸念されることから、当該ボーリング井戸付近における南北方向の地質断面等による検証を行うこと。</p>	<p>トンネルよりも上部に水位があるボーリング井戸のうち、地下水面が確認された深度からトンネル深度まで同一の地質で構成されている部分については、事業着手前及び施工中に地質調査等による検討を行います。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>イ) 周辺井戸調査の事後調査への位置付け トンネル掘削に係る周辺井戸調査については、調査手法、期間及び調査範囲を評価書に記載すること。</p> <p>なお、調査期間については、経年的な変化を考慮すること。</p> <p>また、水位の低下が認められる場合の「判断基準（方法書知事意見 1.4）」及び「想定される措置等の例」について、評価書に記載すること。</p>	<p>事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行います。</p> <p>また、事業実施段階で水位低下が生じた場合は関係者と協議の上、「公共事業に係る工事の施工に起因する水枯渇等により生ずる損害等に係る事務処理要領」等に基づき、必要な改善策を講じます。</p>
<p>b) 方法書知事意見 2.3.2 関係 ア) 最新の情報に基づく温泉への影響の把握 本県においては、温泉の利用施設（所在地、泉質を含む）及び利用状況をホームページで公表していることから、これらを利用し最新の情報に基づき評価書の内容を更新すること。</p>	<p>計画路線周辺の温泉の利用施設及び利用状況について、最新の情報に基づき評価書第 8 章第 5 節 8-5-17 頁に記載しました。</p> <p>なお、温泉の現状については、個人情報等の保護の観点から別冊に取りまとめ提出します。</p>
<p>更新に際して、当該地域内の源泉のうち自然湧出又は地上ポンプで汲み上げを行っている源泉については、現状を把握し、その結果を評価書に記載すること。（なお、個人情報等の保護が必要な場合は、希少種に係る調査結果と同様に別冊に取りまとめること。）</p>	
<p>イ) 事後調査の実施 都市計画決定権者は、準備書において、「温泉への影響はない、事後調査は実施しない」としているが、甲府市北部及び湯村地域における温泉では、掘削や採取の深度に差があり、利用方法についても、自然湧出、動力装置（地上式、水中ポンプ）の利用等幅があることから、工事の着手に先立ち十分な実態把握を行うとともに、継続的な監視を事後調査に位置付け、温泉への影響の早期把握に努めること。</p> <p>なお、調査期間は、工事の影響が把握されるまでに時間的なずれ等が生じる可能性を考慮して設定すること。</p>	<p>温泉の現状については、事業着手前に掘削や採取の深度、利用方法等の実態把握を行います。</p> <p>また、山梨県条例第 4 6 条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>c) 方法書知事意見 2.4.1 関係 ア) 周辺井戸調査の位置付け 工事に伴い実施する「周辺井戸調査」については、事後調査として評価書に記載すること。</p>	<p>計画路線の周辺井戸については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>イ) 1号トンネル扇状地堆積物部における環境影響の把握 5.3.1 環境保全措置の検討 (P.8-5-25) 及び5.1.4 事後調査 (P.8-5-25) において、それぞれ、環境保全措置及び事後調査は行わないとしており、表8-5-7 予測結果の概要において「1号トンネル扇状地堆積物部では、工事中の地下水の状況を観測し、その結果を施工の方法に反映させる方法により工事を施工することで影響を低減することができると考えられる」(P.8-5-24) として環境影響が把握されていないが、当該工事の内容は地下水の変化の程度(影響の不確実性)を考慮し、工法の変更等を行うものであることから、当該工法については、環境保全措置及び事後調査に位置付けること。</p>	<p>1号トンネル扇状地堆積物部の地下水の変化については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 甲府市北部地域における地下水の流動方向等についての検証</p> <p>図 8-5-6 ボーリング孔地下水位</p> <p>(P. 8-5-12) の地点 B-4 と B-5 は、太良ヶ峠火山岩 (Ta) により分断されているとし、太良ヶ峠火山岩の存在は現地の露頭により確認されているが、事業の実施による計画路線周辺の地下水の流動の状況を把握することは重要であることから、次の内容を含む検討結果を評価書に記載すること。</p> <p>併せて、同様の検討を事後調査に位置付け、調査結果及びその結果に基づいて新たに講じた環境保全措置の検討の経緯及び効果を事業実施中及び実施後の手続きにおいて明らかにすること。</p> <p>a) 工事に伴い行ったボーリング調査のデータ (水位を含む)</p> <p>b) 水位の観測されたボーリング孔においては水位を連続観測</p> <p>c) 周辺井戸調査のデータ、ボーリング調査のデータを用いて地下水の流動解析を行った結果 (地下水の流動解析については、地層の構造と地下水位の空間分布を把握することにより可能である。)</p>	<p>地下水の変化については、山梨県条例第 4 6 条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p> <p>また、必要に応じて事業着手までに地下水の流動解析を行います。</p>
<p>3) 環境保全措置の検討</p> <p>地下水等に枯渇や水位低下等の影響が確認された場合は、事業との因果関係が不明確な場合であっても、県及び管轄する市町村に対して速やかに情報提供を行うとともに、工事との関連性について検証を行う旨、評価書に記載すること。</p>	<p>地下水等に枯渇や水位低下等の影響が確認された場合は、県及び管轄する市町村に対して速やかに報告を行うとともに、工事との関連性が明らかになった場合は、適切な措置を講じます。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>4) 事後調査</p> <p>地下水（温泉を含む）の予測については、不確実な部分が多いことから、工事による影響を把握するため、次の内容を含む継続的なモニタリング調査を実施し、中間報告書及び完了報告書に結果を記載する旨を評価書に記載すること。</p> <p>a) トンネル掘削による地下水及び小河川等の水資源への影響については、事業実施前のできる限り早い時期から、水位、流量、水質等の経時的な変化を観測すること。</p> <p>b) トンネル工事に伴う浸出水についても水量及び水質を確認し地下水質の変化を把握すること。</p>	<p>地下水の変化については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p> <p>また、周辺河川の水位、流量、水質等の変化及びトンネル工事に伴う浸出水の水量、水質、地下水質の変化を把握し、著しい変化が生じた場合は関係機関と協議の上、必要な改善策を講じます。</p>

7. 土壌汚染

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) トンネル掘削に伴う発生土の管理及び記録の作成</p> <p>トンネル掘削に伴う発生土については、酸性雨や酸化等による有害物質の流出等、発生土の保管、処分等に起因する土壌汚染を防止するため、次のことを評価書に記載すること。</p> <p>a) 有害物質の含有状況等の把握</p> <p>トンネル掘削に伴う発生土の処分方法に関わらず、発生土に含まれる有害物質の含有試験及び溶出試験を定期及び地質的な変化を確認した時点において実施するとともに、有害物質の含有又は溶出が確認された発生土については、搬出先、搬出量、搬出先での利用内容等の記録を作成すること。</p>	<p>トンネル掘削に伴う発生土については、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて搬出先・保管場所における汚染防止措置を行います。</p> <p>また、事業の実施段階で土壌汚染対策法に基づく溶出量基準・含有量基準を超過していることを確認した場合は、関係機関と協議の上、必要な改善策を講じます。</p>
<p>b) 搬出先及び保管場所における汚染防止措置の実施</p> <p>トンネル掘削に伴う発生土の保管、仮置き（一時保管）、処分を行う場所については、時間の経過に伴う酸化等により溶出した有害物質によって、周辺河川、地下水及び土壌が汚染されないよう、措置を講ずるとともに、定期的に浸出水の検査を実施すること。</p>	
<p>c) 土壌汚染対策法で定める有害物質の含有又は溶出の基準を超過した場合の対応</p> <p>溶出量又は含有量が土壌汚染対策法で定める基準を超過していることを確認した場合は、速やかに同法に規定する自主申請（土壌汚染対策法第14条関係）を行うこと。</p>	

8. 動物・植物・生態系

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映</p> <p>a) 湧水池等の生物への地下水位の変化による影響（方法書知事意見 3.1.3）</p> <p>今回の調査を通して明らかとなった、「土壌水に変化が生じるおそれがある」ため地下水の観測を行うこととした地点及び当該地周辺における水生生物等の状況について評価書に記載すること。</p>	<p>「土壌水に変化が生じるおそれがある」ため地下水の観測を行うこととした地点及び当該地周辺における水生生物等の状況については、評価書資料編に記載しました。</p>
<p>b) オオタカの生息環境の保全に係る措置の検討（方法書知事意見 3.1.2）</p> <p>都市計画決定権者は、オオタカの生息及び営巣に係る環境保全措置として、「表 8-8-27 環境保全措置の検討（P. 8-8-77）」において、「工事工程の検討及び段階的な土地の改変」と「低騒音型・低振動型機械の使用」を掲げ、これらの措置については、「実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される」として、措置の効果を検証しないこととしている。しかし、措置の効果については地域差及び個体差等を考慮する必要があり、これまで事業者が実施した調査結果及び一般的な工事工程とオオタカの営巣に配慮した工事工程の比較により、影響の低減の程度を検証すること。</p>	<p>オオタカについての環境保全措置のうち「工事工程の検討及び段階的な土地の改変」については、「環境保全措置の効果の不確実性がある」ことから、事後調査を実施することとしています。</p> <p>営巣木周辺の工事においては、「超低騒音型」の建設機械の導入を検討します。「低振動型機械」については、バイブロハンマを想定しており、営巣木周辺の工事において、導入の検討を行います。これらの内容については、評価書第 8 章第 8 節 8-8-77 頁に記載しました。</p> <p>なお、営巣地毎の環境保全措置については、希少種の保護の観点から別冊に取りまとめ提出します。</p>
<p>また、「低騒音型・低振動型機械の使用」に関し、「低騒音型」については、公共事業での使用が原則化されている事を考慮し、「超低騒音型」の建設機械の導入を検討すること。</p>	
<p>また、「低振動型機械」については、営巣地付近の工事において導入可能なものの一覧を添付すること。</p>	
<p>なお、措置の効果については営巣地毎に検証することとし、検討の過程及び結果を評価書に記載すること。（希少種であることから別冊可）</p>	
<p>「表 8-8-29(3)及び(4) 検討結果の整理（P. 8-8-79）」には、本意見を反映した記載に修正すること。</p>	

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>c) 新たに確認した希少種に対する環境保全措置の検討（方法書知事意見 3.1.4）</p> <p>ア) キクガシラコウモリ</p> <p>環境保全措置として設置される、ボックスカルバートの設置位置、構造、当該対象種を誘引するための措置、人の影響等について詳細に明らかにすること。</p>	<p>キクガシラコウモリについては、事業着手までに環境保全措置の具体的な検討を行います。</p> <p>クマタカについては、現地調査で飛翔は確認されましたが、計画路線近傍に営巣地がないことから、行動圏解析は実施していません。</p> <p>ミゾゴイについては、確認地点が改変部より250m以上離れていることから準備書において予測対象から除外しましたが、事業着手までに</p>
<p>イ) クマタカ</p> <p>対象事業実施区域と当該対象種の行動圏との関連について明らかにし、影響が危惧される場合にあっては、環境保全措置の検討を行うこと。</p>	<p>計画路線周辺での営巣の有無及び当該種の行動圏と当該事業区域の関係性について確認を行うとともに、必要に応じて環境保全措置の検討を行います。</p>
<p>ウ) ミゾゴイ</p> <p>事業計画区域の隣接地で確認された当該種については、確認された時期から、当該種が事業計画区域の一部を営巣等に利用していることが推察されることから、事業着手までの間に、営巣の有無及び当該種の行動圏と当該事業区域の関係性について確認し、影響が危惧される場合においては、環境保全措置の検討を行うこと。</p>	

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>d) 生態系の調査・予測手法の確認 ア) 予測手法の確認</p> <p>生態系の予測及び評価については、事業者は国総研資料第393号及び第394号の調査手法に基づき実施するとしているが、予測の過程を確認することができないため、検討の過程及び結果が明らかになるよう関連資料を評価書に追加記載すること。</p> <p>なお、当該手法と異なる予測手法を取り入れている場合は、参考とした資料の名称、引用ページ、引用した理由について評価書に記載すること。</p>	<p>生態系の予測及び評価については、国総研資料第393号及び第394号の調査手法に基づき実施しています。</p> <p>なお、生態系の予測の過程については、関連資料を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>イ) 確認に当たっての留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定量的な評価を求めた方法書知事意見(3.1.1及び3.2.1)の当該予測結果への反映について、その検討の経緯及び結果を明らかにすること。 ・土地等の改変により直接影響を受ける範囲及びその周辺地域の状況を図示するとともに、改変面積をもとに、生育基盤の消失や縮小の程度を把握すること。移動経路の分断については、移動障害が生じる区間を把握し整理すること。(国総研資料第393号P.13-64,65) ・土地等の改変面積及び全体面積の算出根拠を明らかにすること。その際、事業者が管理可能な区域の面積についても併せて記載すること。 	<p>生態系の予測では、土地等の改変により直接影響を受ける範囲及びその周辺地域の状況を改変面積をもとに、注目種等の生息・生育基盤の消失や縮小の程度として把握しました。また、キツネについては、現地調査での確認位置等から移動障害が生じる区間を把握し、評価書第8章第10節8-10-42に記載しました。</p> <p>土地等の改変面積及び全体面積の算出根拠及び移動障害が生じる区間を、評価書資料編に記載しました。</p> <p>なお、生態系に関する環境保全措置の実施事例を評価書資料編に記載しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全措置の検討においては、実施事例及び当該措置の成功率等を明らかにすること。 	

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 実効性のある環境保全措置の検討</p> <p>a) 動物及び植物の環境保全措置の検討 (P. 8-8-76 及び 8-9-36) の経緯 (設置位置、構造、利用が想定される範囲、影響を受ける個体等の行動範囲等との関連性等) について、具体的に内容を整理した資料を評価書に添付すること。</p> <p>b) 具体的な環境保全措置用の実施例を示すこと。</p> <p>c) 保全対象に印を付ける等、作業員に明確に周知すること。</p>	<p>動物及び植物の環境保全措置については、事業実施段階で具体的な検討を行います。</p> <p>また、環境保全措置の実施事例を評価書資料編に記載しました。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、保全対象種の保護について、作業員への周知徹底を図ります。</p>
<p>3) 動物及び植物に係る事後調査の実施</p> <p>a) 事後調査の必要性</p> <p>動物及び植物に係る環境保全措置の検討の内容が定性的で、「予測の不確実性が小さい」と結論付けた理由が明らかではないことから、事後調査を行うこととし、その旨を評価書に記載すること。</p>	<p>動物及び植物については、山梨県条例第 4 6 条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>b) 事後調査の結果により環境影響が著しいと判明した場合の対応</p> <p>動物 (P. 8-08-81) 及び植物 (P. 8-09-39) において、「著しい影響が生じた場合」としているが、「環境影響が著しい」と判断するための具体的手法及び考え方を明らかにすること。</p> <p>同様に「必要に応じて適切な措置を講じる」についても、事例を引用するなどして、想定される影響に対する具体的な措置等を評価書に記載すること。</p>	<p>事後調査の結果による環境保全措置の実施要件を「著しい影響が生じた場合」として準備書に記載している動物、植物及び生態系については、事業実施による生息・生育環境の大幅な変化等が明らかになった場合を保全措置の実施要件とする旨を評価書第 8 章第 8 節 8-8-81 頁、第 9 節 8-9-39 頁及び第 10 節 8-10-105 頁に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>c) 事後調査等の公表の方法</p> <p>事業実施中の調査結果等の公表については、事業が長期間に及ぶ事に鑑み、工区毎の作業工程等を基に検討すること。</p> <p>事業実施後の公表時期については、東区間と連結後に計画交通量に達した時点、もしくは交通量が概ね安定した時点を目安とするが、関連する環境影響評価項目に係る事後調査及び環境保全措置の進捗状況を勘案しつつ詳細については関係機関と協議すること。</p>	<p>事業実施中及び事業実施後の調査結果等の公表時期については、環境影響評価項目に係る調査及び環境保全措置の進捗状況を勘案しつつ、関係機関と協議することとします。</p>
<p>4) 生態系の調査、予測及び評価の手法</p> <p>a) 地域を特徴づける生態系の区分</p> <p>ア) 表 8-10-2 地域を特徴づける生態系の区分及び概況 (P. 8-10-03) に記載されている、各生息・生育基盤及びそれぞれに分布する主要な動植物について検討の経緯を評価書に記載すること。(国総研資料第 393 号 (P. 13-50))</p>	<p>地域を特徴づける生態系の区分及び概況に記載されている、各生息・生育基盤について、それぞれに分布する主要な動植物を記載しました。</p> <p>また、各生態系区分が該当する生息・生育基盤については、注目種等の分布状況、行動圏及び集水域等地形的な要因等を考慮した区分としました。</p>
<p>イ) 同表の各生態系区分が該当する生息・生育基盤については、注目種の分布状況、行動圏及び集水域等地形的な要因等を考慮した区分に再構成し、再度区域および面積が明らかになるよう整理し、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること</p>	<p>予測は、生態系区分と対象道路事業実施区域を重ね合わせ改変面積を算出するとともに、移動経路の分断について検討を行いました。なお、改変面積の算出根拠として計画路線の明かり部等区域毎の内訳を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>b) 予測対象時期</p> <p>P. 8-10-39 の記載からは、予測時期を想定することはできないため、「(10.1.2 2) 予測地域及び予測地点 (P. 8-10-39)」の見直しを行い、具体的な予測地点を明らかにした上で(箇所毎に位置図、作業範囲、道路、構造物等が記載された図面を作成すること)、工事等の内容を整理し、予測対象時期を評価書に記載すること。</p>	<p>河川生態系への影響についても、土地等の改変を行う区域及び保全される区域を明示するとともに、濁水による環境影響の検討を行い評価書資料編に記載しました。</p>
<p>c) 河川生態系への影響</p> <p>ア) 土地等の改変を行う区域及び保全される区域を明示すること。</p>	
<p>イ) 濁水による環境影響の把握及び濁水流出時の河川の状況について検討すること。</p>	

9. 風景・景観

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映</p> <p>a) 地域の景観との調和等（方法書知事意見 4.1.1）</p> <p>事業による建造物の出現や植樹、法面緑化による地域景観への影響について、都市計画決定権者は、「フォトモンタージュの作成により、地域の景観との調和に配慮し、検討を実施した（「第8章 第11節 景観」参照）」としているが、当該事項に係る検討経緯及び検討結果が記載されていないことから、その判断基準及び複数案の比較検討の経緯及び結果について明らかにし、評価書に記載すること。</p>	<p>景観については、現段階において橋梁形式等が確定していないことから、複数案の比較検討等については、事業実施段階で検討します。</p> <p>なお、景観については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>b) 地域住民及び観光客等の視点に立った予測地点（視点場）の選定</p> <p>方法書知事意見（4.1.2 及び 4.1.3）等において地域住民の視点に立った予測地点（視点場）の選定を求めたところであるが、別表に掲げる視点場等を参考として地域住民の視点に立った視点場の追加を検討すること。</p> <p>なお、別表の視点場等については再度現地確認を行い、追加する必要があるか検討し、追加しない場合にはその理由について、評価書に一覧表として明らかにすること。</p> <p>また、視点場の数についても、当該施設の影響の程度や周辺の状況を考慮し、柔軟に対応すること。</p>	<p>知事意見の別表に掲げる視点場等を参考として地域住民及び観光客等の視点に立った視点場の追加を行い評価書第8章第11節 8-11-46～79 頁に記載しました。</p>
<p>c) 建造物の出現について</p> <p>本事業により新たに出現するインターチェンジ等の主要部分の構造等が把握できる視点場を追加すること。</p>	<p>本事業により新たに出現するインターチェンジ等の主要部分の構造等が把握できる視点場を追加し、評価書第8章第11節 8-11-46～79 頁に記載しました。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 景観に係る環境影響評価の手法</p> <p>a) 選定された手法の実施</p> <p>景観の調査、予測及び評価の手法として選定した国総研資料第 396 号に記載されている事項を確実に実施し、当該事業による環境影響が適切に把握されるよう手法を再確認すること。</p>	<p>景観の調査、予測及び評価の手法は、国総研資料第 396 号に記載されている事項を実施し、当該事業による環境影響を適切に把握しました。</p>
<p>b) 関連する環境影響評価の項目との調整</p> <p>人と自然との触れ合い活動の場として選定した予測地点においては、快適性の変化の程度を明確にするため、景観の視点場として選定し、対象事業による景観の変化の程度を明らかにすること。</p>	<p>人と自然との触れ合い活動の場として選定した予測地点のうち、計画路線が視認される地点については、景観の項目においてフォトモンタージュによる視覚的な表現方法による予測等を実施し、評価書第 8 章第 11 節 8-11-48～49、8-11-62～63、8-11-64～65 頁に記載しました。</p>
<p>c) 確認限界距離外に位置する視点場の再検証</p> <p>都市計画決定権者が予測手法として用いている国総研資料第 396 号において、調査範囲については、確認限界距離を考慮し選定することとされているが、視点場として設定した次の地点については、対象事業の道路構造物の高さを勘案した場合、確認限界距離を超えていることから再検討すること。</p> <p>なお、国総研資料第 396 号 (P. 14-7) において把握すべき範囲の目安としている確認限界距離 3 km は、構造物の高さは 5.0 m の場合である。</p> <p>ア) 図 8-11-2 予測地点 a (主要眺望点) 上積翠寺温泉</p> <p>イ) 図 8-11-2 予測地点 b (主要眺望点) 梅の里公園</p> <p>ウ) 図 8-11-2 予測地点 c (日常的視点) 愛宕山スカイライン</p> <p>エ) 図 8-11-2 予測地点 h (日常的視点) 国道 20 号</p>	<p>視点場として設定した次の地点についても、計画路線が視認できることから予測地点として選定し、その結果を評価書第 8 章第 11 節 8-11-24～27、8-11-32～33、8-11-42～43 頁に記載しています。</p> <p>ア) 図 8-11-2 予測地点 a (主要眺望点) 上積翠寺温泉</p> <p>イ) 図 8-11-2 予測地点 b (主要眺望点) 梅の里公園</p> <p>ウ) 図 8-11-2 予測地点 c (日常的視点) 愛宕山スカイライン</p> <p>エ) 図 8-11-2 予測地点 h (日常的視点) 国道 20 号</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>d) 個別の視点場の検討（一橋陣屋跡前） 一橋陣屋跡前については、画角を狭くしたことにより、周囲の状況及び景観への影響を十分把握することができない。当該地の状況をできるだけ分かりやすく伝えるよう工夫すること。</p>	<p>一橋陣屋跡前については、画角を広くし評価書第8章第11節8-11-41頁に記載しました。</p>
<p>e) 物理的指標の解析方法による検討 予測において、都市計画決定権者が眺望景観の変化の程度を表す手法として用いている国総研資料第396号（P.14-20～23）の考え方を示すに当たり、国総研資料第396号表-14.8物理的指標の解析方法（P.14-23）の内容についての検討経緯が示されていない理由を評価書に記載すること。</p>	<p>予測において眺望景観の変化の程度を表す手法として用いている物理的指標の解析方法の内容について、検討経緯を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>f) 事業により景観への影響が及ぶ範囲 高架橋や橋梁について、「表8-11-6視覚に関する物理指標（国総研資料第396号（P.14-22））「表-14.7視覚に関する物理的指標の例）」に示される景観への影響が及ぶ範囲を検討すること。</p>	<p>景観の予測地点については、「視覚に関する物理指標」に示される景観への影響が及ぶ範囲を踏まえた上で設定しています。</p>
<p>3) 分かりやすい表記 都市計画決定権者が作成したフォトモンタージュは、写真が小さく、また、周辺の状況及び構造物の形状等が十分に確認することができないことから、住民が見やすいサイズ（A3版横程度）に拡大し評価書に添付すること。 その際、撮影条件（撮影日、撮影時の天候、視程、使用カメラ、レンズ焦点距離、35mmフィルム換算焦点距離）を記載すること。</p>	<p>フォトモンタージュについては、住民が見やすいサイズに拡大し評価書第8章第11節8-11-26～79頁に記載しました。 また、撮影条件についても評価書第8章第11節8-11-26～79頁に記載しました。</p>

10. 人と自然との触れ合い活動の場

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 景観の変化についての検証</p> <p>a) 調査 (P. 8-12-04~15)</p> <p>対象事業実施区域に隣接する予測対象(塚原集落、桜井散策路)については、当該事業との関連を把握するため、特に次の地点においては、適切な縮尺(1/5,000~1/10,000程度)の地形図を用い、対象事業と予測地点の位置関係及び構造物が視認される範囲にあるかどうかを明らかにするとともに、表8.12.3(1)~(2)及び表8.12.4(1)~(10)の内容を修正すること。</p> <p>ア) 表8-12-3 地点番号4 荒川サイクリングロード</p> <p>イ) 表8-12-3 地点番号5 矢木羽湖</p> <p>ウ) 表8-12-3 地点番号6 桜井町桜・里山管理</p> <p>エ) 表8-12-3 地点番号7 桜井町散策路</p> <p>オ) 表8-12-3 地点番号12 団子新居散策路</p> <p>カ) 表8-12-3 地点番号15 花の咲く丘</p>	<p>対象事業実施区域に隣接する次の地点においては、対象事業と予測地点の位置関係及び構造物の視認の有無について評価書第8章第12節8-12-17頁に記載しました。</p> <p>ア) 表8-12-3 地点番号4 荒川サイクリングロード</p> <p>イ) 表8-12-3 地点番号5 矢木羽湖</p> <p>ウ) 表8-12-3 地点番号6 桜井町桜・里山管理</p> <p>エ) 表8-12-3 地点番号7 桜井町散策路</p> <p>オ) 表8-12-3 地点番号12 団子新居散策路</p> <p>カ) 表8-12-3 地点番号15 花の咲く丘</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 予測手法 (P. 8-12-16~18)</p> <p>次の点を考慮した予測手法について再検討し、その検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>ア) 準備書に記載した予測手法(国総研資料第398号(P. 15-16))により明らかにすべき事項(例えば、自然資源への影響の図上解析(土地改変位置、面積、延長等)、インター直近部分等における、フォトモンタージュ等の視覚的な表現方法による予測等)について予測を行い、表8-12-6(1)~(12)に追加記載すること。</p>	<p>人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点の内、計画路線が視認される地点については、景観の項目においてフォトモンタージュによる視覚的な表現方法による予測等を実施し、評価書第8章第11節8-11-48~49、8-11-62~63、8-11-64~65頁に記載しました。</p>
<p>イ) 利用性の変化(P. 8-12-16)の「(a)主要な触れ合い活動の場の利用性の変化」、「(c)快適性の変化」については、予測手順に具体性がなく、検証できない。特に変化の程度の方針について都市計画決定権者の「判断基準」を明らかにすること。(国総研資料第398号(P. 15-16))</p>	<p>「主要な触れ合い活動の場の利用性の変化」については、活動の場の利用の支障の有無、支障が生じる箇所等を把握するとともに、利用人数の変化について予測しました。</p> <p>また、「快適性の変化」については、主要な触れ合いの活動の場から認識される近傍の風景の変化が生じる位置・程度を予測しました。</p>
<p>ウ) 表8-12-4(1)~(10)調査結果(P. 8-12-6~15)中の利用環境の記載については、「主要なふれあい活動の場」を取り巻く自然資源と景観上の特性が把握されていないため、当該地からの周辺景観及び対象事業を含む景観等について検討すること。(国総研資料第398号(P. 15-12))</p>	<p>人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点のうち、計画路線が視認される地点については、景観の項目においてフォトモンタージュによる視覚的な表現方法による予測等を実施し、評価書第8章第11節8-11-48~49、8-11-62~63、8-11-64~65頁に記載しました。</p>
<p>c) 予測結果(P. 8-12-19~24)</p> <p>予測は、次の点に考慮した環境影響の把握及び保全対策の検討に基づいて行い、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>ア) 表8-12-6(3)荒川サイクリングロード終点(金石橋)付近における、インターチェンジと橋梁が景観上圧迫感を与える範囲及び景観の変化を明らかにすること。</p>	<p>「荒川サイクリングロード」、「桜井町散策路」及び「矢木羽湖」については、景観の項目においてフォトモンタージュ等により眺望景観の変化を予測し、評価書第8章第11節8-11-48~49、8-11-62~63、8-11-64~65頁に記載しました。</p> <p>また、「塚原集落(ホタルの里)」におけるインターチェンジ部に設置される夜間照明の影響については、動物の項目において予測し、評価書第8章第8節8-8-79頁に記載していません。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>イ) 表 8-12-6(4) 矢木羽湖については、牛匂 I C から 250m 離れていることを理由に、快適性の変化はないとしているが、I C 方向の延長には甲府盆地及び富士山が眺望されることから、影響の程度について景観の評価手法等を参考に再度予測を実施すること。</p>	<p>※前頁に記載</p>
<p>ウ) 表 8-12-6(5) 桜井町桜・里山管理については、近傍景観として西関東連絡道路、北区間と東区間の接合部分の橋梁があり、当該予測地点へのアクセス道路からは甲府盆地の眺望が可能であることから、こうしたことを考慮した予測を行うこと。(主務省令第 10 条第 3 項関係)</p>	
<p>エ) 表 8-12-6(6) 桜井町散策道については、事業計画地が視認されることとなるのでフォトモンタージュ等により眺望景観の変化を予測すること。</p>	
<p>オ) 表 8-12-4(8) 塚原集落 (ホテルの里) については、塚原 I C に隣接しているため、I C に設置される夜間照明の影響が懸念される。動物に対する環境保全対策 (P. 8-8-78) の中でも、当該予測地点における照明の影響について他事例等を引用する中で検討すること。(国総研資料第 398 号 (P. 15-17))</p>	
<p>カ) 表 8-12-4(12) 花の咲く丘については、計画路線から約 50m の位置にあり、当該地からの南アルプスの眺望への影響が懸念されることから、表 8-12-4 (10) の調査結果の概要に写真撮影に用いられる地点であることを記載するとともに当該事項を考慮した影響の把握及び検討を行うこと。</p>	

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>キ) 昇仙峡ラインとの交差点（未選定地点）については、専門家による技術的助言（P.7-24）において「昇仙峡に向かう観光客等、不特定多数の目に触れる区域であることから、その影響について特に配慮すること」が求められている。当該地点を予測地点に追加し、国総研資料第398号（P.15-16）に基づきフォトモンタージュ等の視覚的な表現手法により予測すること。</p>	<p>県道甲府昇仙峡線は、昇仙峡への主なアクセスルートであるが、自動車での利用がほとんどであることから、当該地点を「人と自然との触れ合いの活動の場」としては選定せず、景観の評価地点として選定し、景観の項目においてフォトモンタージュ等により眺望景観の変化を予測し、評価書第8章第11節8-11-60～61頁に記載しました。</p>
<p>d) 環境保全措置の検討（P.8-12-24） 環境保全措置の内容及び効果は、事例引用やフォトモンタージュを使用して具体的な内容とするとともに、複数案の比較検討を行い、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。（国総研資料第398号（P.15-19））</p>	<p>予測結果より、事業によって主要な触れ合い活動の場及び自然資源が大きく改変されることは無く、利用性及び快適性も低下しないと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとなりました。</p>
<p>e) 事後調査（P.8-12-25） 都市計画決定権者は、「予測結果の不確実性が小さい」とし、事後調査を行わないこととしているが、当該項目に係る予測結果は定性的であり、かつ、検討経緯が不明であることから不確実性が小さいとはいえない。このため、当該項目を事後調査の項目に位置付け、予測結果の検証を行い、その結果を事業実施中及び実施後の手続きにおいて明らかにすること。</p>	<p>人と自然との触れ合いの活動の場については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

11. 廃棄物等

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映</p> <p>a) 建設発生土の再利用について(知事意見 5.1.1)</p> <p>ア) 表 8-13-1 (P. 8. 12-2) に記載された廃棄物等の算出根拠を評価書に記載すること。</p>	<p>廃棄物等の算出根拠を評価書資料編に記載しました。</p>
<p>イ) 建設発生土の処理に係る予測結果の内容は、一般的な残土処理の流れであり、当該事業との関連(発生量及び処分先の配分等)について説明されたものではないことから、当該建設発生土処理の考え方に基づき本事業が実施された場合の処理の状況及び見込みについて、評価書に記載すること。</p>	<p>具体的な建設発生土の処理方法については、事業実施段階で検討を行います。</p>
<p>ウ) 発生土の処理に係る事後調査(P. 8-13-5)については、定量的な検討が行われておらず、事業者が主張する「予測の不確実性は小さい」ことを検証することができないことから、検討の経緯を明らかにすること。</p>	<p>具体的な建設発生土の処理方法については、事業実施段階で検討を行います。</p> <p>なお、廃棄物等については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>
<p>エ) 建設発生土については、下請け業者による自由処分の有無を明記し、自由処分がある場合は対応方針を明らかにすること。</p>	<p>下請け業者による自由処分を想定していません。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>b) 建設リサイクル推進計画との整合（方法書知事意見 5.1.2）</p> <p>方法書知事意見（5.1.2）において、「事業は、『建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律』の『対象建設工事』に該当する。同法第16条によりアスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等の再資源化等（再資源化及び縮減）を行う義務がある廃棄物等を含め、発生する廃棄物の種類毎に、発生抑制、再資源化等の具体的な対策とそれを採用する理由を示し、廃棄物の発生量、再資源化量、搬出量及び最終処分量等を一般的な工法及び類似事例の引用等により定量的に予測・評価し、その結果を準備書に記載すること」を求めたが、「表 8-13-2 建設リサイクル推進計画の目標値（P. 8-13-3）」のみの記載である。表 8-13-2 に記載された廃棄物の適正処理にむけて、次の点が明らかになるよう定量的に検討し、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。</p> <p>ア) 発生する廃棄物の種類毎に、発生抑制、再資源化等の具体的な対策とそれを採用する理由を記載すること。</p> <p>イ) 廃棄物の発生量、再資源化量、搬出量及び最終処分量等を一般的な工法及び類似事例の引用等により定量的に予測・評価すること。</p>	<p>具体的な廃棄物等の処理方法等については、事業実施段階で検討を行います。</p> <p>また、廃棄物等については、山梨県条例第46条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>2) 廃棄物の予測に係る資料の整理</p> <p>a) 調査結果</p> <p>ア) 県内の処理施設の状況を取りまとめた、「表 4-2-49 産業廃棄物処分業者 (P. 4-2-91)」については、当該処分業者の選定理由と事業実施時の処分先の選定の考え方を記載すること。また、選定した産業廃棄物処分業者の処理可能物と事業により発生する廃棄物の関連と特別管理産業廃棄物処分業者に搬出を想定している廃棄物を明らかにすること。</p> <p>イ) 処理能力と処理可能な廃棄物の種類の関連が不明であることから、処理可能品目等と当該事業の関連について記載すること。</p>	<p>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺概況においては、計画路線から概ね 3 km の範囲にある廃棄物処分業者を抽出しました。具体的な廃棄物等の処理方法等については、事業実施段階で検討を行います。</p>
<p>b) コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊 (P. 8-13-2)</p> <p>コンクリート塊とアスファルト・コンクリート塊の定義について注釈を追加すること。</p>	<p>コンクリート塊とアスファルト・コンクリート塊の定義について注釈を評価書第 8 章第 13 節 8-13-1 頁に記載しました。</p>
<p>c) 建設発生木材 (P. 8-13-3)</p> <p>ア) 建設発生木材については、立木の伐採により発生する木材とそれ以外の木材を分けて記載するとともに、「再資源化できない建設発生木材」の種類、性状及び量を評価書において明らかにすること。</p> <p>イ) コンクリート養生等建設現場から発生したベニヤ板、標識杭等の木材及び家屋解体等で発生する木くずは産業廃棄物であり、堆肥化等と称して現地で敷き込み等を行った場合は不法投棄となることから、適正処理を図る旨を記載すること。</p> <p>ウ) P8-13-3 に記載したマルチング材、育成基盤材、堆肥とすることができ、かつ「再資源化できない建設廃棄物」に該当する廃棄物の発生過程及び性状を評価書において明らかにすること。</p>	<p>建設発生木材については、立木の伐採により発生する木材とそれ以外の木材を分けて評価書第 8 章第 13 節 8-13-2 頁に記載しました。</p> <p>また、コンクリート養生等建設現場から発生するベニヤ板、標識杭等の木材については、適正処理を図る旨を評価書第 8 章に記載しました。</p> <p>なお、マルチング材、育成基盤材、堆肥として再資源化を図る発生木材は、立木の伐採により発生する木材を想定しています。</p>

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>3) 環境保全措置の検討</p> <p>a) 表 8-13-3 環境保全措置の整理 (P. 8-13-4) において「…の発生量を回避低減できる。」としているが、当該結論に至るまでの具体的な検討の経緯及び保全措置の効果が示されていないため、検討の経緯及び結果を評価書に記載すること。 また、当該措置の検討において、回避に相当する措置の検討は行われていないことから、評価書において記載を修正すること。</p> <p>b) 作業員（下請け業者）に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うこと。</p> <p>c) 具体的な排出抑制計画の方策を定める検討方針を示すこと。</p>	<p>建設発生土については、発生量のうち約 15%を事業実施区域内の盛土材として再利用し、残土量についても、「建設発生土情報交換システム」による工事間利用を行う旨を評価書第 8 章第 1 3 節 8-13-2 頁に記載しています。 アスファルト・コンクリート塊については、再生アスファルト合材等に加工し、再資源化を図るとともに、再利用できないものについては、関係法令に基づいて適正に処理・処分します。 建設発生木材については、再資源化施設へ搬入する等により再資源化を図り、再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分します。</p> <p>また、事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うとともに、具体的な排出抑制計画を策定します。</p>
<p>4) 事後調査</p> <p>当該環境影響評価の項目に係る検討は定性的であり（発生する廃棄物の定義、算出根拠、処理施設の能力、廃棄物の削減対策、他事業への搬出等に具体性がない）、検討の経緯、処分先の能力と発生量のバランス、廃棄物の発生抑制対策について定量性が認められず、予測の結果は「不確実性が小さい」とは言えないことから、事後調査を実施し廃棄物の発生状況等について予測結果の検証を行うこと。</p>	<p>廃棄物等については、山梨県条例第 4 6 条に基づき、事業の実施中及び実施後において環境の状況及び環境の保全のための措置の実施状況を把握するために、中間報告書及び完了報告書の作成等の手続きを行います。</p>

12. 温室効果ガス

知事意見	都市計画決定権者の見解
<p>1) 方法書知事意見の反映 準備書において、方法書知事意見 5.3.1 が反映されていないことから、改めて温室効果ガスに係る検討を行うこと。</p> <p>2) 工事中に発生する、温室効果ガスの発生 工事期間が長期間に及ぶことから、工事期間中に発生する温室効果ガスの排出量を見積もり、評価書に記載すること。</p>	<p>温室効果ガスは環境影響評価における単独の道路事業の評価には馴染まないと考えられることから、予測・評価の対象としていません。</p>

注釈) 方法書知事意見に続く数字 (例 1.1、2.1.1 等)

環境影響評価準備書第6章 方法書についての山梨県知事の意見及びそれに対すると計画決定権者の見解 (P.6-1~11) に記載された、知事意見の番号に対応。

※都市計画決定権者の見解に記載の評価書参照頁は、代表的な頁を記載している。

【別表】

個別的事項 9. 風景・景観 1) 方法書知事意見の反映

b) 地域住民及び観光客等の視点に立った予測地点（視点場）の選定 関係

国総研資料第 396 号（P.14-8）に記載される「主要な眺望点」の抽出基準「⑤集落周辺の眺望の良い場所、寺社等地域に密着した眺望の良い場所」に該当すると考えられる地点等の一覧

地点番号	地点の名称	
S-1	甲府市桜井（英和大学東側住宅地入口）	桜井 I C
S-2	甲府市桜井（英和大学北西の果樹園及び桜並木）	桜井 I C
S-3	甲府市桜井（東善寺墓地の西側）	桜井 I C
T-1	甲府市古府中（古府中町第 2 号公園）	塚原 I C
T-2	甲府市塚原町（金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前）	塚原 I C
T-3	甲府市塚原町（2 号トンネル入り口北側の農道）	塚原 I C
K-1	県道 7 号（甲府市山宮 昇仙峡ライン）、県道 101 号（甲斐市牛句 敷島竜王線）、を通過する区間	牛句 I C
K-2	甲斐市牛句（茅ヶ岳東東部広域農道との複合影響が把握できる地点）	牛句 I C
K-3	甲斐市大袋（高原団地 北側の公園付近）	盛土部分
K-4	甲斐市団子新居（太神神社西側）	甲斐 I C
K-5	甲斐市岩森（双葉スポーツ公園の北東端）	甲斐 I C
K-6	甲斐市宇志田（舟形神社北西）	高架部分
K-7	甲斐市宇津谷（県道 6 号 田畑交差点西）	宇津谷交差点
K-8	甲斐市宇津谷（国道 20 号と六反川の交差点付近）	宇津谷交差点
K-9	甲斐市宇津谷塩川端（国道 20 号新田畑交差点南側）	宇津谷交差点
K-10	甲斐市妙善寺墓地西側（市営田畑団地付近）	宇津谷交差点

（参考）国総研資料第 396 号（P.14-4～14-8）

「文献・資料では主要な眺望景観について把握できない場合等には、現地踏査及び関係地方公共団体等へヒアリングを実施すること」としている。

第 14 章 国土交通大臣意見及び都市計画同意権者意見と都市計画決定権者の対応

環境影響評価法第 40 条第 2 項の規定により読み替えて適用される同法第 24 条に基づく環境保全の見地からの国土交通大臣意見及び都市計画同意権者意見とそれに対する都市計画決定権者の対応（補正事項）を表 14-1 に示す。

表 14-1(1) 評価書についての国土交通大臣意見及び都市計画同意権者意見とそれに対する都市計画決定権者の対応

国土交通大臣意見及び都市計画同意権者意見	都市計画決定権者の対応（補正事項）
<p>1. 地下水・温泉について</p> <p>トンネルの掘削工事による地下水位の低下等の影響が懸念される箇所において、工事に当たって当該影響が見られる際には、地下水等への影響の低減効果を含めて施工方法を検討し、確実に対策を実施すること。</p> <p>また、温泉については、今後、継続的なモニタリングを行い、工事中及び供用後の温泉の状況の把握に努めること。</p>	<p>トンネル掘削工事による地下水位の低下等の影響が懸念される箇所において、工事に当たって当該影響が見られる際には、地下水等への影響の低減効果を含めて施工方法を検討し、確実に対策を実施する旨、評価書第 8 章第 5 節 8-5-25 頁に記載しました。</p> <p>また、温泉については、継続的なモニタリングを行い、工事中及び供用後の温泉の状況の把握に努める旨、評価書第 8 章第 5 節 8-5-25 頁に記載しました。</p>
<p>2. 動物について</p> <p>事業実施区域内に繁殖場所となる防空壕で確認されているキクガシラコウモリについて、代償措置を行うこととされているが、その具体的な内容について、これまでの調査結果や専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に措置を実施すること。</p> <p>事業実施区域内で繁殖が確認されているオオタカについて、工事着手前においても繁殖状況の調査を実施し、環境保全措置として繁殖地の近傍において繁殖期間中には工事を実施しない等について、専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に環境保全措置を実施すること。</p> <p>さらに、キクガシラコウモリ及びオオタカについて行った事後調査の結果については適切な時期・方法により公表すること。</p>	<p>キクガシラコウモリの代償措置の具体的な内容については、これまでの調査結果や専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に措置を実施する旨、評価書第 8 章第 8 節 8-8-78 頁に記載しました。</p> <p>オオタカについては、工事着手前において繁殖状況の調査を実施し、環境保全措置として繁殖地の近傍において繁殖期間中に工事を実施しない等について、専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に環境保全措置を実施する旨、評価書第 8 章第 8 節 8-8-78 頁に記載しました。</p> <p>なお、キクガシラコウモリ及びオオタカの事後調査結果については、適切な時期・方法により公表する旨、評価書第 8 章第 8 節 8-8-81 頁に記載しました。</p>

国土交通大臣意見及び 都市計画同意権者意見	都市計画決定権者の対応（補正事項）
<p>3. 景観について</p> <p>秩父多摩甲斐国立公園はわが国を代表する優れた自然の風景地であることから、眺望点から秩父多摩甲斐国立公園が視認できる場合は景観資源として位置づけた上で適切に予測・評価する必要がある。このため、評価書においては、眺望点である「上積翠寺展望地」及び「棚田からの景観」における景観資源として秩父多摩甲斐国立公園を加えるとともに、当該眺望点からの予測及び評価についても秩父多摩甲斐国立公園を盛り込むこと。</p>	<p>眺望点である「上積翠寺展望地」及び「棚田からの景観」については、景観資源として秩父多摩甲斐国立公園を評価書第8章第11節8-11-14～15、8-11-20～21頁に追加するとともに、当該眺望点からの予測及び評価についても秩父多摩甲斐国立公園を評価書第8章第11節8-11-26、8-11-32頁に追加しました。</p>
<p>4. 廃棄物等について</p> <p>トンネル工事に伴い多くの残土が発生することから、採用した環境保全措置の実効性を確認するため、対象事業実施区域外における残土の有効活用にあたっては、工事の実施にあたって搬出先及び搬出先ごとの搬出量を把握すること。</p>	<p>対象事業実施区域外に搬出する残土については、工事の実施に当たり搬出先及び搬出先ごとの搬出量を把握する旨、評価書第8章第13節8-13-6頁に記載しました。</p>
<p>5. 温室効果ガスについて</p> <p>事業実施段階において、温室効果ガス排出量を削減するため、他の道路事業における取組状況を踏まえ、国等による環境物品等の調達等の推進等に関する法律に基づく特定調達品目等の使用等に努めること。また、効率的な施工の実施が建設機械等から排出される温室効果ガスの排出量削減に資することから、地域特性等を踏まえ、温室効果ガスの排出量削減に留意しつつ、効率的な施工計画を策定するよう努めること。</p> <p>また、トンネル内の照明等の施設の省エネ化等を進め、供用時においてもできる限りの温室効果ガスの排出量削減に努めること。</p>	<p>事業実施段階において、温室効果ガス排出量を削減するため、他の道路事業における取組状況を踏まえ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成十二年五月三十一日法律 第百号）に基づく特定調達品目等の使用に努める旨、評価書第3章25頁に記載しました。</p> <p>また、効率的な施工の実施が建設機械等から排出される温室効果ガス排出量の削減に資することから、地域特性等を踏まえ、温室効果ガスの排出削減等に留意しつつ、効率的な施工計画を策定するよう努める旨、評価書第3章25頁に記載しました。</p> <p>さらに、トンネル内の照明等の施設の省エネ化等を進め、供用時においてもできる限りの温室効果ガスの排出量削減に努めることを評価書第3章25頁に記載しました。</p>

第 15 章 準備書の記載事項の修正内容

環境影響評価法第 20 条第 1 項に基づく山梨県知事意見並びに同法第 40 条第 2 項の規定により読み替えて適用される同法第 24 条に基づく国土交通大臣意見及び都市計画同意権者意見等を勘案して環境影響評価準備書の記載事項について検討を加え、評価書において行った修正等を表 15-1-1、15-1-2 に示す。

なお、表現の適正化及び誤字、脱字等の修正については適宜行った。

表 15-1-1(1) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
5 2) 主な連結部	ジャンクション・インターチェンジ及び交差点の位置及び接続道路は、表 3-2-2 に示すとおりである。	ジャンクション・インターチェンジ及び交差点の位置及び接続道路は、表 3-2-2 に示すとおりである。 <u>計画路線は全区間、全車線一斉の供用開始を予定しており、部分供用は予定していない。ただし、今後の社会情勢等の変化により、部分供用することとなった場合は、当該区間の供用による環境影響の程度及び環境保全措置の必要性等について検討を行う。</u>
6 7. 計画交通量	推計結果は図 3-2-4 に示すとおりである。	推計結果は図 3-2-4 に示すとおりである（ <u>計画交通量の算定方法の詳細等については資料編 2.1 章に記載。</u> ）。
10 用語の説明	記載なし	<u>（平均的な高さ約 5m、最も高い地点の高さ約 14m（甲府市桜井町））</u>
10 用語の説明	記載なし	<u>（平均的な深さ約 7m、最も深い地点の高さ約 18m（甲斐市牛匂））</u>
10 用語の説明	記載なし	<u>（平均的な深さ約 4m、最も深い地点の高さ約 8m（甲府市塚原町））</u>
11 用語の説明	記載なし	<u>（平均的な高さ約 13m、最も高い地点の高さ約 26m（甲斐市岩森））</u>
12 1) 工事区分及び想定される工種	本事業の工事は、本線とジャンクション・インターチェンジ部に分けられ、土工、橋梁、トンネルの 3 種類から構成される。工事区分及び想定される工種は、表 3-2-4 に示すとおりである。	本事業の工事は、本線とジャンクション・インターチェンジ部に分けられ、土工、橋梁、トンネルの 3 種類から構成される。工事区分及び想定される工種は、表 3-2-4 に示すとおりである。 <u>（施工計画の詳細等については資料編 2.1 章に記載。）</u>

表 15-1-1(2) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																					
12 1) 工事区分及び想定される工種	トンネル部から発生する土砂等は隣接する事業である「都市計画道路甲府外郭環状道路東区間」に可能な限り流用するものとする。	トンネル部から発生する土砂等は、都市計画対象道路事業実施区域外での仮保管は予定しておらず、隣接する事業である「都市計画道路甲府外郭環状道路東区間」に可能な限り流用するものとする（東区間への流用の計画については資料編2.1章に記載。）。																					
12 1) 工事区分及び想定される工種	記載なし	なお、都市計画対象道路事業実施区域外での土砂の仮保管等を行う場合には、環境影響の程度及び環境保全措置の必要性等について検討を行う。																					
19 4) 工事施工ヤード、工事用道路の設置位置等	4) 工事施工ヤード、工事用道路の設置位置	4) 工事施工ヤード、工事用道路の設置位置等																					
19 4) 工事施工ヤード、工事用道路の設置位置等	工事施工ヤードは計画路線区域内を極力利用する計画である。また、工事用道路は、計画路線区域内及び既存道路を利用する計画である。	工事施工ヤードは計画路線区域内を極力利用する計画である。また、工事用道路は、計画路線区域内及び既存道路を利用する計画である。 工事用車両（搬入搬出車両）は大別すると、掘削土の搬出用等のダンプトラック、鋼材等の資材搬入のトレーラ、トラック及びコンクリート搬入のトラックミキサである。 想定される主な工事用車両の運行ルート及び運行台数は、表 3-2-6 及び図 3-2-11 に示すとおりである（工事用車両の台数の詳細等については資料編 2.1 章に記載。）。 なお、事業実施段階で詳細な運行ルートを選定を行う際には、通学時間帯の運行を極力避ける、学校・病院・住宅地等を極力回避して選定する等の配慮を行う。 また、現時点で使用する計画のない道路を使用する場合には、環境影響の程度及び環境保全措置の必要性等について検討を行う。																					
19 表 3-2-6 工事用車両の運行ルート及び運行台数	【表】 記載なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>道路名</th> <th>1日最大延べ工事用車両台数(往復台数、台/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道140号（西関東連絡道路）</td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>県道甲府山梨線</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>甲府市平瀬町</td> <td>県道甲府昇仙峡線</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>甲斐市半句</td> <td>県道敷島竜王線</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>県道島上条宮久保絵見堂線</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>県道甲府韭崎線</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>※工事用車両が運行する時間は、9:00～12:00、13:00～17:00を計画。</p>	地点	道路名	1日最大延べ工事用車両台数(往復台数、台/日)	甲府市桜井町	国道140号（西関東連絡道路）	650	甲府市古府中町	県道甲府山梨線	230	甲府市平瀬町	県道甲府昇仙峡線	490	甲斐市半句	県道敷島竜王線	150	甲斐市団子新居	県道島上条宮久保絵見堂線	280	甲斐市宇津谷	県道甲府韭崎線	240
地点	道路名	1日最大延べ工事用車両台数(往復台数、台/日)																					
甲府市桜井町	国道140号（西関東連絡道路）	650																					
甲府市古府中町	県道甲府山梨線	230																					
甲府市平瀬町	県道甲府昇仙峡線	490																					
甲斐市半句	県道敷島竜王線	150																					
甲斐市団子新居	県道島上条宮久保絵見堂線	280																					
甲斐市宇津谷	県道甲府韭崎線	240																					
20 図 3-2-11 想定される工事用車両の運行ルート	【図】 記載なし	【図追加】 図 3-2-11 想定される工事用車両の運行ルート																					
21 1) 計画策定に至る検討の経緯（ルート選定に係る検討経緯）	1) 計画策定に至る検討の経緯	1) 計画策定に至る検討の経緯（ルート選定に係る検討経緯）																					
22 図 3-2-12 計画策定に係る検討の経緯	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 図 3-2-12 計画策定に係る検討の経緯																					
23 図 3-2-13 計画策定に係る検討の結果	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 図 3-2-13 計画策定に係る検討の結果																					

表 15-1-1(3) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
25 e) 工事中の水質監視等	記載なし	<p>e) 工事中の水質監視等 <u>工事の施工中の掘削等に伴って発生する工事排水は、濁水やアルカリ排水を河川等の公共用水域に排出しないよう、仮設沈砂池や濁水処理装置等を用いて処理をし、「水質汚濁防止法」(昭和45年12月25日、法律第138号)及び「山梨県生活環境の保全に関する条例」(昭和50年7月12日、山梨県条例第12号)に従い、適切に放流を行う(工事の実施に係る水の濁りに関する検討の結果は資料編2.3章に記載。)</u> <u>なお、事業着手前に周辺の河川等の水質調査を行うとともに、事業実施中に定期的な調査を行う。</u></p>
25 f) トンネル掘削に伴う発生土の管理等	記載なし	<p>f) トンネル掘削に伴う発生土の管理等 <u>トンネル掘削に伴う発生土については、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行う。</u> <u>また、土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条第6項の技術的基準に基づく対応を行う。</u></p>
25 g) 温室効果ガス等の排出削減	記載なし	<p>事業実施段階において、温室効果ガス排出量を削減するため、他の道路事業における取組状況を踏まえ、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(平成十二年五月三十一日法律 第百号)に基づく特定調達品目等の使用に努める。 <u>また、効率的な施工の実施が建設機械等から排出される温室効果ガス排出量の削減に資することから、地域特性等を踏まえ、温室効果ガスの排出削減等に留意しつつ、効率的な施工計画を策定するよう努める。</u> <u>さらに、トンネル内の照明等の施設の省エネ化を進め、供用時においてもできる限りの温室効果ガスの排出量削減に努める。</u></p>
26 3) 環境影響評価準備書手続中に新たに情報提供を行った資料	記載なし	<p>環境影響評価準備書の縦覧後に、予測評価結果の補足等を目的として山梨県知事及び山梨県環境影響評価条例第47条に基づく知事の附属機関である山梨県環境影響評価等技術審議会へ情報提供を行った。 <u>情報提供を行った補足資料等は資料編2.3に記載した。</u></p>
7-5~42 表7-2-1 選定した調査、予測及び評価の手法並びにその理由	(A3頁)	(A4頁に分割)
7-43~44 表7-3-1(1) 専門家による技術的助言	記載なし	<p>専門家の助言を受けた検討・反映結果を記載</p>

表 15-1-1(4) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-1-1 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>二酸化窒素 (NO₂)</u> : 大気中の窒素酸化物の主要成分。物の燃焼で発生した一酸化窒素が空気中で酸化して生成する。 <u>浮遊粒子状物質 (SPM)</u> : 大気中に浮遊する粒子状物質で粒径が 10 マイクロメートル以下のもの。 <u>一般環境大気測定局</u> : 大気の汚染状況や気象について 24 時間観測を行っている測定局のこと。
8-1-4 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>ppm(parts per million)</u> : 微量に含まれている物質の割合を表す単位で、1m ³ の空気中に 1cm ³ の物質が存在する場合の濃度が 1ppm となる。
8-1-5 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>風配図</u> : ある地点の風向の統計的性質を示すために用いられ、各風向別に出現頻度の百分率を線分の長さで示すもの。 <u>静穏</u> : 風速が 0.4m/秒以下の風の状態をいい、このような静穏状態になると汚染物質は拡散せず滞留しやすくなる。
8-1-16 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>プルームモデル</u> : 大気の拡散予測式の一つ。風、拡散係数、排出量等を一定とした時の濃度分布の定常解を求める。計算が比較的容易で、長期平均濃度の推定に適している。定常の場合、濃度の空間分布を求めるのに適している。 <u>パフモデル</u> : 大気汚染の拡散モデルの一つ。時間とともに移送・拡散の状況を予測するモデル。移送・拡散の場を非定常と考え、ある時刻の濃度分布とパフの排出量を初期条件として、次の時刻での移送・拡散を逐次計算方式で求める。気象条件の時間的、空間的变化に近似的に対応が可能。非定常、非均質の場に適用できる。 <u>窒素酸化物 (NO_x)</u> : 窒素酸化物は、空気中で石油や石炭等の物の燃焼、合成、分解等の処理を行うとその過程で必ず発生するもので、燃焼温度が高温になるほど多量に発生する。窒素酸化物は、高温燃焼の過程でまず NO の形で生成され、これが大気中に放出された後、酸素と結びついて NO ₂ となる。この反応はすぐに起こるものではないことから、大気中ではその混合物として存在している。発生源としては、ばい煙発生施設等の固定発生源と、自動車等の移動発生源がある。 <u>煙源</u> : 大気汚染の予測における大気汚染物質の発生源を指す。

表 15-1-1(5) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																				
8-1-22 表 8-1-11 大気質の予測地点	<p>【既存道路】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点 (道路構造)</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>既存道路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)</td> <td>無指定</td> <td>国道 140 号 西関東連絡道路</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 記載なし</p>	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路	桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)	無指定	国道 140 号 西関東連絡道路	<p>【既存道路】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点 (道路構造)</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>既存道路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)</td> <td>無指定</td> <td>国道 140 号 国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注 2) 既存道路は、複合的な予測を行う際 に考慮した道路を示す。</p>	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路	桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)	無指定	国道 140 号 国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間																								
予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路																																				
桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)	無指定	国道 140 号 西関東連絡道路																																				
予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路																																				
桜井 IC 付近 (インターチェンジ部、 トンネル坑口)	無指定	国道 140 号 国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間																																				
8-1-30 表 8-1-12 予測に用いる日交通量	<p>【日交通量(台/日)、路線名称】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地域</th> <th colspan="2">日交通量(台/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">桜井 IC 周辺</td> <td>計画路線</td> <td>27,800</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号、西関東連 絡道路</td> <td>16,600~30,900</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塚原 IC 周辺</td> <td>計画路線</td> <td>23,300~27,800</td> </tr> <tr> <td>県道緑ヶ丘運動公園 線</td> <td>10,100~10,800</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	日交通量(台/日)		桜井 IC 周辺	計画路線	27,800	国道 140 号、西関東連 絡道路	16,600~30,900	塚原 IC 周辺	計画路線	23,300~27,800	県道緑ヶ丘運動公園 線	10,100~10,800	<p>【日交通量(台/日)、路線名称】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地域</th> <th colspan="2">日交通量(台/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">桜井 IC 周辺</td> <td>計画路線</td> <td>27,800</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号、国道 140 号(西関東連絡道路)</td> <td>16,600~30,900</td> </tr> <tr> <td>甲府外郭環状道路東 区間</td> <td>29,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塚原 IC 周辺</td> <td>計画路線</td> <td>23,300~27,800</td> </tr> <tr> <td>(仮)新環状・緑が丘ア クセス線</td> <td>10,100~10,800</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	日交通量(台/日)		桜井 IC 周辺	計画路線	27,800	国道 140 号、国道 140 号(西関東連絡道路)	16,600~30,900	甲府外郭環状道路東 区間	29,000	塚原 IC 周辺	計画路線	23,300~27,800	(仮)新環状・緑が丘ア クセス線	10,100~10,800								
予測地域	日交通量(台/日)																																					
桜井 IC 周辺	計画路線	27,800																																				
	国道 140 号、西関東連 絡道路	16,600~30,900																																				
塚原 IC 周辺	計画路線	23,300~27,800																																				
	県道緑ヶ丘運動公園 線	10,100~10,800																																				
予測地域	日交通量(台/日)																																					
桜井 IC 周辺	計画路線	27,800																																				
	国道 140 号、国道 140 号(西関東連絡道路)	16,600~30,900																																				
	甲府外郭環状道路東 区間	29,000																																				
塚原 IC 周辺	計画路線	23,300~27,800																																				
	(仮)新環状・緑が丘ア クセス線	10,100~10,800																																				
8-1-31 表 8-1-13 時間変動係数及び車種 構成比の設定方法	<p>【対象道路、行の追加】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象道路</th> <th>時間変動係数及び 車種構成比の設定方法</th> <th>大型車 混入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画路線 国道 20 号 県道緑ヶ丘運動公園線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>中央自動車道</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。</td> <td>33.7%</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号、 西関東連絡道路</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。</td> <td>10.3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象道路	時間変動係数及び 車種構成比の設定方法	大型車 混入率	計画路線 国道 20 号 県道緑ヶ丘運動公園線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。	20.4%	県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%	県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%	中央自動車道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。	33.7%	国道 140 号、 西関東連絡道路	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。	10.3%	<p>【対象道路、行の追加】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象道路</th> <th>時間変動係数及び 車種構成比の設定方法</th> <th>大型車 混入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画路線 国道 20 号 (仮)新環状・緑が丘 アクセス線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。</td> <td>20.4%</td> </tr> <tr> <td>甲府外郭環状道 路東側区間</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号、 国道 140 号、中央自動車 道の各調査地点の時間変動係 数及び車種構成比を算術平 均することにより求めた変 動パターンを用いた。</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>中央自動車道</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。</td> <td>33.7%</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号(西関 東連絡道路)</td> <td>平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。</td> <td>10.3%</td> </tr> </tbody> </table>	対象道路	時間変動係数及び 車種構成比の設定方法	大型車 混入率	計画路線 国道 20 号 (仮)新環状・緑が丘 アクセス線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。	20.4%	甲府外郭環状道 路東側区間	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号、 国道 140 号、中央自動車 道の各調査地点の時間変動係 数及び車種構成比を算術平 均することにより求めた変 動パターンを用いた。	16.2%	県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%	中央自動車道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。	33.7%	国道 140 号(西関 東連絡道路)	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。	10.3%
対象道路	時間変動係数及び 車種構成比の設定方法	大型車 混入率																																				
計画路線 国道 20 号 県道緑ヶ丘運動公園線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。	20.4%																																				
県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%																																				
県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%																																				
中央自動車道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。	33.7%																																				
国道 140 号、 西関東連絡道路	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。	10.3%																																				
対象道路	時間変動係数及び 車種構成比の設定方法	大型車 混入率																																				
計画路線 国道 20 号 (仮)新環状・緑が丘 アクセス線 県道敷島竜王線 県道甲府昇仙峡線 県道島上条宮久保 保絵見堂線 茅ヶ岳広域農道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号の変 動パターンを用いた。	20.4%																																				
甲府外郭環状道 路東側区間	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 20 号、 国道 140 号、中央自動車 道の各調査地点の時間変動係 数及び車種構成比を算術平 均することにより求めた変 動パターンを用いた。	16.2%																																				
県道甲府葦崎線	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における甲府葦崎線 の変動パターンを用いた。	5.4%																																				
中央自動車道	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における中央自動車 道の変動パターンを用いた。	33.7%																																				
国道 140 号(西関 東連絡道路)	平成 17 年度全国道路交通 情勢調査(道路交通センサ ス)における国道 140 号 の変動パターンを用いた。	10.3%																																				
8-1-32 表 8-1-14 (1) 時間変動係数及び車種 構成比	(計画路線、国道 20 号、 県道緑ヶ丘運動公園線、 県道敷島竜王線、県道甲府昇仙峡線、 県道島上久保絵見堂線、茅ヶ岳広域農道)	(計画路線、国道 20 号、 (仮)新環状・緑が丘アクセス線、 県道敷島竜王線、県道甲府昇仙峡線、 県道島上久保絵見堂線、茅ヶ岳広域農道)																																				
8-1-33 表 8-1-14 (2) 時間変動係数及び車種 構成比(甲府外郭環状 道路東側区間)	【表及び図の追加】 記載なし	【表及び図の追加】 表 8-1-14 (2) 時間変動係数及び車種構成 比(甲府外郭環状道路東側区間) 図 8-1-9 (2) 時間変動係数及び車種構成比 (大型車混入率)の追加																																				

表 15-1-1(6) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																						
8-1-38 表 8-1-16 予測計算に用いる平均 走行速度	【道路区分及び走行速度、行の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">道路区分</th> <th>走行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">接続道路 既存道路</td> <td>県道緑ヶ丘運動公園線</td> <td>40～50</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>西関東連絡道路(ランプ部)※</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	道路区分		走行速度	接続道路 既存道路	県道緑ヶ丘運動公園線	40～50	国道 140 号	50	西関東連絡道路(ランプ部)※	40	【道路区分及び走行速度、行の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">道路区分</th> <th>走行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">接続道路 既存道路</td> <td>(仮)新環状・緑が丘アクセス 線</td> <td>40～50</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>国道 140 号(西関東連絡道路 ランプ部)※</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>甲府外郭環状道路東側区間</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	道路区分		走行速度	接続道路 既存道路	(仮)新環状・緑が丘アクセス 線	40～50	国道 140 号(西関東連絡道路)	50	国道 140 号(西関東連絡道路 ランプ部)※	40	甲府外郭環状道路東側区間	80
道路区分		走行速度																						
接続道路 既存道路	県道緑ヶ丘運動公園線	40～50																						
	国道 140 号	50																						
	西関東連絡道路(ランプ部)※	40																						
道路区分		走行速度																						
接続道路 既存道路	(仮)新環状・緑が丘アクセス 線	40～50																						
	国道 140 号(西関東連絡道路)	50																						
	国道 140 号(西関東連絡道路 ランプ部)※	40																						
	甲府外郭環状道路東側区間	80																						
8-1-48 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>バックグラウンド濃度:工場、自動車など の人為的汚染、火山などの自然的汚染から の影響をともに受けていない地域でも大 気汚染物質濃度はゼロではない。これをバ ックグラウンド値またはバックグラウン ド濃度という。</u>																						
8-1-49 5) 予測結果	【4行目】 また、既存道路の影響を考慮した予測結果 は、・・・ 【8～10行目】 記載なし	【4行目】 また、既存道路からの影響を考慮した、複 合的な影響の予測結果は、・・・ 【8～10行目】 <u>なお、計画路線の整備と合わせて側道の整 備を行うが、これは周辺的生活道路の機能 補償のために改修を行うものである。よっ て、通行する交通量は少なく予測値に影響 を与えるものではないため、側道からの影 響は考慮していない。</u>																						
8-1-50 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>1 時間値:大気中の汚染物質の測定におい て、60 分間試料吸引を続けて測定する場合 の測定値。</u> <u>日平均値の年間 98%値:1 年間の測定によ り得られた 1 日平均値のうち、低い方から 98%に相当する値。</u>																						
8-1-51 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>日平均値の年間 2%除外値:1 年間の測定 により得られた 1 日平均値のうち、高い方 から 2%の範囲内にあるものを除外した後 の最高値。</u>																						
8-1-52 表 8-1-25(1) 二酸化窒素の予測結果 (既存道路の影響を考 慮した予測)	【予測地点】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)</td> <td>外回り</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点(既存道路)		1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)	外回り	【予測地点】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点(既存道路)		1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り				
番号	予測地点(既存道路)																							
1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り																						
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)	外回り																						
番号	予測地点(既存道路)																							
1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り																						
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																						
8-1-53 表 8-1-25(2) 浮遊粒子状物質の予測 結果(既存道路の影響 を考慮した予測)	【予測地点】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)</td> <td>外回り</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点(既存道路)		1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)	外回り	【予測地点】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点(既存道路)		1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り				
番号	予測地点(既存道路)																							
1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り																						
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線)	外回り																						
番号	予測地点(既存道路)																							
1	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り																						
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																						
8-1-54 2) 基準又は目標との整 合性に係る評価	【1～2行目】 また、評価値と基準値を比較した評価結果 を表 8-1-28 及び表 8-1-29 に示す。	【1～2行目】 また、 <u>現況値と予測値及び基準値を比較し た評価結果</u> を表 8-1-28 及び表 8-1-29 に示 す。																						

表 15-1-1(7) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																						
8-1-54 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *1 環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																																						
8-1-55 表 8-1-28(1) 二酸化窒素の評価結果 (計画路線の予測)	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td>0.015</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値	桜井 IC 周辺	外回り	0.022	塚原 IC 周辺	外回り	0.021	牛句 IC 周辺	内回り	0.009	甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.010	内回り	0.009	岩森交差点周辺	内回り	0.016	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.015	内回り	0.015	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.015	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.006</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.014</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td>0.014</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.014</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td>0.014</td> <td>0.015</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値		現況値	予測値	桜井 IC 周辺	外回り	0.008	0.022	塚原 IC 周辺	外回り	0.008	0.021	牛句 IC 周辺	内回り	0.006	0.009	甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.008	0.010	内回り	0.008	0.009	岩森交差点周辺	内回り	0.014	0.016	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.014	0.015	内回り	0.014	0.015	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.014	0.015		
予測地点		年平均値																																																																						
桜井 IC 周辺	外回り	0.022																																																																						
塚原 IC 周辺	外回り	0.021																																																																						
牛句 IC 周辺	内回り	0.009																																																																						
甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.010																																																																						
	内回り	0.009																																																																						
岩森交差点周辺	内回り	0.016																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.015																																																																						
	内回り	0.015																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.015																																																																						
予測地点		年平均値																																																																						
		現況値	予測値																																																																					
桜井 IC 周辺	外回り	0.008	0.022																																																																					
塚原 IC 周辺	外回り	0.008	0.021																																																																					
牛句 IC 周辺	内回り	0.006	0.009																																																																					
甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.008	0.010																																																																					
	内回り	0.008	0.009																																																																					
岩森交差点周辺	内回り	0.014	0.016																																																																					
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.014	0.015																																																																					
	内回り	0.014	0.015																																																																					
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.014	0.015																																																																					
8-1-56 表 8-1-28(2) 浮遊粒子状物質の評価結果 (計画路線の予測)	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.026</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値	桜井 IC 周辺	外回り	0.028	塚原 IC 周辺	外回り	0.026	牛句 IC 周辺	内回り	0.020	甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.020	内回り	0.020	岩森交差点周辺	内回り	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.020	内回り	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.020	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.024</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.022</td> <td>0.026</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値		現況値	予測値	桜井 IC 周辺	外回り	0.024	0.028	塚原 IC 周辺	外回り	0.022	0.026	牛句 IC 周辺	内回り	0.020	0.020	甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.020	0.020	内回り	0.020	0.020	岩森交差点周辺	内回り	0.020	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.020	0.020	内回り	0.020	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.020	0.020		
予測地点		年平均値																																																																						
桜井 IC 周辺	外回り	0.028																																																																						
塚原 IC 周辺	外回り	0.026																																																																						
牛句 IC 周辺	内回り	0.020																																																																						
甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.020																																																																						
	内回り	0.020																																																																						
岩森交差点周辺	内回り	0.020																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.020																																																																						
	内回り	0.020																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.020																																																																						
予測地点		年平均値																																																																						
		現況値	予測値																																																																					
桜井 IC 周辺	外回り	0.024	0.028																																																																					
塚原 IC 周辺	外回り	0.022	0.026																																																																					
牛句 IC 周辺	内回り	0.020	0.020																																																																					
甲斐 IC・JCT 周辺	外回り	0.020	0.020																																																																					
	内回り	0.020	0.020																																																																					
岩森交差点周辺	内回り	0.020	0.020																																																																					
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	0.020	0.020																																																																					
	内回り	0.020	0.020																																																																					
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑	外回り	0.020	0.020																																																																					
8-1-57 表 8-1-29(1) 二酸化窒素の評価結果 (既存道路の影響を考慮した予測)	【予測地点、年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))</td> <td>外回り</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)</td> <td>内回り</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)</td> <td>外回り</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)</td> <td>内回り</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>内回り</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.016</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	0.022	塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	0.021	牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.012	甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.010	内回り	0.009	岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.017	宇津谷交差点周辺	外回り	0.015	宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	内回り	0.015	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.016	【予測地点、年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号 (西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺 ((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)</td> <td>内回り</td> <td>0.006</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)</td> <td>外回り</td> <td>0.008</td> <td>0.010</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)</td> <td>内回り</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>外回り</td> <td>0.014</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>内回り</td> <td>0.014</td> <td>0.015</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.014</td> <td>0.016</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値		現況値	予測値	桜井 IC 周辺 (国道 140 号 (西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	0.008	0.022	塚原 IC 周辺 ((仮)新環状・緑が丘アクセス線)	外回り	0.008	0.021	牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.006	0.012	甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.008	0.010	内回り	0.008	0.009	岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.014	0.017	宇津谷交差点周辺	外回り	0.014	0.015	宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	内回り	0.014	0.015	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.014	0.016
予測地点		年平均値																																																																						
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	0.022																																																																						
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	0.021																																																																						
牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.012																																																																						
甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.010																																																																						
	内回り	0.009																																																																						
岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.017																																																																						
宇津谷交差点周辺	外回り	0.015																																																																						
宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	内回り	0.015																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.016																																																																						
予測地点		年平均値																																																																						
		現況値	予測値																																																																					
桜井 IC 周辺 (国道 140 号 (西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	0.008	0.022																																																																					
塚原 IC 周辺 ((仮)新環状・緑が丘アクセス線)	外回り	0.008	0.021																																																																					
牛句 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.006	0.012																																																																					
甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.008	0.010																																																																					
	内回り	0.008	0.009																																																																					
岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.014	0.017																																																																					
宇津谷交差点周辺	外回り	0.014	0.015																																																																					
宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	内回り	0.014	0.015																																																																					
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.014	0.016																																																																					

表 15-1-1(8) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																																							
8-1-58 表 8-1-29(2) 浮遊粒子状物質の評価結果(既存道路の影響を考慮した予測)	<p>【予測地点、年平均値】</p> <table border="1" data-bbox="454 331 858 797"> <thead> <tr> <th colspan="2">予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線(未完成))</td> <td>外回り</td> <td>0.026</td> </tr> <tr> <td>牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)</td> <td>内回り</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)</td> <td>内回り</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.021</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	0.028	塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線(未完成))	外回り	0.026	牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.021	甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.020	内回り	0.020	岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.021	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020	内回り	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.021	<p>【予測地点、年平均値】</p> <table border="1" data-bbox="933 293 1390 808"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> <td>0.024</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>塚原 IC 周辺 (<u>仮</u>新環状・緑が丘アクセス線)</td> <td>外回り</td> <td>0.022</td> <td>0.026</td> </tr> <tr> <td>牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)</td> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>0.020</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)</td> <td>外回り</td> <td>0.020</td> <td>0.021</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点		年平均値		現況値	予測値	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	0.024	0.028	塚原 IC 周辺 (<u>仮</u> 新環状・緑が丘アクセス線)	外回り	0.022	0.026	牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.020	0.021	甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.020	0.020	内回り	0.020	0.020	岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.020	0.021	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020	0.020	内回り	0.020	0.020	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020	0.021																																																			
予測地点		年平均値																																																																																																																							
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	0.028																																																																																																																							
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線(未完成))	外回り	0.026																																																																																																																							
牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.021																																																																																																																							
甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.020																																																																																																																							
	内回り	0.020																																																																																																																							
岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.021																																																																																																																							
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020																																																																																																																							
	内回り	0.020																																																																																																																							
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.021																																																																																																																							
予測地点		年平均値																																																																																																																							
		現況値	予測値																																																																																																																						
桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	0.024	0.028																																																																																																																						
塚原 IC 周辺 (<u>仮</u> 新環状・緑が丘アクセス線)	外回り	0.022	0.026																																																																																																																						
牛匂 IC 周辺 (県道甲府昇仙峡線、 県道敷島竜王線)	内回り	0.020	0.021																																																																																																																						
甲斐 IC・JCT 周辺 (中央自動車道、 県道島上条宮久保絵見堂線)	外回り	0.020	0.020																																																																																																																						
	内回り	0.020	0.020																																																																																																																						
岩森交差点周辺 (茅ヶ岳広域農道)	内回り	0.020	0.021																																																																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷東部 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020	0.020																																																																																																																						
	内回り	0.020	0.020																																																																																																																						
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韭崎線)	外回り	0.020	0.021																																																																																																																						
8-1-59 用語の説明	<p>【用語の説明】</p> 記載なし	<p>【用語の説明】</p> 粉じん等：大気環境中に浮遊する微細な粒子状の物質のこと。大気中の粉じんには粒径、成分のさまざまなものがあり、一般的には粒径が 10 μm 程度以上の大きなものを「降下ばいじん」、粒径が 10 μm 程度以下のものを「浮遊粒子状物質 (SPM)」と呼んでいる。																																																																																																																							
8-1-71 2) 検討結果の検証	<p>【1～2 行目】</p> 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。	<p>【1～2 行目】</p> 実施事例等(資料編 2.2 参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。																																																																																																																							
8-1-73 脚注	<p>【脚注】</p> 記載なし	<p>【脚注】</p> *2 降下ばいじんの参考となる値は、スパイクタイヤ粉じんの発生防止に関する法律を元を目安として設定した指標であり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																																																																																							
8-1-84 2) 検討結果の検証	<p>【1 行目】</p> 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。	<p>【1 行目】</p> 実施事例等(資料編 2.2 参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。																																																																																																																							
8-1-88 2) 基準又は目標との整合性に係る評価	<p>【1～2 行目】</p> ……また、予測値と参考値を比較した評価結果を表 8-1-48 に示す。	<p>【1～2 行目】</p> ……また、環境保全措置前後の予測値と参考値を比較した評価結果を表 8-1-48 に示す。																																																																																																																							
8-1-88 表 8-1-48 評価結果	<p>【予測値】</p> <table border="1" data-bbox="454 1742 791 2022"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="4">予測値 (t/km²/月)</th> </tr> <tr> <th>春季</th> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>0.2</td> <td>0.5</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲府市 古府中町</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>甲府市 平瀬町</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 牛匂</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 団子新居</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 宇津谷</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測値 (t/km ² /月)				春季	夏季	秋季	冬季	甲府市 桜井町	0.2	0.5	0.3	0.5	甲府市 古府中町	0.3	0.5	0.4	0.4	甲府市 平瀬町	0.6	1.3	1.2	1.4	甲斐市 牛匂	0.2	0.4	0.5	0.5	甲斐市 団子新居	0.4	0.5	0.5	0.5	甲斐市 宇津谷	0.2	0.2	0.3	0.2	<p>【予測値】</p> <table border="1" data-bbox="933 1742 1390 2056"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="8">予測値 (t/km²/月)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">春季</th> <th colspan="2">夏季</th> <th colspan="2">秋季</th> <th colspan="2">冬季</th> </tr> <tr> <td></td> <td>保全措置前</td> <td>保全措置後</td> <td>保全措置前</td> <td>保全措置後</td> <td>保全措置前</td> <td>保全措置後</td> <td>保全措置前</td> <td>保全措置後</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>5.0</td> <td>0.2</td> <td>10.4</td> <td>0.5</td> <td>6.8</td> <td>0.3</td> <td>9.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲府市 古府中町</td> <td>5.7</td> <td>0.3</td> <td>9.4</td> <td>0.5</td> <td>8.6</td> <td>0.4</td> <td>8.0</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>甲府市 平瀬町</td> <td>13.0</td> <td>0.6</td> <td>26.4</td> <td>1.3</td> <td>24.5</td> <td>1.2</td> <td>28.9</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 牛匂</td> <td>3.5</td> <td>0.2</td> <td>7.8</td> <td>0.4</td> <td>9.2</td> <td>0.5</td> <td>9.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 団子新居</td> <td>7.1</td> <td>0.4</td> <td>9.0</td> <td>0.5</td> <td>11.0</td> <td>0.5</td> <td>9.6</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>甲斐市 宇津谷</td> <td>3.3</td> <td>0.2</td> <td>4.8</td> <td>0.2</td> <td>5.3</td> <td>0.3</td> <td>4.5</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測値 (t/km ² /月)								春季		夏季		秋季		冬季			保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後	甲府市 桜井町	5.0	0.2	10.4	0.5	6.8	0.3	9.0	0.5	甲府市 古府中町	5.7	0.3	9.4	0.5	8.6	0.4	8.0	0.4	甲府市 平瀬町	13.0	0.6	26.4	1.3	24.5	1.2	28.9	1.4	甲斐市 牛匂	3.5	0.2	7.8	0.4	9.2	0.5	9.5	0.5	甲斐市 団子新居	7.1	0.4	9.0	0.5	11.0	0.5	9.6	0.5	甲斐市 宇津谷	3.3	0.2	4.8	0.2	5.3	0.3	4.5	0.2
予測地点	予測値 (t/km ² /月)																																																																																																																								
	春季	夏季	秋季	冬季																																																																																																																					
甲府市 桜井町	0.2	0.5	0.3	0.5																																																																																																																					
甲府市 古府中町	0.3	0.5	0.4	0.4																																																																																																																					
甲府市 平瀬町	0.6	1.3	1.2	1.4																																																																																																																					
甲斐市 牛匂	0.2	0.4	0.5	0.5																																																																																																																					
甲斐市 団子新居	0.4	0.5	0.5	0.5																																																																																																																					
甲斐市 宇津谷	0.2	0.2	0.3	0.2																																																																																																																					
予測地点	予測値 (t/km ² /月)																																																																																																																								
	春季		夏季		秋季		冬季																																																																																																																		
	保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後	保全措置前	保全措置後																																																																																																																	
甲府市 桜井町	5.0	0.2	10.4	0.5	6.8	0.3	9.0	0.5																																																																																																																	
甲府市 古府中町	5.7	0.3	9.4	0.5	8.6	0.4	8.0	0.4																																																																																																																	
甲府市 平瀬町	13.0	0.6	26.4	1.3	24.5	1.2	28.9	1.4																																																																																																																	
甲斐市 牛匂	3.5	0.2	7.8	0.4	9.2	0.5	9.5	0.5																																																																																																																	
甲斐市 団子新居	7.1	0.4	9.0	0.5	11.0	0.5	9.6	0.5																																																																																																																	
甲斐市 宇津谷	3.3	0.2	4.8	0.2	5.3	0.3	4.5	0.2																																																																																																																	

表 15-1-1(9) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																			
8-1-88 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *3 降下ばいじんの参考となる値は、スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律を元を目安として設定した指標であり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																			
8-1-92 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 大気安定度：気温が下層から上層に向かって低い状態にあるとき、下層の大気は上層へ移動しやすい。このような状態を「不安定」という。また、温度分布が逆の場合は、下層の大気は上層へ移動しにくい。このような状態を「安定」という。このような大気の安定性の度合いを大気安定度といい、大気が安定のときは汚染物質が拡散せず、汚染が進行する。																																																			
8-1-105 2) 検討結果の検証	【1～2行目】 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。	【1～2行目】 実施事例等(資料編2.2参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。																																																			
8-1-107 1) 回避又は低減に係る評価	【5～6行目】 記載なし	【5～6行目】 さらに、住居等の保全対象の近くでは、第3次排出ガス対策型建設機械の使用を検討する。																																																			
8-1-107 2) 基準又は目標との整合性に係る評価	【1～2行目】 ・・・また、予測値と参考値を比較した評価結果を表8-1-63に示す。	【1～2行目】 ・・・また、現況値と環境保全措置前後の予測値及び参考値を比較した評価結果を表8-1-63に示す。																																																			
8-1-108 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *4 環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																			
8-1-109 表8-1-63(2) 大気質の評価結果(二酸化窒素)	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.0105</td></tr> <tr><td>甲府市塚原町</td><td>0.0084</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.0099</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.0089</td></tr> <tr><td>甲斐市岩森</td><td>0.0142</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷東部</td><td>0.0171</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷田畑</td><td>0.0141</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値	甲府市桜井町	0.0105	甲府市塚原町	0.0084	甲斐市牛匂	0.0099	甲斐市団子新居	0.0089	甲斐市岩森	0.0142	甲斐市宇津谷東部	0.0171	甲斐市宇津谷田畑	0.0141	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="3">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>保全措置前</th> <th>保全措置後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.008</td><td>0.0122</td><td>0.0105</td></tr> <tr><td>甲府市塚原町</td><td>0.008</td><td>0.0090</td><td>0.0084</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.006</td><td>0.0122</td><td>0.0099</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.008</td><td>0.0100</td><td>0.0089</td></tr> <tr><td>甲斐市岩森</td><td>0.014</td><td>0.0146</td><td>0.0142</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷東部</td><td>0.014</td><td>0.0191</td><td>0.0171</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷田畑</td><td>0.014</td><td>0.0144</td><td>0.0141</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値			現況値	保全措置前	保全措置後	甲府市桜井町	0.008	0.0122	0.0105	甲府市塚原町	0.008	0.0090	0.0084	甲斐市牛匂	0.006	0.0122	0.0099	甲斐市団子新居	0.008	0.0100	0.0089	甲斐市岩森	0.014	0.0146	0.0142	甲斐市宇津谷東部	0.014	0.0191	0.0171	甲斐市宇津谷田畑	0.014	0.0144	0.0141
予測地点	年平均値																																																				
甲府市桜井町	0.0105																																																				
甲府市塚原町	0.0084																																																				
甲斐市牛匂	0.0099																																																				
甲斐市団子新居	0.0089																																																				
甲斐市岩森	0.0142																																																				
甲斐市宇津谷東部	0.0171																																																				
甲斐市宇津谷田畑	0.0141																																																				
予測地点	年平均値																																																				
	現況値	保全措置前	保全措置後																																																		
甲府市桜井町	0.008	0.0122	0.0105																																																		
甲府市塚原町	0.008	0.0090	0.0084																																																		
甲斐市牛匂	0.006	0.0122	0.0099																																																		
甲斐市団子新居	0.008	0.0100	0.0089																																																		
甲斐市岩森	0.014	0.0146	0.0142																																																		
甲斐市宇津谷東部	0.014	0.0191	0.0171																																																		
甲斐市宇津谷田畑	0.014	0.0144	0.0141																																																		
8-1-110 表8-1-63(4) 大気質の評価結果(浮遊粒子状物質)	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.02442</td></tr> <tr><td>甲府市塚原町</td><td>0.02204</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.02064</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.02008</td></tr> <tr><td>甲斐市岩森</td><td>0.02003</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷東部</td><td>0.02069</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷田畑</td><td>0.02002</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値	甲府市桜井町	0.02442	甲府市塚原町	0.02204	甲斐市牛匂	0.02064	甲斐市団子新居	0.02008	甲斐市岩森	0.02003	甲斐市宇津谷東部	0.02069	甲斐市宇津谷田畑	0.02002	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="3">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>保全措置前</th> <th>保全措置後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.024</td><td>0.02478</td><td>0.02442</td></tr> <tr><td>甲府市塚原町</td><td>0.022</td><td>0.02210</td><td>0.02204</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.020</td><td>0.02119</td><td>0.02064</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.020</td><td>0.02022</td><td>0.02008</td></tr> <tr><td>甲斐市岩森</td><td>0.020</td><td>0.02008</td><td>0.02003</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷東部</td><td>0.020</td><td>0.02128</td><td>0.02069</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷田畑</td><td>0.020</td><td>0.02005</td><td>0.02002</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値			現況値	保全措置前	保全措置後	甲府市桜井町	0.024	0.02478	0.02442	甲府市塚原町	0.022	0.02210	0.02204	甲斐市牛匂	0.020	0.02119	0.02064	甲斐市団子新居	0.020	0.02022	0.02008	甲斐市岩森	0.020	0.02008	0.02003	甲斐市宇津谷東部	0.020	0.02128	0.02069	甲斐市宇津谷田畑	0.020	0.02005	0.02002
予測地点	年平均値																																																				
甲府市桜井町	0.02442																																																				
甲府市塚原町	0.02204																																																				
甲斐市牛匂	0.02064																																																				
甲斐市団子新居	0.02008																																																				
甲斐市岩森	0.02003																																																				
甲斐市宇津谷東部	0.02069																																																				
甲斐市宇津谷田畑	0.02002																																																				
予測地点	年平均値																																																				
	現況値	保全措置前	保全措置後																																																		
甲府市桜井町	0.024	0.02478	0.02442																																																		
甲府市塚原町	0.022	0.02210	0.02204																																																		
甲斐市牛匂	0.020	0.02119	0.02064																																																		
甲斐市団子新居	0.020	0.02022	0.02008																																																		
甲斐市岩森	0.020	0.02008	0.02003																																																		
甲斐市宇津谷東部	0.020	0.02128	0.02069																																																		
甲斐市宇津谷田畑	0.020	0.02005	0.02002																																																		
8-1-122 2) 基準又は目標との整合性の検討	【1～2行目】 ・・・また、予測値及び参考値を比較した評価結果を表8-1-74に示す。	【1～2行目】 ・・・また、現況値と予測値及び参考値を比較した評価結果を表8-1-74に示す。																																																			

表 15-1-1(10) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																					
8-1-123 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *5 環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																					
8-1-124 表 8-1-74(2) 大気質の評価結果（二酸化窒素）	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>甲府市古府中町</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>甲府市平瀬町</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷</td><td>0.015</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値	甲府市桜井町	0.009	甲府市古府中町	0.009	甲府市平瀬町	0.007	甲斐市牛匂	0.007	甲斐市団子新居	0.008	甲斐市宇津谷	0.015	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.008</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>甲府市古府中町</td><td>0.008</td><td>0.009</td></tr> <tr><td>甲府市平瀬町</td><td>0.006</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.006</td><td>0.007</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.008</td><td>0.008</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷</td><td>0.014</td><td>0.015</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値		現況値	予測値	甲府市桜井町	0.008	0.009	甲府市古府中町	0.008	0.009	甲府市平瀬町	0.006	0.007	甲斐市牛匂	0.006	0.007	甲斐市団子新居	0.008	0.008	甲斐市宇津谷	0.014	0.015
予測地点	年平均値																																						
甲府市桜井町	0.009																																						
甲府市古府中町	0.009																																						
甲府市平瀬町	0.007																																						
甲斐市牛匂	0.007																																						
甲斐市団子新居	0.008																																						
甲斐市宇津谷	0.015																																						
予測地点	年平均値																																						
	現況値	予測値																																					
甲府市桜井町	0.008	0.009																																					
甲府市古府中町	0.008	0.009																																					
甲府市平瀬町	0.006	0.007																																					
甲斐市牛匂	0.006	0.007																																					
甲斐市団子新居	0.008	0.008																																					
甲斐市宇津谷	0.014	0.015																																					
8-1-125 表 8-1-74(4) 大気質の評価結果（浮遊粒子状物質）	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>年平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.024</td></tr> <tr><td>甲府市古府中町</td><td>0.022</td></tr> <tr><td>甲府市平瀬町</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷</td><td>0.020</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値	甲府市桜井町	0.024	甲府市古府中町	0.022	甲府市平瀬町	0.020	甲斐市牛匂	0.020	甲斐市団子新居	0.020	甲斐市宇津谷	0.020	【年平均値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>0.024</td><td>0.024</td></tr> <tr><td>甲府市古府中町</td><td>0.022</td><td>0.022</td></tr> <tr><td>甲府市平瀬町</td><td>0.020</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市牛匂</td><td>0.020</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市団子新居</td><td>0.020</td><td>0.020</td></tr> <tr><td>甲斐市宇津谷</td><td>0.020</td><td>0.020</td></tr> </tbody> </table>	予測地点	年平均値		現況値	予測値	甲府市桜井町	0.024	0.024	甲府市古府中町	0.022	0.022	甲府市平瀬町	0.020	0.020	甲斐市牛匂	0.020	0.020	甲斐市団子新居	0.020	0.020	甲斐市宇津谷	0.020	0.020
予測地点	年平均値																																						
甲府市桜井町	0.024																																						
甲府市古府中町	0.022																																						
甲府市平瀬町	0.020																																						
甲斐市牛匂	0.020																																						
甲斐市団子新居	0.020																																						
甲斐市宇津谷	0.020																																						
予測地点	年平均値																																						
	現況値	予測値																																					
甲府市桜井町	0.024	0.024																																					
甲府市古府中町	0.022	0.022																																					
甲府市平瀬町	0.020	0.020																																					
甲斐市牛匂	0.020	0.020																																					
甲斐市団子新居	0.020	0.020																																					
甲斐市宇津谷	0.020	0.020																																					
8-2-2 表 8-2-2(2) 騒音調査地点及び調査項目（道路交通騒音）	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画用途地域</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象	甲府市桜井町	国道 140 号	無指定	住居等	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画用途地域</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象	甲府市桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																					
調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象																																				
甲府市桜井町	国道 140 号	無指定	住居等																																				
調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象																																				
甲府市桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																				
8-2-3 4) 調査期間等	【2～3 行目】 ・・・、平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)にかけて 24 時間連続の測定を行った。	【2～3 行目】 ・・・、平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)及び平成 24 年 5 月 16 日(水)から平成 24 年 5 月 17 日(木)にかけて 24 時間連続の測定を行った。																																					
8-2-4 図 8-2-1 自動車の走行に係る騒音調査位置図	【調査地点の変更】 調査地点 A の位置変更	【調査地点の変更】 調査地点 A の位置変更																																					
8-2-5 表 8-2-3(2) 騒音レベルの調査結果（等価騒音レベル（L _{Aeq} ））	【調査地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>68</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	68	64	【調査地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	65	60																					
調査地点	調査結果(dB)																																						
	昼間	夜間																																					
甲府市桜井町	68	64																																					
調査地点	調査結果(dB)																																						
	昼間	夜間																																					
甲府市桜井町	65	60																																					

表 15-1-1(11) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																								
8-2-5 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 dB : 音や振動の大きさを表す単位 L_{Aeq} : 時間的に騒音レベルが変動している場合に、測定時間内に受けたエネルギーを時間平均した騒音レベル(等価騒音レベル)																								
8-2-6 表 8-2-4 自動車交通量の調査結果	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>17,822</td> <td>6.6</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市 桜井町	国道 140 号	17,822	6.6	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>15,189</td> <td>5.1</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	15,189	5.1								
調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)																							
甲府市 桜井町	国道 140 号	17,822	6.6																							
調査場所	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)																							
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	15,189	5.1																							
8-2-10 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 A 特性音圧レベル:聴覚の周波数特性を反映した重みづけ(A 特性)をした音圧レベルのことであり、一般に騒音レベルという。																								
8-2-15 表 8-2-9 騒音の予測地点	【既存道路】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>予測地点 (道路構造)</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>既存道路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)</td> <td>無指定</td> <td>国道 140 号 西関東連絡道路</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)</td> <td>無指定</td> <td>県道緑ヶ丘運動公 園線 (未完成)</td> </tr> </tbody> </table> 【表注釈】 記載なし	番号	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路	1	桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)	無指定	国道 140 号 西関東連絡道路	2	塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)	無指定	県道緑ヶ丘運動公 園線 (未完成)	【既存道路】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>予測地点 (道路構造)</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>既存道路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)</td> <td>無指定</td> <td>国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)</td> <td>無指定</td> <td>(仮)新環状・緑が丘 アクセス線</td> </tr> </tbody> </table> 【表注釈】 注 2) 既存道路は、複合的な予測を行う際に考慮した道路を示す。	番号	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路	1	桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)	無指定	国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間	2	塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)	無指定	(仮)新環状・緑が丘 アクセス線
番号	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路																							
1	桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)	無指定	国道 140 号 西関東連絡道路																							
2	塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)	無指定	県道緑ヶ丘運動公 園線 (未完成)																							
番号	予測地点 (道路構造)	都市計画 用途地域	既存道路																							
1	桜井 IC 周辺 (インターチェンジ部、 トンネル抗口部)	無指定	国道 140 号(西関東 連絡道路) 甲府外郭環状道路 東側区間																							
2	塚原 IC 周辺 (インターチェンジ部、ト ンネル抗口部)	無指定	(仮)新環状・緑が丘 アクセス線																							

表 15-1-1(12) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																				
8-2-24 5) 予測結果	<p>【3行目】</p> <p>また、既存道路の影響を考慮した予測結果は、表 8-2-11 に示すとおりである。・・・</p> <p>【6～8行目】</p> <p>記載なし</p>	<p>【3行目】</p> <p>また、既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、表 8-2-11 に示すとおりである。</p> <p>【6～8行目】</p> <p>なお、計画路線の整備と合わせて側道の整備を行うが、これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものである。よって、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していない。</p>																																																				
8-2-26 表 8-2-11(1) 騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） 昼間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	<p>【予測地点（既存道路）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">予測地点（既存道路）</th> <th>予測高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点（既存道路）			予測高さ	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	<p>【予測地点（既存道路）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">予測地点（既存道路）</th> <th>予測高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点（既存道路）			予測高さ	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m
予測地点（既存道路）			予測高さ																																																			
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
予測地点（既存道路）			予測高さ																																																			
桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
8-2-27 表 8-2-11(2) 騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） 夜間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	<p>【予測地点（既存道路）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">予測地点（既存道路）</th> <th>予測高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点（既存道路）			予測高さ	桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	<p>【予測地点（既存道路）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">予測地点（既存道路）</th> <th>予測高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>1.2m</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点（既存道路）			予測高さ	桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m	外回り	近接空間	4.2m	背後地	1.2m
予測地点（既存道路）			予測高さ																																																			
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
予測地点（既存道路）			予測高さ																																																			
桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
塚原 IC 周辺 (<u>((仮)新環状・緑が丘アクセス線)</u>)	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
	外回り	近接空間	4.2m																																																			
		背後地	1.2m																																																			
8-2-28 1) 環境保全措置の検討	<p>【2～3行目】</p> <p>自動車の走行による騒音の環境負荷を低減するための環境保全措置として、表 8-2-12 に示す 5 案を検討した。</p>	<p>【2～3行目】</p> <p>自動車の走行による騒音の環境負荷を低減するための環境保全措置として、表 8-2-12 に示す 4 案を検討した。</p>																																																				
8-2-28 表 8-2-12 環境保全措置の検討	<p>【環境保全措置の検討結果、行の削除】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水性舗装の敷設</td> <td>空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。</td> <td>低減効果の大きい環境保全措置であるものの、遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。</td> </tr> <tr> <td>環境施設帯の設置</td> <td>車道端から 10m 又は 20m の土地を道路用地として取得するものであり、距離減衰による減音効果が期待できる。</td> <td>騒音の発生の低減が確実に見込めるものの、用地幅を多く確保する必要があるため、環境保全措置として採用しない。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	排水性舗装の敷設	空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。	低減効果の大きい環境保全措置であるものの、遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。	環境施設帯の設置	車道端から 10m 又は 20m の土地を道路用地として取得するものであり、距離減衰による減音効果が期待できる。	騒音の発生の低減が確実に見込めるものの、用地幅を多く確保する必要があるため、環境保全措置として採用しない。	<p>【環境保全措置の検討結果、行の削除】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水性舗装の敷設</td> <td>空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。</td> <td>低減効果の大きい環境保全措置であるものの、空隙詰まりなどにより経時的に低下する傾向がある。遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	排水性舗装の敷設	空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。	低減効果の大きい環境保全措置であるものの、空隙詰まりなどにより経時的に低下する傾向がある。遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。																																					
環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																																				
排水性舗装の敷設	空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。	低減効果の大きい環境保全措置であるものの、遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。																																																				
環境施設帯の設置	車道端から 10m 又は 20m の土地を道路用地として取得するものであり、距離減衰による減音効果が期待できる。	騒音の発生の低減が確実に見込めるものの、用地幅を多く確保する必要があるため、環境保全措置として採用しない。																																																				
環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																																				
排水性舗装の敷設	空隙の多い舗装により発生音の低減効果や吸音効果が見込まれる。	低減効果の大きい環境保全措置であるものの、空隙詰まりなどにより経時的に低下する傾向がある。遮音壁を設置することにより騒音影響を低減することが出来ることから、環境保全措置として採用しない。																																																				
8-2-28 2) 検討結果の検証	<p>【1行目】</p> <p>実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。</p>	<p>【1行目】</p> <p>実施事例等(資料編 2.2 参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。</p>																																																				

表 15-1-1(13) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書												
8-2-31 表 8-2-14(1) 「遮音壁の設置」による低減効果(既存道路の影響を考慮した予測)昼間(等価騒音レベル(L _{Aeq}))	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> </tr> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 背後地</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間 背後地	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> </tr> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 背後地</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間 背後地
予測地点(既存道路)														
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間 背後地												
予測地点(既存道路)														
桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間 背後地												
8-2-32 表 8-2-14(2) 「遮音壁の設置」による低減効果(既存道路の影響を考慮した予測)夜間(等価騒音レベル(L _{Aeq}))	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> </tr> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 背後地</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間 背後地	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> </tr> <tr> <td>桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 背後地</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間 背後地
予測地点(既存道路)														
桜井 IC 周辺 (国道 140 号、西関東連絡道路)	外回り	近接空間 背後地												
予測地点(既存道路)														
桜井 IC 周辺 (国道 140 号(西関東連絡道路)、 甲府外郭環状道路東側区間)	外回り	近接空間 背後地												
8-2-33 3) 検討結果の整理	【3 行目】 記載なし	【3 行目】 また、遮音壁の設置位置図は、図 8-2-7 に示すとおりである。												
8-2-34 図 8-2-7(1) 遮音壁位置図(桜井 IC 周辺)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 遮音壁位置図の追加												
8-2-35 図 8-2-7(2) 遮音壁位置図(牛匂 IC 周辺)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 遮音壁位置図の追加												
8-2-36 図 8-2-7(3) 遮音壁位置図(岩森交差点周辺)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 遮音壁位置図の追加												
8-2-37 図 8-2-7(4) 遮音壁位置図(宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 遮音壁位置図の追加												
8-2-38 2) 基準又は目標との整合性に係る評価	【1~2 行目】 ……また、予測結果と基準値を比較した評価結果は表 8-2-17 及び表 8-2-18 に示すとおりである。	【1~2 行目】 また、現況値と環境保全措置前後の予測結果及び基準値を比較した評価結果は表 8-2-17 及び表 8-2-18 に示すとおりである。												
8-2-39 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 幹線交通を担う道路：高速自動車、一般国道、都道府県道、及び市町村道(市町村道にあたっては4車線以上に限る。)												
8-2-39 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *1 環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。												

表 15-1-1(14) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>8-2-40 表 8-2-17(1) 騒音の評価結果(計画路線の予測) 昼間(等価騒音レベル(L_{Aeq}))</p>	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th>基準値(dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="2">板井IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 63</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>1.2m 61</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>4.2m 67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">塚原IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.2m 60</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3</td> <td rowspan="2">牛匂IC周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 57</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">4</td> <td rowspan="4">甲斐IC・JCT 周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 62</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 61</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 59</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5</td> <td rowspan="2">岩森交差点周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 60</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 60</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 55</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6a</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 56</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6b</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷田端</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 55</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】</p> <p>注 2) 騒音に係る環境基準の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「地域の区分B」を想定した。想定した基準値は()付きで示す。</p> <p>注 3) 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~6時)である。</p>	番号	予測地点		予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)	基準値(dB)	1	板井IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 67	70	1.2m 63		背後地	1.2m 61	(65)	4.2m 67	70	2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 62		1.2m 60	(65)	背後地	4.2m 60		1.2m 57	70	3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	4.2m 58		1.2m 57	70	背後地	4.2m 57	60	1.2m 57		4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	4.2m 63	70	1.2m 59		背後地	4.2m 62	(65)	1.2m 59		内回り	近接空間	4.2m 61	70	1.2m 58		背後地	4.2m 59	(65)	1.2m 57		5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	4.2m 60	70	1.2m 59		背後地	4.2m 60	(65)	1.2m 55		6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	4.2m 59	70	1.2m 58		背後地	4.2m 57	(65)	1.2m 59		内回り	近接空間	4.2m 59	70	1.2m 58		背後地	4.2m 57	(65)	1.2m 56		6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	4.2m 59	70	1.2m 58		背後地	4.2m 57	(65)	1.2m 55	60	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th rowspan="2">予測高さ</th> <th rowspan="2">測定値(dB)</th> <th colspan="2">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="2">基準値(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="2">板井IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">44</td> <td>昼</td> <td>67</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>63</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>64</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>61</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">塚原IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">44</td> <td>昼</td> <td>62</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>60</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3</td> <td rowspan="2">牛匂IC周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">42</td> <td>昼</td> <td>58</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>57</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">4</td> <td rowspan="4">甲斐IC・JCT 周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">45</td> <td>昼</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>62</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 61</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 59</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5</td> <td rowspan="2">岩森交差点周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">40</td> <td>昼</td> <td>60</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>52</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>60</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6a</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">40</td> <td>昼</td> <td>59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 56</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6b</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷田端</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">40</td> <td>昼</td> <td>59</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>56</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>57</td> <td>(65)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>55</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】</p> <p>注 2) 着色部分は、環境基準の超過を示す。</p> <p>注 3) 騒音に係る環境基準の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「地域の区分B」を想定した。想定した基準値は()付きで示す。</p> <p>注 4) 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~6時)である。</p> <p>注 5) 現況値は、一般環境騒音の調査地点における高さ1.2mの測定値である。</p>	番号	予測地点		予測高さ	測定値(dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)		基準値(dB)	昼間	夜間	1	板井IC周辺	外回り	近接空間	44	昼	67	70	夜	63		背後地	昼	64	(65)	夜	61		2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	44	昼	62	70	夜	60		背後地	昼	60	(65)	夜	58		3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	42	昼	58	70	夜	57		背後地	昼	57	60	夜	57		4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	45	昼	63	70	夜	59		背後地	昼	62	(65)	夜	59		内回り	近接空間	4.2m 61	70	1.2m 58		背後地	4.2m 59	(65)	1.2m 57		5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	40	昼	60	70	夜	52		背後地	昼	60	(65)	夜	55		6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	40	昼	59	70	夜	57		背後地	昼	57	(65)	夜	59		内回り	近接空間	4.2m 59	70	1.2m 58		背後地	4.2m 57	(65)	1.2m 56		6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	40	昼	59	70	夜	56		背後地	昼	57	(65)	夜	55		
番号	予測地点		予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)	基準値(dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1	板井IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 63																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	1.2m 61	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		4.2m 67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 62																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			1.2m 60	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	背後地	4.2m 60																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		1.2m 57	70																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	4.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			1.2m 57	70																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	背後地	4.2m 57	60																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	4.2m 63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 59																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後地	4.2m 62	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			1.2m 59																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	内回り	近接空間	4.2m 61	70																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		背後地	4.2m 59	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	4.2m 60	70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 59																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 60	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 55																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	4.2m 59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 57	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 59																																																																																																																																																																																																																																																																																						
内回り	近接空間	4.2m 59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	背後地	4.2m 57	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 56																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	4.2m 59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 57	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 55	60																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	予測地点		予測高さ	測定値(dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)		基準値(dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					昼間	夜間																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	板井IC周辺	外回り	近接空間	44	昼	67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	63																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	64		(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	61																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	44	昼	62	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	60																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	60		(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	58																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	42	昼	58	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	57																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	57		60																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	57																																																																																																																																																																																																																																																																																					
4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	45	昼	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	59																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		背後地	昼		62	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			夜		59																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	内回り	近接空間	4.2m 61		70																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		背後地	4.2m 59		(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	40	昼	60	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	52																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	60		(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	55																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間		40	昼	59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																
						夜	57																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	背後地	昼	57			(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		夜	59																																																																																																																																																																																																																																																																																					
内回り	近接空間	4.2m 59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	背後地	4.2m 57	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 56																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	40	昼	59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	56																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	57		(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	55																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>8-2-41 表 8-2-17(2) 騒音の評価結果(計画路線の予測) 夜間(等価騒音レベル(L_{Aeq}))</p>	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th>基準値(dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="2">板井IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 60</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>1.2m 60</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">塚原IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 58</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3</td> <td rowspan="2">牛匂IC周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 56</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 56</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">4</td> <td rowspan="4">甲斐IC・JCT 周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 61</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 60</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 56</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5</td> <td rowspan="2">岩森交差点周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 58</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 49</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 52</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6a</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 58</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 55</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 57</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 55</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6b</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷田端</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 56</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>4.2m 54</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 53</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】</p> <p>注 2) 騒音に係る環境基準の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「地域の区分B」を想定した。想定した基準値は()付きで示す。</p> <p>注 3) 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~6時)である。</p>	番号	予測地点		予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)	基準値(dB)	1	板井IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 64	65	1.2m 60		背後地	1.2m 60	(60)	1.2m 58		2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 64	65	1.2m 59		背後地	4.2m 58	(60)	1.2m 54		3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	4.2m 56	65	1.2m 56		背後地	4.2m 55	55	1.2m 54		4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	4.2m 61	65	1.2m 57		背後地	4.2m 60	(60)	1.2m 57		内回り	近接空間	4.2m 59	65	1.2m 55		背後地	4.2m 56	(60)	1.2m 54		5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	4.2m 58	65	1.2m 57		背後地	4.2m 49	(60)	1.2m 52		6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	4.2m 58	65	1.2m 57		背後地	4.2m 55	(60)	1.2m 54		内回り	近接空間	4.2m 57	65	1.2m 58		背後地	4.2m 55	(60)	1.2m 54		6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	4.2m 56	65	1.2m 54		背後地	4.2m 54	(60)	1.2m 53	55	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th rowspan="2">予測高さ</th> <th rowspan="2">測定値(dB)</th> <th colspan="2">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="2">基準値(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="2">板井IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">35</td> <td>昼</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>60</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>61</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">塚原IC周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">39</td> <td>昼</td> <td>64</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>58</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3</td> <td rowspan="2">牛匂IC周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="4">30</td> <td>昼</td> <td>56</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>56</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>57</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">4</td> <td rowspan="4">甲斐IC・JCT 周辺</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">43</td> <td>昼</td> <td>61</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>60</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 59</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 56</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">5</td> <td rowspan="2">岩森交差点周辺</td> <td rowspan="2">内回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">46</td> <td>昼</td> <td>58</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>49</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>57</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>52</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6a</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷東部</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">46</td> <td>昼</td> <td>58</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>55</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m 57</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1.2m 58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>背後地</td> <td>4.2m 55</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>1.2m 54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">6b</td> <td rowspan="2">宇津谷交差点周辺 宇津谷田端</td> <td rowspan="2">外回り</td> <td rowspan="2">近接空間</td> <td rowspan="8">46</td> <td>昼</td> <td>56</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>54</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">背後地</td> <td>昼</td> <td>54</td> <td>(60)</td> </tr> <tr> <td>夜</td> <td>53</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】</p> <p>注 2) 着色部分は、環境基準の超過を示す。</p> <p>注 3) 騒音に係る環境基準の地域指定がなされていない地点については、現況の土地利用状況等を勘案して「地域の区分B」を想定した。想定した基準値は()付きで示す。</p> <p>注 4) 時間区分は、昼間(6時~22時)、夜間(22時~6時)である。</p> <p>注 5) 現況値は、一般環境騒音の調査地点における高さ1.2mの測定値である。</p>	番号	予測地点		予測高さ	測定値(dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)		基準値(dB)	昼間	夜間	1	板井IC周辺	外回り	近接空間	35	昼	64	65	夜	60		背後地	昼	61	(60)	夜	58		2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	39	昼	64	65	夜	59		背後地	昼	58	(60)	夜	54		3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	30	昼	56	65	夜	56		背後地	昼	57	55	夜	54	55	4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	43	昼	61	65	夜	57		背後地	昼	60	(60)	夜	57		内回り	近接空間	4.2m 59	65	1.2m 55		背後地	4.2m 56	(60)	1.2m 54		5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	46	昼	58	65	夜	49		背後地	昼	57	(60)	夜	52		6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	46	昼	58	65	夜	57		背後地	昼	55	(60)	夜	54		内回り	近接空間	4.2m 57	65	1.2m 58		背後地	4.2m 55	(60)	1.2m 54		6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	46	昼	56	65	夜	54		背後地	昼	54	(60)	夜	53	55	
番号	予測地点		予測高さ		予測結果L _{Aeq} (dB)	基準値(dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	板井IC周辺	外回り	近接空間		4.2m 64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			1.2m 60																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	1.2m 60	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	4.2m 64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 59																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 58	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	4.2m 56	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 56																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 55	55																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	4.2m 61	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		背後地	4.2m 60	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	内回り	近接空間	4.2m 59	65																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1.2m 55																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		背後地	4.2m 56	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	4.2m 58	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 49	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 52																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間	4.2m 58	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 57																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 55	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																						
内回り	近接空間	4.2m 57	65																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	背後地	4.2m 55	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	4.2m 56	65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	背後地	4.2m 54	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		1.2m 53	55																																																																																																																																																																																																																																																																																					
番号	予測地点		予測高さ	測定値(dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)		基準値(dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					昼間	夜間																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	板井IC周辺	外回り	近接空間	35	昼	64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	60																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	61		(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	58																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2	塚原IC周辺	外回り	近接空間	39	昼	64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	59																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	58		(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	54																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3	牛匂IC周辺	内回り	近接空間	30	昼	56	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	56																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	57		55																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	54		55																																																																																																																																																																																																																																																																																			
4	甲斐IC・JCT 周辺	外回り	近接空間	43	昼	61	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	57																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		背後地	昼		60	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			夜		57																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	内回り	近接空間	4.2m 59		65																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		1.2m 55																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		背後地	4.2m 56		(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	岩森交差点周辺	内回り	近接空間	46	昼	58	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	49																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	57		(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	52																																																																																																																																																																																																																																																																																					
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷東部	外回り	近接空間		46	昼	58	65																																																																																																																																																																																																																																																																																
						夜	57																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	背後地	昼	55			(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		夜	54																																																																																																																																																																																																																																																																																					
内回り	近接空間	4.2m 57	65																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 58																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	背後地	4.2m 55	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	1.2m 54																																																																																																																																																																																																																																																																																							
6b	宇津谷交差点周辺 宇津谷田端	外回り	近接空間	46	昼	56	65																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					夜	54																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	背後地	昼	54		(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		夜	53		55																																																																																																																																																																																																																																																																																			

表 15-1-1 (15) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>8-2-42 表 8-2-18(1) 騒音の評価結果 (既存道路の影響を考慮した予測) 昼間 (等価騒音レベル (L_{Aeq}))</p>	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th rowspan="2">予測高さ</th> <th colspan="3">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="2">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>67</td> <td>52</td> <td>67</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>63</td> <td>51</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>61</td> <td>52</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>67</td> <td>52</td> <td>67</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>60</td> <td>51</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>58</td> <td>69</td> <td>69</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>57</td> <td>66</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>57</td> <td>66</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>59</td> <td>48</td> <td>59</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>48</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>61</td> <td>54</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>63</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>59</td> <td>52</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.a</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>57</td> <td>51</td> <td>58</td> <td rowspan="3">(65)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>56</td> <td>51</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>59</td> <td>52</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.b</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>57</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>57</td> <td>60</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 記載なし</p>	番号	予測地点	予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)			基準値 (dB)	計画道路	既存道路	合成値	1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	67	52	67	70	外回り 近接空間 1.2m	63	51	63	外回り 背後地 1.2m	61	52	62	2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	67	52	67	70	外回り 近接空間 1.2m	62	48	62	外回り 背後地 1.2m	60	51	61	3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	58	69	69	70	内回り 近接空間 1.2m	57	66	66	内回り 背後地 1.2m	57	66	66	4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	59	48	59	70	外回り 近接空間 1.2m	59	48	59	内回り 近接空間 4.2m	61	54	62	5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	60	60	63	70	内回り 近接空間 1.2m	55	60	61	内回り 背後地 1.2m	59	52	60	6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	57	51	58	(65)	外回り 近接空間 1.2m	56	51	57	内回り 近接空間 4.2m	59	52	60	6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	56	52	57	70	外回り 近接空間 1.2m	56	57	60	外回り 背後地 1.2m	57	60	62	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">番号</th> <th rowspan="3">予測地点</th> <th rowspan="3">予測高さ</th> <th rowspan="3">現況値 (dB)</th> <th colspan="6">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="3">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">保全措置前</th> <th colspan="3">保全措置後</th> </tr> <tr> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">44</td> <td>68</td> <td>52</td> <td>68</td> <td>67</td> <td>52</td> <td>67</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>64</td> <td>52</td> <td>64</td> <td>63</td> <td>52</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>62</td> <td>52</td> <td>63</td> <td>61</td> <td>52</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">44</td> <td>67</td> <td>52</td> <td>67</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>62</td> <td>48</td> <td>62</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>60</td> <td>51</td> <td>61</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">42</td> <td>60</td> <td>69</td> <td>69</td> <td>58</td> <td>69</td> <td>69</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>69</td> <td>70</td> <td>58</td> <td>69</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>60</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>57</td> <td>66</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">42</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>59</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>48</td> <td>59</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>61</td> <td>54</td> <td>62</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">49</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>63</td> <td rowspan="3">70</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>58</td> <td>62</td> <td>69</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.a</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">49</td> <td>58</td> <td>51</td> <td>59</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">(65)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>56</td> <td>51</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>59</td> <td>52</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.b</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">42</td> <td>57</td> <td>52</td> <td>58</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">(65)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>66</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注 5) 現況値は、一般環境騒音の調査地点における高さ 1.2m の測定値である。</p>	番号	予測地点	予測高さ	現況値 (dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)						基準値 (dB)	保全措置前			保全措置後			計画道路	既存道路	合成値	計画道路	既存道路	合成値	1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	44	68	52	68	67	52	67	70	外回り 近接空間 1.2m	64	52	64	63	52	64	外回り 背後地 1.2m	62	52	63	61	52	62	2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	44	67	52	67	-	-	-	70	外回り 近接空間 1.2m	62	48	62	-	-	-	外回り 背後地 1.2m	60	51	61	-	-	-	3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	42	60	69	69	58	69	69	70	内回り 近接空間 1.2m	59	69	70	58	69	70	内回り 背後地 1.2m	60	66	67	57	66	66	4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	42	58	48	59	-	-	-	70	外回り 近接空間 1.2m	59	48	59	-	-	-	内回り 近接空間 4.2m	61	54	62	-	-	-	5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	49	60	60	60	60	60	63	70	内回り 近接空間 1.2m	58	62	69	55	60	61	内回り 背後地 1.2m	59	62	60	-	-	-	6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	49	58	51	59	-	-	-	(65)	外回り 近接空間 1.2m	56	51	57	-	-	-	内回り 近接空間 4.2m	59	52	60	-	-	-	6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	42	57	52	58	-	-	-	(65)	外回り 近接空間 1.2m	56	52	57	-	-	-	外回り 背後地 1.2m	60	62	66	59	62	64
番号	予測地点				予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)			基準値 (dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		計画道路	既存道路	合成値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	67	52	67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	63	51	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	61	52	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	67	52	67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	62	48	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	60	51	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	58	69	69	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		内回り 近接空間 1.2m	57	66	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 背後地 1.2m	57	66	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	59	48	59	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	59	48	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 近接空間 4.2m	61	54	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	60	60	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		内回り 近接空間 1.2m	55	60	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 背後地 1.2m	59	52	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	57	51	58	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	56	51	57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 近接空間 4.2m	59	52	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	56	52	57	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	56	57	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	57	60	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
番号	予測地点	予測高さ	現況値 (dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)						基準値 (dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				保全措置前			保全措置後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				計画道路	既存道路	合成値	計画道路	既存道路	合成値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	44	68	52	68	67	52	67	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		64	52	64	63	52	64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		62	52	63	61	52	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	44	67	52	67	-	-	-	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		62	48	62	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		60	51	61	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	42	60	69	69	58	69	69	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内回り 近接空間 1.2m		59	69	70	58	69	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 背後地 1.2m		60	66	67	57	66	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	42	58	48	59	-	-	-	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		59	48	59	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 近接空間 4.2m		61	54	62	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	49	60	60	60	60	60	63	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内回り 近接空間 1.2m		58	62	69	55	60	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 背後地 1.2m		59	62	60	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	49	58	51	59	-	-	-	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		56	51	57	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 近接空間 4.2m		59	52	60	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	42	57	52	58	-	-	-	(65)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		56	52	57	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		60	62	66	59	62	64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>8-2-43 表 8-2-18(2) 騒音の評価結果 (既存道路の影響を考慮した予測) 夜間 (等価騒音レベル (L_{Aeq}))</p>	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th rowspan="2">予測高さ</th> <th colspan="3">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="2">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>61</td> <td>45</td> <td>64</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>60</td> <td>44</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>58</td> <td>45</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>64</td> <td>50</td> <td>64</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>46</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>56</td> <td>66</td> <td>67</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>55</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>54</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>57</td> <td>45</td> <td>57</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>57</td> <td>45</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>59</td> <td>52</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>60</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.a</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>58</td> <td rowspan="3">(60)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>55</td> <td>48</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.b</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>60</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 記載なし</p>	番号	予測地点	予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)			基準値 (dB)	計画道路	既存道路	合成値	1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	61	45	64	65	外回り 近接空間 1.2m	60	44	60	外回り 背後地 1.2m	58	45	58	2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	64	50	64	65	外回り 近接空間 1.2m	59	46	59	外回り 背後地 1.2m	58	48	58	3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	56	66	67	65	内回り 近接空間 1.2m	55	63	63	内回り 背後地 1.2m	54	63	63	4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	57	45	57	65	外回り 近接空間 1.2m	57	45	57	内回り 近接空間 4.2m	59	52	60	5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	58	55	60	65	内回り 近接空間 1.2m	57	58	61	内回り 背後地 1.2m	52	57	58	6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	58	48	58	(60)	外回り 近接空間 1.2m	55	48	56	内回り 近接空間 4.2m	58	48	58	6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	56	57	60	65	外回り 近接空間 1.2m	54	53	57	外回り 背後地 1.2m	53	53	56	<p>【現況値、予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">番号</th> <th rowspan="3">予測地点</th> <th rowspan="3">予測高さ</th> <th rowspan="3">現況値 (dB)</th> <th colspan="6">予測結果L_{Aeq}(dB)</th> <th rowspan="3">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">保全措置前</th> <th colspan="3">保全措置後</th> </tr> <tr> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> <th>計画道路</th> <th>既存道路</th> <th>合成値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">32</td> <td>66</td> <td>45</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>45</td> <td>64</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>61</td> <td>45</td> <td>61</td> <td>60</td> <td>45</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>54</td> <td>45</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>45</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">39</td> <td>64</td> <td>50</td> <td>64</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>46</td> <td>59</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">39</td> <td>58</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>56</td> <td>66</td> <td>67</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>57</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>56</td> <td>67</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>54</td> <td>63</td> <td>64</td> <td>54</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">43</td> <td>57</td> <td>45</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">65</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>59</td> <td>52</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>61</td> <td>46</td> <td>61</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">46</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">(60)</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 1.2m</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内回り 背後地 1.2m</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>57</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.a</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">46</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">(60)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>55</td> <td>48</td> <td>56</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>内回り 近接空間 4.2m</td> <td>54</td> <td>47</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6.b</td> <td rowspan="3">宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)</td> <td>外回り 近接空間 4.2m</td> <td rowspan="3">42</td> <td>55</td> <td>49</td> <td>56</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">(60)</td> </tr> <tr> <td>外回り 近接空間 1.2m</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>55</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外回り 背後地 1.2m</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>66</td> <td>59</td> <td>62</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注 5) 現況値は、一般環境騒音の調査地点における高さ 1.2m の測定値である。</p>	番号	予測地点	予測高さ	現況値 (dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)						基準値 (dB)	保全措置前			保全措置後			計画道路	既存道路	合成値	計画道路	既存道路	合成値	1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	32	66	45	65	64	45	64	65	外回り 近接空間 1.2m	61	45	61	60	45	60	外回り 背後地 1.2m	54	45	58	58	45	58	2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	39	64	50	64	-	-	-	65	外回り 近接空間 1.2m	59	46	59	-	-	-	外回り 背後地 1.2m	58	48	58	-	-	-	3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	39	58	66	67	56	66	67	65	内回り 近接空間 1.2m	57	67	67	56	67	67	内回り 背後地 1.2m	54	63	64	54	63	63	4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	43	57	45	57	-	-	-	65	外回り 近接空間 1.2m	59	52	60	-	-	-	内回り 近接空間 4.2m	61	46	61	-	-	-	5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	46	54	53	57	-	-	-	(60)	内回り 近接空間 1.2m	54	53	57	-	-	-	内回り 背後地 1.2m	54	53	57	-	-	-	6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	46	57	48	58	-	-	-	(60)	外回り 近接空間 1.2m	55	48	56	-	-	-	内回り 近接空間 4.2m	54	47	55	-	-	-	6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	42	55	49	56	-	-	-	(60)	外回り 近接空間 1.2m	54	48	55	-	-	-	外回り 背後地 1.2m	60	62	66	59	62	64
番号	予測地点				予測高さ	予測結果L _{Aeq} (dB)			基準値 (dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		計画道路	既存道路	合成値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	61	45	64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	60	44	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	58	45	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	64	50	64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	59	46	59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	58	48	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	56	66	67	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		内回り 近接空間 1.2m	55	63	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 背後地 1.2m	54	63	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	57	45	57	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	57	45	57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 近接空間 4.2m	59	52	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	58	55	60	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		内回り 近接空間 1.2m	57	58	61																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 背後地 1.2m	52	57	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	58	48	58	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	55	48	56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		内回り 近接空間 4.2m	58	48	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	56	57	60	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外回り 近接空間 1.2m	54	53	57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		外回り 背後地 1.2m	53	53	56																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
番号	予測地点	予測高さ	現況値 (dB)	予測結果L _{Aeq} (dB)						基準値 (dB)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				保全措置前			保全措置後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				計画道路	既存道路	合成値	計画道路	既存道路	合成値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	32	66	45	65	64	45	64	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		61	45	61	60	45	60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		54	45	58	58	45	58																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2	桜井IC周辺 (国道160号、市道東山線) (本完成時)	外回り 近接空間 4.2m	39	64	50	64	-	-	-	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		59	46	59	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		58	48	58	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
3	牛久IC周辺 (県道甲府線、国道警備電王線)	内回り 近接空間 4.2m	39	58	66	67	56	66	67	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内回り 近接空間 1.2m		57	67	67	56	67	67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 背後地 1.2m		54	63	64	54	63	63																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4	甲斐IC・JCT 周辺 (中央自動車道、国道高上支路久保見谷線)	外回り 近接空間 4.2m	43	57	45	57	-	-	-	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		59	52	60	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 近接空間 4.2m		61	46	61	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
5	峠交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	内回り 近接空間 4.2m	46	54	53	57	-	-	-	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内回り 近接空間 1.2m		54	53	57	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 背後地 1.2m		54	53	57	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6.a	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	46	57	48	58	-	-	-	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		55	48	56	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		内回り 近接空間 4.2m		54	47	55	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
6.b	宇津谷交差点周辺 (市道39号、市道東山線)	外回り 近接空間 4.2m	42	55	49	56	-	-	-	(60)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外回り 近接空間 1.2m		54	48	55	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		外回り 背後地 1.2m		60	62	66	59	62	64																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>8-2-44 用語の説明</p>	<p>【用語の説明】 記載なし</p>	<p>【用語の説明】 LA₅: 時間的に変動している値を読み取り、値の大きい順に並び替えた時、高いほうから 5%に相当する値 (90%レンジの上端値) を LA₅ と表す。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>8-2-55 2) 検討結果の検証</p>	<p>【1 行目】 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。</p>	<p>【1 行目】 実施事例等(資料編 2.2 参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>8-2-57 1) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>【6 行目】 記載なし</p>	<p>【6 行目】 さらに、住居等の保全対象の近くでは、超低騒音型機械の使用を検討する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

表 15-1-1 (16) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																					
8-2-57 2) 基準又は目標との整合性の検討	【1～2行目】 ・・・また、予測結果と規制基準を比較した評価結果は表 8-2-30 に示すとおりである。	【1～2行目】 ・・・また、 <u>現況値と環境保全措置前後の予測結果及び規制基準を比較した評価結果は表 8-2-30 に示すとおりである。</u>																																																																																																					
8-2-57 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *2 規制基準は、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とした騒音規制法に基づき定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																																																																					
8-2-58 表 8-2-30 騒音の評価結果	<p>【現況値と予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地上高さ</th> <th>予測結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">法面整形 (掘削部)</td> <td>1.2m</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土 (路体・路床)</td> <td>1.2m</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">土砂掘削</td> <td>1.2m</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土 (路体・路床)</td> <td>1.2m</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 記載なし</p>	ユニット	地上高さ	予測結果 (dB)	鋼橋架設	1.2m	70	4.2m	75	法面整形 (掘削部)	1.2m	77	4.2m	77	鋼橋架設	1.2m	74	4.2m	80	盛土 (路体・路床)	1.2m	82	4.2m	81	土砂掘削	1.2m	81	4.2m	80	鋼橋架設	1.2m	78	4.2m	81	盛土 (路体・路床)	1.2m	78	4.2m	78	<p>【現況値と予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ユニット</th> <th rowspan="2">地上高さ</th> <th rowspan="2">現況値 (dB)</th> <th colspan="2">予測結果 (dB)</th> </tr> <tr> <th>保全措置前</th> <th>保全措置後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">50</td> <td>88</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>88</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">法面整形 (掘削部)</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">45</td> <td>77</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>77</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">45</td> <td>93</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>93</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土 (路体・路床)</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">47</td> <td>82</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>81</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">土砂掘削</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">50</td> <td>81</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>80</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼橋架設</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">50</td> <td>96</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>97</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土 (路体・路床)</td> <td>1.2m</td> <td rowspan="2">50</td> <td>78</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>78</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注 2) 着色部分は、規制基準の超過を示す。</p>	ユニット	地上高さ	現況値 (dB)	予測結果 (dB)		保全措置前	保全措置後	鋼橋架設	1.2m	50	88	70	4.2m	88	75	法面整形 (掘削部)	1.2m	45	77	-	4.2m	77	-	鋼橋架設	1.2m	45	93	74	4.2m	93	80	盛土 (路体・路床)	1.2m	47	82	-	4.2m	81	-	土砂掘削	1.2m	50	81	-	4.2m	80	-	鋼橋架設	1.2m	50	96	78	4.2m	97	81	盛土 (路体・路床)	1.2m	50	78	-	4.2m	78	-
ユニット	地上高さ	予測結果 (dB)																																																																																																					
鋼橋架設	1.2m	70																																																																																																					
	4.2m	75																																																																																																					
法面整形 (掘削部)	1.2m	77																																																																																																					
	4.2m	77																																																																																																					
鋼橋架設	1.2m	74																																																																																																					
	4.2m	80																																																																																																					
盛土 (路体・路床)	1.2m	82																																																																																																					
	4.2m	81																																																																																																					
土砂掘削	1.2m	81																																																																																																					
	4.2m	80																																																																																																					
鋼橋架設	1.2m	78																																																																																																					
	4.2m	81																																																																																																					
盛土 (路体・路床)	1.2m	78																																																																																																					
	4.2m	78																																																																																																					
ユニット	地上高さ	現況値 (dB)	予測結果 (dB)																																																																																																				
			保全措置前	保全措置後																																																																																																			
鋼橋架設	1.2m	50	88	70																																																																																																			
	4.2m		88	75																																																																																																			
法面整形 (掘削部)	1.2m	45	77	-																																																																																																			
	4.2m		77	-																																																																																																			
鋼橋架設	1.2m	45	93	74																																																																																																			
	4.2m		93	80																																																																																																			
盛土 (路体・路床)	1.2m	47	82	-																																																																																																			
	4.2m		81	-																																																																																																			
土砂掘削	1.2m	50	81	-																																																																																																			
	4.2m		80	-																																																																																																			
鋼橋架設	1.2m	50	96	78																																																																																																			
	4.2m		97	81																																																																																																			
盛土 (路体・路床)	1.2m	50	78	-																																																																																																			
	4.2m		78	-																																																																																																			
8-2-59 表 8-2-31 調査地点	<p>【地点の変更】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画用途地域</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象	甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等	<p>【地点の変更】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画用途地域</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																																																																					
調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象																																																																																																				
甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等																																																																																																				
調査場所	路線名	都市計画用途地域	保全対象																																																																																																				
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																																																																																				
8-2-60 4) 調査期間等	【2～4行目】 ・・・平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)にかけて 24 時間連続の測定を行った。	【2～4行目】 ・・・平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)及び平成 24 年 5 月 16 日(水)から平成 24 年 5 月 17 日(木)にかけて 24 時間連続の測定を行った。																																																																																																					

表 15-1-1 (17) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																													
8-2-62 表 8-2-32 騒音レベルの調査結果 (L _{Aeq})	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>調査結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 (dB)	甲府市 桜井町	国道 140 号	68	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>調査結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町(2)</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 (dB)	甲府市 桜井町(2)	国道 140 号 (西関東連絡道路)	65																																																																																	
調査地点	路線名	調査結果 (dB)																																																																																													
甲府市 桜井町	国道 140 号	68																																																																																													
調査地点	路線名	調査結果 (dB)																																																																																													
甲府市 桜井町(2)	国道 140 号 (西関東連絡道路)	65																																																																																													
8-2-62 表 8-2-33 自動車交通量の調査結果	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>16,163</td> <td>6.1</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市 桜井町	国道 140 号	16,163	6.1	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>13,794</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	13,794	4.9																																																																													
調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)																																																																																												
甲府市 桜井町	国道 140 号	16,163	6.1																																																																																												
調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)																																																																																												
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	13,794	4.9																																																																																												
8-2-71 表 8-2-37 工事用車両の運行に係る騒音の予測結果	【路線名、現況値(dB)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>現況値 (dB)</th> <th>地上 高さ</th> <th>予測 結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">甲府市 桜井町</td> <td rowspan="2">国道 140 号</td> <td rowspan="2">68</td> <td>1.2m</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	現況値 (dB)	地上 高さ	予測 結果 (dB)	甲府市 桜井町	国道 140 号	68	1.2m	68	4.2m	68	【路線名、現況値(dB)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>現況値 (dB)</th> <th>地上 高さ</th> <th>予測 結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">甲府市 桜井町</td> <td rowspan="2">国道 140 号 (西関 東連絡道路)</td> <td rowspan="2">65</td> <td>1.2m</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	現況値 (dB)	地上 高さ	予測 結果 (dB)	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関 東連絡道路)	65	1.2m	65	4.2m	65																																																																					
調査地点	路線名	現況値 (dB)	地上 高さ	予測 結果 (dB)																																																																																											
甲府市 桜井町	国道 140 号	68	1.2m	68																																																																																											
			4.2m	68																																																																																											
調査地点	路線名	現況値 (dB)	地上 高さ	予測 結果 (dB)																																																																																											
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関 東連絡道路)	65	1.2m	65																																																																																											
			4.2m	65																																																																																											
8-2-73 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *3 環境基準は、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。 *4 要請限度は、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とした騒音規制法に基づき定められたものであり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																																																													
8-2-74 表 8-2-41 騒音の評価結果	【路線名、現況値(dB)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>地上 高さ</th> <th>予測 結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">甲府市 桜井町</td> <td rowspan="2">国道 140 号</td> <td>1.2m</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲府市 古府中町</td> <td rowspan="2">県道甲府山梨線</td> <td>1.2m</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲府市 山宮町</td> <td rowspan="2">県道甲府昇仙峡線</td> <td>1.2m</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 牛匂</td> <td rowspan="2">県道敷島竜王線</td> <td>1.2m</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 団子新居</td> <td rowspan="2">県道島上条宮久保 絵見堂線</td> <td>1.2m</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 宇津谷出口</td> <td rowspan="2">県道甲府葦崎線</td> <td>1.2m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	地上 高さ	予測 結果 (dB)	甲府市 桜井町	国道 140 号	1.2m	68	4.2m	68	甲府市 古府中町	県道甲府山梨線	1.2m	63	4.2m	62	甲府市 山宮町	県道甲府昇仙峡線	1.2m	67	4.2m	67	甲斐市 牛匂	県道敷島竜王線	1.2m	68	4.2m	68	甲斐市 団子新居	県道島上条宮久保 絵見堂線	1.2m	65	4.2m	65	甲斐市 宇津谷出口	県道甲府葦崎線	1.2m	70	4.2m	70	【路線名、現況値(dB)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>地上 高さ</th> <th>現況値 (dB)</th> <th>予測 結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">甲府市 桜井町</td> <td rowspan="2">国道 140 号 (西関 東連絡道路)</td> <td>1.2m</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲府市 古府中町</td> <td rowspan="2">県道甲府山梨線</td> <td>1.2m</td> <td>61</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>61</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲府市 山宮町</td> <td rowspan="2">県道甲府昇仙峡線</td> <td>1.2m</td> <td>64</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>64</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 牛匂</td> <td rowspan="2">県道敷島竜王線</td> <td>1.2m</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>68</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 団子新居</td> <td rowspan="2">県道島上条宮久保 絵見堂線</td> <td>1.2m</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>63</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">甲斐市 宇津谷出口</td> <td rowspan="2">県道甲府葦崎線</td> <td>1.2m</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>4.2m</td> <td>70</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	地上 高さ	現況値 (dB)	予測 結果 (dB)	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関 東連絡道路)	1.2m	65	65	4.2m	65	65	甲府市 古府中町	県道甲府山梨線	1.2m	61	63	4.2m	61	62	甲府市 山宮町	県道甲府昇仙峡線	1.2m	64	67	4.2m	64	67	甲斐市 牛匂	県道敷島竜王線	1.2m	68	68	4.2m	68	68	甲斐市 団子新居	県道島上条宮久保 絵見堂線	1.2m	63	65	4.2m	63	65	甲斐市 宇津谷出口	県道甲府葦崎線	1.2m	70	70	4.2m	70	70
調査地点	路線名	地上 高さ	予測 結果 (dB)																																																																																												
甲府市 桜井町	国道 140 号	1.2m	68																																																																																												
		4.2m	68																																																																																												
甲府市 古府中町	県道甲府山梨線	1.2m	63																																																																																												
		4.2m	62																																																																																												
甲府市 山宮町	県道甲府昇仙峡線	1.2m	67																																																																																												
		4.2m	67																																																																																												
甲斐市 牛匂	県道敷島竜王線	1.2m	68																																																																																												
		4.2m	68																																																																																												
甲斐市 団子新居	県道島上条宮久保 絵見堂線	1.2m	65																																																																																												
		4.2m	65																																																																																												
甲斐市 宇津谷出口	県道甲府葦崎線	1.2m	70																																																																																												
		4.2m	70																																																																																												
調査地点	路線名	地上 高さ	現況値 (dB)	予測 結果 (dB)																																																																																											
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関 東連絡道路)	1.2m	65	65																																																																																											
		4.2m	65	65																																																																																											
甲府市 古府中町	県道甲府山梨線	1.2m	61	63																																																																																											
		4.2m	61	62																																																																																											
甲府市 山宮町	県道甲府昇仙峡線	1.2m	64	67																																																																																											
		4.2m	64	67																																																																																											
甲斐市 牛匂	県道敷島竜王線	1.2m	68	68																																																																																											
		4.2m	68	68																																																																																											
甲斐市 団子新居	県道島上条宮久保 絵見堂線	1.2m	63	65																																																																																											
		4.2m	63	65																																																																																											
甲斐市 宇津谷出口	県道甲府葦崎線	1.2m	70	70																																																																																											
		4.2m	70	70																																																																																											
8-3-1 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 L ₁₀ ：時間的に変動している値を読み取り、値の大きい順に並び替えた時、高いほうから 10%に相当する値 (80%レンジの上端値) を L ₁₀ と表す。 地盤卓越振動数: 地盤固有の特性 (地盤の固さなど) を表すひとつの指標																																																																																													
8-3-2 表 8-3-2(2) 振動及び地盤の状況の調査地点 (道路交通振動)	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>保全 対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象	甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>保全 対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																																																													
調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象																																																																																												
甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等																																																																																												
調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象																																																																																												
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																																																																												

表 15-1-1 (18) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																																						
8-3-3 4) 調査期間等	【2～4 行目】 ……、平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)にかけて 24 時間連続の測定を行った。	【2～4 行目】 ……、平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)及び平成 24 年 5 月 16 日(水)から平成 24 年 5 月 17 日(木)にかけて 24 時間連続の測定を行った。																																																																																																																						
8-3-5 表 8-3-3(2) 振動の状況の調査結果 (道路交通振動)	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果 L₁₀ (dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>45</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果 L ₁₀ (dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	45	39	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果 L₁₀ (dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>40</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果 L ₁₀ (dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	40	32																																																																																																						
調査地点	調査結果 L ₁₀ (dB)																																																																																																																							
	昼間	夜間																																																																																																																						
甲府市桜井町	45	39																																																																																																																						
調査地点	調査結果 L ₁₀ (dB)																																																																																																																							
	昼間	夜間																																																																																																																						
甲府市桜井町	40	32																																																																																																																						
8-3-16 2) 基準又は目標との整合性の検討	【1～2 行目】 ……また、予測結果と規制基準を比較した評価結果は……	【1～2 行目】 ……また、 <u>現況値と予測結果及び規制基準を比較した評価結果は……</u>																																																																																																																						
8-3-16 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *1 規制基準は、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とした振動規制法に基づき定められたものであり、対象事業による影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																																																																																						
8-3-17 表 8-3-10 振動の評価結果(振動レベルの 80%レンジの上端値(L ₁₀))	【現況値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">予測結果 (L₁₀)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>外回り</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>甲府市塚原町</td> <td>外回り</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>甲斐市牛匂</td> <td>内回り</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">甲斐市 団子新居</td> <td>外回り</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>甲斐市岩森</td> <td>内回り</td> <td>50</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">甲斐市 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td>44</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td>44</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>甲斐市 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td>42</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点		予測結果 (L ₁₀)		昼間	夜間	1	甲府市桜井町	外回り	43	42	2	甲府市塚原町	外回り	43	42	3	甲斐市牛匂	内回り	43	42	4	甲斐市 団子新居	外回り	39	38	内回り	39	38	5	甲斐市岩森	内回り	50	49	6	甲斐市 宇津谷東部	外回り	44	43	内回り	44	43	7	甲斐市 宇津谷田畑	外回り	42	41	【現況値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th colspan="2" rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">現況値</th> <th colspan="2">予測結果 (L₁₀)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>外回り</td> <td>34</td> <td><30</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>甲府市塚原町</td> <td>外回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>甲斐市牛匂</td> <td>内回り</td> <td>31</td> <td><30</td> <td>43</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2">甲斐市 団子新居</td> <td>外回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>甲斐市岩森</td> <td>内回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>50</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6</td> <td rowspan="2">甲斐市 宇津谷東部</td> <td>外回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>44</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>内回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>44</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>甲斐市 宇津谷田畑</td> <td>外回り</td> <td><30</td> <td><30</td> <td>42</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点		現況値		予測結果 (L ₁₀)		昼間	夜間	昼間	夜間	1	甲府市桜井町	外回り	34	<30	43	42	2	甲府市塚原町	外回り	<30	<30	43	42	3	甲斐市牛匂	内回り	31	<30	43	42	4	甲斐市 団子新居	外回り	<30	<30	39	38	内回り	<30	<30	39	38	5	甲斐市岩森	内回り	<30	<30	50	49	6	甲斐市 宇津谷東部	外回り	<30	<30	44	43	内回り	<30	<30	44	43	7	甲斐市 宇津谷田畑	外回り	<30	<30	42	41
番号	予測地点				予測結果 (L ₁₀)																																																																																																																			
			昼間	夜間																																																																																																																				
1	甲府市桜井町	外回り	43	42																																																																																																																				
2	甲府市塚原町	外回り	43	42																																																																																																																				
3	甲斐市牛匂	内回り	43	42																																																																																																																				
4	甲斐市 団子新居	外回り	39	38																																																																																																																				
		内回り	39	38																																																																																																																				
5	甲斐市岩森	内回り	50	49																																																																																																																				
6	甲斐市 宇津谷東部	外回り	44	43																																																																																																																				
		内回り	44	43																																																																																																																				
7	甲斐市 宇津谷田畑	外回り	42	41																																																																																																																				
番号	予測地点		現況値		予測結果 (L ₁₀)																																																																																																																			
			昼間	夜間	昼間	夜間																																																																																																																		
1	甲府市桜井町	外回り	34	<30	43	42																																																																																																																		
2	甲府市塚原町	外回り	<30	<30	43	42																																																																																																																		
3	甲斐市牛匂	内回り	31	<30	43	42																																																																																																																		
4	甲斐市 団子新居	外回り	<30	<30	39	38																																																																																																																		
		内回り	<30	<30	39	38																																																																																																																		
5	甲斐市岩森	内回り	<30	<30	50	49																																																																																																																		
6	甲斐市 宇津谷東部	外回り	<30	<30	44	43																																																																																																																		
		内回り	<30	<30	44	43																																																																																																																		
7	甲斐市 宇津谷田畑	外回り	<30	<30	42	41																																																																																																																		
8-3-17 表 8-3-10 振動の評価結果(振動レベルの 80%レンジの上端値(L ₁₀))	【表注釈の追加】 記載なし	【表注釈の追加】 注 5) 現況値は、一般環境振動の調査地点における測定値である。 注 6) 現況値の「<30」は、測定限界 30dB 未満であったことを示す。																																																																																																																						

表 15-1-1 (19) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																								
8-3-27 表 8-3-18 環境保全措置の検討	【環境保全措置の効果】 低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。	【環境保全措置の効果】 低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。 なお、低振動型に指定されている建設機械は限られているため、指定されている機種(パイプロハンマ)を用いる工事に限られた環境保全措置である。																																																								
8-3-27 2) 検討結果の検証	【1行目】 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見・・・	【1行目】 実施事例等(資料編 2.2 参照)により、環境保全措置の効果に係る知見・・・																																																								
8-3-28 表 8-3-19(2) 検討結果の整理	【環境保全措置の効果】 低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。	【環境保全措置の効果】 低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。なお、低振動型に指定されている建設機械は限られているため、指定されている機種(パイプロハンマ)を用いる工事に限られた環境保全措置である。																																																								
8-3-29 2) 基準又は目標との適合性の検討	【環境保全措置の効果】 ・・・また、予測結果と規制基準を比較した評価結果は・・・	【環境保全措置の効果】 ・・・また、 <u>現況値</u> と予測結果及び規制基準を比較した評価結果は・・・																																																								
8-3-29 表 8-3-21 振動の評価結果	【現況値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>ユニット</th> <th>予測結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装工</td> <td>上層路盤、下層路盤</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>盛土工(路体、路床)</td> <td>盛土(路体、路床)</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装工</td> <td>上層路盤、下層路盤</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>盛土工(路体、路床)</td> <td>盛土(路体、路床)</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	種別	ユニット	予測結果 (dB)	場所打杭工	オールケーシング	51	アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	56	場所打杭工	オールケーシング	58	盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	63	アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	59	場所打杭工	オールケーシング	63	盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	61	【現況値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>ユニット</th> <th>現況値 (dB)</th> <th>予測結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td>34</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装工</td> <td>上層路盤、下層路盤</td> <td><30</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td><30</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>盛土工(路体、路床)</td> <td>盛土(路体、路床)</td> <td><30</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>アスファルト舗装工</td> <td>上層路盤、下層路盤</td> <td><30</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>場所打杭工</td> <td>オールケーシング</td> <td><30</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>盛土工(路体、路床)</td> <td>盛土(路体、路床)</td> <td><30</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	種別	ユニット	現況値 (dB)	予測結果 (dB)	場所打杭工	オールケーシング	34	51	アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	<30	56	場所打杭工	オールケーシング	<30	58	盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	<30	63	アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	<30	59	場所打杭工	オールケーシング	<30	63	盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	<30	61
種別	ユニット	予測結果 (dB)																																																								
場所打杭工	オールケーシング	51																																																								
アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	56																																																								
場所打杭工	オールケーシング	58																																																								
盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	63																																																								
アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	59																																																								
場所打杭工	オールケーシング	63																																																								
盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	61																																																								
種別	ユニット	現況値 (dB)	予測結果 (dB)																																																							
場所打杭工	オールケーシング	34	51																																																							
アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	<30	56																																																							
場所打杭工	オールケーシング	<30	58																																																							
盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	<30	63																																																							
アスファルト舗装工	上層路盤、下層路盤	<30	59																																																							
場所打杭工	オールケーシング	<30	63																																																							
盛土工(路体、路床)	盛土(路体、路床)	<30	61																																																							
8-3-29 表 8-3-21 振動の評価結果	【表注釈の追加】 記載なし	【表注釈の追加】 注 1) 現況値は、一般環境振動の調査地点における昼間の測定値である。 注 2) 現況値の「<30」は、測定限界 30dB 未満であったことを示す。																																																								
8-3-29 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 *2 規制基準は、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とした振動規制法に基づき定められたものであり、対象事業による影響を当該基準値まで許容させるものではない。																																																								

表 15-1-1 (20) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																														
8-3-31 表 8-3-23 振動及び地盤の状況の 調査地点	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画 用途地</th> <th>保全 対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画 用途地	保全 対象	甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査場所</th> <th>路線名</th> <th>都市計画 用途地域</th> <th>保全 対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>無指定</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																														
調査場所	路線名	都市計画 用途地	保全 対象																																													
甲府市 桜井町	国道 140 号	無指定	住居等																																													
調査場所	路線名	都市計画 用途地域	保全 対象																																													
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	無指定	住居等																																													
8-3-31 4) 調査期間等	【2～4 行目】 ・・・・平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)にかけて 24 時間連続の測定を行った。	【2～4 行目】 ・・・・平成 18 年 10 月 17 日(火)から平成 18 年 10 月 18 日(水)及び平成 24 年 5 月 16 日(水)から平成 24 年 5 月 17 日(木)にかけて 24 時間連続の測定を行った。																																														
8-3-33 表 8-3-24 振動の状況の調査結果	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>調査結果 L_{10}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 L_{10}	甲府市 桜井町	国道 140 号	45	【地点の変更】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>路線名</th> <th>調査結果 L_{10}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市 桜井町</td> <td>国道 140 号 (西関東連絡道路)</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 L_{10}	甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	40																																		
調査地点	路線名	調査結果 L_{10}																																														
甲府市 桜井町	国道 140 号	45																																														
調査地点	路線名	調査結果 L_{10}																																														
甲府市 桜井町	国道 140 号 (西関東連絡道路)	40																																														
8-3-40 5) 予測結果	【1 行目】 予測値は、<30～46dB である。	【1 行目】 予測値は、<30～42dB である。																																														
8-3-40 表 8-3-27 工事用車両の運行に係 る振動の予測結果	【路線名、現況値、予測値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">L_{10}</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道 140 号</td> <td>45</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>県道甲府山梨線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府昇仙峡線</td> <td><30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>県道島上条宮久保絵見堂線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	L_{10}		現況値	予測値	国道 140 号	45	46	県道甲府山梨線	<30	<30	県道甲府昇仙峡線	<30	33	県道敷島竜王線	31	32	県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30	県道甲府葦崎線	41	42	【路線名、現況値、予測値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">L_{10}</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> <td>40</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>県道甲府山梨線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府昇仙峡線</td> <td><30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>県道島上条宮久保絵見堂線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	L_{10}		現況値	予測値	国道 140 号(西関東連絡道路)	40	42	県道甲府山梨線	<30	<30	県道甲府昇仙峡線	<30	33	県道敷島竜王線	31	32	県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30	県道甲府葦崎線	41	42
路線名	L_{10}																																															
	現況値	予測値																																														
国道 140 号	45	46																																														
県道甲府山梨線	<30	<30																																														
県道甲府昇仙峡線	<30	33																																														
県道敷島竜王線	31	32																																														
県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30																																														
県道甲府葦崎線	41	42																																														
路線名	L_{10}																																															
	現況値	予測値																																														
国道 140 号(西関東連絡道路)	40	42																																														
県道甲府山梨線	<30	<30																																														
県道甲府昇仙峡線	<30	33																																														
県道敷島竜王線	31	32																																														
県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30																																														
県道甲府葦崎線	41	42																																														

表 15-1-1 (21) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																									
8-3-42 2) 基準又は目標との整合性の検討	【1～2行目】 ・・・また、予測結果と規制基準を比較した評価結果は・・・	【1～2行目】 ・・・また、 <u>現況値と予測結果及び規制基準を比較した評価結果は・・・</u>																																																																																																									
8-3-42 脚注	【脚注】 記載なし	【脚注】 <u>*3 規制基準は、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とした振動規制法に基づき定められたものであり、対象事業による影響を当該基準値まで許容させるものではない。</u>																																																																																																									
8-3-43 表 8-3-31 工事用車両の運行に係る振動の評価結果	【路線名、現況値、予測値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">L₁₀</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道 140 号</td> <td>45</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>県道甲府山梨線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府昇仙峡線</td> <td><30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>県道島上条宮久保絵見堂線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	L ₁₀		現況値	予測値	国道 140 号	45	46	県道甲府山梨線	<30	<30	県道甲府昇仙峡線	<30	33	県道敷島竜王線	31	32	県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30	県道甲府葦崎線	41	42	【路線名、現況値、予測値】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">L₁₀</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測結</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> <td>40</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>県道甲府山梨線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府昇仙峡線</td> <td><30</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>県道島上条宮久保絵見堂線</td> <td><30</td> <td><30</td> </tr> <tr> <td>県道甲府葦崎線</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	L ₁₀		現況値	予測結	国道 140 号(西関東連絡道路)	40	42	県道甲府山梨線	<30	<30	県道甲府昇仙峡線	<30	33	県道敷島竜王線	31	32	県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30	県道甲府葦崎線	41	42																																																											
路線名	L ₁₀																																																																																																										
	現況値	予測値																																																																																																									
国道 140 号	45	46																																																																																																									
県道甲府山梨線	<30	<30																																																																																																									
県道甲府昇仙峡線	<30	33																																																																																																									
県道敷島竜王線	31	32																																																																																																									
県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30																																																																																																									
県道甲府葦崎線	41	42																																																																																																									
路線名	L ₁₀																																																																																																										
	現況値	予測結																																																																																																									
国道 140 号(西関東連絡道路)	40	42																																																																																																									
県道甲府山梨線	<30	<30																																																																																																									
県道甲府昇仙峡線	<30	33																																																																																																									
県道敷島竜王線	31	32																																																																																																									
県道島上条宮久保絵見堂線	<30	<30																																																																																																									
県道甲府葦崎線	41	42																																																																																																									
8-4-1 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>低周波音：一般に人間が聴くことができる音の周波数範囲は 20Hz～20,000Hz と言われるが、100Hz 以下の音波のことをいう。</u>																																																																																																									
8-4-13 表 8-4-8 整合を図るべき基準等	【表注釈の追加】 記載なし	【表注釈の追加】 <u>なお、低周波音の参考となる指標は、国等で整合を図るべき基準及び目標が定められていない場合、その項目の定量的な評価を行う目安として用いた値であり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。</u>																																																																																																									
8-5-2 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>帯水層：地層の分類の一種。利水可能な地下水が飽和している地層。地層を構成する粒子間の空隙・間隙が大きく、かつ、地下水によって飽和されている透水層。</u>																																																																																																									
8-5-4 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>観測井：地層の収縮量および帯水層の地下水位を観測するために設けられた井戸。</u>																																																																																																									
8-5-17 表 8-5-6(3) 調査区域の利用源泉数	【施設数等】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">温泉地名</th> <th colspan="3">利用源泉数(箇所)</th> <th rowspan="2">主たる泉質名</th> </tr> <tr> <th>自噴</th> <th>動力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>ナトリウム-塩化物泉</td> </tr> <tr> <td>湯村</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>ナトリウム・カルシウム-塩化物泉</td> </tr> <tr> <td>湯村除く</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>48</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水</td> </tr> <tr> <td>春日居</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>素塩泉</td> </tr> <tr> <td>石和</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>18</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td>春日居・石和除く</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>62</td> <td>75</td> <td>137</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温泉地名	利用源泉数(箇所)			主たる泉質名	自噴	動力	合計		3	11	14	ナトリウム-塩化物泉	湯村	0	12	12	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉	湯村除く	22	26	48	単純温泉		8	7	15	単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水	春日居	5	4	9	素塩泉	石和	12	6	18	単純温泉	春日居・石和除く	12	9	21	単純温泉		62	75	137		【施設数等】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">温泉地名</th> <th rowspan="2">施設数</th> <th colspan="3">利用源泉数(箇所)</th> <th rowspan="2">主たる泉質名</th> </tr> <tr> <th>自噴</th> <th>動力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>17</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>ナトリウム-塩化物泉</td> </tr> <tr> <td>湯村</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>ナトリウム・カルシウム-塩化物泉</td> </tr> <tr> <td>湯村除く</td> <td>42</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>60</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水</td> </tr> <tr> <td>春日居</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>素塩泉</td> </tr> <tr> <td>石和</td> <td>66</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>20</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td>春日居・石和除く</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>20</td> <td>単純温泉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>175</td> <td>63</td> <td>88</td> <td>151</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温泉地名	施設数	利用源泉数(箇所)			主たる泉質名	自噴	動力	合計		17	4	11	15	ナトリウム-塩化物泉	湯村	11	0	12	12	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉	湯村除く	42	24	36	60	単純温泉		16	7	9	16	単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水	春日居	17	4	4	8	素塩泉	石和	66	12	8	20	単純温泉	春日居・石和除く	6	12	8	20	単純温泉		175	63	88	151	
温泉地名	利用源泉数(箇所)			主たる泉質名																																																																																																							
	自噴	動力	合計																																																																																																								
	3	11	14	ナトリウム-塩化物泉																																																																																																							
湯村	0	12	12	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉																																																																																																							
湯村除く	22	26	48	単純温泉																																																																																																							
	8	7	15	単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水																																																																																																							
春日居	5	4	9	素塩泉																																																																																																							
石和	12	6	18	単純温泉																																																																																																							
春日居・石和除く	12	9	21	単純温泉																																																																																																							
	62	75	137																																																																																																								
温泉地名	施設数	利用源泉数(箇所)			主たる泉質名																																																																																																						
		自噴	動力	合計																																																																																																							
	17	4	11	15	ナトリウム-塩化物泉																																																																																																						
湯村	11	0	12	12	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉																																																																																																						
湯村除く	42	24	36	60	単純温泉																																																																																																						
	16	7	9	16	単純・ナトリウム-塩化物・炭酸水																																																																																																						
春日居	17	4	4	8	素塩泉																																																																																																						
石和	66	12	8	20	単純温泉																																																																																																						
春日居・石和除く	6	12	8	20	単純温泉																																																																																																						
	175	63	88	151																																																																																																							

表 15-1-1 (22) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-5-17 表 8-5-6(3) 調査区域の利用源泉数	【表注釈】 出典：山梨県 平成 19 年度資料 ※湧出量は、毎分あたりの湧出量に 24 時間を乗じて 1 日あたりとして算出	【表注釈】 出典：施設数「公共温泉利用施設一覧」（平成 22 年 12 月 20 日現在） 「利用施設一覧」（平成 22 年 12 月 20 日現在） 他 「平成 22 年度利用状況調査」（平成 23 年 3 月末現在） http://www.pref.yamanashi.jp/taiki-sui/50295382321.html
8-5-25 1) 回避又は低減に係る評価	【最終段落】 なお、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じる。	【最終段落】 なお、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じる。 <u>また、トンネル掘削工事による地下水位の低下等の影響が懸念される箇所において、工事の実施に当たって当該影響が見られる際には、地下水等への影響の低減効果を含めて、施工方法を検討し、確実に対策を実施する。温泉については、継続的なモニタリングを行い、工事中及び供用後の温泉の状況の把握に努める。</u>
8-7-15 表 8-7-7 整合を図るべき基準	【表注釈の追加】 記載なし	【表注釈の追加】 なお、この参考値は、定量的な評価を行なう目安として用いた値であり、対象事業による環境影響を当該基準値まで許容させるものではない。
8-8-2 表 8-8-1(1) 調査の手法	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 樹洞性：樹皮がはがれて木の中が腐るなどして隙間が開き、できた洞窟状の空間を、「休息、隠れ家、ねぐら、営巣、繁殖・育雛など」の場所として利用する性質のこと。
8-8-12 a) 哺乳類の生息状況	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 洞穴性：生息の活動（採餌・採食、休息、ねぐら、繁殖、成長）の一部又は全てを、洞窟（光がなく、温度が一定で、湿度が高い環境）に依存する性質のこと。
8-8-23 a) 魚類の生息状況	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 特定外来種：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（2004 年、法律 78 号）〔外来生物法〕」によって、飼育、栽培、譲渡、運搬、輸入、野外への放出などが規制された生物種（1 科 4 属 32 種、37 種類）。海外から導入された外来生物（移入種：対象とする地域や個体群の中に外部から入り込んだ個体の種）のうち、日本にもともとあった生態系、人の生命や健康、農林水産業に被害を及ぼす又は及ぼす恐れがある生物が指定されている。

表 15-1-1 (23) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-8-44 表 8-8-21(1) 重要な鳥類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・周辺には同質の環境が広く分布している。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・周辺には同質の環境が広く分布している。<u>河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。</u> ・したがって、・・・
<p>8-8-45 表 8-8-21(3) 重要な鳥類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置、 建設機械の稼動」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種の主な生息環境は・・・ ・本種が確認されている・・・、同質の環境が多く残る。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置、 建設機械の稼動」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本種の主な生息環境は・・・ ・本種が確認されている・・・、同質の環境が多く残る。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。</u> ・したがって、・・・
<p>8-8-55 表 8-8-21(14) 重要な鳥類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・に含まれない。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・に含まれない。<u>河川については、河幅の狭い河川では河道内等の設置に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。</u> ・したがって、・・・
<p>8-8-58 表 8-8-21(19) 重要な鳥類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・、周辺には同質の環境が広く分布している。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・、周辺には同質の環境が広く分布している。<u>河川については、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。</u> ・したがって、・・・
<p>8-8-60 表 8-8-22(2) 重要な両生類・爬虫類 の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・、河道内に橋脚は設置しない計画である。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・、河道内に橋脚は設置しない計画である。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。</u> ・したがって、・・・

表 15-1-1 (24) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-8-62 表 8-8-23 重要な魚類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・
<p>8-8-63 表 8-8-24 (1) 重要な昆虫類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・
<p>8-8-64 表 8-8-24 (2) 重要な昆虫類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・
<p>8-8-65 表 8-8-24 (3) 重要な昆虫類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域周辺で・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・
<p>8-8-66 表 8-8-24 (4) 重要な昆虫類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・
<p>8-8-67 表 8-8-24 (5) 重要な昆虫類の予測結果</p>	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。</u> ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、 工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、<u>改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u></u> ・したがって、・・・

表 15-1-1 (25) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書								
8-8-74 表 8-8-25 (1) 重要な底生動物（昆虫類を除く）の予測結果	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・、周辺には同質の環境が広く分布している。また、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくし、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・、周辺には同質の環境が広く分布している。<u>河川については、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> ・したがって、・・・ 								
8-8-75 表 8-8-25 (2) 重要な底生動物（昆虫類を除く）の予測結果	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、工事にあたっては濁水対策を実施する。 ・したがって、・・・ 	<p>【「工事施工ヤード、工事用道路等の設置」の影響予測】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画路線区域及び・・・ ・本種が確認されている・・・、改変範囲は橋脚施工部のみであり、同質の環境が多く残る。また、<u>工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> ・したがって、・・・ 								
8-8-77 表 8-8-27 環境保全措置の検討	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1" data-bbox="456 920 916 1099"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低騒音型・低振動型機械の使用</td> <td>低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1" data-bbox="935 920 1394 1312"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低騒音型・低振動型機械の使用</td> <td>低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。さらに、<u>超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。さらに、 <u>超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。
環境保全措置	環境保全措置の効果									
低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。									
環境保全措置	環境保全措置の効果									
低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。さらに、 <u>超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。									
8-8-78 3) 検討結果の検証	<p>【1 行目】 実施事例等により、・・・</p>	<p>【1 行目】 実施事例等（資料編 2.2 参照）により、・・・</p>								
8-8-78 4) 検討結果の整理	<p>【2 段落目】 なお、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。</p>	<p>【2 段落目】 なお、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。<u>キクガシラコウモリの代償措置の具体的な内容については、これまでの調査結果や専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に措置を実施する。オオタカについては、工事着手前において繁殖状況の調査を実施し、環境保全措置として繁殖地の近傍において繁殖期間中に工事を実施しない等について、専門家等の意見を踏まえて十分に検討し、適切に環境保全措置を実施する。</u></p>								

表 15-1-1 (26) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-8-78 表 8-8-28 代償措置の検討及び検証（キクガシラコウモリ）</p>	<p>【用語の説明】 記載なし</p>	<p>【用語の説明】 ボックスカルバート：道路等の路盤下を横断する箱型のトンネル（箱型の暗渠〔あんきょ〕）。 ※ボックスカルバートは、タヌキ、イタチ、キツネなど、多くの動物が「道路等の横断の移動経路」として利用している（「国土技術政策総合研究資料第 393 号-第 395 号（平成 19 年 6 月）」）。 ※また、ボックスカルバートを利用して、コウモリ類の「ねぐら・繁殖場所」などの創出を行っている場合もある（資料編 2.2.5 参照）。</p>
<p>8-8-79 表 8-8-29(3) 検討結果の整理</p>	<p>【実施内容 位置】 計画路線区域明かり部（対象種の繁殖地近傍）</p>	<p>【実施内容 位置】 計画路線区域明かり部（対象種の繁殖地近傍） オオタカについては、調査箇所 A と E を対象とする。</p>
<p>8-8-81 2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応</p>	<p>【1～2 行目】 事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関協議し、・・・</p>	<p>【1～3 行目】 事後調査の結果により、事業の実施による生息環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関協議し、・・・</p>
<p>8-8-81 3) 事後調査結果の公表方法</p>	<p>【1 行目】 事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。</p>	<p>【1 行目】 事後調査結果の公表については、原則として事業者が行うものとするが、関係機関と連携しつつ、適切な時期・方法により公表する。</p>

表 15-1-1 (27) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-9-1 表 8-9-1 調査手法	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>被度：種別の植被率を階級で示したもの（階級区分は6階級）。コドラート（方形区）内において、その植物がその層でどれだけの面積を占めているかを示す。</u> <u>群度：種別の生育状態を階級で示したもの（階級区分は5階級）。コドラート（方形区）内において、その植物がどのような状態で群落をつくっているか、あるいは単独で存在するかなどを示す。</u> <u>階層構造：植生の垂直断面の構造。森林は「高木層、亜高木層、低木層、草本層」で構成されている。</u>
8-9-14 a) 植生の状況	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>薪炭林：薪や木炭の原料の生産を目的とする森林。薪炭林は広葉樹などの二次林（代償植生）が主で、暖温帯ではシイ類・カシ類、冷温帯ではコナラ・ミズナラ・クヌギ・アカマツなどが主な構成種である。薪炭の原料として10～30年ごとに伐採が繰返されてきた林で、里地・里山の中心的存在であり、人為的な管理（伐採頻度や下草刈り、落葉掃きなど）で維持されてきた。</u> <u>代償植生：さまざまな人為的影響が加えられた後に成立した植生。農耕地や人工林などのほか、刈り取り・伐採などによって成立した里山や草原なども含まれる。人為的影響がなくなると、徐々に構成種が変化し、自然植生に向けて遷移する。</u> <u>自然植生：人間によって伐採や植林などの手が加えられていない植生。代表的な自然植生は、関東以南の海岸や低山帯に成立するシイ・カシ・タブなどの常緑広葉樹林、関東以南の山地帯や本州北部・北海道の低山帯に成立するミズナラ・ブナを中心とする落葉広葉樹林、北海道の山地に成立するエゾマツ・トドマツの亜高山針葉樹林などである。</u>
8-9-37 3) 検討結果の検証	【1行目】 実施事例等により、・・・	【1行目】 実施事例等（資料編2.2参照）により、・・・
8-9-39 2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応	【1～2行目】 事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関協議し、・・・	【1～3行目】 事後調査の結果により、事業の実施による生育の大幅な変化、保全対象種の生育数の減少等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関協議し、・・・

表 15-1-1 (28) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-10-3～6 表 8-10-2 (1) ～ (4) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【表の記載】 各生態系の区分及び概要を1枚の表で集約 表8-10-2：山地の樹林の生態系 台地・低地の樹林の生態系 果樹園・畑地の生態系 水田の生態系 大規模河川の生態系 (釜無川・塩川) 中規模河川の生態系(荒川) ため池の生態系 市街地の生態系</p>	<p>【表の記載】 各生態系の区分及び概要を4枚の表に分割 表8-10-2 (1)：山地の樹林の生態系 表8-10-2 (2)：台地・低地の樹林の生態系 果樹園・畑地の生態系 表8-10-2 (3)：水田の生態系 大規模河川の生態系 (釜無川・塩川) 表8-10-2 (4)：中規模河川の生態系(荒川) ため池の生態系 市街地の生態系</p>
<p>8-10-3 表 8-10-2 (1) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【地域を特徴づける生態系の区分の列】 ＜山地の樹林生態系＞の行 山地の樹林生態系</p>	<p>【地域を特徴づける生態系の区分の列】 ＜山地の樹林生態系＞の行 山地の樹林生態系 【面積：527.4ha】</p>
<p>8-10-3 表 8-10-2 (1) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜山地の樹林生態系＞の行 ・・・生態系であるとみなされる。</p> <p>【表注釈の追加】 記載なし</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜山地の樹林生態系＞の行 ・・・生態系であるとみなされる。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕キツネ、テン、アカネズミ、ニホンイノシシ、モグラ、ニホンリス、ムササビ、ツキノワグマ 〔鳥類〕オオタカ、シジュウカラ、ヒヨドリ、キビタキ、メジロ、ホオジロ、イカル 〔両生類・爬虫類〕トカゲ、カナヘビ 〔昆虫類〕オオムラサキ、ヤマトタマムシ、ルリボシカミキリ、アカハナカミキリ、アカシジミ、ウラナミアカシジミ、ハルゼミ、ヒグラシ、チッチゼミ 【主要な植生・植物種】 〔植生〕アカマツ群落、コナラ群落、ケヤキ群落、アラカシ群落、伐跡群落、スギ・ヒノキ植林 高木：アカマツ、クヌギ、コナラ、エノキ、ケヤキ、カスミザクラ、スギ、ヒノキ 低木：ヤマブキ、コゴメウツギ、アオキ、ヤマウルシ、クマノミズキ、ハナイカダ、エゴノキ、マルバアオダモ、ムラサキシキブ、ヤマウグイスカグラ、ガマズミ 草本：オオバノイノモトソウ、クマワラビ、オケラ、シラヤマギク、コウヤボウキ、オオバジャノヒゲ、サルトリイバラ、タチドコロ、アズマネザサ、コチヂミザサ、シュンラン</p> <p>【表注釈の追加】 ※主な地形区分での「山地（傾斜地）」と「台地・低地（平坦地）」については、土地利用等を考慮に入れて、概ね傾斜角度8°以上の地域を「山地（傾斜地）」、傾斜角度8°未満の地域を「台地・低地（平坦地）」として大別している。</p>

表 15-1-1 (29) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																		
<p>8-10-4 〔準備書 8-10-3〕 表 8-10-2 (2) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【地域を特徴づける生態系の区分と 主な植生区分と主な地形区分の列】</p> <table border="1" data-bbox="469 320 903 553"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台地・低地の樹林生態系</td> <td>樹林</td> <td>台地・低地(平坦地)</td> </tr> <tr> <td>果樹園・畑地の生態系</td> <td>果樹園・畑地</td> <td>山地(傾斜地)台地・低地(平坦地)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【生態系の概要の列】 ＜台地・低地の樹林生態系＞の行 ・・・小規模な水田等も内包する。</p> <p>＜果樹園・畑地の生態系＞の行 ・・・段丘斜面にみられる樹林も内包する。</p>	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	台地・低地の樹林生態系	樹林	台地・低地(平坦地)	果樹園・畑地の生態系	果樹園・畑地	山地(傾斜地)台地・低地(平坦地)	<p>【地域を特徴づける生態系の区分と 主な植生区分と主な地形区分の列】</p> <table border="1" data-bbox="948 320 1382 553"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台地・低地の樹林生態系 【面積：62.4ha】</td> <td>樹林・水域</td> <td>台地・低地(平坦地)</td> </tr> <tr> <td>果樹園・畑地の生態系 【面積：314.6ha】</td> <td>果樹園・畑地・ススキ草地</td> <td>山地(傾斜地) ----- 台地・低地(平坦地)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【生態系の概要の列】 ＜台地・低地の樹林生態系＞の行 ・・・小規模な水田等も内包する。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕キツネ、イタチ、アカネズミ、モグラ、キクガシラコウモリ 〔鳥類〕オオタカ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、カルガモ 〔両生類・爬虫類〕アマガエル、トカゲ、カナヘビ、イシガメ 〔魚類〕オイカワ、アブラハヤ 〔昆虫類〕ニイニイゼミ、オオムラサキ、アカマダラコガネ、アカシジミ、カゲロウ類、オナガサナエ、オニヤンマ、ゲンジボタル、シマトビケラ類、ユスリカ類 〔その他の無脊椎動物〕カワニナ 【主要な植生・植物種】 〔植生〕コナラ群落、オニグルミ群落、ハリエンジュ群落、シンジュ群落、竹林、ヤナギ低木林、クサヨシ群落 高木：オニグルミ、クヌギ、コナラ、エノキ、ハリエンジュ、シンジュ 低木：タチヤナギ、ヤマコウバシ、アケビ、ノイバラ、コマユミ、ヤマウコギ、ムラサキシキブ、ヤマウグイスカグラ、ガマズミ、エノキ 草本：ヤブマメ、スイカズラ、カナムグラ、ギシギシ、カキドオシ、オケラ、ジャノヒゲ、クサヨシ、ノガリヤス、チヂミザサ、アズマネザサ その他：付着藻類、デトリタス</p> <p>＜果樹園・畑地の生態系＞の行 ・・・段丘斜面にみられる樹林も内包する。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕キツネ、モグラ、ニホンイノシシ、イタチ、ハクビシン、アカネズミ、カヤネズミ 〔鳥類〕オオタカ、チョウゲンボウ、ムクドリ、キジバト、ヒヨドリ、ツグミ、ホオジロ、スズメ 〔両生類・爬虫類〕アマガエル、カナヘビ 〔昆虫類〕キボシカミキリ、クワラムシ、クマバチ、コウカアブ、モモブトカミキリモドキ、オオモンクロベッコウ、キリギリス、キバネツノトンボ、ツチイナゴ 【主要な植生・植物種】 〔植生〕果樹園・桑畑、畑、畑地雑草群落(放棄畑)、アズマネザサ群落、ヨモギ・セイタカアワダチソウ群落、ススキ・クズ群落 低木：イチジク、モモ、ウメ、ブドウ、マグラ 草本：チズナ、オオイヌノフグリ、カキドオシ、スベリヒユ、トキワハゼ、ヤハズソウ、メドハギ、クズ、メヒシバ、エノコログサ、ススキ、果菜、葉菜、根菜</p>	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	台地・低地の樹林生態系 【面積：62.4ha】	樹林・水域	台地・低地(平坦地)	果樹園・畑地の生態系 【面積：314.6ha】	果樹園・畑地・ススキ草地	山地(傾斜地) ----- 台地・低地(平坦地)
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																		
台地・低地の樹林生態系	樹林	台地・低地(平坦地)																		
果樹園・畑地の生態系	果樹園・畑地	山地(傾斜地)台地・低地(平坦地)																		
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																		
台地・低地の樹林生態系 【面積：62.4ha】	樹林・水域	台地・低地(平坦地)																		
果樹園・畑地の生態系 【面積：314.6ha】	果樹園・畑地・ススキ草地	山地(傾斜地) ----- 台地・低地(平坦地)																		

表 15-1-1 (30) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																		
8-10-4 [準備書 8-10-3] 表 8-10-2 (2) [準備書 表 8-10-2] 地域を特徴づける生態系の区分及び概要	【表注釈の追加】 記載なし	【表注釈の追加】 ※ <u>主な地形区分での「山地（傾斜地）」と「台地・低地（平坦地）」については、土地利用等を考慮に入れて、概ね傾斜角度 8° 以上の地域を「山地（傾斜地）」、傾斜角度 8° 未満の地域を「台地・低地（平坦地）」として大別している。</u>																		
8-10-5 [準備書 8-10-3] 表 8-10-2 (3) [準備書 表 8-10-2] 地域を特徴づける生態系の区分及び概要	【地域を特徴づける生態系の区分、 主な植生区分と主な地形区分の列】 <table border="1" data-bbox="469 539 900 831"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田の生態系</td> <td>水田</td> <td>台地・低地 (平坦地)</td> </tr> <tr> <td>大規模河川の生態系 (釜無川・塩川)</td> <td colspan="2">河川・水辺</td> </tr> </tbody> </table> 【生態系の概要の列】 <水田の生態系>の行 ・ ・ ・ 平坦地にのみ分布する。	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	水田の生態系	水田	台地・低地 (平坦地)	大規模河川の生態系 (釜無川・塩川)	河川・水辺		【地域を特徴づける生態系の区分、 主な植生区分と主な地形区分の列】 <table border="1" data-bbox="948 539 1378 831"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水田の生態系 【面積：110.9ha】</td> <td>水田耕作地・ 高茎草地</td> <td>台地・低地 (平坦地)</td> </tr> <tr> <td>大規模河川の生態系 (釜無川・塩川) 【面積：31.9ha】</td> <td>河畔林・高茎 草地・自然裸 地・開放水域</td> <td>河川・水辺</td> </tr> </tbody> </table> 【生態系の概要の列】 <水田の生態系>の行 ・ ・ ・ 平坦地にのみ分布する。 【 <u>主要な動物種</u> 】 [哺乳類] イタチ、カヤネズミ、タヌキ [鳥類] オオタカ、チョウゲンボウ、ムクドリ、ツグミ、スズメ [両生類・爬虫類] トノサマガエル、アマガエル、カナヘビ、アオダイショウ [昆虫類] ヤチスズ、タンボコオロギ、ウスイロササキリ、エゾイナゴ、ヘイケボタル [その他の無脊椎動物] ヒメタニシ、サカマキガイ 【 <u>主要な植生・植物種</u> 】 [植生] 水田、ヨシ群落、ガマ群落、水田雑草群落（放棄水田） 草本：チョウジタデ、アゼナ、オオヂシバリ、コナギ、コブナグサ、イヌビエ、チガヤ、ヨシ、ヒメガマ、ガマ、ヒメクグ、イネ その他：付着藻類	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	水田の生態系 【面積：110.9ha】	水田耕作地・ 高茎草地	台地・低地 (平坦地)	大規模河川の生態系 (釜無川・塩川) 【面積：31.9ha】	河畔林・高茎 草地・自然裸 地・開放水域	河川・水辺
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																		
水田の生態系	水田	台地・低地 (平坦地)																		
大規模河川の生態系 (釜無川・塩川)	河川・水辺																			
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																		
水田の生態系 【面積：110.9ha】	水田耕作地・ 高茎草地	台地・低地 (平坦地)																		
大規模河川の生態系 (釜無川・塩川) 【面積：31.9ha】	河畔林・高茎 草地・自然裸 地・開放水域	河川・水辺																		

表 15-1-1 (31) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																								
<p>8-10-5 〔準備書 8-10-3〕 表 8-10-2 (3) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜大規模河川の生態系＞の行 ・・・裸地環境を内包する。</p> <p>【表注釈の追加】 記載なし</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜大規模河川の生態系＞の行 ・・・裸地環境を内包する。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕 タヌキ 〔鳥類〕 チョウゲンボウ、ダイサギ、アオサギ、イソシギ、ツバメ、イワツバメ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、スズメ、イカルチドリ 〔両生類・爬虫類〕 カナヘビ、ツチガエル 〔魚類〕 アブラハヤ、オイカワ 〔昆虫類〕 ヒラタクワガタ、オオコフキコガネ、ヒゲナガカワトビケラ、カゲロウ類、ハグロトンボ、カワラバッタ、ハマスズ、ニセハネナガヒシバッタ、セグロバッタ、トノサマバッタ、シロヘリツチカメムシ、カワラゴミムシ、シブイロカヤキリモドキ、イチモンジセセリ 【主要な植生・植物種】 〔植生〕 ハリエンジュ群落、オギ群落、ススキ・チガヤ群落、ススキ・クズ群落、シナダレスズメガヤ群落、砂礫河原（自然裸地）、開放水域 高木：ヤナギ類、ハリエンジュ 低木：エノキ 草本：オオイヌタデ、カラスノエンドウ、クズ、カナムグラ、ヤブジラミ、オトコヨモギ、カワラサイコ、シナダレスズメガヤ、クサヨシ、オギ、ススキ、チガヤ、ツルヨシ、イチゴツナギ その他：付着藻類、デトリタス</p> <p>【表注釈の追加】 ※主な地形区分での「山地（傾斜地）」と「台地・低地（平坦地）」については、土地利用等を考慮に入れて、概ね傾斜角度 8° 以上の地域を「山地（傾斜地）」、傾斜角度 8° 未満の地域を「台地・低地（平坦地）」として大別している。</p>																								
<p>8-10-6 〔準備書 8-10-3〕 表 8-10-2 (4) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【地域を特徴づける生態系の区分、主な植生区分と主な地形区分の列】</p> <table border="1" data-bbox="469 1485 903 1874"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中規模河川の生態系（荒川）</td> <td>河川・水辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ため池の生態系</td> <td>河川・水辺</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市街地の生態系</td> <td>市街地</td> <td>山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）</td> </tr> </tbody> </table>	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	中規模河川の生態系（荒川）	河川・水辺		ため池の生態系	河川・水辺		市街地の生態系	市街地	山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）	<p>【地域を特徴づける生態系の区分、主な植生区分と主な地形区分の列】</p> <table border="1" data-bbox="951 1485 1377 1874"> <thead> <tr> <th>地域を特徴づける生態系の区分</th> <th>主な植生区分</th> <th>主な地形区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中規模河川の生態系（荒川） 【面積：9.0ha】</td> <td>抽水植物・開放水域</td> <td>河川・水辺</td> </tr> <tr> <td>ため池の生態系 【面積：31.2ha】</td> <td>樹林・抽水植物・湿生植物・開放水域</td> <td>河川・水辺</td> </tr> <tr> <td>市街地の生態系 【面積：241.5ha】</td> <td>市街地</td> <td>山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）</td> </tr> </tbody> </table>	地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分	中規模河川の生態系（荒川） 【面積：9.0ha】	抽水植物・開放水域	河川・水辺	ため池の生態系 【面積：31.2ha】	樹林・抽水植物・湿生植物・開放水域	河川・水辺	市街地の生態系 【面積：241.5ha】	市街地	山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																								
中規模河川の生態系（荒川）	河川・水辺																									
ため池の生態系	河川・水辺																									
市街地の生態系	市街地	山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）																								
地域を特徴づける生態系の区分	主な植生区分	主な地形区分																								
中規模河川の生態系（荒川） 【面積：9.0ha】	抽水植物・開放水域	河川・水辺																								
ため池の生態系 【面積：31.2ha】	樹林・抽水植物・湿生植物・開放水域	河川・水辺																								
市街地の生態系 【面積：241.5ha】	市街地	山地（傾斜地） ----- 台地・低地（平坦地）																								

表 15-1-1 (32) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-10-6 〔準備書 8-10-3〕 表 8-10-2 (4) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜中規模河川の生態系＞の行 ・・・構造物が多くみられる。</p> <p>＜ため池の生態系＞の行 ・・・乏しい状況にある。</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜中規模河川の生態系＞の行 ・・・構造物が多くみられる。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕アカネズミ 〔鳥類〕オオタカ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、セグロセキレイ 〔両生類・爬虫類〕カジカガエル 〔魚類〕アブラハヤ、アユ 〔昆虫類〕ヒゲナガカワトビケラ、カゲロウ類、ハネナガイナゴ、ウスイロササキリ、イネミズゾウムシ、ミヤマカワトンボ、ヘビトンボ</p> <p>【主要な植生・植物種】 〔植生〕ツルヨシ群落、開放水域 草本：ミゾソバ、ツルヨシ その他：付着藻類、デトリタス</p> <p>＜ため池の生態系＞の行 ・・・乏しい状況にある。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕イタチ 〔鳥類〕オオタカ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、セグロセキレイ、モズ、シジュウカラ 〔両生類・爬虫類〕ウシガエル、クサガメ 〔魚類〕ブラックバス、ブルーギル、トウヨシノボリ 〔昆虫類〕コシアキトンボ、ガムシ、ホソミイトトンボ、ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、ユスリカ類、オオヤマトンボ、ウスイロササキリ、エゾイナゴ、ヤナギルリハムシ 〔その他の無脊椎動物〕ヒメタニシ、アメリカザリガニ</p> <p>【主要な植生・植物種】 〔植生〕抽水植物群落、湿生植物群落、アカメヤナギ林、開放水域 低木：アカメヤナギ 草本：オオイヌタデ、イヌビエ、クサヨシ、ヒメガマ その他：付着藻類、デトリタス</p>

表 15-1-1 (33) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-10-6 〔準備書 8-10-3〕 表 8-10-2 (4) 〔準備書 表 8-10-2〕 地域を特徴づける生態系の区分及び概要</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜市街地の生態系＞の行 ・・・一つの生態系として扱った。</p> <p>【表注釈の追加】 記載なし</p>	<p>【生態系の概要の列】 ＜市街地の生態系＞の行 ・・・一つの生態系として扱った。</p> <p>【主要な動物種】 〔哺乳類〕ヒナコウモリ科の一種、ハツカネズミ 〔鳥類〕スズメ、ムクドリ、ドバト 〔両生類・爬虫類〕アマガエル、カナヘビ 〔昆虫類〕アオマツムシ、ルリチュウレンジ、ナミアゲハ、ヤマトシジミ</p> <p>【主要な植生・植物種】 〔植生〕市街地の植物相（オオミゾソバ群落、造成地雑草群落、人工草地、植栽樹群、鉄道・道路、工場・資材置場、住宅地・建造物、人工裸地・グラウンド） 高木：イチョウ、ソメイヨシノ 低木：サザンカ、アジサイ、サツキ、カキノキ 草本：スギナ、イヌタデ、ツメクサ、イヌガラシ、ヘビイチゴ、カタバミ、ヤエムグラ、ヒルガオ、イヌホオズキ、ノゲシ、オニタビラコ、エノコログサ、カヤツリグサ</p> <p>【表注釈の追加】 ※主な地形区分での「山地（傾斜地）」と「台地・低地（平坦地）」については、土地利用等を考慮に入れて、概ね傾斜角度 8° 以上の地域を「山地（傾斜地）」、傾斜角度 8° 未満の地域を「台地・低地（平坦地）」として大別している。</p>
<p>8-10-30 〔準備書 8-10-27〕 表 8-10-5 (2) 注目種の選定理由</p>	<p>【用語の説明】 記載なし</p>	<p>【用語の説明】 洞穴性：生息の活動（採餌・採食、休息、ねぐら、繁殖、成長）の一部又は全てを、洞窟（光がなく、温度が一定で、湿度が高い環境）に依存する性質のこと。</p>
<p>8-10-34 〔準備書 8-10-31〕 d) 注目種・群集の生態的特性</p>	<p>【2～3 行目】 ・・・生態的特性を表 8-10-6～表 8-10-12 に示す。なお、生息・生育基盤の利用状況図は資料編に示す。</p>	<p>【2～3 行目】 ・・・生態的特性は表 8-10-6～表 8-10-12 に、これら注目種・群集の生息・生育基盤の利用状況図は図 8-10-10 に示すとおりである。</p>
<p>8-10-42 図 8-10-10(1) キツネの生息範囲（上位性）</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 キツネの生息範囲の図を追加 「準備書資料編 169、図 9-1-1(1)」に以下の補足を行い、本編に移動。 ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。 ・主な移動経路を追加。</p>

表 15-1-1 (34) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-10-43 図 8-10-10(2) オオタカの生息範囲 (上位性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 オオタカの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 170、図 9-1-1(2)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-44 図 8-10-10(3) チョウゲンボウの生息 範囲 (上位性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 チョウゲンボウの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 171、図 9-1-1(3)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-45 図 8-10-10(4) アオサギの生息範囲 (上位性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 アオサギの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 172、図 9-1-1(4)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-46 図 8-10-10(5) アカネズミの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 アカネズミの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 173、図 9-1-1(5)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-47 図 8-10-10(6) カヤネズミの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 カヤネズミの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 174、図 9-1-1(6)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。

表 15-1-1 (35) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-10-48 図 8-10-10(7) ニホンイノシシの生息 範囲(典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>ニホンイノシシの生息範囲の図を追加</u> <u>「準備書資料編 175、図 9-1-1(7)」に以</u> <u>下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明 かり部の区間」と「トンネル部の区間」 とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわか る表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積 等の情報を追加。
8-10-49 図 8-10-10(8) シジュウカラの生息範 囲(典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>シジュウカラの生息範囲の図を追加</u> <u>「準備書資料編 176、図 9-1-1(8)」に以</u> <u>下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明 かり部の区間」と「トンネル部の区間」 とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわか る表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積 等の情報を追加。
8-10-50 図 8-10-10(9) ムクドリの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>ムクドリの生息範囲の図を追加</u> <u>「準備書資料編 177、図 9-1-1(9)」に以</u> <u>下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明 かり部の区間」と「トンネル部の区間」 とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわか る表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積 等の情報を追加。
8-10-51 図 8-10-10(10) トノサマガエルの生息 範囲(典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>トノサマガエルの生息範囲の図を追加</u> <u>「準備書資料編 178、図 9-1-1(10)」に以</u> <u>下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明 かり部の区間」と「トンネル部の区間」 とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわか る表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積 等の情報を追加。
8-10-52 図 8-10-10(11) カジカガエルの生息範 囲(典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>カジカガエルの生息範囲の図を追加</u> <u>「準備書資料編 179、図 9-1-1(11)」に以</u> <u>下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明 かり部の区間」と「トンネル部の区間」 とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわか る表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積 等の情報を追加。

表 15-1-1 (36) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-10-53 図 8-10-10(12) オイカワの生息範囲 (典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 オイカワの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 180、図 9-1-1(12)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-54 図 8-10-10(13) アブラハヤの生息範囲 (典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 アブラハヤの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 181、図 9-1-1(13)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-55 図 8-10-10(14) コシアキトンボの生息範囲(典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 コシアキトンボの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 182、図 9-1-1(14)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-56 図 8-10-10(15) カワラバッタの生息範囲(典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 カワラバッタの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 183、図 9-1-1(15)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-57 図 8-10-10(16) ハネナガイナゴの生息範囲(典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 ハネナガイナゴの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 184、図 9-1-1(16)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>

表 15-1-1 (37) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-10-58 図 8-10-10(17) ハルゼミの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 ハルゼミの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 185、図 9-1-1(17)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-59 図 8-10-10(18) ニイニイゼミの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 ニイニイゼミの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 186、図 9-1-1(18)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-60 図 8-10-10(19) キボシカミキリの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 キボシカミキリの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 187、図 9-1-1(19)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-61 図 8-10-10(20) ヒゲナガカワトビケラの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 ヒゲナガカワトビケラの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 188、図 9-1-1(20)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。
8-10-62 図 8-10-10(21) オオムラサキの生息範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 オオムラサキの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 189、図 9-1-1(21)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。

表 15-1-1 (38) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
<p>8-10-63 図 8-10-10(22) キクガシラコウモリの 生息範囲(特殊性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 キクガシラコウモリの生息範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 190、図 9-1-1(22)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-64 図 8-10-10(23) コナラ群落の生育範囲 (典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 コナラ群落の生育範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 191、図 9-1-1(23)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-65 図 8-10-10(24) アカマツ群落(二次林) の生育範囲(典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 アカマツ群落(二次林)の生育範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 192、図 9-1-1(24)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-66 図 8-10-10(25) ススキクズ群落の生 育範囲(典型性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 ススキクズ群落の生育範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 193、図 9-1-1(25)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>
<p>8-10-67 図 8-10-10(26) 水田環境の範囲(典型 性)</p>	<p>【図の追加】 記載なし</p>	<p>【図の追加】 水田環境の範囲の図を追加 <u>「準備書資料編 194、図 9-1-1(26)」に以下の補足を行い、本編に移動。</u> ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。</p>

表 15-1-1 (39) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書												
8-10-68 図 8-10-10(27) オギ群落の生育範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 オギ群落の生育範囲の図を追加 「準備書資料編 195、図 9-1-1(27)」に以下の補足を行い、本編に移動。 ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。												
8-10-69 図 8-10-10(28) ツルヨシ群落の生育範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 ツルヨシ群落の生育範囲の図を追加 「準備書資料編 196、図 9-1-1(28)」に以下の補足を行い、本編に移動。 ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。												
8-10-70 図 8-10-10(29) 抽水・湿性植物帯の生育範囲 (典型性)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 抽水・湿性植物帯の生育範囲の図を追加 「準備書資料編 197、図 9-1-1(29)」に以下の補足を行い、本編に移動。 ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。												
8-10-71 [準備書 8-10-39] 4) 予測対象種の選定	【第 2 段落、1 行目】 ・・・・表 8-10-6～表 8-10-12 に示す・・・	【第 2 段落、1 行目】 ・・・・表 8-10-6～表 8-10-12 及び図 8-10-10 に示す・・・												
8-10-79 [準備書 8-10-47] 表 8-10-14(2) 台地・低地の樹林生態系の予測結果	【オイカワの予測結果】 <table border="1" data-bbox="459 1462 912 1771"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td> ・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・	【オイカワの予測結果】 <table border="1" data-bbox="938 1462 1391 1877"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td> ・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・
影響要因	影響内容	予測結果												
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・												
影響要因	影響内容	予測結果												
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する(資料編 2.3 章に記載)。よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・												

表 15-1-1 (40) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																		
8-10-80 [準備書 8-10-48] 表 8-10-14(3) 台地・低地の樹林生態系の予測結果	【オイカワの予測結果】 <table border="1" data-bbox="456 293 914 483"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、<u>変更範囲</u>・・・</td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> <td>・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、 <u>変更範囲</u> ・・・	道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・	【オイカワの予測結果】 <table border="1" data-bbox="933 293 1391 521"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約8m²）。しかし、<u>変更範囲</u>・・・</td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> <td>・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約8m ² ）。しかし、 <u>変更範囲</u> ・・・	道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、 <u>変更範囲</u> ・・・																		
道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・																		
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・あり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約8m ² ）。しかし、 <u>変更範囲</u> ・・・																		
道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・																		
8-10-81 [準備書 8-10-49] 表 8-10-14(4) 台地・低地の樹林生態系の予測結果	【キクガシラコウモリの予測結果】 <table border="1" data-bbox="456 584 914 976"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、その防空壕・・・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する。また、一部の防空壕は・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、その防空壕・・・		生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する。また、一部の防空壕は・・・	【キクガシラコウモリの予測結果】 <table border="1" data-bbox="933 584 1391 999"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が<u>3箇所</u>存在するが、その防空壕は・・・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域及びその周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が<u>7箇所</u>存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する（<u>4箇所</u>）。また、一部の防空壕は・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が <u>3箇所</u> 存在するが、その防空壕は・・・		生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域及びその周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が <u>7箇所</u> 存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する（ <u>4箇所</u> ）。また、一部の防空壕は・・・
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、その防空壕・・・																		
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する。また、一部の防空壕は・・・																		
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が <u>3箇所</u> 存在するが、その防空壕は・・・																		
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域及びその周辺には、本種のねぐらや繁殖場所となる防空壕が <u>7箇所</u> 存在するが、工事の実施により防空壕の大部分が消失する（ <u>4箇所</u> ）。また、一部の防空壕は・・・																		
8-10-90 [準備書 8-10-57] 表 8-10-17(1) 大規模河川（釜無川・塩川）の生態系の予測結果	【アオサギの予測結果】 <table border="1" data-bbox="456 1055 914 1447"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では<u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>	【アオサギの予測結果】 <table border="1" data-bbox="933 1055 1391 1514"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では<u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u>よって、<u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u> よって、 <u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>						
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>																		
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域に・・・環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u> よって、 <u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>																		
8-10-91 [準備書 8-10-58] 表 8-10-17(2) 大規模河川（釜無川・塩川）の生態系の予測結果	【アブラハヤの予測結果】 <table border="1" data-bbox="456 1570 914 1962"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では<u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>	【アブラハヤの予測結果】 <table border="1" data-bbox="933 1570 1391 2051"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的变化</td> <td>・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では<u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u>よって、<u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u></td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u> よって、 <u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>						
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。また、その他の河川においても、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>																		
影響要因	影響内容	予測結果																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的变化	・計画路線区域周辺には、・・・同質の環境が多く存在する。 ・その他の河川においては、河幅の狭い河川では河道内に橋脚は設置せず、河幅の広い河川では <u>変更範囲を極力少なくすることや、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編2.3章に記載）。</u> よって、 <u>主な生息環境に変化はほとんど生じない。</u>																		

表 15-1-1 (41) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																
8-10-93 [準備書 8-10-60] 表 8-10-18(1) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果	<p>【アオサギの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td> ・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td> ・計画路線区域には、本種の生息環境となる河川が分布するが、本種の主な生息環境である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息環境の一部消失や分断による生息環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の生息環境となる河川が分布するが、本種の主な生息環境である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息環境の一部消失や分断による生息環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・	<p>【アオサギの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td> ・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。<u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u>よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、<u>計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。</u>しかし、<u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。 <u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、 <u>計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。</u> しかし、 <u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・
影響要因	影響内容	予測結果																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の生息環境となる河川が分布するが、本種の主な生息環境である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息環境の一部消失や分断による生息環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・																
影響要因	影響内容	予測結果																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。 <u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、 <u>計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。</u> しかし、 <u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・																
8-10-94 [準備書 8-10-61] 表 8-10-18(2) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果	<p>【カジカガエルの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、<u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、 <u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	<p>【カジカガエルの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。しかし、<u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。しかし、 <u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断
影響要因	影響内容	予測結果																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、 <u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・																
道路の存在	移動経路の分断																	
影響要因	影響内容	予測結果																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21㎡）。しかし、 <u>改変範囲は・・・</u> ・したがって、・・・																
道路の存在	移動経路の分断																	

表 15-1-1 (42) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																		
<p>8-10-94 〔準備書 8-10-61〕 表 8-10-18(2) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果</p>	<p>【アブラハヤの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="456 288 916 875"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td>・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・</td> </tr> <tr> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、改変範囲は・・・</td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> <td>・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ハネナガイナゴの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="456 960 916 1140"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、改変範囲は・・・	道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・	<p>【アブラハヤの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="935 288 1394 898"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td>・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。<u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u>よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・</td> </tr> <tr> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m²）。しかし、改変範囲は・・・</td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> <td>・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ハネナガイナゴの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="935 960 1394 1162"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある（4脚中2脚、約41m²）。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。 <u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m ² ）。しかし、改変範囲は・・・	道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある（4脚中2脚、約41m ² ）。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくすることや、工事にあたっては濁水対策を実施するため、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																																		
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある。しかし、改変範囲は・・・																																		
道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・																																		
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・																																		
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域周辺には、・・・せず、河幅の広い河川では改変範囲を極力少なくする。 <u>また、工事実施に伴い濁水の発生等の影響が考えられることから、工事の実施にあたっては濁水対策を実施する（資料編 2.3 章に記載）。</u> よって、主な生息環境に変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																																		
	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m ² ）。しかし、改変範囲は・・・																																		
道路の存在	移動経路の分断	・したがって、・・・																																		
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、・・・影響を及ぼす可能性がある（4脚中2脚、約41m ² ）。しかし、改変範囲は・・・ ・したがって、・・・																																		
<p>8-10-95 〔準備書 8-10-62〕 表 8-10-18(3) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果</p>	<p>【ヒゲナガカワトビケラの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="456 1225 916 1565"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息環境の質的変化</td> <td>・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息基盤の一部消失や分断による生息基盤の縮小は生じない。 ・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息基盤の一部消失や分断による生息基盤の縮小は生じない。 ・したがって、・・・	<p>【ヒゲナガカワトビケラの予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="935 1225 1394 1722"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td>・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m²）。しかし、改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m ² ）。しかし、改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																						
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息環境の質的変化	・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生息基盤の一部消失や分断による生息基盤の縮小は生じない。 ・したがって、・・・																																		
影響要因	影響内容	予測結果																																		
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生息基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中1脚、約21m ² ）。しかし、改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生息基盤の変化はほとんど生じない。 ・したがって、・・・																																		

表 15-1-1 (43) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書												
8-10-95 [準備書 8-10-62] 表 8-10-18(3) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果	<p>【ツルヨシ群落の予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="456 291 916 629"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生育基盤の縮小、消失</td> <td> ・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生育環境の一部消失や分断による生育環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生育基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生育環境の一部消失や分断による生育環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・	<p>【ツルヨシ群落の予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="935 291 1394 786"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生育基盤の縮小、消失</td> <td> ・計画路線区域には、本種の主な生育基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生育基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中2脚、約41㎡）。しかし、<u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生育基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・ </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生育基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生育基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生育基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中2脚、約41㎡）。しかし、 <u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生育基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・
影響要因	影響内容	予測結果												
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生育基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の生息基盤となる河川が分布するが、本種の主な生息基盤である荒川については、計画路線が橋梁で通過するため、生育環境の一部消失や分断による生育環境の縮小は生じない。 ・したがって、・・・												
影響要因	影響内容	予測結果												
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生育基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生育基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。荒川は、河川区域内への橋脚の設置が必要となる可能性があり、生育基盤が一部消失、縮小する可能性がある（4脚中2脚、約41㎡）。しかし、 <u>改変範囲は橋脚施工部のみで、同質の環境が多く残るため、主な生育基盤の変化はほとんど生じない。</u> ・したがって、・・・												
8-10-100 [準備書 8-10-67] 表 8-10-21 環境保全措置の検討	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1" data-bbox="456 846 916 1025"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低騒音型・低振動型機械の使用</td> <td>低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1" data-bbox="935 846 1394 1238"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低騒音型・低振動型機械の使用</td> <td>低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。<u>さらに、超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。 <u>さらに、超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。				
環境保全措置	環境保全措置の効果													
低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。													
環境保全措置	環境保全措置の効果													
低騒音型・低振動型機械の使用	低騒音型・低振動型の建設機械を使用することにより、計画路線区域及び周辺を生息範囲とする種への影響を低減することができる。 <u>さらに、超低騒音型機械の使用も検討する。</u> なお、低振動型に指定されている機械は限られているため、指定されている機械（バイプロハンマ）を用いる工事に限られた環境保全措置である。													
8-10-101 [準備書 8-10-68] 3) 検討結果の検証	<p>【1行目】 実施事例等により、・・・</p>	<p>【1行目】 実施事例等（資料編 2.2 参照）により、・・・</p>												
8-10-101 [準備書 8-10-68] 表 8-10-22 代償措置の検討及び検証（キクガシラコウモリ）	<p>【用語の説明】 記載なし</p>	<p>【用語の説明】 ボックスカルバート：道路等の路盤下を横断する箱型のトンネル（箱型の暗渠〔あんきょ〕）。 ※ボックスカルバートは、タヌキ、イタチ、キツネなど、多くの動物が「道路等の横断の移動経路」として利用している（「国土技術政策総合研究資料第 393 号-第 395 号（平成 19 年 6 月）」）。 ※また、ボックスカルバートを利用して、コウモリ類の「ねぐら・繁殖場所」などの創出を行っている場合もある（資料編 2.2.7 参照）。</p>												
8-10-103 [準備書 8-10-70] 表 8-10-23(3) 検討結果の整理	<p>【実施内容 位置】 計画路線区域明かり部（対象種の繁殖地近傍）</p>	<p>【実施内容 位置】 計画路線区域明かり部（対象種の繁殖地近傍） オオタカについては、調査箇所 A と E を対象とする。</p>												

表 15-1-1 (44) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																							
8-10-105 〔準備書 8-10-72〕 2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応	【1～2 行目】 事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関協議し、・・・	【1～3 行目】 <u>事後調査の結果により、事業の実施による生息環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関協議し、・・・</u>																																																							
8-11-2 表 8-11-1 調査期間	【調査期間の追加】 —	【調査期間の追加】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">調査期間</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">平成 24 年 5 月 1 日</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">平成 24 年 6 月 14 日</td></tr> </table>	調査期間	平成 24 年 5 月 1 日	平成 24 年 6 月 14 日																																																				
調査期間																																																									
平成 24 年 5 月 1 日																																																									
平成 24 年 6 月 14 日																																																									
8-11-3 図 8-11-1 道路の存在に係る主要な眺望点及び景観資源調査位置図	【調査地点の追加】 24 地点	【調査地点の追加】 <u>43 地点 (25～42 番を追加)</u>																																																							
8-11-6 表 8-11-3(2) 日常的な視点場の状況	<p>【計画路線からの距離、調査地点の追加】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>国道 20 号からの景観</td> <td>約 950m</td> <td>韭崎市東端の国道 20 号上に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や水田となっており、その中に商業施設が点在している。</td> <td>韭崎市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、最も近接する明かり部からの水平距離を示す。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	24	国道 20 号からの景観	約 950m	韭崎市東端の国道 20 号上に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や水田となっており、その中に商業施設が点在している。	韭崎市	<p>【計画路線からの距離、調査地点の追加】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>東善寺墓地の西側</td> <td>約170m</td> <td>東善寺墓地の西側の生活上の眺望点である。周辺には果樹園が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>桜井町散策路</td> <td>約105m</td> <td>国道140号(西関東連絡道路)北側から西側の果樹園へ向かう散策路上の生活上の眺望点である。眺望点周辺はクワリ・コナラ等の雑木林が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>英和大学東側住宅地入口</td> <td>約140m</td> <td>国道140号(西関東連絡道路)から英和大学東側の住宅地へ向かう歩道上の生活上の眺望点である。眺望点周辺には住宅地が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>英和大学北西の果樹園及び桜並木</td> <td>約240m</td> <td>英和大学北西の果樹園へ向かう農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は果樹園が広がり、右手に大山沢川が流れる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前</td> <td>約200m</td> <td>金峰神社付近の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>古府中町第2号公園</td> <td>約80m</td> <td>古府中町第2号公園前の眺望点である。眺望点の前に相川が流れ、その先に甲府市塚原町の住宅地が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>2号トンネル入口北側の農道</td> <td>交差</td> <td>甲府市塚原町の住宅地から北側へ伸びる農道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 県道101号(甲斐市牛久 敷高菅王線) を通過する区画</td> <td>約40m</td> <td>昇仙峡へ向かう県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 上の生活上の眺望点である。眺望点の左手に果樹園がある。</td> <td>甲府市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表 8-11-7 を参照。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	25	東善寺墓地の西側	約170m	東善寺墓地の西側の生活上の眺望点である。周辺には果樹園が広がる。	甲府市	26	桜井町散策路	約105m	国道140号(西関東連絡道路)北側から西側の果樹園へ向かう散策路上の生活上の眺望点である。眺望点周辺はクワリ・コナラ等の雑木林が広がる。	甲府市	27	英和大学東側住宅地入口	約140m	国道140号(西関東連絡道路)から英和大学東側の住宅地へ向かう歩道上の生活上の眺望点である。眺望点周辺には住宅地が広がる。	甲府市	28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	約240m	英和大学北西の果樹園へ向かう農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は果樹園が広がり、右手に大山沢川が流れる。	甲府市	29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	約200m	金峰神社付近の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市	30	古府中町第2号公園	約80m	古府中町第2号公園前の眺望点である。眺望点の前に相川が流れ、その先に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市	31	2号トンネル入口北側の農道	交差	甲府市塚原町の住宅地から北側へ伸びる農道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市	32	県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 県道101号(甲斐市牛久 敷高菅王線) を通過する区画	約40m	昇仙峡へ向かう県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 上の生活上の眺望点である。眺望点の左手に果樹園がある。	甲府市
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																					
24	国道 20 号からの景観	約 950m	韭崎市東端の国道 20 号上に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や水田となっており、その中に商業施設が点在している。	韭崎市																																																					
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																					
25	東善寺墓地の西側	約170m	東善寺墓地の西側の生活上の眺望点である。周辺には果樹園が広がる。	甲府市																																																					
26	桜井町散策路	約105m	国道140号(西関東連絡道路)北側から西側の果樹園へ向かう散策路上の生活上の眺望点である。眺望点周辺はクワリ・コナラ等の雑木林が広がる。	甲府市																																																					
27	英和大学東側住宅地入口	約140m	国道140号(西関東連絡道路)から英和大学東側の住宅地へ向かう歩道上の生活上の眺望点である。眺望点周辺には住宅地が広がる。	甲府市																																																					
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	約240m	英和大学北西の果樹園へ向かう農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は果樹園が広がり、右手に大山沢川が流れる。	甲府市																																																					
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	約200m	金峰神社付近の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市																																																					
30	古府中町第2号公園	約80m	古府中町第2号公園前の眺望点である。眺望点の前に相川が流れ、その先に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市																																																					
31	2号トンネル入口北側の農道	交差	甲府市塚原町の住宅地から北側へ伸びる農道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方に甲府市塚原町の住宅地が広がる。	甲府市																																																					
32	県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 県道101号(甲斐市牛久 敷高菅王線) を通過する区画	約40m	昇仙峡へ向かう県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン) 上の生活上の眺望点である。眺望点の左手に果樹園がある。	甲府市																																																					

表 15-1-1 (45) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																							
<p>8-11-7 表 8-11-3(3) 日常的な視点場の状況</p>	<p>【計画路線からの距離、調査地点の追加】 記載なし</p> <p>【表注釈】 記載なし</p>	<p>【計画路線からの距離、調査地点の追加】</p> <table border="1" data-bbox="932 293 1396 1137"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33</td> <td>茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）</td> <td>約60m</td> <td>荒川右岸の遊歩道（荒川サイクリングロード）上の眺望点である。眺望点の右手には荒川が流れる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>矢木羽湖</td> <td>約400m</td> <td>矢木羽湖東岸の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方には荒川が流れる谷が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>高原団地 北側の公園付近</td> <td>約370m</td> <td>高原団地北側の公園前の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地と果樹園が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>太神神社西側</td> <td>約330m</td> <td>太神神社西側の農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>双葉スポーツ公園の北東端</td> <td>約350m</td> <td>双葉スポーツ公園北東端の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は公園敷地内の草場が広がり、近傍に東屋がある。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>舟形神社北西</td> <td>約80m</td> <td>舟形神社北西側の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は六反川沿いに水田が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>市営田畑団地付近</td> <td>約160m</td> <td>妙善寺の裏手にある市営田畑団地付近の生活上の眺望点である。眺望点から見下ろす方向に甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>国道20号と六反川の交差点付近</td> <td>約50m</td> <td>国道20号と六反川の交差点所付近の歩道上からの生活上の眺望点である。眺望点周辺には甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>県道6号 田畑交差点西</td> <td>約110m</td> <td>県道6号沿道からの生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地になっており、耕作地を挟んだ先には国道20号の盛土法面がある。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>国道20号新田畑交差点南側</td> <td>約80m</td> <td>塩川左岸側に位置する生活上の眺望点である。眺望点の背後には塩川があり、周辺は耕作地になっている。</td> <td>甲斐市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）	約60m	荒川右岸の遊歩道（荒川サイクリングロード）上の眺望点である。眺望点の右手には荒川が流れる。	甲府市	34	矢木羽湖	約400m	矢木羽湖東岸の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方には荒川が流れる谷が広がる。	甲斐市	35	高原団地 北側の公園付近	約370m	高原団地北側の公園前の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地と果樹園が広がる。	甲斐市	36	太神神社西側	約330m	太神神社西側の農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地が広がる。	甲斐市	37	双葉スポーツ公園の北東端	約350m	双葉スポーツ公園北東端の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は公園敷地内の草場が広がり、近傍に東屋がある。	甲斐市	38	舟形神社北西	約80m	舟形神社北西側の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は六反川沿いに水田が広がる。	甲斐市	39	市営田畑団地付近	約160m	妙善寺の裏手にある市営田畑団地付近の生活上の眺望点である。眺望点から見下ろす方向に甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市	40	国道20号と六反川の交差点付近	約50m	国道20号と六反川の交差点所付近の歩道上からの生活上の眺望点である。眺望点周辺には甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市	41	県道6号 田畑交差点西	約110m	県道6号沿道からの生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地になっており、耕作地を挟んだ先には国道20号の盛土法面がある。	甲斐市	42	国道20号新田畑交差点南側	約80m	塩川左岸側に位置する生活上の眺望点である。眺望点の背後には塩川があり、周辺は耕作地になっている。	甲斐市
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																					
33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）	約60m	荒川右岸の遊歩道（荒川サイクリングロード）上の眺望点である。眺望点の右手には荒川が流れる。	甲府市																																																					
34	矢木羽湖	約400m	矢木羽湖東岸の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の前方には荒川が流れる谷が広がる。	甲斐市																																																					
35	高原団地 北側の公園付近	約370m	高原団地北側の公園前の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地と果樹園が広がる。	甲斐市																																																					
36	太神神社西側	約330m	太神神社西側の農道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地が広がる。	甲斐市																																																					
37	双葉スポーツ公園の北東端	約350m	双葉スポーツ公園北東端の遊歩道上の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は公園敷地内の草場が広がり、近傍に東屋がある。	甲斐市																																																					
38	舟形神社北西	約80m	舟形神社北西側の生活上の眺望点である。眺望点の周辺は六反川沿いに水田が広がる。	甲斐市																																																					
39	市営田畑団地付近	約160m	妙善寺の裏手にある市営田畑団地付近の生活上の眺望点である。眺望点から見下ろす方向に甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市																																																					
40	国道20号と六反川の交差点付近	約50m	国道20号と六反川の交差点所付近の歩道上からの生活上の眺望点である。眺望点周辺には甲斐市宇津谷の住宅地が広がる。	甲斐市																																																					
41	県道6号 田畑交差点西	約110m	県道6号沿道からの生活上の眺望点である。眺望点の周辺は耕作地になっており、耕作地を挟んだ先には国道20号の盛土法面がある。	甲斐市																																																					
42	国道20号新田畑交差点南側	約80m	塩川左岸側に位置する生活上の眺望点である。眺望点の背後には塩川があり、周辺は耕作地になっている。	甲斐市																																																					
<p>8-11-14 表 8-11-4 主要な眺望景観の状況</p>	<p>【視認できる景観資源】</p> <table border="1" data-bbox="450 1429 922 1509"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>眺望景観の状況</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺展望地</td> <td>眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源	3	上積翠寺展望地	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	<p>【視認できる景観資源】</p> <table border="1" data-bbox="932 1429 1396 1509"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>眺望景観の状況</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺展望地</td> <td>眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源	3	上積翠寺展望地	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園																																							
番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源																																																						
3	上積翠寺展望地	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス																																																						
番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源																																																						
3	上積翠寺展望地	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域、甲府盆地及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園																																																						
<p>8-11-15 表 8-11-5(1) 日常的な視点場からの景観の状況</p>	<p>【視認できる景観資源】</p> <table border="1" data-bbox="450 1585 922 1666"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>眺望景観の状況</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの景観</td> <td>眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源	12	棚田からの景観	眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	<p>【視認できる景観資源】</p> <table border="1" data-bbox="932 1585 1396 1666"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>眺望景観の状況</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの景観</td> <td>眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源	12	棚田からの景観	眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園																																							
番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源																																																						
12	棚田からの景観	眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス																																																						
番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源																																																						
12	棚田からの景観	眺望点から棚田越しに甲府盆地とやまなしの歴史文化公園地域及び南アルプスを眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園																																																						

表 15-1-1 (46) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容


評価書の頁	準備書	評価書																																																																												
<p>8-11-16 表 8-11-5(2) 日常的な視点場からの 景観の状況</p>	<p>【調査地点の追加】 記載なし</p>	<p>【調査地点の追加】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>眺望景観の状況</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>東善寺墓地の西側</td> <td>眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>板井町散策路</td> <td>眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>英和大学東側住宅地入口</td> <td>眺望点から横根町の斜面の果樹園を眺望できる。</td> <td>斜面の果樹園</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>英和大学北西の果樹園及び桜並木</td> <td>眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前</td> <td>眺望点から甲府盆地及びやまなしの歴史文化公園を眺望できる。</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>古府中町第2号公園</td> <td>眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。</td> <td>やまなしの歴史文化公園</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>2号トンネル入口北側の農道</td> <td>眺望点からやまなしの歴史文化公園地域を眺望できる。</td> <td>やまなしの歴史文化公園</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)、県道101号(甲斐市牛匂 敷島童王線)を通過する区間</td> <td>眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。</td> <td>黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園</td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)</td> <td>眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。</td> <td>黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園</td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>矢木羽湖</td> <td>眺望点から富士山を眺望できるほか、黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。</td> <td>富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>高原団地 北側の公園付近</td> <td>眺望点から耕作地越しに黒富士火山群を眺望できる。</td> <td>黒富士火山群</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>太神神社西側</td> <td>眺望点から耕作地越しに塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。</td> <td>塩川(左岸)河成段丘</td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>双葉スポーツ公園の北東端</td> <td>眺望点から塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。</td> <td>塩川(左岸)河成段丘</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>舟形神社北西</td> <td>眺望点から田園越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>市営田畑団地付近</td> <td>眺望点から草地と甲斐市宇津谷の住宅地越しに富士山を眺望できる。</td> <td>富士山</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>国道20号と六反川の交差点付近</td> <td>眺望点から甲斐市宇津谷の住宅地越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>県道6号 田畑交差点西</td> <td>眺望点から国道20号越しに南アルプスを眺望できる。</td> <td>南アルプス</td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>国道20号新田畑交差点南側</td> <td>眺望点から耕作地及び国道20号越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源	25	東善寺墓地の西側	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園	26	板井町散策路	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園	27	英和大学東側住宅地入口	眺望点から横根町の斜面の果樹園を眺望できる。	斜面の果樹園	28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園	29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	眺望点から甲府盆地及びやまなしの歴史文化公園を眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園	30	古府中町第2号公園	眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園	31	2号トンネル入口北側の農道	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園	32	県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)、県道101号(甲斐市牛匂 敷島童王線)を通過する区間	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	34	矢木羽湖	眺望点から富士山を眺望できるほか、黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園	35	高原団地 北側の公園付近	眺望点から耕作地越しに黒富士火山群を眺望できる。	黒富士火山群	36	太神神社西側	眺望点から耕作地越しに塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。	塩川(左岸)河成段丘	37	双葉スポーツ公園の北東端	眺望点から塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。	塩川(左岸)河成段丘	38	舟形神社北西	眺望点から田園越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山	39	市営田畑団地付近	眺望点から草地と甲斐市宇津谷の住宅地越しに富士山を眺望できる。	富士山	40	国道20号と六反川の交差点付近	眺望点から甲斐市宇津谷の住宅地越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山	41	県道6号 田畑交差点西	眺望点から国道20号越しに南アルプスを眺望できる。	南アルプス	42	国道20号新田畑交差点南側	眺望点から耕作地及び国道20号越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山
番号	眺望点	眺望景観の状況	視認できる景観資源																																																																											
25	東善寺墓地の西側	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園																																																																											
26	板井町散策路	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園																																																																											
27	英和大学東側住宅地入口	眺望点から横根町の斜面の果樹園を眺望できる。	斜面の果樹園																																																																											
28	英和大学北西の果樹園及び桜並木	眺望点から甲府盆地及び斜面の果樹園を眺望できる。	甲府盆地 斜面の果樹園																																																																											
29	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	眺望点から甲府盆地及びやまなしの歴史文化公園を眺望できる。	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園																																																																											
30	古府中町第2号公園	眺望点からやまなしの歴史文化公園に含まれる甲府北部の山岳景観を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園																																																																											
31	2号トンネル入口北側の農道	眺望点からやまなしの歴史文化公園地域を眺望できる。	やまなしの歴史文化公園																																																																											
32	県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)、県道101号(甲斐市牛匂 敷島童王線)を通過する区間	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園																																																																											
33	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)	眺望点から黒富士火山群の端部及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望できる。	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園																																																																											
34	矢木羽湖	眺望点から富士山を眺望できるほか、黒富士火山群及び秩父多摩甲斐国立公園の端部を眺望できる。	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立公園																																																																											
35	高原団地 北側の公園付近	眺望点から耕作地越しに黒富士火山群を眺望できる。	黒富士火山群																																																																											
36	太神神社西側	眺望点から耕作地越しに塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。	塩川(左岸)河成段丘																																																																											
37	双葉スポーツ公園の北東端	眺望点から塩川(左岸)河成段丘を眺望できる。	塩川(左岸)河成段丘																																																																											
38	舟形神社北西	眺望点から田園越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山																																																																											
39	市営田畑団地付近	眺望点から草地と甲斐市宇津谷の住宅地越しに富士山を眺望できる。	富士山																																																																											
40	国道20号と六反川の交差点付近	眺望点から甲斐市宇津谷の住宅地越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山																																																																											
41	県道6号 田畑交差点西	眺望点から国道20号越しに南アルプスを眺望できる。	南アルプス																																																																											
42	国道20号新田畑交差点南側	眺望点から耕作地及び国道20号越しに八ヶ岳南麓流れ山を眺望できる。	八ヶ岳南麓流れ山																																																																											
<p>8-11-19 表 8-11-6(2) 物理的指標の解析方法</p>	<p>【表 8-11-6(2) 物理的指標の解析方法】 記載なし</p>	<p>【表 8-11-6(2) 物理的指標の解析方法】</p> 																																																																												

表 15-1-1 (47) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																		
8-11-20 表 8-11-7(1) 予測地点の選定 (主要な眺望景観)	【景観資源】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺 展望地</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	3	上積翠寺 展望地	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	可視	○	a	【景観資源】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺 展望地</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	3	上積翠寺 展望地	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	a																																										
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
3	上積翠寺 展望地	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	可視	○	a																																																															
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
3	上積翠寺 展望地	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	a																																																															
8-11-21 表 8-11-7(2) 予測地点の選定 (日常的な視点場からの景観)	【景観資源】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの 景観</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>d</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	12	棚田からの 景観	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	可視	○	d	【景観資源】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの 景観</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>d</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	12	棚田からの 景観	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	d																																										
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
12	棚田からの 景観	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス	可視	○	d																																																															
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
12	棚田からの 景観	甲府盆地 やまなしの歴史文化公園 南アルプス 秩父多摩甲斐国立公園	可視	○	d																																																															
8-11-21 表 8-11-7(2) 予測地点の選定 (日常的な視点場からの景観)	【予測地点の追加】 記載なし	【予測地点の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>東善寺墓地の西側</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>k</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>桜井町散策路</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>l</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>英和大学東側住宅 出入口</td> <td>斜面の果樹園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>英和大学北西の果 樹園及び桜並木</td> <td>甲府盆地 斜面の果樹園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>n</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>金峰神社付近及び 神社北側の携帯電 話アンテナ前</td> <td>甲府盆地 やまなしの歴史文 化公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>o</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>吉府中町第2号公 園</td> <td>やまなしの歴史文 化公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>p</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>2号トンネル入口 北側の農道</td> <td>やまなしの歴史文 化公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>q</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>県道7号(甲府市山 宮 昇仙峡ライ ン)、県道101号(甲 斐市牛久 敷島童 王線)、を通過す る区間</td> <td>黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>r</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	25	東善寺墓地の西側	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	k	26	桜井町散策路	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	l	27	英和大学東側住宅 出入口	斜面の果樹園	可視	○	m	28	英和大学北西の果 樹園及び桜並木	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	n	29	金峰神社付近及び 神社北側の携帯電 話アンテナ前	甲府盆地 やまなしの歴史文 化公園	可視	○	o	30	吉府中町第2号公 園	やまなしの歴史文 化公園	可視	○	p	31	2号トンネル入口 北側の農道	やまなしの歴史文 化公園	可視	○	q	32	県道7号(甲府市山 宮 昇仙峡ライ ン)、県道101号(甲 斐市牛久 敷島童 王線)、を通過す る区間	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	r												
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
25	東善寺墓地の西側	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	k																																																															
26	桜井町散策路	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	l																																																															
27	英和大学東側住宅 出入口	斜面の果樹園	可視	○	m																																																															
28	英和大学北西の果 樹園及び桜並木	甲府盆地 斜面の果樹園	可視	○	n																																																															
29	金峰神社付近及び 神社北側の携帯電 話アンテナ前	甲府盆地 やまなしの歴史文 化公園	可視	○	o																																																															
30	吉府中町第2号公 園	やまなしの歴史文 化公園	可視	○	p																																																															
31	2号トンネル入口 北側の農道	やまなしの歴史文 化公園	可視	○	q																																																															
32	県道7号(甲府市山 宮 昇仙峡ライ ン)、県道101号(甲 斐市牛久 敷島童 王線)、を通過す る区間	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	r																																																															
8-11-22 表 8-11-7(3) 予測地点の選定 (日常的な視点場からの景観)	【予測地点の追加】 記載なし	【予測地点の追加】 表 8-11-7(3) 予測地点の選定 (日常的な視点場からの景観) <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>景観資源</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> <th>予測 対象</th> <th>予測 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33</td> <td>茅ヶ岳東部広域農 道との複合影響が 把握できる地点 (荒川サイクリン グロード)</td> <td>黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>s</td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>矢木羽湖</td> <td>富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>35</td> <td>高原団地 北側の 公園付近</td> <td>黒富士火山群</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>u</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>太神神社西側</td> <td>塩川(左岸)河成 段丘</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>v</td> </tr> <tr> <td>37</td> <td>双葉スポーツ公園 の北東端</td> <td>塩川(左岸)河成 段丘</td> <td>不可視</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>舟形神社北西</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>w</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>市営田畑団地付近</td> <td>富士山</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>国道20号と六反川 の交差点付近</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>y</td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>県道6号 田畑交 差点西</td> <td>南アルプス</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>z</td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>国道20号新田畑交 差点南側</td> <td>八ヶ岳南麓流れ山</td> <td>可視</td> <td>○</td> <td>aa</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号	33	茅ヶ岳東部広域農 道との複合影響が 把握できる地点 (荒川サイクリン グロード)	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	s	34	矢木羽湖	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	t	35	高原団地 北側の 公園付近	黒富士火山群	可視	○	u	36	太神神社西側	塩川(左岸)河成 段丘	可視	○	v	37	双葉スポーツ公園 の北東端	塩川(左岸)河成 段丘	不可視			38	舟形神社北西	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	w	39	市営田畑団地付近	富士山	可視	○	x	40	国道20号と六反川 の交差点付近	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	y	41	県道6号 田畑交 差点西	南アルプス	可視	○	z	42	国道20号新田畑交 差点南側	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	aa
番号	眺望点	景観資源	対象道路の 可視・不可視	予測 対象	予測 番号																																																															
33	茅ヶ岳東部広域農 道との複合影響が 把握できる地点 (荒川サイクリン グロード)	黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	s																																																															
34	矢木羽湖	富士山 黒富士火山群 秩父多摩甲斐国立 公園	可視	○	t																																																															
35	高原団地 北側の 公園付近	黒富士火山群	可視	○	u																																																															
36	太神神社西側	塩川(左岸)河成 段丘	可視	○	v																																																															
37	双葉スポーツ公園 の北東端	塩川(左岸)河成 段丘	不可視																																																																	
38	舟形神社北西	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	w																																																															
39	市営田畑団地付近	富士山	可視	○	x																																																															
40	国道20号と六反川 の交差点付近	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	y																																																															
41	県道6号 田畑交 差点西	南アルプス	可視	○	z																																																															
42	国道20号新田畑交 差点南側	八ヶ岳南麓流れ山	可視	○	aa																																																															
8-11-23 図 8-11-2 道路の存在に係る景観 予測地域位置図	【予測地点の追加】 10 地点	【予測地点の追加】 27 地点 (A~aa を追加)																																																																		
8-11-26 a. 上積翠寺展望地	【2行目】 ……の歴史文化公園及び南アルプスを眺 望している。	【2行目】 ……の歴史文化公園、南アルプス及び秩 父多摩甲斐国立公園を眺望している。																																																																		
8-11-27	—	【景観写真の修整、撮影条件の追加】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																																																																		
8-11-29	—	【景観写真の修整、撮影条件の追加】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																																																																		

表 15-1-1 (48) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																				
8-11-31	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-32 d. 棚田からの景観	【2行目】 ・・・、甲府盆地及び南アルプスを眺望する生活上の眺望点である。	【2行目】 ・・・、甲府盆地、南アルプス及び秩父多摩甲斐国立公園を眺望する生活上の眺望点である。																				
8-11-33	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-35	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-37	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-39	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-41	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-42 (g) 一橋陣屋跡前からの景観	【5～7行目】 これらによると、対象道路は近景に位置しており、水平見込角は 27.9 度と構造物は目立ちやすい値となっている。また、仰角は 7.2 度と圧迫感を生じやすい値となっており、スカイラインが切断される。	【5～7行目】 これらによると、対象道路は近景に位置しており、水平見込角は 67.0 度と構造物は目立ちやすい値となっている。また、仰角は 11.0 度と圧迫感が生じない角度に押さえられているが、スカイラインは切断される。																				
8-11-42 表 8-11-16 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 80m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>27.9°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>7.2°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 80m	水平見込角	27.9°	仰角	7.2°	スカイライン切断	あり	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 50m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>67.0°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>11.0°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 50m	水平見込角	67.0°	仰角	11.0°	スカイライン切断	あり
指標	内容																					
視距離	約 80m																					
水平見込角	27.9°																					
仰角	7.2°																					
スカイライン切断	あり																					
指標	内容																					
視距離	約 50m																					
水平見込角	67.0°																					
仰角	11.0°																					
スカイライン切断	あり																					
8-11-43	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真をパノラマとするとともに拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-45	—	【 <u>景観写真の修整、撮影条件の追加</u> 】 写真を拡大し、撮影条件を追加した。																				
8-11-46～47 k. 東善寺墓地の西側	—	【 <u>地点の追加</u> 】																				
8-11-48～49 l. 桜井町散策路	—	【 <u>地点の追加</u> 】																				
8-11-50～51 m. 英和大学東側住宅地入口	—	【 <u>地点の追加</u> 】																				

表 15-1-1 (49) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-11-52～53 n. 英和大学北西の果樹園及び桜並木	—	【地点の追加】
8-11-54～55 o. 金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	—	【地点の追加】
8-11-56～57 p. 古府中町第 2 号公園	—	【地点の追加】
8-11-58～59 q. 2号トンネル入口北側の農道	—	【地点の追加】
8-11-60～61 r. 県道 7 号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)、県道 101 号(甲斐市牛久敷島竜王線)、を通過する区間	—	【地点の追加】
8-11-62～63 s. 茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)	—	【地点の追加】
8-11-64～65 t. 矢木羽湖	—	【地点の追加】
8-11-66～67 u. 高原団地 北側の公園付近	—	【地点の追加】
8-11-68～69 v. 太神神社西側	—	【地点の追加】
8-11-70～71 w. 舟形神社北西	—	【地点の追加】
8-11-72～73 x. 市宮田畑団地付近	—	【地点の追加】
8-11-74～75 y. 国道 20 号と六反川の交差点付近	—	【地点の追加】
8-11-76～77 z. 県道 6 号 田畑交差点西	—	【地点の追加】
8-11-78～79 aa. 国道 20 号新田畑交差点南側	—	【地点の追加】

表 15-1-1 (50) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																				
8-11-80 表 8-11-35 環境保全措置の検討対象	<p>【地点の追加】</p> <table border="1" data-bbox="456 286 914 416"> <thead> <tr> <th>対象とした眺望点</th> <th>視距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>斜面の果樹園の景観</td> <td>約150m</td> </tr> <tr> <td>荒川河川敷公園</td> <td>約250m</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線（富士山が見える場所）</td> <td>約150m</td> </tr> <tr> <td>一橋陣屋跡前からの景観</td> <td>約80m</td> </tr> </tbody> </table>	対象とした眺望点	視距離	斜面の果樹園の景観	約150m	荒川河川敷公園	約250m	県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	約150m	一橋陣屋跡前からの景観	約80m	<p>【地点の追加】</p> <table border="1" data-bbox="933 286 1391 884"> <thead> <tr> <th>対象とした眺望点</th> <th>視距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>斜面の果樹園の景観</td> <td>約150m</td> </tr> <tr> <td>荒川河川敷公園</td> <td>約290m</td> </tr> <tr> <td>県道敷島竜王線（富士山が見える場所）</td> <td>約330m</td> </tr> <tr> <td>一橋陣屋跡前からの景観</td> <td>約50m</td> </tr> <tr> <td>東善寺墓地の西側</td> <td>約170m</td> </tr> <tr> <td>桜井町散策路</td> <td>約105m</td> </tr> <tr> <td>英和大学東側住宅地入口</td> <td>約140m</td> </tr> <tr> <td>英和大学北西の果樹園及び桜並木</td> <td>約240m</td> </tr> <tr> <td>金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前</td> <td>約200m</td> </tr> <tr> <td>2号トンネル入口北側の農道</td> <td>交差</td> </tr> <tr> <td>県道7号（甲府市山宮 昇仙峡ライン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島竜王線）、を通過する区間</td> <td>約40m</td> </tr> <tr> <td>茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）</td> <td>約60m</td> </tr> <tr> <td>矢木羽湖</td> <td>約400m</td> </tr> <tr> <td>高原団地 北側の公園付近</td> <td>約370m</td> </tr> <tr> <td>太神神社西側</td> <td>約330m</td> </tr> <tr> <td>舟形神社北西</td> <td>約80m</td> </tr> <tr> <td>市営田畑団地付近</td> <td>約160m</td> </tr> <tr> <td>国道 20 号と六反川の交差点付近</td> <td>約50m</td> </tr> <tr> <td>県道 6 号 田畑交差点西</td> <td>約110m</td> </tr> <tr> <td>国道 20 号新田畑交差点南側</td> <td>約80m</td> </tr> </tbody> </table>	対象とした眺望点	視距離	斜面の果樹園の景観	約150m	荒川河川敷公園	約290m	県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	約330m	一橋陣屋跡前からの景観	約50m	東善寺墓地の西側	約170m	桜井町散策路	約105m	英和大学東側住宅地入口	約140m	英和大学北西の果樹園及び桜並木	約240m	金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	約200m	2号トンネル入口北側の農道	交差	県道7号（甲府市山宮 昇仙峡ライン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島竜王線）、を通過する区間	約40m	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）	約60m	矢木羽湖	約400m	高原団地 北側の公園付近	約370m	太神神社西側	約330m	舟形神社北西	約80m	市営田畑団地付近	約160m	国道 20 号と六反川の交差点付近	約50m	県道 6 号 田畑交差点西	約110m	国道 20 号新田畑交差点南側	約80m
対象とした眺望点	視距離																																																					
斜面の果樹園の景観	約150m																																																					
荒川河川敷公園	約250m																																																					
県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	約150m																																																					
一橋陣屋跡前からの景観	約80m																																																					
対象とした眺望点	視距離																																																					
斜面の果樹園の景観	約150m																																																					
荒川河川敷公園	約290m																																																					
県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	約330m																																																					
一橋陣屋跡前からの景観	約50m																																																					
東善寺墓地の西側	約170m																																																					
桜井町散策路	約105m																																																					
英和大学東側住宅地入口	約140m																																																					
英和大学北西の果樹園及び桜並木	約240m																																																					
金峰神社付近及び神社北側の携帯電話アンテナ前	約200m																																																					
2号トンネル入口北側の農道	交差																																																					
県道7号（甲府市山宮 昇仙峡ライン）、県道101号（甲斐市牛匂 敷島竜王線）、を通過する区間	約40m																																																					
茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点（荒川サイクリングロード）	約60m																																																					
矢木羽湖	約400m																																																					
高原団地 北側の公園付近	約370m																																																					
太神神社西側	約330m																																																					
舟形神社北西	約80m																																																					
市営田畑団地付近	約160m																																																					
国道 20 号と六反川の交差点付近	約50m																																																					
県道 6 号 田畑交差点西	約110m																																																					
国道 20 号新田畑交差点南側	約80m																																																					
8-11-81 表 8-11-36 環境保全措置の検討	<p>【対象とした眺望点】</p> <table border="1" data-bbox="456 940 914 1556"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>対象とした眺望点</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形変更部の緑化</td> <td>特定の眺望点を想定していない</td> <td>周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>ラウンディングによる周辺地形との調和</td> <td>特定の眺望点を想定していない</td> <td>切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討</td> <td>斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所） 一橋陣屋跡前からの景観</td> <td>周辺景観に調和させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>眺望点の移設</td> <td>斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所）</td> <td>新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。</td> <td>眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	対象とした眺望点	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	地形変更部の緑化	特定の眺望点を想定していない	周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	ラウンディングによる周辺地形との調和	特定の眺望点を想定していない	切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所） 一橋陣屋跡前からの景観	周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	眺望点の移設	斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。	眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。	<p>【対象とした眺望点】</p> <table border="1" data-bbox="933 940 1391 1556"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>検討箇所</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地形変更部の緑化</td> <td>計画路線により地形を改変する箇所</td> <td>周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>ラウンディングによる周辺地形との調和</td> <td>切土部</td> <td>切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討</td> <td>六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井IC付近</td> <td>周辺景観に調和させることが可能である。</td> <td>周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。</td> </tr> <tr> <td>眺望点の移設</td> <td>保全対象とした眺望点（表8-11-35参照）</td> <td>新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。</td> <td>眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	検討箇所	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	地形変更部の緑化	計画路線により地形を改変する箇所	周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	ラウンディングによる周辺地形との調和	切土部	切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井IC付近	周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。	眺望点の移設	保全対象とした眺望点（表8-11-35参照）	新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。	眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。												
環境保全措置	対象とした眺望点	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																																			
地形変更部の緑化	特定の眺望点を想定していない	周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
ラウンディングによる周辺地形との調和	特定の眺望点を想定していない	切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所） 一橋陣屋跡前からの景観	周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
眺望点の移設	斜面の果樹園の景観 荒川河川敷公園 県道敷島竜王線（富士山が見える場所）	新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。	眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。																																																			
環境保全措置	検討箇所	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																																			
地形変更部の緑化	計画路線により地形を改変する箇所	周辺の構成種と調和した樹木を用いて緑化を行うことで、周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
ラウンディングによる周辺地形との調和	切土部	切土部ののり層をラウンディングすることにより、周辺地形と違和感なく連続させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	六反川渡河部付近、荒川渡河部付近、桜井IC付近	周辺景観に調和させることが可能である。	周辺景観に調和させることが可能であり、効果が確実に見込めることから、環境保全措置として採用する。																																																			
眺望点の移設	保全対象とした眺望点（表8-11-35参照）	新たな眺望景観となりうる場所に眺望点を移設する。	眺望点の移設により眺望景観の影響を回避または低減することが困難であるため、環境保全措置として採用しない。																																																			

表 15-1-1 (51) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																	
8-11-81 3) 検討結果の検証	【1行目】 実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。	【1行目】 実施事例等(資料編2.2参照)により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断される。																																																																	
8-11-82 4) 検討結果の整理	【5～6行目】 なお、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとする。	【4～6行目】 なお、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとし、 <u>構造物(橋梁等)及び道路付属物の形式、デザイン、色彩は事業進捗とともに具体化するため事業実施段階において検討を行うこととする。</u>																																																																	
8-11-83 1) 回避又は低減に係る評価	【3行目～8行目】 景観の構造に変化が生じると予測した地点については、周辺景観との調和に配慮した構造物(橋梁等)の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。 また、特定の眺望点のみでなく、計画路線全域を対象とする環境保全措置として、地形改変部の緑化及びラウンディングによる周辺地形との調和を実施することで、環境負荷の低減に努める。	【3行目～8行目】 また、環境保全措置として、 <u>地形改変部の緑化、ラウンディングによる周辺地形との調和及び周辺景観との調和に配慮した構造物(橋梁等)の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。</u>																																																																	
8-12-4 表 8-12-2 調査時期	【調査時期の追加】 —	【調査時期の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査時期</th> <th>調査の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年4月15日 平成24年5月1日</td> <td>触れ合いの場からの眺望の状況の確認のために補足調査を実施した。</td> </tr> </tbody> </table>	調査時期	調査の内容	平成24年4月15日 平成24年5月1日	触れ合いの場からの眺望の状況の確認のために補足調査を実施した。																																																													
調査時期	調査の内容																																																																		
平成24年4月15日 平成24年5月1日	触れ合いの場からの眺望の状況の確認のために補足調査を実施した。																																																																		
8-12-15 表 8-12-4(10) 調査結果	【15 花の咲く丘 利用環境】 地区の老人会が休耕している畑を利用して花を植えている。コスモス等が植栽されている。	【15 花の咲く丘 利用環境】 地区の老人会が休耕している畑を利用して花を植えている。コスモス等が植栽されており、 <u>写真撮影に用いられている。</u>																																																																	
8-12-17 表 8-12-5 主要な人と自然との触れ合いの活動の場予測地点	【項目の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>予測地点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>武田神社</td></tr> <tr><td>2</td><td>武田の杜遊歩道</td></tr> <tr><td>3</td><td>荒川サイクリングロード</td></tr> <tr><td>4</td><td>矢木羽湖</td></tr> <tr><td>5</td><td>桜井町桜・里山管理</td></tr> <tr><td>6</td><td>桜井町散策路</td></tr> <tr><td>7</td><td>塚原町バードウォッチング</td></tr> <tr><td>8</td><td>塚原集落(ホタルの里)</td></tr> <tr><td>9</td><td>団子新居散策路</td></tr> <tr><td>10</td><td>坊沢川ザリガニ採集</td></tr> <tr><td>11</td><td>双葉団地周辺散策路</td></tr> <tr><td>12</td><td>花の咲く丘</td></tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	1	武田神社	2	武田の杜遊歩道	3	荒川サイクリングロード	4	矢木羽湖	5	桜井町桜・里山管理	6	桜井町散策路	7	塚原町バードウォッチング	8	塚原集落(ホタルの里)	9	団子新居散策路	10	坊沢川ザリガニ採集	11	双葉団地周辺散策路	12	花の咲く丘	【項目の追加】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>予測地点</th> <th>対象道路の 可視・不可視</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>武田神社</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>2</td><td>武田の杜遊歩道</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>3</td><td>荒川サイクリングロード</td><td>可視</td></tr> <tr><td>4</td><td>矢木羽湖</td><td>可視</td></tr> <tr><td>5</td><td>桜井町桜・里山管理</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>6</td><td>桜井町散策路</td><td>可視</td></tr> <tr><td>7</td><td>塚原町バードウォッチング</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>8</td><td>塚原集落(ホタルの里)</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>9</td><td>団子新居散策路</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>10</td><td>坊沢川ザリガニ採集</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>11</td><td>双葉団地周辺散策路</td><td>不可視</td></tr> <tr><td>12</td><td>花の咲く丘</td><td>不可視</td></tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	対象道路の 可視・不可視	1	武田神社	不可視	2	武田の杜遊歩道	不可視	3	荒川サイクリングロード	可視	4	矢木羽湖	可視	5	桜井町桜・里山管理	不可視	6	桜井町散策路	可視	7	塚原町バードウォッチング	不可視	8	塚原集落(ホタルの里)	不可視	9	団子新居散策路	不可視	10	坊沢川ザリガニ採集	不可視	11	双葉団地周辺散策路	不可視	12	花の咲く丘	不可視
番号	予測地点																																																																		
1	武田神社																																																																		
2	武田の杜遊歩道																																																																		
3	荒川サイクリングロード																																																																		
4	矢木羽湖																																																																		
5	桜井町桜・里山管理																																																																		
6	桜井町散策路																																																																		
7	塚原町バードウォッチング																																																																		
8	塚原集落(ホタルの里)																																																																		
9	団子新居散策路																																																																		
10	坊沢川ザリガニ採集																																																																		
11	双葉団地周辺散策路																																																																		
12	花の咲く丘																																																																		
番号	予測地点	対象道路の 可視・不可視																																																																	
1	武田神社	不可視																																																																	
2	武田の杜遊歩道	不可視																																																																	
3	荒川サイクリングロード	可視																																																																	
4	矢木羽湖	可視																																																																	
5	桜井町桜・里山管理	不可視																																																																	
6	桜井町散策路	可視																																																																	
7	塚原町バードウォッチング	不可視																																																																	
8	塚原集落(ホタルの里)	不可視																																																																	
9	団子新居散策路	不可視																																																																	
10	坊沢川ザリガニ採集	不可視																																																																	
11	双葉団地周辺散策路	不可視																																																																	
12	花の咲く丘	不可視																																																																	

表 15-1-1 (52) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-12-19 表 8-12-6(1) 予測結果(武田神社)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>
8-12-20 表 8-12-6(2) 予測結果(武田の杜遊歩道)	【予測結果 第4項目】 計画路線と交差するが、地下式で通過するため、快適性の変化は生じないと予測する。 【図の追加】 記載なし	【予測結果 第4項目】 計画路線と交差するが、地下式で通過する。 <u>また、塚原ICも遊歩道から約350m以上離れた場所にあり、視認できないため、快適性の変化は生じないと予測する。</u> 【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>
8-12-21 表 8-12-6(3) 予測結果(荒川サイクリングロード)	【予測結果 第4項目】 ・・・と予測する。 【図の追加】 記載なし	【予測結果 第4項目 4～5行目】 ・・・と予測する。 <u>景観の変化の程度は「第11節 景観 (p.8-11-63)」を参照。</u> 【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>
8-12-22 表 8-12-6(4) 予測結果(矢木羽湖)	【予測結果 第4項目 3行目】 ・・・と予測する。 【図の追加】 記載なし	【予測結果 第4項目 3～4行目】 ・・・と予測する。 <u>景観の変化の程度は「第11節 景観 (p.8-11-65)」を参照。</u> 【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>
8-12-23 表 8-12-6(5) 予測結果(桜井町桜・里山管理)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>
8-12-24 表 8-12-6(6) 予測結果(桜井町散策路)	【予測結果 第4項目】 既に西関東道路が存在するため、新たな近傍の風景に変化は生じない。西側においては、桜井ICが視認されるが、散策路より15m低い位置に建設されるため、甲府市街地や南アルプス等、散策路からの景観は大きく変化せず、快適性の変化は生じないと予測する。 【図の追加】 記載なし	【予測結果 第4項目】 既に国道140号(西関東連絡道路)が存在するため、新たな近傍の風景に変化は生じない。西側においては、桜井ICが視認されるが、散策路より15m低い位置に建設されるため、甲府市街地や南アルプス等、散策路からの景観は大きく変化せず、快適性の変化は生じないと予測する。 <u>景観の変化の程度は「第11節 景観 (p.8-11-49)」を参照。</u> 【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>

表 15-1-1 (53) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																								
8-12-25 表 8-12-6(7) 予測結果(塚原町バー ドウォッチング)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-26 表 8-12-6(8) 予測結果(塚原集落(ホ タルの里))	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-27 表 8-12-6(9) 予測結果(団子新居散 策路)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-28 表 8-12-6(10) 予測結果(坊沢川ザリ ガニ採集)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-29 表 8-12-6(11) 予測結果(双葉団地周 辺散策路)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-30 表 8-12-6(12) 予測結果(花の咲く丘)	【図の追加】 記載なし	【図の追加】 <u>予測地点詳細図の追加</u>																																								
8-12-31 12.1.4 事後調査	【2～3 行目】 予測手法は都市計画対象道路事業実施区 域と主要な人と自然との触れ合いの活動 の場の分布範囲の重ね合わせ等による方 法であり、・・・	【2～3 行目】 予測手法は都市計画対象道路事業実施区 域と主要な人と自然との触れ合いの活動 の場の分布範囲の重ね合わせ、 <u>触れ合いの 活動の場からの景観変化を把握するフォ トモニタージュ等の多くの実績を有する 手法であり、・・・</u>																																								
8-13-1 用語の説明	【用語の説明】 記載なし	【用語の説明】 <u>コンクリート塊：側溝など既存の工作物の 除去に伴って生じるコンクリートの破片。</u> <u>アスファルト・コンクリート塊：舗装の剥 ぎ取りあるいは削り取りによって生じる アスファルトがら</u>																																								
8-13-2 表 8-13-1 廃棄物等に 係る予測結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>道路事業実 施区域での 再利用量</th> <th>道路事業実施区 域外への搬出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設発生土 (注1)</td> <td>約270万m³</td> <td>約40万m³</td> <td>約230万m³</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>約 400m³</td> <td>—</td> <td>約 400m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト・コン クリート塊</td> <td>約1,900m³</td> <td>—</td> <td>約1,900m³</td> </tr> <tr> <td>建設発生木材</td> <td>約3,300m³</td> <td>—</td> <td>約3,300m³</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	道路事業実 施区域での 再利用量	道路事業実施区 域外への搬出量	建設発生土 (注1)	約270万m ³	約40万m ³	約230万m ³	コンクリート塊	約 400m ³	—	約 400m ³	アスファルト・コン クリート塊	約1,900m ³	—	約1,900m ³	建設発生木材	約3,300m ³	—	約3,300m ³	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>発生量</th> <th>道路事業実 施区域での 再利用量</th> <th>道路事業実施区 域外への搬出量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設発生土 (注1)</td> <td>約270万m³</td> <td>約40万m³</td> <td>約230万m³</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>約 400m³</td> <td>—</td> <td>約 400m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト・コン クリート塊</td> <td>約1,900m³</td> <td>—</td> <td>約1,900m³</td> </tr> <tr> <td>建設発 生木材</td> <td>伐採 約3,300m³ 型枠材 約 300m³</td> <td>—</td> <td>約3,300m³ 約 300m³</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	発生量	道路事業実 施区域での 再利用量	道路事業実施区 域外への搬出量	建設発生土 (注1)	約270万m ³	約40万m ³	約230万m ³	コンクリート塊	約 400m ³	—	約 400m ³	アスファルト・コン クリート塊	約1,900m ³	—	約1,900m ³	建設発 生木材	伐採 約3,300m ³ 型枠材 約 300m ³	—	約3,300m ³ 約 300m ³
種 類	発生量	道路事業実 施区域での 再利用量	道路事業実施区 域外への搬出量																																							
建設発生土 (注1)	約270万m ³	約40万m ³	約230万m ³																																							
コンクリート塊	約 400m ³	—	約 400m ³																																							
アスファルト・コン クリート塊	約1,900m ³	—	約1,900m ³																																							
建設発生木材	約3,300m ³	—	約3,300m ³																																							
種 類	発生量	道路事業実 施区域での 再利用量	道路事業実施区 域外への搬出量																																							
建設発生土 (注1)	約270万m ³	約40万m ³	約230万m ³																																							
コンクリート塊	約 400m ³	—	約 400m ³																																							
アスファルト・コン クリート塊	約1,900m ³	—	約1,900m ³																																							
建設発 生木材	伐採 約3,300m ³ 型枠材 約 300m ³	—	約3,300m ³ 約 300m ³																																							
8-13-2 (1) 建設発生土	【1 行目】 建設発生土については約 270 万 m ³ が生じ るものと予測するが、・・・	【1 行目】 建設発生土については、掘削工事により約 270 万 m ³ が生じるものと予測するが、・・・																																								
8-13-2 (2) コンクリート塊及 びアスファルト・コン クリート塊	【1～2 行目】 コンクリート塊及びアスファルト・コンク リート塊については、それぞれ約 400m ³ 、 約 1,900m ³ が発生する。	【1～2 行目】 コンクリート塊及びアスファルト・コンク リート塊については、 <u>既存工作物の撤去や 既存道路の掘削等により、それぞれ約 400 m³、約 1,900m³ が発生する。</u>																																								

表 15-1-1 (54) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
8-13-2 (2) コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊	【6～9 行目】 コンクリート塊については、再生コンクリート材に加工し、再資源化を図ることとする。アスファルト・コンクリート塊については、再生アスファルト合材等に加工し、再資源化を図る予定である。再利用できないものについては、関係法令に基づいて適正に処理・処分する。	【6～9 行目】 <u>再資源化の具体的な内容は、コンクリート塊については、再生コンクリート材に加工し、再資源化を図ることとする。アスファルト・コンクリート塊については、再生アスファルト合材等に加工し、再資源化を図ることとする。</u>
8-13-3 (3) 建設発生木材	【1～2 行目】 建設発生木材については、約 3,300m ³ が、生じるものと予測する。	【1～2 行目】 建設発生木材については、森林の伐採に伴い約 3,300m ³ が、橋梁部等の使用済みコンクリート型枠材により約 300m ³ が生じるものと予測する。
8-13-3 (3) 建設発生木材	【3～6 行目】 ・・・工事の際には分別解体し、再資源化施設へ搬入する等により再資源化を図り、再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分する。具体的には、現地でマルチング材、育成基盤材、堆肥として再資源化を図る予定である。	【4～8 行目】 ・・・工事の際には分別解体し、再資源化できるものについては再資源化施設へ搬入する等により再資源化を図る。再資源化の具体的な内容は、伐採木については、マルチング材、育成基盤材、堆肥として利用する予定である。 <u>コンクリート養生等建設現場から発生するベニヤ板、標識杭等の再資源化できないものについては、関係法令に基づいて適切に処理・処分する。なお、処理・処分に際しては、可能な限りバイオマスボイラー燃料等への再生が行われる産業廃棄物処理業者へ委託することとする。</u>
8-13-4 1) 環境保全措置の検討	【3～5 行目】 環境保全措置の検討の結果、「工事間流用の促進」、「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」を採用する。	【3～5 行目】 環境保全措置の検討の結果、「工事間流用の促進」、「再資源化施設への搬入等による他事業等での利用」及び「トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止」を採用する。なお、搬入する再資源化施設等は、 <u>事業実施段階において検討を行う。</u>
8-13-6 1) 回避又は低減に係る評価	【12 行目以降】 ・・・、再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。	【12 行目以降】 ・・・、再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。 <u>さらに、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法（平成 14 年法律第 53 号）に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第 7 条 6 項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。</u> このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 なお、対象事業実施区域外に搬出する残土については、工事の実施に当たり搬出先及び搬出先ごとの排出量を把握すると共に、 <u>事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うと伴に、具体的な排出抑制計画を策定する。</u>

表 15-1-1 (55) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																					
9-2～29 表 9-1-1 環境影響評価結果の総合的な評価	【予測結果、環境保全措置及び事後調査の列】	【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】 予測結果の概要及び環境保全措置の概要をまとめて表記した。また、予測結果及び評価結果は文章のみとし表を削除した。頁をA4版に変更した。																					
9-2 表 9-1-1(1) 環境影響評価結果の総合的な評価	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">予測結果</th> <th style="width:25%;">環境保全措置及び事後調査</th> <th style="width:25%;">評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009 ～ 0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022～0.028mg/m³ である。 既存道路の影響を考慮した予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m³ である。 </td> <td> <環境保全措置> 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 <事後調査> 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。 </td> <td> <回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。 </td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果	計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009 ～ 0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022～0.028mg/m ³ である。 既存道路の影響を考慮した予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m ³ である。	<環境保全措置> 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 <事後調査> 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測値	・・・	・・・		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	評価	・・・	・・・	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測結果の概要及び環境保全措置の概要</th> <th style="width:50%;">評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1.予測結果 計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022 ～ 0.028mg/m³ である。 既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m³ である。 なお、計画路線の整備と合わせて側道の整備を行うが、これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものである。よって、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していない。 2.環境保全措置 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 3.事後調査 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。 </td> <td> <回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。 </td> </tr> </tbody> </table>	予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果	1.予測結果 計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022 ～ 0.028mg/m ³ である。 既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m ³ である。 なお、計画路線の整備と合わせて側道の整備を行うが、これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものである。よって、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していない。 2.環境保全措置 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 3.事後調査 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。
予測結果	環境保全措置及び事後調査	評価結果																					
計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009 ～ 0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022～0.028mg/m ³ である。 既存道路の影響を考慮した予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m ³ である。	<環境保全措置> 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 <事後調査> 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。																					
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測値	・・・	・・・		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">予測地点</th> <th style="width:50%;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center;">・・・</td> <td style="text-align:center;">・・・</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	評価	・・・	・・・													
予測地点	予測値																						
・・・	・・・																						
予測地点	評価																						
・・・	・・・																						
予測結果の概要及び環境保全措置の概要	評価結果																						
1.予測結果 計画路線の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.022 ～ 0.028mg/m ³ である。 既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、二酸化窒素の年平均値が 0.009～0.022ppm、浮遊粒子状物質の年平均値が 0.020 ～ 0.028mg/m ³ である。 なお、計画路線の整備と合わせて側道の整備を行うが、これは周辺の生活道路の機能補償のために改修を行うものである。よって、通行する交通量は少なく予測値に影響を与えるものではないため、側道からの影響は考慮していない。 2.環境保全措置 予測結果より、自動車の走行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に関して維持されることが望ましい水準が満たされるものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとする。 3.事後調査 予測手法は、科学的知見に基づいて設定されたものであり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。	<回避又は低減に係る評価> 計画路線は道路の計画段階において、集落及び市街地をできる限り回避した計画としており、住居等の保全対象への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っている。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。 <基準又は目標との整合性に係る評価> 評価結果より、二酸化窒素の日平均値の年間98%値及び浮遊粒子状物質の日平均値の年間2%除外値は全ての予測地点で基準値を下回っており、基準等との整合性は図られると評価する。																						
9-5 表 9-1-1(4) 環境影響評価結果の総合的な評価	【評価結果】 記載なし	【評価結果、8～9行目】 さらに、住居等の保全対象の近くでは、第3次排出ガス対策型建設機械の使用を検討する。																					

表 15-1-1 (56) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																
9-7 表 9-1-1(6) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果】</p> <p>●騒音レベルの調査結果(等価騒音レベル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>68</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	68	64	<p>【調査結果】</p> <p>●騒音レベルの調査結果(等価騒音レベル)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th colspan="2">調査結果(dB)</th> </tr> <tr> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査結果(dB)		昼間	夜間	甲府市桜井町	65	60
調査地点	調査結果(dB)																	
	昼間	夜間																
甲府市桜井町	68	64																
調査地点	調査結果(dB)																	
	昼間	夜間																
甲府市桜井町	65	60																
9-7 表 9-1-1(6) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果】</p> <p>●自動車交通量の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>17,822</td> <td>6.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【予測結果、4～5 行目】</p> <p>既存道路の影響を考慮した予測結果は、・・・</p>	調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市桜井町	国道 140 号	17,822	6.6	<p>【調査結果】</p> <p>●自動車交通量の調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th>自動車 交通量 (台/日)</th> <th>大型車 混入率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東 連絡道路)</td> <td>15,189</td> <td>5.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要、4～5 行目】</p> <p>既存道路からの影響を考慮した、複合的な影響の予測結果は、・・・</p>	調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東 連絡道路)	15,189	5.1
調査地点	路線名			自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)													
		甲府市桜井町	国道 140 号	17,822	6.6													
調査地点	路線名	自動車 交通量 (台/日)	大型車 混入率 (%)															
		甲府市桜井町	国道 140 号(西関東 連絡道路)	15,189	5.1													
9-8 表 9-1-1(7) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【評価結果、10～11 行目】</p> <p>記載なし</p>	<p>【評価結果、10～11 行目】</p> <p>さらに、住居等の保全対象の近くでは、超低騒音型機械の使用を検討する。</p>																
9-11 表 9-1-1(10) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果】</p> <p>●振動レベルの調査結果(振動レベルの80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>45</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	昼間	夜間	甲府市桜井町	45	39	<p>【調査結果】</p> <p>●振動レベルの調査結果(振動レベルの80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>40</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	昼間	夜間	甲府市桜井町	40	32				
調査地点	昼間		夜間															
	甲府市桜井町	45	39															
調査地点	昼間	夜間																
	甲府市桜井町	40	32															
9-12 表 9-1-1(11) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【環境保全措置及び事後調査】</p> <p><環境保全措置>(環境保全措置の効果)</p> <p>低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p>2. 環境保全措置(環境保全措置の効果)</p> <p>低振動型建設機械を採用することにより、振動の発生を低減できる。なお、<u>低振動型に指定されている建設機械は限られているため、指定されている機種(パイプロハンマ)を用いる工事に限られた環境保全措置である。</u></p>																
9-13 表 9-1-1(12) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果】</p> <p>●振動レベルの調査結果(振動レベルの80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th>調査結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 (dB)	甲府市桜井町	国道 140 号	45	<p>【調査結果】</p> <p>●振動レベルの調査結果(振動レベルの80%レンジの上端値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地点</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th>調査結果 (dB)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東 連絡道路)</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	路線名	調査結果 (dB)	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東 連絡道路)	40				
調査地点	路線名			調査結果 (dB)														
		甲府市桜井町	国道 140 号	45														
調査地点	路線名	調査結果 (dB)																
		甲府市桜井町	国道 140 号(西関東 連絡道路)	40														
9-13 表 9-1-1(12) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【環境保全措置及び事後調査】</p> <p>予測結果は、30dB 未満～46dB である。</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p>1. 予測結果</p> <p>予測結果は、30dB 未満～42dB である。</p>																
9-14 表 9-1-1(13) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【予測結果】</p> <p>予測結果は、L50 が 69～74dB、LG5 が 78～82dB である。</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p>1. 予測結果</p> <p>予測結果は、L50 が 66～74dB、LG5 が 75～82dB である。</p>																

表 15-1-1 (57) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
9-15 表 9-1-1 (14) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【評価結果】</p> <p>なお、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じる。</p>	<p>【評価結果】</p> <p>なお、事業実施区域周辺の個別の井戸等については、事業実施段階で、井戸分布等の詳細な調査を行い、必要に応じて適切な対策を講じる。<u>また、トンネル掘削工事による地下水位の低下等の影響が懸念される箇所において、工事の実施に当たって当該影響が見られる際には、地下水等への影響の低減効果を含めて、施工方法を検討し、確実に対策を実施する。温泉については、継続的なモニタリングを行い、工事中及び供用後の温泉の状況の把握に努める。</u></p>
9-19 表 9-1-1 (18) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p>事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p><u>事後調査の結果により、事業の実施による生息環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</u></p>
9-20 表 9-1-1 (19) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p><事後調査結果の公表方法></p> <p>事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施するものとする。</p>	<p><事後調査結果の公表方法></p> <p>事後調査結果の公表については、原則として事業者が行うものとするが、<u>関係機関と連携しつつ、適切な時期・方法により公表する。</u></p>
9-21 表 9-1-1 (20) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p>事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p><u>事後調査の結果により、事業の実施による生育環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</u></p>
9-24 表 9-1-1 (23) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p>事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じた場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】</p> <p><事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応></p> <p><u>事後調査の結果により、事業の実施による生息環境の大幅な変化等、事前に予測し得ない環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、・・・</u></p>
9-25 表 9-1-1 (24) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果】</p> <p><主要な眺望点及び日常的な視点場の状況及び景観資源の状況></p> <p>・・・主要な眺望点及び日常的な視点場は24箇所存在している。</p>	<p>【調査結果】</p> <p><主要な眺望点及び日常的な視点場の状況及び景観資源の状況></p> <p>・・・主要な眺望点及び日常的な視点場は<u>43箇所</u>存在している。</p>

表 15-1-1 (58) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																																																																																														
<p>9-25 表 9-1-1(24) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>< 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の状況 ></p> <table border="1" data-bbox="454 313 911 795"> <thead> <tr> <th>主要な眺望点</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>兜山</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>大蔵経寺山</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>上積翠寺展望地</td><td>甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス</td></tr> <tr><td>鶴鶴公園</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>みゆきの森みはらし広場</td><td>富士山、南アルプス、甲府盆地</td></tr> <tr><td>県立美術館</td><td>秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>梅の里公園</td><td>富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>サントリー山梨ワイナリー</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>信玄橋</td><td>黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>双田橋</td><td>黒富士火山群</td></tr> <tr><td>斜面の果樹園の景観</td><td>斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>棚田からの景観</td><td>甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス</td></tr> <tr><td>竜石山スカイライン沿いの眺望景観</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>高台からの景観・坑口斜面の景観</td><td>甲府盆地</td></tr> <tr><td>緑が丘公園</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>千松橋</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>荒川河川敷公園</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>県道敷島竜王線(富士山が見える場所)</td><td>富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>道路からの景観(大久保地区)</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>大久保地区高台からの景観その1</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>大久保地区高台からの景観その2</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>ドラゴンパーク</td><td>黒富士火山群</td></tr> <tr><td>一橋陣屋跡前からの景観</td><td>八ヶ岳南麓流れ山</td></tr> <tr><td>観水公園</td><td>黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>国道20号からの景観</td><td>富士山</td></tr> </tbody> </table>	主要な眺望点	視認できる景観資源	兜山	富士山、甲府盆地	大蔵経寺山	富士山、甲府盆地	上積翠寺展望地	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス	鶴鶴公園	やまなしの歴史文化公園	みゆきの森みはらし広場	富士山、南アルプス、甲府盆地	県立美術館	秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園	梅の里公園	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	サントリー山梨ワイナリー	富士山、甲府盆地	信玄橋	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘	双田橋	黒富士火山群	斜面の果樹園の景観	斜面の果樹園	棚田からの景観	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス	竜石山スカイライン沿いの眺望景観	やまなしの歴史文化公園	高台からの景観・坑口斜面の景観	甲府盆地	緑が丘公園	やまなしの歴史文化公園	千松橋	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	荒川河川敷公園	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	道路からの景観(大久保地区)	富士山	大久保地区高台からの景観その1	富士山	大久保地区高台からの景観その2	富士山	ドラゴンパーク	黒富士火山群	一橋陣屋跡前からの景観	八ヶ岳南麓流れ山	観水公園	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘	国道20号からの景観	富士山	<p>< 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の状況 ></p> <table border="1" data-bbox="933 313 1390 1030"> <thead> <tr> <th>眺望点</th> <th>視認できる景観資源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>兜山</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>大蔵経寺山</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>上積翠寺展望地</td><td>甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>鶴鶴公園</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>みゆきの森みはらし広場</td><td>富士山、南アルプス、甲府盆地</td></tr> <tr><td>県立美術館</td><td>秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>梅の里公園</td><td>富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>サントリー山梨ワイナリー</td><td>富士山、甲府盆地</td></tr> <tr><td>信玄橋</td><td>黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>双田橋</td><td>黒富士火山群</td></tr> <tr><td>斜面の果樹園の景観</td><td>斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>棚田からの景観</td><td>甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>竜石山スカイライン沿いの眺望景観</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>高台からの景観・坑口斜面の景観</td><td>甲府盆地</td></tr> <tr><td>緑が丘公園</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>千松橋</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>荒川河川敷公園</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>県道敷島竜王線(富士山が見える場所)</td><td>富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>道路からの景観(大久保地区)</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>大久保地区高台からの景観その1</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>大久保地区高台からの景観その2</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>ドラゴンパーク</td><td>黒富士火山群</td></tr> <tr><td>一橋陣屋跡前からの景観</td><td>八ヶ岳南麓流れ山</td></tr> <tr><td>観水公園</td><td>黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>国道20号からの景観</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>東善寺墓地の西側</td><td>甲府盆地、斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>桜井町散策路</td><td>甲府盆地、斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>英和大学東側住宅地入口</td><td>斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>英和大学北西の果樹園及び桜並木</td><td>甲府盆地、斜面の果樹園</td></tr> <tr><td>金峰神社付近及び神社北側の機雷電話アンテナ前</td><td>甲府盆地、やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>店府中町第2号公園</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>ひびきの谷入口北側の農道</td><td>やまなしの歴史文化公園</td></tr> <tr><td>県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>県道101号(甲斐市牛句 敷島竜王線)を通過する区間</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)</td><td>黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>矢木羽湖</td><td>富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園</td></tr> <tr><td>高原団地 北側の公園付近</td><td>黒富士火山群</td></tr> <tr><td>太神神社西側</td><td>塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>双葉スボーク公園の北東部</td><td>塩川(左岸)河成段丘</td></tr> <tr><td>舟形神社北西</td><td>八ヶ岳南麓流れ山</td></tr> <tr><td>市営田畑団地付近</td><td>富士山</td></tr> <tr><td>国道20号と六反川の交差点付近</td><td>八ヶ岳南麓流れ山</td></tr> <tr><td>県道6号 田畑交差点西</td><td>南アルプス</td></tr> <tr><td>国道20号新田畑交差点南側</td><td>八ヶ岳南麓流れ山</td></tr> </tbody> </table>	眺望点	視認できる景観資源	兜山	富士山、甲府盆地	大蔵経寺山	富士山、甲府盆地	上積翠寺展望地	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園	鶴鶴公園	やまなしの歴史文化公園	みゆきの森みはらし広場	富士山、南アルプス、甲府盆地	県立美術館	秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園	梅の里公園	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	サントリー山梨ワイナリー	富士山、甲府盆地	信玄橋	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘	双田橋	黒富士火山群	斜面の果樹園の景観	斜面の果樹園	棚田からの景観	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園	竜石山スカイライン沿いの眺望景観	やまなしの歴史文化公園	高台からの景観・坑口斜面の景観	甲府盆地	緑が丘公園	やまなしの歴史文化公園	千松橋	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	荒川河川敷公園	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	道路からの景観(大久保地区)	富士山	大久保地区高台からの景観その1	富士山	大久保地区高台からの景観その2	富士山	ドラゴンパーク	黒富士火山群	一橋陣屋跡前からの景観	八ヶ岳南麓流れ山	観水公園	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘	国道20号からの景観	富士山	東善寺墓地の西側	甲府盆地、斜面の果樹園	桜井町散策路	甲府盆地、斜面の果樹園	英和大学東側住宅地入口	斜面の果樹園	英和大学北西の果樹園及び桜並木	甲府盆地、斜面の果樹園	金峰神社付近及び神社北側の機雷電話アンテナ前	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園	店府中町第2号公園	やまなしの歴史文化公園	ひびきの谷入口北側の農道	やまなしの歴史文化公園	県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	県道101号(甲斐市牛句 敷島竜王線)を通過する区間	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	矢木羽湖	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園	高原団地 北側の公園付近	黒富士火山群	太神神社西側	塩川(左岸)河成段丘	双葉スボーク公園の北東部	塩川(左岸)河成段丘	舟形神社北西	八ヶ岳南麓流れ山	市営田畑団地付近	富士山	国道20号と六反川の交差点付近	八ヶ岳南麓流れ山	県道6号 田畑交差点西	南アルプス	国道20号新田畑交差点南側	八ヶ岳南麓流れ山
主要な眺望点	視認できる景観資源																																																																																																																																															
兜山	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
大蔵経寺山	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
上積翠寺展望地	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス																																																																																																																																															
鶴鶴公園	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
みゆきの森みはらし広場	富士山、南アルプス、甲府盆地																																																																																																																																															
県立美術館	秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
梅の里公園	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
サントリー山梨ワイナリー	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
信玄橋	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
双田橋	黒富士火山群																																																																																																																																															
斜面の果樹園の景観	斜面の果樹園																																																																																																																																															
棚田からの景観	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス																																																																																																																																															
竜石山スカイライン沿いの眺望景観	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
高台からの景観・坑口斜面の景観	甲府盆地																																																																																																																																															
緑が丘公園	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
千松橋	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
荒川河川敷公園	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
道路からの景観(大久保地区)	富士山																																																																																																																																															
大久保地区高台からの景観その1	富士山																																																																																																																																															
大久保地区高台からの景観その2	富士山																																																																																																																																															
ドラゴンパーク	黒富士火山群																																																																																																																																															
一橋陣屋跡前からの景観	八ヶ岳南麓流れ山																																																																																																																																															
観水公園	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
国道20号からの景観	富士山																																																																																																																																															
眺望点	視認できる景観資源																																																																																																																																															
兜山	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
大蔵経寺山	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
上積翠寺展望地	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
鶴鶴公園	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
みゆきの森みはらし広場	富士山、南アルプス、甲府盆地																																																																																																																																															
県立美術館	秩父多摩甲斐国立公園、やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
梅の里公園	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
サントリー山梨ワイナリー	富士山、甲府盆地																																																																																																																																															
信玄橋	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
双田橋	黒富士火山群																																																																																																																																															
斜面の果樹園の景観	斜面の果樹園																																																																																																																																															
棚田からの景観	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園、南アルプス、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
竜石山スカイライン沿いの眺望景観	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
高台からの景観・坑口斜面の景観	甲府盆地																																																																																																																																															
緑が丘公園	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
千松橋	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
荒川河川敷公園	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
道路からの景観(大久保地区)	富士山																																																																																																																																															
大久保地区高台からの景観その1	富士山																																																																																																																																															
大久保地区高台からの景観その2	富士山																																																																																																																																															
ドラゴンパーク	黒富士火山群																																																																																																																																															
一橋陣屋跡前からの景観	八ヶ岳南麓流れ山																																																																																																																																															
観水公園	黒富士火山群、八ヶ岳南麓流れ山、塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
国道20号からの景観	富士山																																																																																																																																															
東善寺墓地の西側	甲府盆地、斜面の果樹園																																																																																																																																															
桜井町散策路	甲府盆地、斜面の果樹園																																																																																																																																															
英和大学東側住宅地入口	斜面の果樹園																																																																																																																																															
英和大学北西の果樹園及び桜並木	甲府盆地、斜面の果樹園																																																																																																																																															
金峰神社付近及び神社北側の機雷電話アンテナ前	甲府盆地、やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
店府中町第2号公園	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
ひびきの谷入口北側の農道	やまなしの歴史文化公園																																																																																																																																															
県道7号(甲府市山宮 昇仙峡ライン)	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
県道101号(甲斐市牛句 敷島竜王線)を通過する区間	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
茅ヶ岳東部広域農道との複合影響が把握できる地点(荒川サイクリングロード)	黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
矢木羽湖	富士山、黒富士火山群、秩父多摩甲斐国立公園																																																																																																																																															
高原団地 北側の公園付近	黒富士火山群																																																																																																																																															
太神神社西側	塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
双葉スボーク公園の北東部	塩川(左岸)河成段丘																																																																																																																																															
舟形神社北西	八ヶ岳南麓流れ山																																																																																																																																															
市営田畑団地付近	富士山																																																																																																																																															
国道20号と六反川の交差点付近	八ヶ岳南麓流れ山																																																																																																																																															
県道6号 田畑交差点西	南アルプス																																																																																																																																															
国道20号新田畑交差点南側	八ヶ岳南麓流れ山																																																																																																																																															
<p>9-25 表 9-1-1(24) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>【評価結果】</p> <p>景観の構造に変化が生じると予測した地点については、周辺景観との調和に配慮した構造物(橋梁等)の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。</p> <p>また、特定の眺望点のみでなく、計画路線全域を対象とする環境保全措置として、地形改変部の緑化及びラウンディングによる周辺地形との調和を実施することで、環境負荷の低減に努める。</p>	<p>【評価結果】</p> <p>また、環境保全措置として、<u>地形改変部の緑化、ラウンディングによる周辺地形との調和及び周辺景観との調和に配慮した構造物(橋梁等)の形式、デザイン、色彩の検討等の環境保全措置を実施することで、環境負荷の低減に努める。</u></p>																																																																																																																																														

表 15-1-1 (59) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書																																																																
<p>9-27 表 9-1-1(26) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>【調査結果】 ●主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="454 369 911 918"> <thead> <tr> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>武田神社</td><td>約400m</td></tr> <tr><td>竜華池</td><td>約700m</td></tr> <tr><td>武田の杜遊歩道</td><td>約450m</td></tr> <tr><td>荒川サイクリングロード</td><td>交差</td></tr> <tr><td>矢木羽湖</td><td>約250m</td></tr> <tr><td>桜井町桜・里山管理</td><td>約300m</td></tr> <tr><td>桜井町散策路</td><td>約50m</td></tr> <tr><td>桜井町バードウォッチング</td><td>約700m</td></tr> <tr><td>塚原町バードウォッチング</td><td>約500m</td></tr> <tr><td>塚原集落 (ホテルの里)</td><td>約350m</td></tr> <tr><td>敷島昆虫採集</td><td>約550m</td></tr> <tr><td>団子新居散策路</td><td>約400m</td></tr> <tr><td>坊沢川ザリガニ採集</td><td>約200m</td></tr> <tr><td>双葉団地周辺散策路</td><td>約500m</td></tr> <tr><td>花の咲く丘</td><td>約50m</td></tr> </tbody> </table>	調査地点の名称	計画路線からの距離	武田神社	約400m	竜華池	約700m	武田の杜遊歩道	約450m	荒川サイクリングロード	交差	矢木羽湖	約250m	桜井町桜・里山管理	約300m	桜井町散策路	約50m	桜井町バードウォッチング	約700m	塚原町バードウォッチング	約500m	塚原集落 (ホテルの里)	約350m	敷島昆虫採集	約550m	団子新居散策路	約400m	坊沢川ザリガニ採集	約200m	双葉団地周辺散策路	約500m	花の咲く丘	約50m	<p>【調査結果】 ●主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="933 369 1390 918"> <thead> <tr> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>武田神社</td><td>約450m</td></tr> <tr><td>竜華池</td><td>約700m</td></tr> <tr><td>武田の杜遊歩道</td><td>約350m</td></tr> <tr><td>荒川サイクリングロード</td><td>交差</td></tr> <tr><td>矢木羽湖</td><td>約250m</td></tr> <tr><td>桜井町桜・里山管理</td><td>約250m</td></tr> <tr><td>桜井町散策路</td><td>約100m</td></tr> <tr><td>桜井町バードウォッチング</td><td>約700m</td></tr> <tr><td>塚原町バードウォッチング</td><td>約400m</td></tr> <tr><td>塚原集落 (ホテルの里)</td><td>約400m</td></tr> <tr><td>敷島昆虫採集</td><td>約550m</td></tr> <tr><td>団子新居散策路</td><td>約400m</td></tr> <tr><td>坊沢川ザリガニ採集</td><td>約100m</td></tr> <tr><td>双葉団地周辺散策路</td><td>約200m</td></tr> <tr><td>花の咲く丘</td><td>約150m</td></tr> </tbody> </table>	調査地点の名称	計画路線からの距離	武田神社	約450m	竜華池	約700m	武田の杜遊歩道	約350m	荒川サイクリングロード	交差	矢木羽湖	約250m	桜井町桜・里山管理	約250m	桜井町散策路	約100m	桜井町バードウォッチング	約700m	塚原町バードウォッチング	約400m	塚原集落 (ホテルの里)	約400m	敷島昆虫採集	約550m	団子新居散策路	約400m	坊沢川ザリガニ採集	約100m	双葉団地周辺散策路	約200m	花の咲く丘	約150m
調査地点の名称	計画路線からの距離																																																																	
武田神社	約400m																																																																	
竜華池	約700m																																																																	
武田の杜遊歩道	約450m																																																																	
荒川サイクリングロード	交差																																																																	
矢木羽湖	約250m																																																																	
桜井町桜・里山管理	約300m																																																																	
桜井町散策路	約50m																																																																	
桜井町バードウォッチング	約700m																																																																	
塚原町バードウォッチング	約500m																																																																	
塚原集落 (ホテルの里)	約350m																																																																	
敷島昆虫採集	約550m																																																																	
団子新居散策路	約400m																																																																	
坊沢川ザリガニ採集	約200m																																																																	
双葉団地周辺散策路	約500m																																																																	
花の咲く丘	約50m																																																																	
調査地点の名称	計画路線からの距離																																																																	
武田神社	約450m																																																																	
竜華池	約700m																																																																	
武田の杜遊歩道	約350m																																																																	
荒川サイクリングロード	交差																																																																	
矢木羽湖	約250m																																																																	
桜井町桜・里山管理	約250m																																																																	
桜井町散策路	約100m																																																																	
桜井町バードウォッチング	約700m																																																																	
塚原町バードウォッチング	約400m																																																																	
塚原集落 (ホテルの里)	約400m																																																																	
敷島昆虫採集	約550m																																																																	
団子新居散策路	約400m																																																																	
坊沢川ザリガニ採集	約100m																																																																	
双葉団地周辺散策路	約200m																																																																	
花の咲く丘	約150m																																																																	
<p>9-27 表 9-1-1(26) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】 <事後調査> 予測手法は都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ等による方法であり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>	<p>【予測結果の概要及び環境保全措置の概要】 3. 事後調査 予測手法は都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ、触れ合いの活動の場からの景観変化を把握するフォトモニタージュ等の多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないこととする。</p>																																																																
<p>9-28 表 9-1-1(27) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>【予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="466 1350 904 1503"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発生量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>建設発生土 注1)</td><td>約270万m³</td></tr> <tr><td>コンクリート塊</td><td>約 400m³</td></tr> <tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>約1,900m³</td></tr> <tr><td>建設発生木材</td><td>約3,300m³</td></tr> </tbody> </table>	種類	発生量	建設発生土 注1)	約270万m ³	コンクリート塊	約 400m ³	アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³	建設発生木材	約3,300m ³	<p>【予測結果】</p> <table border="1" data-bbox="944 1350 1383 1532"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>発生量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>建設発生土 注1)</td><td>約270万m³</td></tr> <tr><td>コンクリート塊</td><td>約 400m³</td></tr> <tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>約1,900m³</td></tr> <tr> <td rowspan="2">建設発生木材</td> <td>伐採</td> <td>約3,300m³</td> </tr> <tr> <td>型枠材</td> <td>約 300m³</td> </tr> </tbody> </table>	種類	発生量	建設発生土 注1)	約270万m ³	コンクリート塊	約 400m ³	アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³	建設発生木材	伐採	約3,300m ³	型枠材	約 300m ³																																									
種類	発生量																																																																	
建設発生土 注1)	約270万m ³																																																																	
コンクリート塊	約 400m ³																																																																	
アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³																																																																	
建設発生木材	約3,300m ³																																																																	
種類	発生量																																																																	
建設発生土 注1)	約270万m ³																																																																	
コンクリート塊	約 400m ³																																																																	
アスファルト・コンクリート塊	約1,900m ³																																																																	
建設発生木材	伐採	約3,300m ³																																																																
	型枠材	約 300m ³																																																																
<p>9-28 表 9-1-1(27) 環境影響評価結果の総合的な評価</p>	<p>【評価】 建設副産物については、「建設リサイクル推進計画 2008」及び「山梨県建設リサイクル推進計画」により定められた再資源化率の目標値を上回るよう再利用・再資源化に努めることとする。 このことから、基準等との整合は図られると評価する。</p>	<p>【評価】 建設副産物については、「建設リサイクル推進計画 2008」及び「山梨県建設リサイクル推進計画」により定められた再資源化率の目標値を上回るよう再利用・再資源化に努めることとする。 このことから、基準等との整合は図られると評価する。 なお、事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うと伴に、具体的な排出抑制計画を策定する。</p>																																																																

表 15-1-1 (60) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
9-29 表 9-1-1 (28) 環境影響評価結果の総合的な評価	【評価結果<目標との整合性に係る評価>】 このことから、基準等との整合は図られると評価する。	【評価結果<目標との整合性に係る評価>】 このことから、基準等との整合は図られると評価する。 なお、対象事業実施区域外に搬出する残土については、工事の実施に当たり搬出先、排出量を把握すると共に、事業に実施に際しては、作業員に対し、廃棄物の排出抑制について周知・教育等を行うと共に、具体的な排出抑制計画を策定する。
資料編 2-1～44 2.1 大気質、騒音、振動に係る予測条件	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.1 章として大気質、騒音、振動に係る予測条件を追加
資料編 2-45～82 2.2 環境保全措置の実施事例等	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.2 章として環境保全措置事例を追加
資料編 2-83～100 2.3.2 ゾンデ調査結果	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.3.2 章としてゾンデ調査結果を追加
資料編 2-101～105 2.3.3 反射音実験	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.3.3 章として反射音実験を追加
資料編 2-106～108 2.3.4 甲府市桜井町(国道 140 号沿道)、甲斐市宇津谷六反川(国道 20 号沿道)の調査結果	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.3.4 章として甲府市桜井町(国道 140 号沿道)、甲斐市宇津谷六反川(国道 20 号沿道)の調査結果を追加
資料編 2-109～110 2.3.5 切土工等、工事施工ヤードの設置に伴う水の濁りに関する検討	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.3.5 章として切土工等、工事施工ヤードの設置に伴う水の濁りに関する検討を追加
資料編 2-111～126 2.3.6 環境影響評価準備書手続中に新たに情報提供を行った資料	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 2.3.6 章として環境影響評価準備書手続中に新たに情報提供を行った資料を追加
資料編 3-8 3.2 トンネル坑口からの寄与濃度の内訳	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 3.2 章としてトンネル坑口からの寄与濃度の内訳を追加
資料編 7-40 〔準備書資料編 129〕 〔7.3 キクガシラコウモリの環境保全措置〕	【章の削除】 資料編 7.3 章「キクガシラコウモリの環境保全措置」に係る全内容	【章の削除】 記載なし 「準備書資料編 7.3 章」の内容は「資料編 2.2.5」に移動し、内容を再整理・統合。

表 15-1-1 (61) 知事意見等を踏まえた準備書の記載事項の修正内容

評価書の頁	準備書	評価書
資料編 7-40～47 〔準備書資料編 130～137〕 7.3 動物重要種現地未確認理由	【章番号と表番号の変更】 章番号：7.4 動物重要種現地・・・ 表番号：表 7-4-1(*) 動物 未確認・・・	【章番号と表番号の変更】 章番号：7.3 動物重要種現地・・・ 表番号：表 7-3-1(*) 動物 未確認・・・ 「準備書資料編 7.3 章」の内容が「記載なし」になった関係で、章番号が繰上がる。
資料編 7-48～58 〔準備書資料編 138～148〕 7.4 オオタカ検討会資料	【章番号と図番号の変更】 章番号：7.5 オオタカ検討会資料 表番号：図 7-5-1(*) *地域・・・	【章番号と図番号の変更】 章番号：7.4 オオタカ検討会資料 表番号：図 7-4-1(*) *地域・・・ 「準備書資料編 7.3 章」の内容が「記載なし」になった関係で、章番号が繰り上がる。
資料編 7-59～60 7.5 相川周辺の水生生物等の確認状況	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 7.5 章として「相川周辺の水生生物等の確認状況」の以下の情報を追加 ・7.5 章の説明文 ・図 7-5-1 相川周辺の水生生物等の状況
資料編 9-1 〔準備書資料編 168～197〕 〔9.1 注目種の生息・生育環境図〕	【章の削除】 資料編 9.1 章「注目種の生息・生育環境図」に係る全内容	【章の削除】 記載なし 「準備書資料編 9.1 章」の図面は以下の補足をを行い、本編 8.10 章に移動。 ・都市計画対象道路事業実施区域を「明かり部の区間」と「トンネル部の区間」とがわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲がわかる表示に変更。 ・主な生息・生育基盤の改変範囲の面積等の情報を追加。 ・主な移動経路を追加（キツネの生息範囲の図のみ）。
資料編 9-1～4 9.1 土地及び植生の改変状況	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 9.1 章として「土地及び植生の改変状況」の以下の情報を追加 ・9.1 章の説明文 ・図 9-1-1 土地及び植生の改変の状況
資料編 9-5～11 9.2 生態系区分の改変状況	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 9.2 章として「生態系区分の改変状況」の以下の情報を追加 ・9.2 章の説明文 ・表 9-2-1 地域設定の概要 ・図 9-2-1 地域区分の設定図 ・図 9-2-2 生態系区分の改変の状況 ・表 9-2-2 地域ごとの各生態系区分の改変の程度
資料編 10-21～27 10.1 眺望景観写真	【写真の追加】 記載なし	【写真の追加】 追加地点の写真を追加
資料編 10-28～55 10.2 景観予測資料	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 10.2 章として景観予測資料を追加
資料編 12-1 12. 廃棄物等 発生量の算出根拠について	【章の追加】 記載なし	【章の追加】 12 章として廃棄物等 発生量の算出根拠についてを追加

表 15-1-2 (1) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																																																														
5 表 3-2-2 ジャンクシ ョン・インターチェン ジ・交差点の概要	国道 140 号	<u>国道 140 号 (西関東連絡道路)</u>																																																																														
5 表 3-2-2 ジャンクシ ョン・インターチェン ジ・交差点の概要	(仮称) 緑ヶ丘運動公園線	<u>(仮) 新環状・緑が丘アクセス線</u>																																																																														
7 図 3-2-4 計画交通量 (平成 42 年)	(仮称) 緑ヶ丘運動公園線 国道 140 号	<u>(仮) 新環状・緑が丘アクセス線</u> <u>国道 140 号 (西関東連絡道路)</u> 東側区間の線を追加																																																																														
7-15	4. 調査地点 一般国道 140 号、主要地方道甲府山梨線、 主要地方道甲府昇仙峡線、一般県道敷島竜 王線、一般県道島上条宮久保絵見堂線、主 要地方道甲府敷島韮崎線及び一般国道 20 号 (双葉バイパス) 計 7 箇所	4. 調査地点 一般国道 140 号、主要地方道甲府山梨線、 主要地方道甲府昇仙峡線、一般県道敷島竜 王線、一般県道島上条宮久保絵見堂線、主 要地方道甲府敷島韮崎線 <u>計 6 箇所</u>																																																																														
8-1-7 表 8-1-7 気象の状況の現地調査 結果	<p>【最多風向】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>最多風向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市横根町</td> <td>春季</td> <td>SSW</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>春季</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>冬季</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通季</td> <td>NNE</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>冬季</td> <td>NNE</td> </tr> </tbody> </table> <p>【風速 平均値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>風速平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>冬季</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>冬季</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【風速 最大値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>風速平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>春季</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>冬季</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>冬季</td> <td>5.4</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査時期	最多風向	甲府市横根町	春季	SSW	甲斐市岩森	春季	S		冬季	S		通季	NNE	甲斐市宇津谷	冬季	NNE	調査地点	調査時期	風速平均値	甲斐市牛匂	冬季	2.1	甲斐市岩森	冬季	2.0	調査地点	調査時期	風速平均値	甲斐市牛匂	春季	9.6		冬季	9.2	甲斐市岩森	冬季	5.4	<p>【最多風向】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>最多風向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市横根町</td> <td>春季</td> <td>N</td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>春季</td> <td><u>NNW</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td>冬季</td> <td><u>NNE</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td>通季</td> <td><u>NNW</u></td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷</td> <td>冬季</td> <td><u>N</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【風速 平均値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>風速平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>冬季</td> <td><u>2.0</u></td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>冬季</td> <td><u>2.1</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>【風速 最大値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査時期</th> <th>風速平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>春季</td> <td><u>8.6</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td>冬季</td> <td><u>5.4</u></td> </tr> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>冬季</td> <td><u>9.2</u></td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	調査時期	最多風向	甲府市横根町	春季	N	甲斐市岩森	春季	<u>NNW</u>		冬季	<u>NNE</u>		通季	<u>NNW</u>	甲斐市宇津谷	冬季	<u>N</u>	調査地点	調査時期	風速平均値	甲斐市牛匂	冬季	<u>2.0</u>	甲斐市岩森	冬季	<u>2.1</u>	調査地点	調査時期	風速平均値	甲斐市牛匂	春季	<u>8.6</u>		冬季	<u>5.4</u>	甲斐市岩森	冬季	<u>9.2</u>
調査地点	調査時期	最多風向																																																																														
甲府市横根町	春季	SSW																																																																														
甲斐市岩森	春季	S																																																																														
	冬季	S																																																																														
	通季	NNE																																																																														
甲斐市宇津谷	冬季	NNE																																																																														
調査地点	調査時期	風速平均値																																																																														
甲斐市牛匂	冬季	2.1																																																																														
甲斐市岩森	冬季	2.0																																																																														
調査地点	調査時期	風速平均値																																																																														
甲斐市牛匂	春季	9.6																																																																														
	冬季	9.2																																																																														
甲斐市岩森	冬季	5.4																																																																														
調査地点	調査時期	最多風向																																																																														
甲府市横根町	春季	N																																																																														
甲斐市岩森	春季	<u>NNW</u>																																																																														
	冬季	<u>NNE</u>																																																																														
	通季	<u>NNW</u>																																																																														
甲斐市宇津谷	冬季	<u>N</u>																																																																														
調査地点	調査時期	風速平均値																																																																														
甲斐市牛匂	冬季	<u>2.0</u>																																																																														
甲斐市岩森	冬季	<u>2.1</u>																																																																														
調査地点	調査時期	風速平均値																																																																														
甲斐市牛匂	春季	<u>8.6</u>																																																																														
	冬季	<u>5.4</u>																																																																														
甲斐市岩森	冬季	<u>9.2</u>																																																																														

表 15-1-2 (2) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書								
8-1-8 図 8-1-3(1) 風配図 (甲斐市横根町)	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 春季 : 4.2%	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 春季 : 0.6%								
8-1-9 図 8-1-3(2) 風配図 (甲斐市塚原町)	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季								
8-1-10 図 8-1-3(3) 風配図 (甲斐市牛匂)	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【平均風速】 冬季 : 2.1m/s	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【平均風速】 冬季 : 2.0m/s								
8-1-11 図 8-1-3(4) 風配図 (甲斐市岩森)	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 春季 : 12.5%、四季 : 1.2% 【平均風速】 冬季 : 2.0m/s	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 春季 : 1.2%、四季 : 4.8% 【平均風速】 冬季 : 2.1m/s								
8-1-12 図 8-1-3(5) 風配図 (甲斐市宇津谷)	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 冬季 : 1.2%、四季 : 11.3%	【風向頻度・平均風速のグラフ形状】 春季、夏季、秋季、冬季、四季 【Calm 頻度】 冬季 : 7.7%、四季 : 12.9%								
8-1-22 表 8-1-11 大気質の予測地点	【既存道路】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>既存道路</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	既存道路	保全対象	県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)	住居等	【既存道路】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>既存道路</th> <th>保全対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>住居等</td> </tr> </tbody> </table>	既存道路	保全対象	(仮)新環状・緑が丘アクセス線	住居等
既存道路	保全対象									
県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)	住居等									
既存道路	保全対象									
(仮)新環状・緑が丘アクセス線	住居等									
8-1-25 図 8-1-8(2) 予測範囲 図 (塚原 IC 周辺)	(仮称) 緑ヶ丘運動公園線	(仮) 新環状・緑が丘アクセス線								
8-1-26 図 8-1-8(3) 予測範囲 図 (牛匂 IC 周辺)	-	【a-a'断面の断面図の寸法線の修正】								
8-1-29 図 8-1-8(6) 予測範囲 図 (宇津谷交差点周辺)	-	【b-b'断面の断面図の寸法線及び寸法の追記】								
8-1-30 表 8-1-12 予測に用いる日交通量	【日交通量(台/日)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">日交通量(台/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)</td> <td>10,100~10,800</td> </tr> </tbody> </table>	日交通量(台/日)		県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)	10,100~10,800	【既存道路】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">日交通量(台/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>10,100~10,800</td> </tr> </tbody> </table>	日交通量(台/日)		(仮)新環状・緑が丘アクセス線	10,100~10,800
日交通量(台/日)										
県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)	10,100~10,800									
日交通量(台/日)										
(仮)新環状・緑が丘アクセス線	10,100~10,800									

表 15-1-2 (3) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																
8-1-31 表 8-1-13 時間変動係数及び車種構成比の設定方法	【対象道路】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">既存道路</th></tr> <tr><td>計画路線</td><td></td></tr> <tr><td>国道 20 号</td><td></td></tr> <tr><td>県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)</td><td></td></tr> <tr><td>県道敷島竜王線</td><td></td></tr> <tr><td>県道甲府昇仙峡線</td><td></td></tr> <tr><td>県道島上条宮久保絵見堂線</td><td></td></tr> <tr><td>茅ヶ岳広域農道</td><td></td></tr> </table>	既存道路		計画路線		国道 20 号		県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)		県道敷島竜王線		県道甲府昇仙峡線		県道島上条宮久保絵見堂線		茅ヶ岳広域農道		【対象道路】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">既存道路</th></tr> <tr><td>計画路線</td><td></td></tr> <tr><td>国道 20 号</td><td></td></tr> <tr><td>(仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td></td></tr> <tr><td>県道敷島竜王線</td><td></td></tr> <tr><td>県道甲府昇仙峡線</td><td></td></tr> <tr><td>県道島上条宮久保絵見堂線</td><td></td></tr> <tr><td>茅ヶ岳広域農道</td><td></td></tr> </table>	既存道路		計画路線		国道 20 号		(仮)新環状・緑が丘アクセス線		県道敷島竜王線		県道甲府昇仙峡線		県道島上条宮久保絵見堂線		茅ヶ岳広域農道	
既存道路																																		
計画路線																																		
国道 20 号																																		
県道緑ヶ丘運動公園線 (未完成)																																		
県道敷島竜王線																																		
県道甲府昇仙峡線																																		
県道島上条宮久保絵見堂線																																		
茅ヶ岳広域農道																																		
既存道路																																		
計画路線																																		
国道 20 号																																		
(仮)新環状・緑が丘アクセス線																																		
県道敷島竜王線																																		
県道甲府昇仙峡線																																		
県道島上条宮久保絵見堂線																																		
茅ヶ岳広域農道																																		
8-1-31 表 8-1-14 (1) 時間変動係数及び車種構成比	【表題】 時間変動係数及び車種構成比(計画路線、国道 20 号、県道緑ヶ丘運動公園線、県道敷島竜王線、県道甲府昇仙峡線、県道島上条宮久保絵見堂線、茅ヶ岳広域農道)	【表題】 時間変動係数及び車種構成比(計画路線、国道 20 号、(仮)新環状・緑が丘アクセス線、県道敷島竜王線、県道甲府昇仙峡線、県道島上条宮久保絵見堂線、茅ヶ岳広域農道)																																
8-1-36 表 8-1-14 (5) 時間変動係数及び車種構成比(国道 140 号(西関東連絡道路))	【表題】 表 8-1-14 (4) 時間変動係数及び車種構成比(国道 140 号、西関東連絡道路)	【表題】 表 8-1-14 (5) 時間変動係数及び車種構成比(国道 140 号(西関東連絡道路))																																
8-1-38 表 8-1-16 予測計算に用いる平均走行速度	【道路区分】 <table border="1"> <tr><th>道路区分</th><th>走行速度</th></tr> <tr><td>県道緑が丘運動公園線</td><td>40～50</td></tr> </table>	道路区分	走行速度	県道緑が丘運動公園線	40～50	【道路区分】 <table border="1"> <tr><th>道路区分</th><th>走行速度</th></tr> <tr><td>(仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td>40～50</td></tr> </table>	道路区分	走行速度	(仮)新環状・緑が丘アクセス線	40～50																								
道路区分	走行速度																																	
県道緑が丘運動公園線	40～50																																	
道路区分	走行速度																																	
(仮)新環状・緑が丘アクセス線	40～50																																	
8-1-52 表 8-1-25 (1) 二酸化窒素の予測結果(既存道路の影響を考慮した予測)	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																								
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り																																	
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																																	
8-1-53 表 8-1-25 (2) 浮遊粒子状物質の予測結果(既存道路の影響を考慮した予測)	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																								
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り																																	
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																																	
8-1-57 表 8-1-29 (1) 二酸化窒素の評価結果(既存道路の影響を考慮した予測)	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																								
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り																																	
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																																	
8-1-58 表 8-1-29 (2) 浮遊粒子状物質の評価結果(既存道路の影響を考慮した予測)	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り	【予測地点(既存道路)】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">予測地点(既存道路)</th></tr> <tr><td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td><td>外回り</td></tr> </table>	予測地点(既存道路)		塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																								
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (県道緑が丘運動公園線 (未完成))	外回り																																	
予測地点(既存道路)																																		
塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り																																	
8-1-78 表 8-1-39 予測地点	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <tr><th>予測地点</th><th>車両の通行ルート</th></tr> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>国道 140 号</td></tr> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <tr><th>予測地点</th><th>車両の通行ルート</th></tr> <tr><td>甲府市桜井町</td><td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td></tr> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																								
予測地点	車両の通行ルート																																	
甲府市桜井町	国道 140 号																																	
予測地点	車両の通行ルート																																	
甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																																	
8-1-79 図 8-1-17 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る粉じん等予測位置図	【路線名】 国道 140 号	【路線名】 国道 140 号(西関東連絡道路)																																
8-1-80 図 8-1-18 (1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号(西関東連絡道路))	【図題】 図 8-1-18 (1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号)	【図題】 図 8-1-18 (1) 予測断面図(甲府市桜井町・ <u>国道 140 号(西関東連絡道路)</u>)																																

表 15-1-2 (4) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																				
8-1-84 表 8-1-43 環境保全措置の検討	<p>【環境保全措置の効果、検討結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> <td>タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。</td> <td>粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であることから、本環境保全措置を採用する。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	工事用車両のタイヤ洗浄	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。	粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であることから、本環境保全措置を採用する。	<p>【環境保全措置の効果、検討結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> <td>タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。</td> <td>粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であり、他の環境への影響もないことから本環境保全措置を採用する。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	工事用車両のタイヤ洗浄	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。	粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であり、他の環境への影響もないことから本環境保全措置を採用する。																								
環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																				
工事用車両のタイヤ洗浄	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。	粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であることから、本環境保全措置を採用する。																																				
環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																				
工事用車両のタイヤ洗浄	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。	粉じん等の発生の低減が確実に見込める環境保全措置であり、他の環境への影響もないことから本環境保全措置を採用する。																																				
8-1-86 表 8-1-46(3) 検討結果の整理	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	なし		<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	なし			
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																					
実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄																																				
	位置	工事施工範囲内																																				
環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。																																					
効果の不確実性	なし																																					
他の環境への影響	なし																																					
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																					
実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄																																				
	位置	工事施工範囲内																																				
環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。																																					
効果の不確実性	なし																																					
他の環境への影響	なし																																					
8-1-113 表 8-1-64 予測地点	<p>【車両の通行ルート】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>車両の通行ルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号	<p>【車両の通行ルート】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>車両の通行ルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																												
予測地点	車両の通行ルート																																					
甲府市桜井町	国道 140 号																																					
予測地点	車両の通行ルート																																					
甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																																					
8-1-114 図 8-1-22 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る大気質予測位置図	<p>【路線名】 国道 140 号</p>	<p>【路線名】 国道 140 号(西関東連絡道路)</p>																																				
8-1-115 図 8-1-23(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号(西関東連絡道路))	<p>【図題】 図 8-1-23(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号)</p>	<p>【図題】 図 8-1-23(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号(西関東連絡道路))</p>																																				
8-1-117 b) 走行速度	各予測地点で 30~60 km/h とした。	各予測地点で 30~50 km/h とした。																																				
8-1-118 (3) 排出係数	30km/h~60km/h を記載	30km/h~50km/h を記載																																				
8-1-120 表 8-1-69(1) 二酸化窒素予測結果	<p>【予測値(年平均値、日平均値の年間 98% 値)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="4">予測値(年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の年間 98% 値</th> </tr> <tr> <th>工事用車両寄与濃度</th> <th>既存道路の寄与濃度</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.00021</td> <td>0.0012</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> <td>0.022</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 98% 値	工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計	A	甲府市桜井町	0.00021	0.0012	0.008	0.009	0.022	<p>【予測値(年平均値、日平均値の年間 98% 値)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="4">予測値(年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の年間 98% 値</th> </tr> <tr> <th>工事用車両寄与濃度</th> <th>既存道路の寄与濃度</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.00021</td> <td>0.0010</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> <td>0.021</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 98% 値	工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計	A	甲府市桜井町	0.00021	0.0010	0.008	0.009	0.021
番号	予測地点			予測値(年平均値)					日平均値の年間 98% 値																													
		工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計																																	
A	甲府市桜井町	0.00021	0.0012	0.008	0.009	0.022																																
番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 98% 値																																
		工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計																																	
A	甲府市桜井町	0.00021	0.0010	0.008	0.009	0.021																																
8-1-120 表 8-1-69(2) 浮遊粒子状物質予測結果	<p>【予測値(年平均値)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="4">予測値(年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の年間 2% 除外値</th> </tr> <tr> <th>工事用車両寄与濃度</th> <th>既存道路の寄与濃度</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.000038</td> <td>0.000241</td> <td>0.024</td> <td>0.024</td> <td>0.059</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 2% 除外値	工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計	A	甲府市桜井町	0.000038	0.000241	0.024	0.024	0.059	<p>【予測値(年平均値)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="4">予測値(年平均値)</th> <th rowspan="2">日平均値の年間 2% 除外値</th> </tr> <tr> <th>工事用車両寄与濃度</th> <th>既存道路の寄与濃度</th> <th>バックグラウンド濃度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.000038</td> <td>0.000185</td> <td>0.024</td> <td>0.024</td> <td>0.059</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 2% 除外値	工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計	A	甲府市桜井町	0.000038	0.000185	0.024	0.024	0.059
番号	予測地点			予測値(年平均値)					日平均値の年間 2% 除外値																													
		工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計																																	
A	甲府市桜井町	0.000038	0.000241	0.024	0.024	0.059																																
番号	予測地点	予測値(年平均値)				日平均値の年間 2% 除外値																																
		工事用車両寄与濃度	既存道路の寄与濃度	バックグラウンド濃度	計																																	
A	甲府市桜井町	0.000038	0.000185	0.024	0.024	0.059																																
8-1-124 表 8-1-74(2) 大気質の評価結果(二酸化窒素)	<p>【日平均値の年間 98% 値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> <th rowspan="2">日平均値の年間 98% 値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> <td>0.022</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	年平均値		日平均値の年間 98% 値	現況値	予測値	A	甲府市桜井町	0.008	0.009	0.022	<p>【日平均値の年間 98% 値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">年平均値</th> <th rowspan="2">年平均値</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>現況値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>甲府市桜井町</td> <td>0.008</td> <td>0.009</td> <td>0.021</td> </tr> </tbody> </table>	番号	予測地点	年平均値		年平均値	現況値	現況値	A	甲府市桜井町	0.008	0.009	0.021												
番号	予測地点			年平均値			日平均値の年間 98% 値																															
		現況値	予測値																																			
A	甲府市桜井町	0.008	0.009	0.022																																		
番号	予測地点	年平均値		年平均値																																		
		現況値	現況値																																			
A	甲府市桜井町	0.008	0.009	0.021																																		

表 15-1-2 (5) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																								
8-2-15 表 8-2-9 騒音の予測地点	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td>既存道路</td> <td>保全対象</td> </tr> <tr> <td>県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）</td> <td>住居等</td> </tr> </table>	既存道路	保全対象	県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）	住居等	【既存道路】 <table border="1"> <tr> <td>既存道路</td> <td>保全対象</td> </tr> <tr> <td>(仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>住居等</td> </tr> </table>	既存道路	保全対象	(仮)新環状・緑が丘アクセス線	住居等																
既存道路	保全対象																									
県道緑ヶ丘運動公園線（未完成）	住居等																									
既存道路	保全対象																									
(仮)新環状・緑が丘アクセス線	住居等																									
8-2-18 図 8-2-6(2) 予測範囲 図（塚原 IC 周辺）	(仮称) 緑ヶ丘運動公園線	(仮) 新環状・緑が丘アクセス線																								
8-2-24 表 8-2-10(1) 騒音の予測結果（計画路線の予測） 昼間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> <td>予測高さ</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.2m</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			予測高さ	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間	4.2m				4.2m	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <td colspan="3">予測地点(既存道路)</td> <td>予測高さ</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間</td> <td>4.2m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2m</td> </tr> </table>	予測地点(既存道路)			予測高さ	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間	4.2m				1.2m
予測地点(既存道路)			予測高さ																							
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間	4.2m																							
			4.2m																							
予測地点(既存道路)			予測高さ																							
宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間	4.2m																							
			1.2m																							
8-2-25 表 8-2-10(2) 騒音の予測結果（計画路線の予測） 夜間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 4.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m																							
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
8-2-26 表 8-2-11(1) 騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） 昼間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 4.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m																							
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
8-2-27 表 8-2-11(2) 騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） 夜間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 4.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m																							
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
8-2-27 表 8-2-11(2) 騒音の予測結果（既存道路の影響を考慮した予測） 夜間（等価騒音レベル（ L_{Aeq} ））	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 4.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m	【予測高さ】 <table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th colspan="2">予測地点(既存道路)</th> <th>予測高さ</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> <tr> <td>6a</td> <td>宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)</td> <td>外回り</td> <td>近接空間 4.2m 1.2m</td> </tr> </table>	番号	予測地点(既存道路)		予測高さ	2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m	6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (県道緑ヶ丘運動公園線(未完成))	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 4.2m																							
番号	予測地点(既存道路)		予測高さ																							
2	塚原 IC 周辺 (仮)新環状・緑が丘アクセス線	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
6a	宇津谷交差点周辺 宇津谷田畑 (国道 20 号、県道甲府韮崎線)	外回り	近接空間 4.2m 1.2m																							
8-2-66 表 8-2-35 予測地点	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <tr> <td>予測地点</td> <td>車両の通行ルート</td> </tr> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> </tr> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <tr> <td>予測地点</td> <td>車両の通行ルート</td> </tr> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> </tr> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																
予測地点	車両の通行ルート																									
甲府市桜井町	国道 140 号																									
予測地点	車両の通行ルート																									
甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																									

表 15-1-2 (6) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																										
8-2-67 図 8-2-16 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音予測位置図	【路線名】 国道 140 号	【路線名】 国道 140 号(西関東連絡道路)																																										
8-2-68 図 8-2-17(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号(西関東連絡道路))	【図題】 図 8-2-17(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号)	【図題】 図 8-2-17(1) 予測断面図(甲府市桜井町・国道 140 号(西関東連絡道路))																																										
8-3-6 表 8-3-4 地盤の状況の調査結果	【地盤種別】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>地盤種別</th> <th>地盤卓越振動数 (Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>未固結地盤</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>未固結地盤</td> <td>43.5</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>未固結地盤</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>未固結地盤</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>未固結地盤</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>未固結地盤</td> <td>24.2</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	地盤種別	地盤卓越振動数 (Hz)	甲府市桜井町	未固結地盤	17.2	甲府市古府中町	未固結地盤	43.5	甲府市山宮町	未固結地盤	25.0	甲斐市牛匂	未固結地盤	29.6	甲斐市団子新居	未固結地盤	43.0	甲斐市宇津谷出口	未固結地盤	24.2	【地盤種別】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>地盤種別</th> <th>地盤卓越振動数 (Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>砂地盤</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>砂地盤</td> <td>43.5</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>砂地盤</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>砂地盤</td> <td>29.6</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>砂地盤</td> <td>43.0</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>砂地盤</td> <td>24.2</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	地盤種別	地盤卓越振動数 (Hz)	甲府市桜井町	砂地盤	17.2	甲府市古府中町	砂地盤	43.5	甲府市山宮町	砂地盤	25.0	甲斐市牛匂	砂地盤	29.6	甲斐市団子新居	砂地盤	43.0	甲斐市宇津谷出口	砂地盤	24.2
調査地点	地盤種別	地盤卓越振動数 (Hz)																																										
甲府市桜井町	未固結地盤	17.2																																										
甲府市古府中町	未固結地盤	43.5																																										
甲府市山宮町	未固結地盤	25.0																																										
甲斐市牛匂	未固結地盤	29.6																																										
甲斐市団子新居	未固結地盤	43.0																																										
甲斐市宇津谷出口	未固結地盤	24.2																																										
調査地点	地盤種別	地盤卓越振動数 (Hz)																																										
甲府市桜井町	砂地盤	17.2																																										
甲府市古府中町	砂地盤	43.5																																										
甲府市山宮町	砂地盤	25.0																																										
甲斐市牛匂	砂地盤	29.6																																										
甲斐市団子新居	砂地盤	43.0																																										
甲斐市宇津谷出口	砂地盤	24.2																																										
8-3-8 表 8-3-5 振動予測式の定数及び補正值等	【平坦道路の行、 $\alpha 1 = \dots$ の列】 0.068 L 10 * -2.0 β : 未固結地盤では	【平坦道路の行、 $\alpha 1 = \dots$ の列】 0.068 L 10 * -2.0 β : 砂地盤では																																										
8-3-33 表 8-3-25 振動及び地盤の状況の調査地点	【地盤種別の記載】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>地盤種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>未固結地盤</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>未固結地盤</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>未固結地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>未固結地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>未固結地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>未固結地盤</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	地盤種別	甲府市桜井町	未固結地盤	甲府市古府中町	未固結地盤	甲府市山宮町	未固結地盤	甲斐市牛匂	未固結地盤	甲斐市団子新居	未固結地盤	甲斐市宇津谷出口	未固結地盤	【地盤種別の記載】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>地盤種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>砂地盤</td> </tr> <tr> <td>甲府市古府中町</td> <td>砂地盤</td> </tr> <tr> <td>甲府市山宮町</td> <td>砂地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市牛匂</td> <td>砂地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市団子新居</td> <td>砂地盤</td> </tr> <tr> <td>甲斐市宇津谷出口</td> <td>砂地盤</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	地盤種別	甲府市桜井町	砂地盤	甲府市古府中町	砂地盤	甲府市山宮町	砂地盤	甲斐市牛匂	砂地盤	甲斐市団子新居	砂地盤	甲斐市宇津谷出口	砂地盤														
調査地点	地盤種別																																											
甲府市桜井町	未固結地盤																																											
甲府市古府中町	未固結地盤																																											
甲府市山宮町	未固結地盤																																											
甲斐市牛匂	未固結地盤																																											
甲斐市団子新居	未固結地盤																																											
甲斐市宇津谷出口	未固結地盤																																											
調査地点	地盤種別																																											
甲府市桜井町	砂地盤																																											
甲府市古府中町	砂地盤																																											
甲府市山宮町	砂地盤																																											
甲斐市牛匂	砂地盤																																											
甲斐市団子新居	砂地盤																																											
甲斐市宇津谷出口	砂地盤																																											
8-3-36 表 8-3-26 予測地点	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>車両の通行ルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号	【車両の通行ルート】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>車両の通行ルート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲府市桜井町</td> <td>国道 140 号(西関東連絡道路)</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	車両の通行ルート	甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																																		
予測地点	車両の通行ルート																																											
甲府市桜井町	国道 140 号																																											
予測地点	車両の通行ルート																																											
甲府市桜井町	国道 140 号(西関東連絡道路)																																											
8-3-37 図 8-2-10 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動予測位置図	【路線名】 国道 140 号	【路線名】 国道 140 号(西関東連絡道路)																																										
8-4-11 表 8-4-6 予測時間帯及び大型車類時間交通量	【大型車類時間交通量 (台/時)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>予測時間帯</th> <th>大型車類時間交通量 (台/時)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>牛匂 IC 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	予測時間帯	大型車類時間交通量 (台/時)	桜井 IC 周辺	10~11 時	242	牛匂 IC 周辺	10~11 時	304	甲斐 IC・JCT 周辺	10~11 時	337	宇津谷交差点周辺	10~11 時	358	【大型車類時間交通量 (台/時)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>予測時間帯</th> <th>大型車類時間交通量 (台/時)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>牛匂 IC 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>甲斐 IC・JCT 周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>10~11 時</td> <td>331</td> </tr> </tbody> </table>	路線名	予測時間帯	大型車類時間交通量 (台/時)	桜井 IC 周辺	10~11 時	226	牛匂 IC 周辺	10~11 時	325	甲斐 IC・JCT 周辺	10~11 時	391	宇津谷交差点周辺	10~11 時	331												
路線名	予測時間帯	大型車類時間交通量 (台/時)																																										
桜井 IC 周辺	10~11 時	242																																										
牛匂 IC 周辺	10~11 時	304																																										
甲斐 IC・JCT 周辺	10~11 時	337																																										
宇津谷交差点周辺	10~11 時	358																																										
路線名	予測時間帯	大型車類時間交通量 (台/時)																																										
桜井 IC 周辺	10~11 時	226																																										
牛匂 IC 周辺	10~11 時	325																																										
甲斐 IC・JCT 周辺	10~11 時	391																																										
宇津谷交差点周辺	10~11 時	331																																										
8-4-12 5) 予測結果	【1~2 行目】 ・・・。予測値は、 L_{50} が 69~74dB、 L_{65} が 78~82dB である。	【1~2 行目】 ・・・。予測値は、 L_{50} が 66~74dB、 L_{65} が 75~82dB である。																																										
8-4-12 表 8-4-7 低周波音の予測結果	【予測結果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">予測結果 (dB)</th> </tr> <tr> <th>50%時間率音圧レベル(L_{50})</th> <th>G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>69</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果 (dB)		50%時間率音圧レベル(L_{50})	G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})	桜井 IC 周辺	69	78	【予測結果】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">予測結果 (dB)</th> </tr> <tr> <th>50%時間率音圧レベル(L_{50})</th> <th>G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>66</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果 (dB)		50%時間率音圧レベル(L_{50})	G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})	桜井 IC 周辺	66	75																										
予測地点	予測結果 (dB)																																											
	50%時間率音圧レベル(L_{50})	G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})																																										
桜井 IC 周辺	69	78																																										
予測地点	予測結果 (dB)																																											
	50%時間率音圧レベル(L_{50})	G 特性 5%時間率音圧レベル(L_{65})																																										
桜井 IC 周辺	66	75																																										

表 15-1-2 (7) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																		
8-4-14 表 8-4-9 低周波音の評価結果	<p>【評価結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">予測結果 (dB)</th> </tr> <tr> <th>50%時間率音圧レベル(L₅₀)</th> <th>G特性5%時間率音圧レベル(L_{G5})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>69</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果 (dB)		50%時間率音圧レベル(L ₅₀)	G特性5%時間率音圧レベル(L _{G5})	桜井 IC 周辺	内回り	69	78	<p>【評価結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">予測結果 (dB)</th> </tr> <tr> <th>50%時間率音圧レベル(L₅₀)</th> <th>G特性5%時間率音圧レベル(L_{G5})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桜井 IC 周辺</td> <td>内回り</td> <td>66</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果 (dB)		50%時間率音圧レベル(L ₅₀)	G特性5%時間率音圧レベル(L _{G5})	桜井 IC 周辺	内回り	66	75
予測地点	予測結果 (dB)																			
	50%時間率音圧レベル(L ₅₀)	G特性5%時間率音圧レベル(L _{G5})																		
桜井 IC 周辺	内回り	69	78																	
予測地点	予測結果 (dB)																			
	50%時間率音圧レベル(L ₅₀)	G特性5%時間率音圧レベル(L _{G5})																		
桜井 IC 周辺	内回り	66	75																	
8-5-11 (a) ボーリング調査孔における地下水位	<p>【3～4行目】</p> <p>・・・扇状地堆積物部で高い。B-4は掘削終了後、地下水位は認められない・・・</p>	<p>【3～4行目】</p> <p>・・・扇状地堆積物部で高い。B-9は掘削終了後、地下水位は認められない・・・</p>																		
8-5-25 1) 環境保全措置の検討	<p>【6～7行目】</p> <p>以上のことから、環境保全措置の検討は行わないものとする。</p>	<p>【6～7行目】</p> <p>以上のことから、地下水の水位及び温泉については環境保全措置の検討は行わないものとする。 <u>なお、工事の施工中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書P25「e) 工事中の水質監視等」に記載している内容を環境保全措置として実施する。</u></p>																		
8-5-25 1) 回避又は低減に係る評価	<p>【3段落目以降】</p> <p>・・・温泉についても変化はほとんど生じない。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>	<p>【3段落目以降】</p> <p>・・・温泉についても変化はほとんど生じない。 <u>さらに、工事の実施中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書P25「e) 工事中の水質監視等」に記載している内容を環境保全措置として実施することで環境影響を低減することができる。</u> このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。</p>																		
8-7-9 表 8-7-6 日照阻害の予測結果	<p>【高架構造物設置後の日影時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>地形による日影時間</th> <th>高架構造物設置後の日影時間^(注1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>4.0m</td> <td>地形の影響なし</td> <td>3時間以内 4時間以内</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)	宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	3時間以内 4時間以内	<p>【高架構造物設置後の日影時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>地形による日影時間</th> <th>高架構造物設置後の日影時間^(注1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>4.0m</td> <td>地形の影響なし</td> <td>4時間以内 3時間以内</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)	宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	4時間以内 3時間以内		
予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)																	
宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	3時間以内 4時間以内																	
予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)																	
宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	4時間以内 3時間以内																	
8-7-15 表 8-7-8 評価結果	<p>【高架構造物設置後の日影時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>地形による日影時間</th> <th>高架構造物設置後の日影時間^(注1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>4.0m</td> <td>地形の影響なし</td> <td>3時間以内 4時間以内</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)	宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	3時間以内 4時間以内	<p>【高架構造物設置後の日影時間】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測高さ</th> <th>地形による日影時間</th> <th>高架構造物設置後の日影時間^(注1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇津谷交差点周辺</td> <td>4.0m</td> <td>地形の影響なし</td> <td>4時間以内 3時間以内</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)	宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	4時間以内 3時間以内		
予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)																	
宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	3時間以内 4時間以内																	
予測地点	予測高さ	地形による日影時間	高架構造物設置後の日影時間 ^(注1)																	
宇津谷交差点周辺	4.0m	地形の影響なし	4時間以内 3時間以内																	
8-8-24 表 8-8-13 重要な魚類	スジシマドジョウ 選定基準6：VU	スジシマドジョウ 選定基準6：CR・EN																		
8-8-24 注3)	メダカは、「メダカ北日本集団」と判断し、選定基準6における絶滅危惧種Ⅱ類（VU）とした。	注3) 削除																		
8-8-76 2) 環境保全措置の検討	<p>【第1段落 1行目】</p> <p>道路の存在、工事施工ヤード、工事用道路等の設置による動物・・・</p> <p>【第2段落 3～4行目】</p> <p>・・・、「工事従事者への講習・指導」、「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」・・・</p>	<p>【第1段落 1行目】</p> <p>道路の存在、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置、建設機械の稼働による動物・・・</p> <p>【第2段落 3～4行目】</p> <p>・・・、「工事従事者への講習・指導」、「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」・・・</p>																		
8-8-78 4) 検討結果の整理	<p>【第1段落 3～4行目】</p> <p>・・・、「工事従事者への講習・指導」、「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」・・・</p>	<p>【第1段落 3～4行目】</p> <p>・・・、「工事従事者への講習・指導」、「締切・沈砂地等の濁水処理の実施」・・・</p>																		

表 15-1-2 (8) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書				
8-8-79 表 8-8-29(1) 検討結果の整理	【実施内容 種類】 工事施工ヤード及び工事用道路等の計画路線区域内利用	【実施内容 種類】 工事施工ヤード及び <u>工事用道路</u> の計画路線区域内利用				
8-8-79 表 8-8-29(3) 検討結果の整理	【環境保全措置の効果】 繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地の改変を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。	【環境保全措置の効果】 繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。				
8-8-82 1)回避又は低減に係る評価	【第2段落 3～4行目】 ・・・、工事従事者への講習・指導、締切、沈砂地等の濁水処理の実施・・・	【第2段落 3～4行目】 ・・・、工事従事者への講習・指導、締切、 <u>沈砂地</u> 等の濁水処理の実施・・・				
8-9-14 表 8-9-8(1) 植物群落の概要	【植物群落の概要の内容揭示】 表 8-9-8(1)の「伐跡群落～オオミゾソバ群落（表末の5群落）」に係る内容	【植物群落の概要の内容揭示】 「 <u>伐跡群落～オオミゾソバ群落</u> 」に係る内容は記載なし 「準備書 表 8-9-8(1)」の表末の5群落に係る内容は、表 8-9-8(2)の表頭に移動				
8-9-15 表 8-9-8(2) 植物群落の概要	【植物群落の概要の内容揭示】 「伐跡群落～オオミゾソバ群落」に係る内容の記載なし	【植物群落の概要の内容揭示】 「 <u>準備書 表 8-9-8(1)</u> 」の表末の5群落（ <u>伐跡群落～オオミゾソバ群落</u> ）に係る内容を表頭に移植				
8-9-39 表 8-9-17 事後調査の内容	【調査項目】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">調査項目</td></tr> <tr><td>移植した植物の 生育状況調査</td></tr> </table>	調査項目	移植した植物の 生育状況調査	【調査項目】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">調査項目</td></tr> <tr><td>移植した植物の 生育状況調査 (イヌハギ、ミズマツ バ、ウスゲチョウジタ デ、スズサイコ、ミゾ コウジュ、イヌノフゲ リ、カワヂシャ)</td></tr> </table>	調査項目	移植した植物の 生育状況調査 (イヌハギ、ミズマツ バ、ウスゲチョウジタ デ、スズサイコ、ミゾ コウジュ、イヌノフゲ リ、カワヂシャ)
調査項目						
移植した植物の 生育状況調査						
調査項目						
移植した植物の 生育状況調査 (イヌハギ、ミズマツ バ、ウスゲチョウジタ デ、スズサイコ、ミゾ コウジュ、イヌノフゲ リ、カワヂシャ)						
8-10-14 〔準備書 8-10-11〕 (c) 果樹園・畑地の生態系	【第5段落、1行目】 ・・・一次消費者として、クワヤイチジクといった・・・	【第5段落、1行目】 ・・・一次消費者として、 <u>マグワ</u> やイチジクといった・・・				
8-10-72 〔準備書 8-10-40〕 5) 影響予測の手順	【1行目】 影響予測は図 8-10-10 に示す手順に基づき行った。 【図題 図番号】 図 8-10-10 予測手順	【1行目】 影響予測は図 8-10- <u>11</u> に示す手順に基づき行った。 【図題 図番号】 図 8-10-11 予測手順				
8-10-80 〔準備書 8-10-48〕 表 8-10-14(3) 台地・低地の樹林生態系の予測結果	【コナラ群落の「影響要因」、「影響内容」及び「予測結果」の内容】 表 8-10-14(3)の末尾行の「コナラ群落」に係る内容	【コナラ群落の「影響要因」、「影響内容」及び「予測結果」の内容】 記載なし 「 <u>準備書 表 8-10-14(3)</u> 」の末尾行の「コナラ群落」に係る内容は、表 8-10-14(4)の2行目に移動				
8-10-81 〔準備書 8-10-49〕 表 8-10-14(4) 台地・低地の樹林生態系の予測結果	【コナラ群落の「影響要因」、「影響内容」及び「予測結果」の内容】 「工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置」の「生育環境の質的变化」の「予測結果」の記載なし	【コナラ群落の「影響要因」、「影響内容」及び「予測結果」の内容】 「 <u>準備書 表 8-10-14(3)</u> 」の末尾行の「コナラ群落」に係る内容を <u>表の2行目</u> に移動				

表 15-1-2 (9) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																																
8-10-94 [準備書 8-10-61] 表 8-10-18(2) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果	<p>【カジカガエルの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アブラハヤの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ハネナガイナゴの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	<p>【カジカガエルの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table> <p>【アブラハヤの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ハネナガイナゴの予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置</td> <td>生息基盤の縮小、消失</td> <td rowspan="2"> ・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・ </td> </tr> <tr> <td>道路の存在</td> <td>移動経路の分断</td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断	影響要因	影響内容	予測結果	工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・	道路の存在	移動経路の分断
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる荒川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
影響要因	影響内容	予測結果																																																
工事施工ヤードの設置及び工事用道路の設置	生息基盤の縮小、消失	・計画路線区域には、本種の主な生息基盤となる河川が存在し、計画路線は橋梁で通過する。・・・ ・したがって、・・・																																																
道路の存在	移動経路の分断																																																	
8-10-95 [準備書 8-10-62] 表 8-10-18(3) 中規模河川（荒川）の生態系の予測結果	<p>【ツルヨシ群落の予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路の存在</td> <td>生育環境の質的变化</td> <td> ・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生息基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。 </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	道路の存在	生育環境の質的变化	・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生息基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。	<p>【ツルヨシ群落の予測結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>影響要因</th> <th>影響内容</th> <th>予測結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路の存在</td> <td>生育環境の質的变化</td> <td> ・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生育基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。 </td> </tr> </tbody> </table>	影響要因	影響内容	予測結果	道路の存在	生育環境の質的变化	・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生育基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。																																				
影響要因	影響内容	予測結果																																																
道路の存在	生育環境の質的变化	・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生息基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。																																																
影響要因	影響内容	予測結果																																																
道路の存在	生育環境の質的变化	・ツルヨシ群落が分布する・・・同質の環境があるため、主な生育基盤に変化はほとんど生じない。 ・したがって、生育環境は保全される。																																																
8-10-99 [準備書 8-10-66] 2) 環境保全措置の検討	<p>【1行目】 道路の存在、工事施工ヤード、工事用道路の設置による・・・</p>	<p>【1行目】 道路の存在、工事施工ヤード及び工事用道路の設置による・・・</p>																																																
8-10-103 [準備書 8-10-70] 表 8-10-23(3) 検討結果の整理	<p>【環境保全措置の効果】 繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地の改変を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。</p>	<p>【環境保全措置の効果】 繁殖期を避けた工事工程の検討及び段階的に土地を改変することにより、対象種の生息への影響を低減することができる。</p>																																																

表 15-1-2 (10) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																																												
8-11-4 表 8-11-2 主要な眺望点の状況	<p>【計画路線からの距離】</p> <table border="1" data-bbox="464 293 906 465"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺展望地</td> <td>約1,350m</td> <td>眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>梅の里公園</td> <td>約600m</td> <td>眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。</td> <td>甲斐市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、最も近接する明かり部からの水平距離を示す。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	3	上積翠寺展望地	約1,350m	眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。	甲府市	7	梅の里公園	約600m	眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。	甲斐市	<p>【計画路線からの距離】</p> <table border="1" data-bbox="943 293 1385 465"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>上積翠寺展望地</td> <td>約1,870m</td> <td>眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>梅の里公園</td> <td>約890m</td> <td>眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。</td> <td>甲斐市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	3	上積翠寺展望地	約1,870m	眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。	甲府市	7	梅の里公園	約890m	眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。	甲斐市																														
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																										
3	上積翠寺展望地	約1,350m	眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。	甲府市																																																										
7	梅の里公園	約600m	眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。	甲斐市																																																										
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																										
3	上積翠寺展望地	約1,870m	眺望点は、武田の杜遊歩道沿いに位置する。眺望点周辺はアカマツ林が広がっている。	甲府市																																																										
7	梅の里公園	約890m	眺望点は梅の里公園の高台に位置する。眺望点周辺は梅が植えられている。	甲斐市																																																										
8-11-5 表 8-11-3(1) 日常的な視点場の状況	<p>【計画路線からの距離】</p> <table border="1" data-bbox="464 759 906 1252"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの景観</td> <td>約1,150m</td> <td>甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>愛宕山スカイライン沿いの眺望景観</td> <td>約1,900m</td> <td>眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>高台からの景観・坑口斜面の景観</td> <td>約450m</td> <td>甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>荒川河川敷公園</td> <td>約250m</td> <td>荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>県道数島竜王線(富士山が見える場所)</td> <td>約150m</td> <td>眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、最も近接する明かり部からの水平距離を示す。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	12	棚田からの景観	約1,150m	甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。	甲府市	13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	約1,900m	眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。	甲府市	14	高台からの景観・坑口斜面の景観	約450m	甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。	甲府市	17	荒川河川敷公園	約250m	荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。	甲斐市	18	県道数島竜王線(富士山が見える場所)	約150m	眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。	甲斐市	<p>【計画路線からの距離】</p> <table border="1" data-bbox="943 759 1385 1252"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> <th>計画路線からの距離</th> <th>眺望点の状況</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>棚田からの景観</td> <td>約1,350m</td> <td>甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>愛宕山スカイライン沿いの眺望景観</td> <td>約2,140m</td> <td>眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>高台からの景観・坑口斜面の景観</td> <td>約530m</td> <td>甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。</td> <td>甲府市</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>荒川河川敷公園</td> <td>約290m</td> <td>荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。</td> <td>甲斐市</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>県道数島竜王線(富士山が見える場所)</td> <td>約330m</td> <td>眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。</td> <td>甲斐市</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表注釈】 注) 計画路線からの距離は、計画路線が視認される場合は視認される箇所の中で最も近い距離、視認されない場合は最も近接する明かり部からの水平距離を示す。地点毎の計画路線の可視、不可視については表8-11-7を参照。</p>	番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地	12	棚田からの景観	約1,350m	甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。	甲府市	13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	約2,140m	眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。	甲府市	14	高台からの景観・坑口斜面の景観	約530m	甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。	甲府市	17	荒川河川敷公園	約290m	荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。	甲斐市	18	県道数島竜王線(富士山が見える場所)	約330m	眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。	甲斐市
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																										
12	棚田からの景観	約1,150m	甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。	甲府市																																																										
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	約1,900m	眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。	甲府市																																																										
14	高台からの景観・坑口斜面の景観	約450m	甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。	甲府市																																																										
17	荒川河川敷公園	約250m	荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。	甲斐市																																																										
18	県道数島竜王線(富士山が見える場所)	約150m	眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。	甲斐市																																																										
番号	眺望点	計画路線からの距離	眺望点の状況	所在地																																																										
12	棚田からの景観	約1,350m	甲府市下積翠寺町に位置する棚田である。早春には梅の花越しに甲府市街地を眺望できる。	甲府市																																																										
13	愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	約2,140m	眺望点は、甲府市愛宕山を南北に通るスカイライン沿いに位置する。眺望点周辺は雑木林となっている。	甲府市																																																										
14	高台からの景観・坑口斜面の景観	約530m	甲府市塚原町の高台に位置する生活上の眺望点である。眺望点周辺は畑や雑木林となっており、甲府盆地を見渡すことができる。	甲府市																																																										
17	荒川河川敷公園	約290m	荒川河川敷公園内に位置する生活上の眺望点である。公園内は芝生が敷かれており、サイクリングロード等が整備されている。	甲斐市																																																										
18	県道数島竜王線(富士山が見える場所)	約330m	眺望点は、数島総合公園東に位置する。数島竜王線は、山梨県の主要な観光地であり、地域を代表する景勝地である。見仙峡への途中経路に含まれる。	甲斐市																																																										
8-11-21 表 8-11-7(2) 予測地点の選定(日常的な視点場からの景観)	<p>【番号】</p> <table border="1" data-bbox="464 1543 906 1650"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19-1</td> <td>道路からの景観(大久保地区)</td> </tr> <tr> <td>19-2</td> <td>大袋地区高台からの景観その1</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>大袋地区高台からの景観その2</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	19-1	道路からの景観(大久保地区)	19-2	大袋地区高台からの景観その1	20	大袋地区高台からの景観その2	<p>【番号】</p> <table border="1" data-bbox="943 1543 1385 1650"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>眺望点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>道路からの景観(大久保地区)</td> </tr> <tr> <td>20-1</td> <td>大袋地区高台からの景観その1</td> </tr> <tr> <td>20-2</td> <td>大袋地区高台からの景観その2</td> </tr> </tbody> </table>	番号	眺望点	19	道路からの景観(大久保地区)	20-1	大袋地区高台からの景観その1	20-2	大袋地区高台からの景観その2																																												
番号	眺望点																																																													
19-1	道路からの景観(大久保地区)																																																													
19-2	大袋地区高台からの景観その1																																																													
20	大袋地区高台からの景観その2																																																													
番号	眺望点																																																													
19	道路からの景観(大久保地区)																																																													
20-1	大袋地区高台からの景観その1																																																													
20-2	大袋地区高台からの景観その2																																																													
8-11-26 (2) 主要な眺望景観及び日常的な視点場からの景観の変化	<p>【1行目】 記載なし</p>	<p>【1行目】 都市計画対象道路事業の実施により景観の変化が生じると想定される眺望点において、フォトモンタージュ法により景観の変化の程度を予測した(物理的指標の解析経緯については資料編10.2参照)。</p>																																																												
8-11-26 a. 上積翠寺展望地	<p>【見出し】 (a) 上積翠寺展望地</p>	<p>【見出し】 a. 上積翠寺展望地</p>																																																												

表 15-1-2 (11) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																				
8-11-26 a) 主要な眺望景観の変化	【1行目】 都市計画対象道路事業の実施により主要な眺望景観の変化が生じると想定される主要な眺望点において、フォトモンタージュ法により主要な眺望景観の変化の程度を予測した。	【1行目】 <u>記載なし</u>																				
8-11-26 a. 上積翠寺展望地	【6～7行目】 これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は3.1度と構造物は目立ちにくい値となっている。俯角は7.8度と俯瞰景観においてやや目につきやすい角度となっている。	【6～7行目】 これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は <u>3.7度</u> と構造物は目立ちにくい値となっている。俯角は <u>8.1度</u> と俯瞰景観においてやや目につきやすい角度となっている。																				
8-11-26 表 8-11-8 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 1,350m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.1°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>7.8°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 1,350m	水平見込角	3.1°	俯角	7.8°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 1,870m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.7°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>8.1°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 1,870m	水平見込角	3.7°	俯角	8.1°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約 1,350m																					
水平見込角	3.1°																					
俯角	7.8°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約 1,870m																					
水平見込角	3.7°																					
俯角	8.1°																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-28 b. 梅の里公園	【見出し】 (b) 梅の里公園	【見出し】 <u>b. 梅の里公園</u>																				
8-11-28 表 8-11-9 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 600m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.8°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>4.3°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 600m	水平見込角	3.8°	俯角	4.3°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 890m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.8°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>4.3°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 890m	水平見込角	3.8°	俯角	4.3°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約 600m																					
水平見込角	3.8°																					
俯角	4.3°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約 890m																					
水平見込角	3.8°																					
俯角	4.3°																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-30 c. 斜面の果樹園の景観	【見出し】 (a) 斜面の果樹園の景観	【見出し】 <u>c. 斜面の果樹園の景観</u>																				
8-11-32 d. 棚田からの景観	【見出し】 (b) 棚田からの景観	【見出し】 <u>d. 棚田からの景観</u>																				
8-11-32 d. 棚田からの景観	【7～8行目】 また、俯角は2.4度と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、眺望景観を阻害しないと予測する。	【7～8行目】 また、俯角は <u>4.9度</u> と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、眺望景観を阻害しないと予測する。																				
8-11-32 表 8-11-11 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 1,150m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.9°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>2.4°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 1,150m	水平見込角	3.9°	俯角	2.4°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 1,350m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>3.9°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td><u>4.9°</u></td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 1,350m	水平見込角	3.9°	俯角	<u>4.9°</u>	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約 1,150m																					
水平見込角	3.9°																					
俯角	2.4°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約 1,350m																					
水平見込角	3.9°																					
俯角	<u>4.9°</u>																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-34 e. 愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	【見出し】 (c) 愛宕山スカイライン沿いの眺望景観	【見出し】 <u>e. 愛宕山スカイライン沿いの眺望景観</u>																				
8-11-34 表 8-11-12 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 1,900m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>1.4°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>2.4°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 1,900m	水平見込角	1.4°	俯角	2.4°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 2,140m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>1.4°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>2.4°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 2,140m	水平見込角	1.4°	俯角	2.4°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約 1,900m																					
水平見込角	1.4°																					
俯角	2.4°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約 2,140m																					
水平見込角	1.4°																					
俯角	2.4°																					
スカイライン切断	なし																					

表 15-1-2 (12) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																				
8-11-36 f. 高台からの景観・坑口斜面の景観	【見出し】 (d) 高台からの景観・坑口斜面の景観	【見出し】 f. 高台からの景観・坑口斜面の景観																				
8-11-36 f. 高台からの景観・坑口斜面の景観	【3行目】 対象道路のうち塚原 IC 付近のトンネル坑口部及び緑が丘運動公園線が視野に含まれる。	【3行目】 対象道路のうち塚原 IC 付近のトンネル坑口部及び(仮)新環状・緑が丘アクセス線が視野に含まれる。																				
8-11-36 f. 高台からの景観・坑口斜面の景観	【8～10行目】 また、俯角は3.4度と俯瞰景観の中心領域から外れており、スカイラインの切断はないため、景観資源の眺望を阻害しないと予測する。	【8～10行目】 また、俯角は7.0度と俯瞰景観においてやや目につきやすい角度となっているが、スカイラインの切断はないため、景観資源の眺望を阻害しないと予測する。																				
8-11-36 表 8-11-13 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約450m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>24.1°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>3.4°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約450m	水平見込角	24.1°	俯角	3.4°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約530m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>24.1°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>7.0°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約530m	水平見込角	24.1°	俯角	7.0°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約450m																					
水平見込角	24.1°																					
俯角	3.4°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約530m																					
水平見込角	24.1°																					
俯角	7.0°																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-38 g. 荒川河川敷公園	【見出し】 (e) 荒川河川敷公園	【見出し】 g. 荒川河川敷公園																				
8-11-38 g. 荒川河川敷公園	【7～9行目】 これらによると、対象道路は近景に位置しており、水平見込角は22.9度と構造物は目立ちやすい値となっている。また、仰角は3.4度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、スカイラインの切断はない。	【7～9行目】 これらによると、対象道路は近景に位置しており、水平見込角は21.5度と構造物は目立ちやすい値となっている。また、仰角は3.3度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、スカイラインの切断はない。																				
8-11-38 表 8-11-14 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約250m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>22.9°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>3.4°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約250m	水平見込角	22.9°	仰角	3.4°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約290m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>21.5°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>3.3°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約290m	水平見込角	21.5°	仰角	3.3°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約250m																					
水平見込角	22.9°																					
仰角	3.4°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約290m																					
水平見込角	21.5°																					
仰角	3.3°																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-40 h. 県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	【見出し】 (f) 県道敷島竜王線(富士山が見える場所)	【見出し】 h. 県道敷島竜王線(富士山が見える場所)																				
8-11-40 表 8-11-15 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約150m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>31.4°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>0.8°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約150m	水平見込角	31.4°	俯角	0.8°	スカイライン切断	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約330m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>31.4°</td> </tr> <tr> <td>俯角</td> <td>0.8°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切断</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約330m	水平見込角	31.4°	俯角	0.8°	スカイライン切断	なし
指標	内容																					
視距離	約150m																					
水平見込角	31.4°																					
俯角	0.8°																					
スカイライン切断	なし																					
指標	内容																					
視距離	約330m																					
水平見込角	31.4°																					
俯角	0.8°																					
スカイライン切断	なし																					
8-11-42 i. 一橋陣屋跡前からの景観	【見出し】 (g) 一橋陣屋跡前からの景観	【見出し】 i. 一橋陣屋跡前からの景観																				
8-11-44 j. 国道20号からの景観	【見出し】 (h) 国道20号からの景観	【見出し】 j. 国道20号からの景観																				

表 15-1-2 (13) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																																												
8-11-44 j. 国道 20 号からの景観	【5～6 行目】 これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は 6.1 度と構造物はあまり目立たない値となっている。	【5～6 行目】 これらによると、対象道路は中景に位置しており、水平見込角は 7.8 度と構造物はあまり目立たない値となっている。																																																												
8-11-44 表 8-11-17 視覚に関する物理的指標による解析結果	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 950m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>6.1°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>0.3°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切筋</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 950m	水平見込角	6.1°	仰角	0.3°	スカイライン切筋	なし	【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視距離</td> <td>約 850m</td> </tr> <tr> <td>水平見込角</td> <td>7.8°</td> </tr> <tr> <td>仰角</td> <td>0.3°</td> </tr> <tr> <td>スカイライン切筋</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	指標	内容	視距離	約 850m	水平見込角	7.8°	仰角	0.3°	スカイライン切筋	なし																																								
指標	内容																																																													
視距離	約 950m																																																													
水平見込角	6.1°																																																													
仰角	0.3°																																																													
スカイライン切筋	なし																																																													
指標	内容																																																													
視距離	約 850m																																																													
水平見込角	7.8°																																																													
仰角	0.3°																																																													
スカイライン切筋	なし																																																													
8-12-2 表 8-12-1 主要な人と自然との触れ合いの活動の場調査地点	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>武田神社</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>武田の杜遊歩道</td> <td>約 450m</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>桜井町桜・里山管理</td> <td>約 300m</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜井町散策路</td> <td>約 50m</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>塚原町バードウォッチング</td> <td>約 500m</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>塚原集落（ホタルの里）</td> <td>約 350m</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>坊沢川ザリガニ採集</td> <td>約 200m</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>双葉団地周辺散策路</td> <td>約 500m</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>花の咲く丘</td> <td>約 50m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	1	武田神社	約 400m	3	武田の杜遊歩道	約 450m	6	桜井町桜・里山管理	約 300m	7	桜井町散策路	約 50m	9	塚原町バードウォッチング	約 500m	10	塚原集落（ホタルの里）	約 350m	13	坊沢川ザリガニ採集	約 200m	14	双葉団地周辺散策路	約 500m	15	花の咲く丘	約 50m	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>武田神社</td> <td>約 450m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>武田の杜遊歩道</td> <td>約 350m</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>桜井町桜・里山管理</td> <td>約 250m</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜井町散策路</td> <td>約 100m</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>塚原町バードウォッチング</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>塚原集落（ホタルの里）</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>坊沢川ザリガニ採集</td> <td>約 100m</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>双葉団地周辺散策路</td> <td>約 200m</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>花の咲く丘</td> <td>約 150m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	1	武田神社	約 450m	3	武田の杜遊歩道	約 350m	6	桜井町桜・里山管理	約 250m	7	桜井町散策路	約 100m	9	塚原町バードウォッチング	約 400m	10	塚原集落（ホタルの里）	約 400m	13	坊沢川ザリガニ採集	約 100m	14	双葉団地周辺散策路	約 200m	15	花の咲く丘	約 150m
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
1	武田神社	約 400m																																																												
3	武田の杜遊歩道	約 450m																																																												
6	桜井町桜・里山管理	約 300m																																																												
7	桜井町散策路	約 50m																																																												
9	塚原町バードウォッチング	約 500m																																																												
10	塚原集落（ホタルの里）	約 350m																																																												
13	坊沢川ザリガニ採集	約 200m																																																												
14	双葉団地周辺散策路	約 500m																																																												
15	花の咲く丘	約 50m																																																												
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
1	武田神社	約 450m																																																												
3	武田の杜遊歩道	約 350m																																																												
6	桜井町桜・里山管理	約 250m																																																												
7	桜井町散策路	約 100m																																																												
9	塚原町バードウォッチング	約 400m																																																												
10	塚原集落（ホタルの里）	約 400m																																																												
13	坊沢川ザリガニ採集	約 100m																																																												
14	双葉団地周辺散策路	約 200m																																																												
15	花の咲く丘	約 150m																																																												
8-12-3 図 8-12-1 人と自然との触れ合いの活動の場調査位置図	【調査地点位置の修正】	【調査地点位置の修正】																																																												
8-12-4 表 8-12-3(1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>武田神社</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>武田の杜遊歩道</td> <td>約 450m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	1	武田神社	約 400m	3	武田の杜遊歩道	約 450m	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>武田神社</td> <td>約 450m</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>武田の杜遊歩道</td> <td>約 350m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	1	武田神社	約 450m	3	武田の杜遊歩道	約 350m																																										
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
1	武田神社	約 400m																																																												
3	武田の杜遊歩道	約 450m																																																												
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
1	武田神社	約 450m																																																												
3	武田の杜遊歩道	約 350m																																																												
8-12-5 表 8-12-3(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>桜井町桜・里山管理</td> <td>約 300m</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜井町散策路</td> <td>約 50m</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>塚原町バードウォッチング</td> <td>約 500m</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>塚原集落（ホタルの里）</td> <td>約 350m</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>坊沢川ザリガニ採集</td> <td>約 200m</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>双葉団地周辺散策路</td> <td>約 500m</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>花の咲く丘</td> <td>約 50m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	6	桜井町桜・里山管理	約 300m	7	桜井町散策路	約 50m	9	塚原町バードウォッチング	約 500m	10	塚原集落（ホタルの里）	約 350m	13	坊沢川ザリガニ採集	約 200m	14	双葉団地周辺散策路	約 500m	15	花の咲く丘	約 50m	【計画路線からの距離】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>調査地点の名称</th> <th>計画路線からの距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>桜井町桜・里山管理</td> <td>約 250m</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>桜井町散策路</td> <td>約 100m</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>塚原町バードウォッチング</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>塚原集落（ホタルの里）</td> <td>約 400m</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>坊沢川ザリガニ採集</td> <td>約 100m</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>双葉団地周辺散策路</td> <td>約 200m</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>花の咲く丘</td> <td>約 150m</td> </tr> </tbody> </table>	番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	6	桜井町桜・里山管理	約 250m	7	桜井町散策路	約 100m	9	塚原町バードウォッチング	約 400m	10	塚原集落（ホタルの里）	約 400m	13	坊沢川ザリガニ採集	約 100m	14	双葉団地周辺散策路	約 200m	15	花の咲く丘	約 150m												
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
6	桜井町桜・里山管理	約 300m																																																												
7	桜井町散策路	約 50m																																																												
9	塚原町バードウォッチング	約 500m																																																												
10	塚原集落（ホタルの里）	約 350m																																																												
13	坊沢川ザリガニ採集	約 200m																																																												
14	双葉団地周辺散策路	約 500m																																																												
15	花の咲く丘	約 50m																																																												
番号	調査地点の名称	計画路線からの距離																																																												
6	桜井町桜・里山管理	約 250m																																																												
7	桜井町散策路	約 100m																																																												
9	塚原町バードウォッチング	約 400m																																																												
10	塚原集落（ホタルの里）	約 400m																																																												
13	坊沢川ザリガニ採集	約 100m																																																												
14	双葉団地周辺散策路	約 200m																																																												
15	花の咲く丘	約 150m																																																												
8-12-11 表 8-12-4(6) 調査結果	【7 桜井町散策路 利用環境】 西関東道路北側から西側の果樹園へ向かう散策路である。	【7 桜井町散策路 利用環境】 国道 140 号（西関東連絡道路）北側から西側の果樹園へ向かう散策路である。																																																												
8-12-18 図 8-12-2 人と自然との触れ合いの活動の場予測位置図	【予測地点位置の修正】	【予測地点位置の修正】																																																												

表 15-1-2 (14) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書
8-12-19 表 8-12-6(1) 予測結果(武田神社)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 400m 離れた場所 にあり、	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>450m</u> 離れた場所 にあり、
8-12-20 表 8-12-6(2) 予測結果(武田の杜遊歩道)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 450m 離れた場所 にある。	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>350m</u> 離れた場所 にある。
8-12-23 表 8-12-6(5) 予測結果(桜井町桜・里山管理)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 300m 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第3項目2～3行目】 ・・・、その箇所は既に西関東道路が開通 している部分であり、・・・ 【予測結果 第4項目1～2行目】 計画路線は主要な活動範囲から視認されるが、 近傍の風景は西関東道路部がほとんどである。	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>250m</u> 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第3項目2～3行目】 ・・・、その箇所は既に <u>国道 140 号(西関東 連絡道路)</u> が開通している部分であり、 ・・・ 【予測結果 第4項目1～2行目】 計画路線は主要な活動範囲から視認されるが、 近傍の風景は <u>国道 140 号(西関東連絡 道路)</u> がほとんどである。
8-12-24 表 8-12-6(6) 予測結果(桜井町散策路)	【予測結果 第1項目】 計画路線の明かり部から約 50m 離れた場所 にあり、計画路線による散策路の改変は ない。 【予測結果 第3項目2～3行目】 ・・・その箇所は既に西関東道路が開通し ている部分であり、・・・	【予測結果 第1項目】 <u>国道 140 号(西関東連絡道路)</u> の高架部と <u>交差するが、計画路線の明かり部からは約 100m 離れた場所</u> にあり、計画路線による 散策路の改変はない。 【予測結果 第3項目2～3行目】 ・・・その箇所は既に <u>国道 140 号(西関東 連絡道路)</u> が開通している部分であり、・・・
8-12-25 表 8-12-6(7) 予測結果(塚原町パー ドウォッチング)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 500m 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線から約 500m 離れた場所にあ り、・・・	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>400m</u> 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線から約 <u>400m</u> 離れた場所にあ り、・・・
8-12-26 表 8-12-6(8) 予測結果(塚原集落(ホ タルの里))	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 350m 離れた場所 にある。	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>400m</u> 離れた場所 にある。
8-12-28 表 8-12-6(10) 予測結果(坊沢川ザリ ガニ採集)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 200m 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線の明かり部から約 200m 離れた場所 にあり、・・・	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>100m</u> 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>100m</u> 離れた場所 にあり、・・・
8-12-29 表 8-12-6(11) 予測結果(双葉団地周 辺散策路)	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 500m 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線の明かり部から約 500m 離れた場所 にあり、・・・	【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>200m</u> 離れた場所 にあり、・・・ 【予測結果 第4項目1行目】 計画路線の明かり部から約 <u>200m</u> 離れた場所 にあり、・・・

表 15-1-2 (15) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																																		
8-12-30 表 8-12-6(12) 予測結果(花の咲く丘)	<p>【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約50m離れた場所にあり、・・・</p> <p>【予測結果 第4項目1～2行目】 計画路線の明かり部は花の咲く丘から約50mの場所にあり近接しているが、・・・</p>	<p>【予測結果 第1項目1行目】 計画路線の明かり部から約150m離れた場所にあり、・・・</p> <p>【予測結果 第4項目1～2行目】 計画路線の明かり部は花の咲く丘から約150mの場所にあるが視認できず、・・・</p>																																		
8-13-4 表 8-13-3 環境保全措置の検討	<p>【環境保全措置の追加】 記載なし</p>	<p>【環境保全措置の追加】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>環境保全措置</th> <th>環境保全措置の効果</th> <th>環境保全措置の検討結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止</td> <td>有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)に基づく溶出基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。</td> <td>トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できることから環境保全措置として採用する。</td> </tr> </tbody> </table>	環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止	有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)に基づく溶出基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できることから環境保全措置として採用する。																												
環境保全措置	環境保全措置の効果	環境保全措置の検討結果																																		
トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止	有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)に基づく溶出基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できることから環境保全措置として採用する。																																		
8-13-4 2) 検討結果の検証	<p>【3～4行目】 ・・・、実際の稼働状況により多少の変動はあるものの、既に処理能力に実績があることから、環境保全措置の効果の不確実性は小さいと判断される。</p>	<p>【3～4行目】 ・・・、実際の稼働状況により多少の変動はあるものの、既に処理能力に実績があること、「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル(暫定版)」や土壌汚染対策法(平成14年法律第53号)の技術的基準に基づく対応を行うことから環境保全措置の効果の不確実性は小さいと判断される。</p>																																		
8-13-5 表 8-13-4(3) 検討結果の整理	<p>【検討結果の整理の追加】 記載なし</p>	<p>【検討結果の整理の追加】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	環境保全措置の効果	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし																		
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																			
実施内容	種類	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止																																		
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺																																		
環境保全措置の効果	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる																																			
効果の不確実性	なし																																			
他の環境への影響	特になし																																			
9-2 表 9-1-1(1) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【調査結果、風向・風速の調査結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>最多風向</th> <th>平均風速</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>北北東</td> <td>2.5m/s</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	最多風向	平均風速	甲斐市岩森	北北東	2.5m/s	<p>【調査結果、風向・風速の調査結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>最多風向</th> <th>平均風速</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>甲斐市岩森</td> <td>北北西</td> <td>2.5m/s</td> </tr> </tbody> </table>	調査地点	最多風向	平均風速	甲斐市岩森	北北西	2.5m/s																						
調査地点	最多風向	平均風速																																		
甲斐市岩森	北北東	2.5m/s																																		
調査地点	最多風向	平均風速																																		
甲斐市岩森	北北西	2.5m/s																																		
9-4 表 9-1-1(3) 環境影響評価結果の総合的な評価	<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	なし		<p>【環境保全措置の効果】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>工事用車両のタイヤ洗浄</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>工事施工範囲内</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> </tbody> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄	位置	工事施工範囲内	環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	なし	
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																			
実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄																																		
	位置	工事施工範囲内																																		
環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。																																			
効果の不確実性	なし																																			
他の環境への影響	なし																																			
実施主体	国土交通省関東地方整備局																																			
実施内容	種類	工事用車両のタイヤ洗浄																																		
	位置	工事施工範囲内																																		
環境保全措置の効果	タイヤ洗浄装置を用いて洗車することにより粉じん等の発生を低減できる。また、タイヤ洗浄に伴って発生する工事排水については、評価書 P25 に記載のとおり、適切に放流を行うことで影響を低減できる。																																			
効果の不確実性	なし																																			
他の環境への影響	なし																																			

表 15-1-2 (16) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書																	
9-11 表 9-1-1 (10) 環境影響評価結果の総合的な評価	【調査結果 地盤の状況】 計画路線沿道の地表面の地盤種別は、各地点とも砂地盤である。地盤卓越振動数は19.6～43.5Hzである。	【調査結果 地盤の状況】 計画路線沿道の地表面の地盤種別は、各地点とも砂地盤である。地盤卓越振動数は17.2～43.5Hzである。																	
9-15 表 9-1-1 (14) 環境影響評価結果の総合的な評価	【評価結果】 ・・・温泉についても変化はほとんど生じない。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。	【評価結果】 ・・・温泉についても変化はほとんど生じない。 さらに、工事の実施中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書 P25「e」 <u>「工事中の水質監視等」</u> に記載している内容を環境保全措置として実施することで環境影響を低減することができる。 このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価する。																	
9-16 表 9-1-1 (15) 環境影響評価結果の総合的な評価	【環境保全措置】 ・・・温泉についても変化はほとんど生じないと考えられる。 以上のことから、環境保全措置の検討は行わないものとする。	【環境保全措置】 ・・・温泉についても変化はほとんど生じないと考えられる。 以上のことから、地下水の水位及び温泉については環境保全措置の検討は行わないものとする。 なお、工事の施工中に掘削等に伴って発生する工事排水については、評価書 P25「e」 <u>「工事中の水質監視等」</u> に記載している内容を環境保全措置として実施する。																	
9-28 表 9-1-1 (27) 環境影響評価結果の総合的な評価	【環境保全措置】 記載なし	【環境保全措置】 <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">国土交通省関東地方整備局</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実施内容</td> <td>種類</td> <td>トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺</td> </tr> <tr> <td>環境保全措置の効果</td> <td colspan="2">トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる</td> </tr> <tr> <td>効果の不確実性</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td>他の環境への影響</td> <td colspan="2">特になし</td> </tr> </table>	実施主体	国土交通省関東地方整備局		実施内容	種類	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺	環境保全措置の効果	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる		効果の不確実性	なし		他の環境への影響	特になし	
実施主体	国土交通省関東地方整備局																		
実施内容	種類	トンネル掘削に伴う発生土による土壌汚染の防止																	
	位置	都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺																	
環境保全措置の効果	トンネル掘削に伴う発生土による土壌への影響を確実に低減できる																		
効果の不確実性	なし																		
他の環境への影響	特になし																		
9-28 表 9-1-1 (27) 環境影響評価結果の総合的な評価	【評価結果<回避又は低減に係る評価>】 ・・・再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。 このことから、・・・	【評価結果】 ・・・再資源化出来ないものは適切に処理・処分する。 さらに、有害物質の含有状況等を把握し、必要に応じて「 <u>建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）</u> 」などに基づいて搬出先等における汚染防止措置を行うとともに、 <u>土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）</u> に基づく溶出量基準・含有量基準を超過する土壌を確認した場合は、必要に応じて速やかに同法第7条6項の技術的基準に基づく対応を行うことで、土壌への影響を低減できる。 このことから、・・・																	

表 15-1-2 (17) その他、準備書からの主な相違点

評価書の頁	準備書	評価書
資料編 2-108 4) 調査結果 表 2-3-11(1) 騒音の調査結果(等価騒音レベル(L _{Aeq}))	【注釈】 記載なし	【注釈】 <u>※国道 20 号沿道の計画路線完成後の騒音レベルは、資料編 p4-22～25 に記載。</u>
資料編 5-30 5.4 事業実施区域周辺の温泉水の流動	【6～7 行目】 ・・・P8-5-16、表 8-5-5(2))、・・・	【6～7 行目】 ・・・P8-5-16、表 8-5-6(2))、・・・
資料編 7-42 〔準備書資料編 132〕 表 7-3-1(2) 〔準備書資料編 表 7-4-1(2)〕 動物 未確認重要種	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜鳥類 オオヨシゴイ＞の行 ・・・生息適地はみられない。夏鳥として渡来するが、山梨県 RDB では県内での繁殖確認は無いとされる。	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜鳥類 オオヨシゴイ＞の行 ・・・生息適地はみられない。夏鳥として渡来するが、 <u>山梨県レッドデータブック</u> では県内での繁殖確認は無いとされる。
資料編 7-44 〔準備書資料編 134〕 表 7-3-1(4) 〔準備書資料編 表 7-4-1(4)〕 動物 未確認重要種	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜鳥類 ヨタカ＞の行 ・・・、本種の個体数は減少傾向にあり、山梨県 RDB では「確認情報が年々少なくなり、・・・	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜鳥類 ヨタカ＞の行 ・・・、本種の個体数は減少傾向にあり、 <u>山梨県レッドデータブック</u> では「確認情報が年々少なくなり、・・・
資料編 7-46 〔準備書資料編 136〕 表 7-3-1(6) 〔準備書資料編 表 7-4-1(6)〕 動物 未確認重要種	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜昆虫類 アオハダトンボ＞の行 山梨県 RDB では「県内では、韮崎市と北杜市の・・・	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜昆虫類 アオハダトンボ＞の行 <u>山梨県レッドデータブック</u> では「県内では、韮崎市と北杜市の・・・
資料編 7-46 〔準備書資料編 136〕 表 7-3-1(6) 〔準備書資料編 表 7-4-1(6)〕 動物 未確認重要種	＜昆虫類 スジグロチャバネセセリ＞の行 山梨県 RDB では「1998 年以降に公表された県内のデータは無い。・・・	＜昆虫類 スジグロチャバネセセリ＞の行 <u>山梨県レッドデータブック</u> では「1998 年以降に公表された県内のデータは無い。・・・
資料編 7-47 〔準備書資料編 137〕 表 7-3-1(7) 〔準備書資料編 表 7-4-1(7)〕 動物 未確認重要種	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜昆虫類 ヒョウモンモドキ＞の行 山梨県 RDB では「過去に甲斐市や甲府市から記録はあるが、・・・	【生息の可能性が低いと判断される理由の列】 ＜昆虫類 ヒョウモンモドキ＞の行 <u>山梨県レッドデータブック</u> では「過去に甲斐市や甲府市から記録はあるが、・・・
	＜昆虫類 キマダラモドキ＞の行 山梨県 RDB では「県内では富士山麓、塩山市、都留市、南巨摩、・・・	＜昆虫類 キマダラモドキ＞の行 <u>山梨県レッドデータブック</u> では「県内では富士山麓、塩山市、都留市、南巨摩、・・・